社会医療法人かりゆし会 年報

第19巻　平成24年度
（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI Vol.19 2012(April 1,2012 - March 31,2013)

年報発刊によせて

あすなろの新年号に病院の経営・運営の根幹は、医師を始めとする医療従事者の確保と育成と記しました。ハートライフ病院の開設より 24 年が過ぎ、その間に多くの優秀な人材を確保・育成することができ、現在のような発展に繋がったと考えます。しかし、時代的には病院の進む方向の明確化と更なる飛躍が求められています。

今､総合ケアセンターの開設や新病棟（産婦人科センター等）の増新築を計画し、更に 20 年後の本館の新築計画まで検討しています。しかし、実際の医療その物の中味はどの様に展開されて行くのでしょうか。当院における医療の歴史の継続として、また、地域の医療環境も加味し近未来像を構築する必要があると思います。これまで行ってきた医療の維持発展にも、新しくやりたい医療の実現にも人材を確保し充実する必要があると思います。いずれにせよ、平均在院日数が 10 日前後で医療連携がスムーズ（必要以上の長期入院が避けられ）に行なわれる際は、300 床の病院は小さくはないであろうが、それでもある程度、医療の内容にフォーカスを絞る必要があると考えます｡そこで､基礎となる東海岸･中南部領域のプライマリケア、救急医療等の地域医療と全県レベルの医療を具体的に構築することが大切と考えます。基礎の地域医療はさらに卒後研修・後期専門研修のできる環境でしょう。全県レベルの医療は質的にも量的にも県下トップレベルの医療が望まれます。救急・総合診療医を中心に広い領域の医療を担なえる医師を 4 ～ 6 名を確保・増員し、全県レベルの医療の充実と更なる柱の構築に加えて、麻酔科医の充足の下に、手術件数と全麻件数の更なる増をめざして邁進していきたいものです。

社会医療法人　かりゆし会
理事長　安里　哲好

目次

年報発刊によせて ・・・・・・・・・・・・ 3

ハートライフ病院 7、平成 24 年度 年次報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

理念・8、基本方針・8

年報発刊によせての挨拶 ・・・・・・ 9

病院概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

組織概要 10

施設名・10、所在地・10、連絡先・10、管理者一覧・10

施設概要 10

許可病床数・10、敷地面積及び建物概要・10、職員数・11、病院機能認定など・12、指定医療一覧・12、施設認定一覧・12

診療体制 13

標榜診療科目・13、その他、センター・専門外来など・13、受付時間・13、診療時間・13、休診日・13

地域医療支援病院認定 関連統計情報 14

紹介率（紹介率・逆紹介率）・14、共同利用・15、研修・15

財務情報 16

活動実績 17

今年度の主な出来事　20

患者統計・病歴統計・医療の質 Quality Indicator(QI) ・・・・・・・・ 21

患者統計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

外来・救急外来 22

外来 1 日平均患者数推移・22、地域別外来患者数・22、救急搬送件数推移と救急患者の入院数・23、消防署（地域）別救急搬送件数・23、外来化学療法室（がん化学療法外来）施行数推移・24

入院　25

3 指標・25、入院 1 日平均患者数推移（稼働）・26、エリア別入院患者数（のべ）・26、ICU 患者統計・27、退院患者疾患別（病態）分類・29

医療の質Quality Indicator（QI）　31

患者満足度調査・31、死亡退院患者率・31、死亡退院患者率（緩和ケア等除く）・32、転倒転落発生率・32、褥瘡発生率・33、手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率・33

DPCデータからみた平成24年度のハートライフ病院 ・・・・・・・・・・・・・ 34

機能評価係数 II の重要性・34、救急医療係数と救急医療管理加算・35、総合入院体制加算と地域医療支援病院・36

部署別業務実績 ・・・・・・・・・・・・・・ 39

医　局 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

部門紹介・40、医師数・40、医局方針・40、活動実績・41、研修医学会発表・45

各科概要・実績 46

内　科　46

呼吸器内科　47

循環器内科　48

消化器内科　50

血液内科 52

糖尿病内科　54

小児科　56

心療内科 58

外　科　59

整形外科 64

形成外科 66

脳神経外科　68

眼科　70

耳鼻咽喉科　72

泌尿器科 74

産婦人科 76

皮膚科　78

放射線科 79

麻酔科　81

血液浄化部　83

救急総合診療部 85

メディカルクラーク　87

医局総括 89

看護部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91

部門紹介 91

看護部長　西銘　宣子・91、看護部理念・91、看護部運営方針・91、看護体制・92、活動実績・92

各部署概要・実績　95

外来　95

救急外来 99

人工透析室　101

手術室・中央材料室　104

ICU　106

西 2 階病棟（産婦人科）　109

3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科）　112

3 階新病棟　114

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）　116

5 階病棟（消化器内科・小児科）119

6 階病棟　（血液内科）121

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）　126

看護部　年度総括　129

医療技術部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131

部門紹介 131

活動実績・131

各部署概要・実績　132

放射線科 132

臨床検査科　136

栄養科　151

薬局　154

リハビリテーション科 157

医療技術部　年度総括　163

医療安全管理室 ・・・・・・・・・・・・ 165

感染対策管理室 ・・・・・・・・・・・・ 169

栄養サポート室 ・・・・・・・・・・・・ 175

内視鏡センター ・・・・・・・・・・・・ 180

予防医学センター ・・・・・・・・・・ 185

事務部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 191

部門紹介 191

各部署概要・実績　192

総務課　192

経理課　195

用度課　196

診療情報管理室 197

請求業務課　200

地域医療連携室 202

ハートライフ病院 企画室・法人事務局

経営企画室　210

施設管理課　215

料飲・販売　218

委員会活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ **221**

医療安全管理委員会・222、医療ガス安全・管理委員会・223、医療事故対策委員会・224、院内感染対策委員会・225、衛生委員会・226、NST・褥瘡対策委員会・227、エネルギー委員会・228、栄養管理委員会・229、化学療法委員会・230、がん対策推進委員会・231、呼吸器ケア委員会・232、個人情報対策委員会・233、診療録管理委員会・234、卒後臨床研修管理委員会・235、地域医療支援病院認定に係わる以下の情報・236、治験審査委員会・237、薬事審議委員会・238、輸血療法委員会・239、臨床検査適正委員会・240、倫理委員会・241、DPC 委員会・242、緩和ケア委員会・243、診療報酬対策委員会・244、投書対策委員会・245、クリティカルパス委員会・247、患者満足度向上委員会・248、健康増進委員会・249、医療機器安全管理委員会・250、広報委員会・251、年報作成員会・251、手術室運営委員会・251、救急・ICU 検討委員会・252、図書委員会・253、人事検討委員会・254、教育研修管理委員会・255、診療材料等管理検討委員会・256、物品購入検討委員会・257、ワークライフバランス委員会・258、QI 委員会・259

ハートライフ病院の 1 年 ・・・・・・・・・ **261**

ハートライフクリニック267、平成 24 年度　年次報告 ・・・・・・・・・ **267**

理念・268、基本方針・268

年報発刊によせての挨拶 ・・・・ **269**

病院概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **270**

組織概要 270

施設名・270、所在地・270、連絡先・270、管理者一覧・270

施設概要 270

敷地面積及び建物概要・270、職員数・270、指定医療一覧・271、その他、センター・専門外来など・271、受付時間・271、診療時間・271、休診日・271

財務情報 272

患者統計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **273**

ハートライフクリニック　業務実績 275

糖尿病内科 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **276**

内科 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **279**

小児科 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **281**

附属施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **282**

疾病予防運動施設リューザ　282

ヘルシーカフェ ohana 284

編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **286**

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院
平成24年度　年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2012

理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 急性期医療（質の高いチーム医療）
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）
3. 救急医療（24 時間二次救急）
4. がんの予防と治療
5. 研修教育病院
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切

年報発刊によせての挨拶

平成 24 年度もハートライフ病院にとって素晴らしい一年になりました。地域の皆様に心よりお礼申し上げます。

今年度はいくつかの改善点がありました。「自動精算機」と「再来受付機」の導入により患者さんの待ち時間短縮に貢献できたと思います。また、３階新病棟を増設したことで満床が理由の救急車の断りが減少しました。小児科では救急車を除く日曜日午前中の救急診療を開始したことは地域のニーズに応えることであり、地域の皆様からも好評であります。また平成 24 年度にはこれまでの 24 時間救急医療における貢献が評価され「救急医療功労者厚生労働大臣表彰」を受けました。職員の皆さんと共にこの栄誉を喜びたいと思います。

初期臨床研修医教育は琉大病院のみと共同で行われておりましたが、今年度より「群星（むりぶし）」グループにも加わり、スタンフォード大学から３人の先生が来院し英語での症例検討会が行われました。今後、研修医教育の質の向上につながると思います。

4 月には安里理事長が長い間構想を温めていた、糖尿病を中心とした「ハートライフクリニック」が開院しました。ヘルシーカフェと本格的スポーツ施設を完備した素晴らしい施設になっており、ここを拠点に各市町村の行政やクリニックとの連携を密にして糖尿病を中心とした生活習慣病の減少を図るという構想です。最初の数年は困難な場面にも多々直面するかと思いますが、かりゆし会の職員一丸となって努力して参ります。

今回の年報では東京医科歯科大学医学部附属病院 特任講師・病院長補佐の井上貴裕氏に DPC データからみた平成 24 年度のハートライフ病院を振り返っていただきました。救急医療管理加算の適切な算定に努力し、救急医療係数が大きく上昇した事が評価され、今後も機能係数Ⅱを上昇させる努力と総合入院体制加算を算定できるように努力すべき事をご指摘いただきました。心より感謝申し上げます。

平成 24 年度の職員の頑張りがこの年報につまっています。今後努力すべき点をみつめ直す機会にしていく所存です。

社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院
院長　奥島　憲彦

病院概要

（平成 24 年 4 月 1 日現在 / データ作成　総務課　比嘉）

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院

所在地

〒 901-2492　沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話　（098）895-3255（代表）

FAX　（098）895-2534

ホームページ　http://www.heartlife.or.jp/

管理者一覧

理事長	安里哲好	副院長	佐久川　廣	医療技術部長	宮城竜也
院長	奥島憲彦	救急総合診療部長	與座　一	事務部長	宮良長男
副院長	松元　悟	医局長	西原　実	人財開発室部長	比嘉一廣
副院長	久場良也	看護部長	西銘宣子		

施設概要

許可病床数

300 床（開放病床 22 床）

敷地面積及び建物概要

敷地面積　19,474.80㎡　　建築面積　7,231.56㎡　　延べ床面積 24,680.51㎡

規模構造　鉄筋コンクリート造　地上 9 階・地下 1 階

職員数

総　数　　750 名

職種別

（平成 24 年 4 月 1 日現在 / データ作成　総務課　比嘉）

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	59	クラーク	9	OMA	1	医師事務作業補助者	12
研修医	7	臨床工学士	10	視能訓練士	1	ソーシャルワーカー	5
保健師	4	臨床検査技師	31	診療放射線技師	15	施設技術者	4
助産師	15	理学療法士	10	管理栄養士	4	保育士	1
看護師	305	作業療法士	4	栄養士	1	その他	58
准看護師	26	言語聴覚士	3	調理師	11	合計	750
看護助手	39	薬剤師	13	事務	102		

指導医・専門医・認定医

（平成 24 年 6 月現在 / データ作成　企画室広報　仲田）

名称	人数	名称	人数
日本内科学会指導医	3	運動器リハビリテーション医	1
日本内科学会総合内科専門医	2	日本脳神経外科学会専門医	2
日本内科学会認定医	13	日本形成外科学会専門医	1
日本内科学会専門医	1	日本熱傷学会専門医	1
日本アレルギー学会専門医	1	日本レーザー医学会専門医	1
日本血液学会専門医	4	身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）	1
日本循環器学会専門医	3	日本小児科学会専門医	3
日本糖尿病学会専門医	1	日本産婦人科学会専門医	3
日本肝臓学会専門医	2	日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医	1
日本感染症学会専門医	1	母体保護法指定医	1
日本外科学会指導医	2	日本麻酔科学会指導医	1
日本外科学会専門医	5	日本麻酔科学会認定医	3
日本外科学会認定医	1	日本集中治療医学会専門医	1
日本乳がん学会専門医	1	日本ペインクリニック学会認定医	1
検診マンモグラフィ読影認定医	3	日本泌尿器学会指導医	2
JABTS 超音波講習会修了医	1	日本泌尿器学会専門医	2
日本食道学会認定医	1	日本眼科学会専門医	1
日本消化器外科学会専門医	1	日本透析医学会専門医	1
日本消化器外科学会指導医	2	日本透析医学会認定医	1
消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	3	ICD 協議会認定インフェクションコントロールドクター	1
日本内視鏡外科学会技術認定医	1	日本医師会認定産業医	3
日本消化器内視鏡学会専門医	6	日本消化器がん検診学会認定医	2
日本消化器内視鏡学会指導医	2	日本がん治療認定機構がん治療暫定教育医	4
日本消化器病学会指導医	3	日本がん治療認定機構がん治療認定医	6
日本消化器病学会専門医	6	日本救急医学会救急専門医	1
日本感染症学会指導医	1	精神保健指定医	1
日本整形外科学会専門医	3	日本精神神経学会専門医	1
日本整形外科学会リウマチ認定医	2	日本精神神経学会指導医	1
日本手外科学会認定手外科専門医	1	日本医学放射線学会専門医	1
日本体育協会公認スポーツドクター	2	日本消化器集団検診学会認定医	1
日本医師会認定健康スポーツ医	1	日本人間ドック学会認定医	1

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型）　厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 卒後臨床研修評価機構認定病院（2009 年 9 月更新）
3. 地域医療支援病院
4. 24 時間二次救急指定病院
5. （財）日本医療機能評価機構　一般病院　認定第 GB97-3 号
6. DPC 対象病院

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
   《腎臓に関する医療》
9. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
   《耳鼻咽喉科に関する医療》
10. 原爆医療法指定医療機関
11. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
    《てんかん》
12. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
    《未熟児医療》
13. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
15. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
    《心臓脈管外科に関する医療》

施設認定一覧

1. 日本整形外科専門医研修施設
2. 日本外科学会外科専門医修練施設
3. 日本消化器外科学会専門医修練施設
4. 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
5. 日本循環器学会専門医研修施設
6. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
7. 日本産婦人科学会卒後研修指導施設
8. 日本内科学会認定医制度教育病院
9. 日本泌尿器科専門医教育施設
10. 日本透析学会認定教育関連施設
11. 日本糖尿病学会認定教育施設
12. 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医暫定研修施設
13. 日本脳神経外科学会専門医認定訓練施設
14. 日本臨床細胞学会認定施設
15. 日本眼科学会専門医制度研修施設
16. 日本病理学会研修登録施設
17. 日本消化器病学会認定施設
18. 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
19. 日本がん治療認定医機構認定研修施設
20. 臨床研修指定病院
21. 日本医療機能評価機構認定病院
22. 社団法人日本感染症学会研修施設
23. 非血縁者間骨髄採取施設・移植診療科施設

診療体制

標榜診療科目

※平成 24 年 12 月現在

- 内科
- 呼吸器内科
- 循環器内科
- 消化器内科
- 肝臓内科
- 糖尿病内科
- 血液内科
- 人工透析内科
- 心療内科
- 小児科
- 外科
- 乳腺外科
- 食道外科
- 血管外科
- 大腸・肛門外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 産婦人科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 皮膚科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 救急科

その他、センター・専門外来など

※平成 24 年 12 月現在

- 予防医学センター
- 内視鏡センター
- 無菌治療センター
- 悪性腫瘍相談センター
- 胸やけ外来
- 不整脈外来
- 甲状腺外来
- 生活習慣病・禁煙外来
- 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 外来
- 股関節外科・膝関節スポーツ外来
- 通院治療室（外来化学療法）

24 時間救急指定病院【内科・外科・整形外科・脳神経外科・循環器内科】

受付時間

月曜日～金曜日	午前　8：00 ～ 11：30	午後　12：00 ～ 16：30
土曜日	午前　8：00 ～ 11：30	午後　休診

診療時間

月曜日～金曜日	午前　9：00 ～ 12：00	午後　14：00 ～ 17：00
土曜日	午前　9：00 ～ 12：30	午後　休診

休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

地域医療支援病院認定　関連統計情報

紹介率（紹介率・逆紹介率）

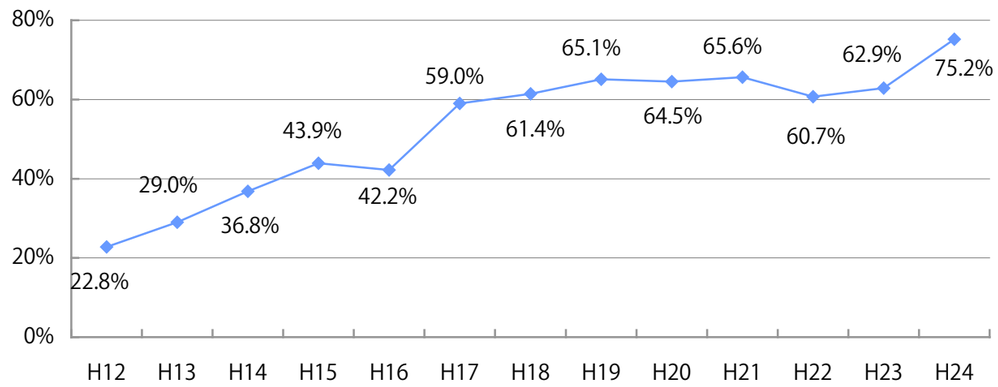
（データ作成　地域医療連携室　新垣）

紹介患者状況

	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	患者数（人）	月平均	患者数（人）	月平均	患者数（人）	月平均	患者数（人）	月平均
紹介患者数	6,026	502	5,620	511	6,067	506	6,345	529
緊急入院患者数	1,944	162	1,912	164	1,846	154	2,041	170
初診患者数	19,097	1,591	19,280	1,697	18,662	1,555	17,254	1,438
救急初診患者数	7,624	635	6,485	842	6,704	559	6,874	573
初診緊急入院患者数	694	58	525	45	684	57	803	67
逆紹介患者数	5,035	420	5,089	424	5,478	457	5,329	444
紹介率	65.6%		60.7%		62.9%		75.2%	
逆紹介率	41.5%		38.2%		43.8%		47.9%	

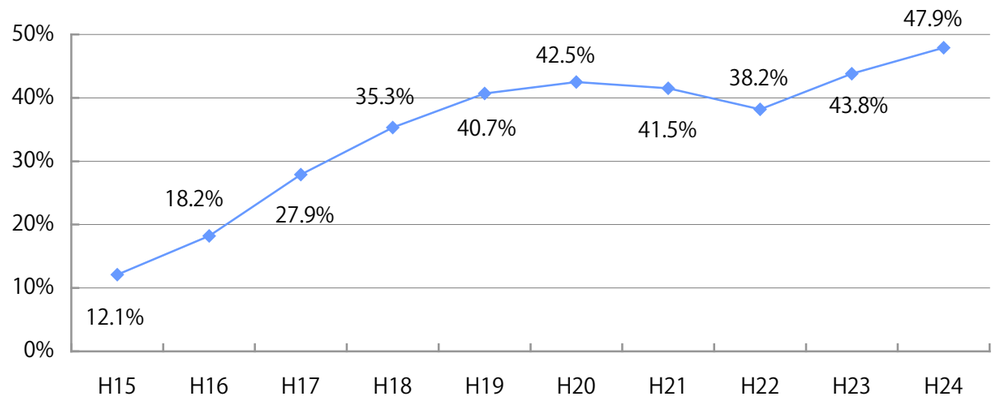
地域医療支援病院紹介率の実績

（月平均紹介率）



地域医療支援病院逆紹介率の実績

（月平均紹介率）



共同利用

（データ作成　地域医療連携室　新垣）

年度別　登録医状況

	登録医数	備　　考
平成 19 年度 3 月	280	地域医療支援病院認可時
平成 20 年度 3 月	276	4 施設閉院
平成 21 年度 3 月	292	
平成 22 年度 3 月	303	
平成 23 年度 3 月	307	登録医療機関は 303 件
平成 24 年度 3 月	304	登録医療機関は 300 件

平成 24 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数	医療圏	件数
北部医療圏	8	八重山医療圏	10
中部医療圏	103	その他医療圏	1
南部医療圏	165	合　　計	300
宮古医療圏	13		

【参考】沖縄県総診療所数 821 件　登録医の比率 36.9％

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

	延べ利用患者数	年間平均利用率
平成 21 年度	10,608	132%
平成 22 年度	11,073	137%
平成 23 年度	9,300	115%
平成 24 年度	9,892	123%

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
平成 21 年度	総 件 数	3,260	10,870	326	12,428
	紹介件数	661	989	56	1,612
	利 用 率	20.3%	9.1%	17.2%	13.0%
平成 22 年度	総 件 数	3,417	11,073	293	12,876
	紹介件数	678	972	33	1,586
	利 用 率	19.8%	8.8%	11.3%	12.3%
平成 23 年度	総 件 数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利 用 率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
平成 24 年度	総 件 数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2049
	利 用 率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%

研修

（データ作成　地域医療連携室　砂川）

地域医療従事者に対する検討会・勉強会実施状況

内訳	回数	症例件数	参加人数			備考
			院内	院外	合計	
救急症例検討会	4	15	173	198	371	◆ 消化器系症例検討会：19:00 ～ 21:00（偶数月第 4 木曜日開催） ◆ 救急症例検討会：18:00 ～ 20:00（3 ヶ月毎第 4 金曜日開催） ◆ 糖尿病勉強会：18:30 ～ 20:00（不定期開催） ◆ 循環器勉強会：19:00 ～ 21:00（不定期開催）
救急勉強会	1	2	14	86	100	
消化器系症例検討会	5	20	20	96	116	
消化器勉強会	1		6	18	24	
糖尿病勉強会	1		33	84	117	
合計	12	37	246	482	728	

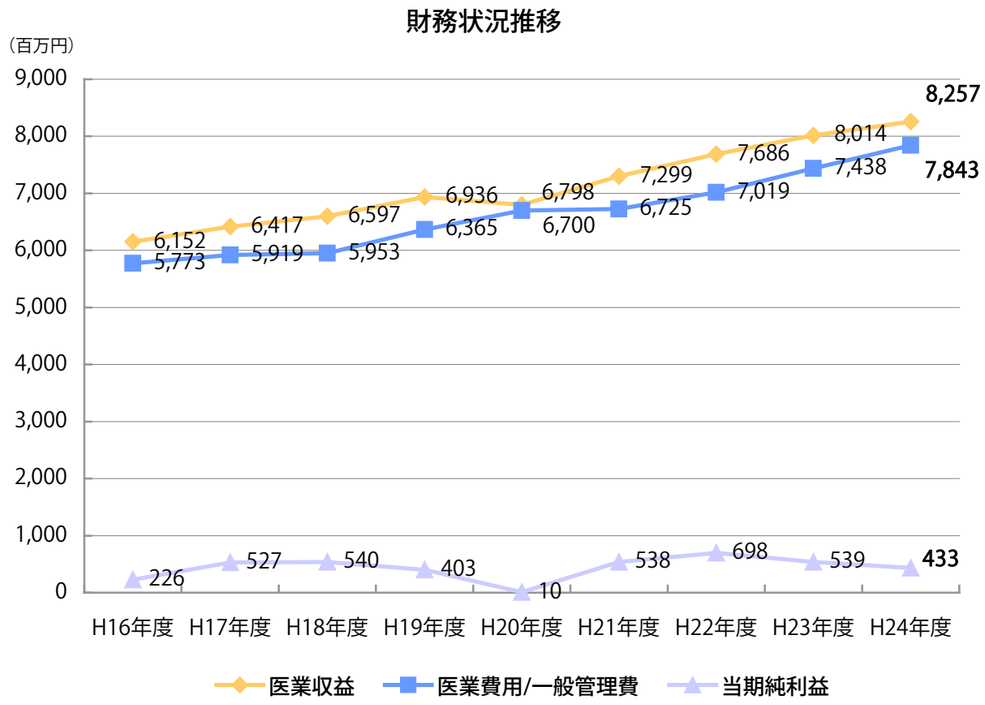
救急救命士実習実績（気管挿管：6 名・薬剤投与：1 名）

消防本部名	実習名	実習期間（開始～修了）	成功症例	備考
沖縄市消防本部	気管挿管	2012 年 2 月 28 日～ 2012 年 4 月 19 日	30 例	（救気管）第 24―001 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2012 年 4 月 24 日～ 2012 年 6 月 6 日	30 例	（救気管）第 24―002 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2012 年 6 月 11 日～ 2012 年 8 月 2 日	30 例	（救気管）第 24―003 号
東部消防組合消防本部	薬剤投与	2012 年 7 月 9 日～ 2012 年 7 月 13 日	A パート 10 例	（薬）第 24―001 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2012 年 8 月 8 日～ 2012 年 10 月 1 日	30 例	（救気管）第 24―004 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2012 年 10 月 2 日～ 2012 年 12 月 18 日	30 例	（救気管）第 24―005 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2012 年 12 月 19 日～ 2013 年 3 月 5 日	30 例	（救気管）第 24―006 号

財務情報

(単位：百万円 / データ作成　財務課　大山)

		H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
医業収益	入院診療収益	4,070	4,296	4,258	4,674	4,602	4,930	5,241	5,411	5,574
	外来診療収益	1,692	1,704	1,830	1,751	1,714	1,827	1,885	1,997	1,864
	保険予防活動収益	384	377	390	399	372	387	391	409	418
	その他医業収益	6	4	6	5	5	11	22	32	42
	付随業務：クリニック、カフェ、リューザ、事業収益	0	36	113	107	105	144	147	165	359
	計	6,152	6,417	6,597	6,936	6,798	7,299	7,686	8,014	8,257
医業費用	一般管理費　計	5,773	5,919	5,953	6,365	6,700	6,725	7,019	7,438	7,843
	医業利益	379	498	644	571	98	574	667	576	414
	経常利益	302	425	583	545	113	504	746	572	440
	税引前当期利益	324	738	677	545	78	540	699	540	433
	法人税・住民税等	98	211	137	142	68	2	1	1	0
	当期純利益	226	527	540	403	10	538	698	539	433



活動実績

(職員向け講習会など抜粋。詳細は各部門に掲載 / データ作成　企画室広報　仲田)

年月日	名称	主催・事務局など
2012 年 4 月 6 日	心電図勉強会	救急総合診療部副部長　三戸正人
2012 年 4 月 7 日	院内 BLS	救急・ICU 検討委員会 : 内間
2012 年 4 月 12 日	DPC 勉強会　【講師・演者】病院経営ストラテジスト　井上貴裕 氏	院長　奥島憲彦
2012 年 4 月 13 日	血液病理研究会	中外製薬
2012 年 4 月 19 日	東京女子医科大学病院外来化学療法室見学報告会	化学療法委員会
2012 年 4 月 25 日	医療技術部勉強会	栄養科
2012 年 4 月 26 日	消化器系症例検討会	地域医療連携室
2012 年 5 月 7 日	緩和ケア勉強会	薬局・大日本住友
2012 年 5 月 14 日	がん化学療法勉強会	化学療法委員会
2012 年 5 月 15 日	がん化学療法勉強会	化学療法委員会
2012 年 5 月 21 日	救急部症例検討会	救急外来 : 内間
2012 年 5 月 22 日	DPC 勉強会　【講師・演者】病院経営ストラテジスト　井上貴裕 氏	院長　奥島憲彦
2012 年 5 月 24 日	感染対策講習会 < 標準予防策 >	院内感染対策委員会
2012 年 5 月 24 日	手洗い講習会	感染対策委員会
2012 年 5 月 26 日	院内 BLS・ICLS	ICU・救急検討委員会
2012 年 5 月 30 日	講演会 : いい病院をつくりましょう　【講師・演者】人と経営研究所　所長 大久保寛司 氏	院長　奥島憲彦
2012 年 5 月 31 日	正しいポジショニング方法	NST・褥瘡対策委員会
2012 年 6 月 1 日	メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2012 年 6 月 1 日	再生医療勉強会	臨床検査科 神谷技師長
2012 年 6 月 2 日	院内 BLS	ICU・救急検討委員会
2012 年 6 月 9 日	院内 BLS	ICU・救急検討委員会
2012 年 6 月 11 日	院内救急症例検証会	救急外来
2012 年 6 月 12 日	平成 23 年度各科実績報告会 1 日目	年報作成委員会
2012 年 6 月 13 日	平成 23 年度各科実績報告会 2 日目	年報作成委員会
2012 年 6 月 18 日	メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2012 年 6 月 20 日	医療ガス講習会	医療ガス安全管理委員会
2012 年 6 月 26 日	看護部研修会（化療）	看護部
2012 年 6 月 28 日	消化器系症例検討会	地域医療連携室
2012 年 7 月 10 日	平成 23 年度各委員会実績報告会 1 日目	年報作成委員会
2012 年 7 月 11 日	平成 23 年度各委員会実績報告会 2 日目	年報作成委員会
2012 年 7 月 13 日	最新の予防接種勉強会	ハートライフクリニック小児科
2012 年 7 月 18 日	医療安全勉強会	医療安全管理委員会
2012 年 7 月 19 日	医療安全勉強会	医療安全管理委員会
2012 年 7 月 24 日	看護部研修会（化療）	看護部
2012 年 7 月 28 日	院内 BLS・ICLS	ICU・救急検討委員会
2012 年 8 月 8 日	講演会 : 知って得する！血液を介して起こるウィルス感染症	院内感染対策委員会
2012 年 8 月 10 日	いきいき講演会 : 僕たちが大切にしていること　一体化した医院をめざして　【講師・演者】鶴田歯科医院 院長 鶴田博文 先生、歯科技工士 嵩下 秀輔 氏、人と経営研究所　所長 大久保寛司 氏	院長　奥島憲彦
2012 年 8 月 14 日	平成 23 年度各部署実績報告会 1 日目	年報作成委員会
2012 年 8 月 15 日	平成 23 年度各部署実績報告会 2 日目	年報作成委員会
2012 年 8 月 18 日	院内 BLS 講習会	ICU・救急検討委員会
2012 年 8 月 21 日	講演会 : 病院の増改築で大事なこと　【講師・演者】工学院大学 建築学部 建築デザイン学科 教授 筧 淳夫 氏	院長　奥島憲彦
2012 年 8 月 23 日	消化器系症例検討会 / 連携室	地域医療連携室
2012 年 8 月 24 日	DPC セミナー報告会 & 講習会	診療情報管理室
2012 年 8 月 28 日	看護部研修会（化療）	看護部
2012 年 8 月 28 日	いきいき講演会 : いい病院をつくりましょう　【講師・演者】菓匠 Shimizu 専夢取締役　清水慎一　氏	院長　奥島憲彦
2012 年 8 月 30 日	MEDI-ARROWS 操作勉強会	診療情報管理室
2012 年 9 月 1 日	院内 BLS 講習会	ICU・救急検討委員会

年月日	名称	主催・事務局など
2012 年 9 月 7 日	メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2012 年 9 月 12 日	ハートライフ病院寄席　北山亭メンソーレ	健康増進委員会
2012 年 9 月 19 日	救急外来勉強会	救急外来 : 内間
2012 年 9 月 25 日	講演会 : リウマチの過去・現在・未来【講師・演者】東京医科歯科大学医学部附属病院長、日本リウマチ学会理事長 宮坂 信之 先生	院長　奥島憲彦
2012 年 9 月 25 日	看護部研修会（化療）	看護部
2012 年 9 月 27 日	メンタルヘルス研修会	衛生委員会
2012 年 9 月 28 日	業務改善報告会兼院内研究発表会看護部予選会	看護部師長会
2012 年 9 月 28 日	CPC 会議	看護部
2012 年 9 月 29 日	院内 BLS・ICLS 講習会	救急・ICU 検討委員会
2012 年 10 月 3 日	いきいき講演会 : 人は輝くことができる【講師・演者】アイエスエフネットグループ代表 渡邉幸義 氏	院長　奥島憲彦
2012 年 10 月 5 日	講演会 : 東日本震災と救急医療　【講師・演者】福島県立医科大学 田勢長一郎 先生	副院長　久場良也
2012 年 10 月 10 日	呼吸ケア勉強会 :VAP 編	呼吸ケアチーム 内間
2012 年 10 月 12 日	医療技術部勉強会	医療技術部
2012 年 10 月 13 日	院内総合防災訓練	院内災害対策委員会　内間
2012 年 10 月 15 日	がん化学療法勉強会パートⅡ	化学療法委員会
2012 年 10 月 16 日	がん化学療法勉強会パートⅡ	化学療法委員会
2012 年 10 月 17 日	院内研究発表会医療技術部予選会	医療技術部
2012 年 10 月 19 日	院内研究発表会事務部予選	院内研究発表会
2012 年 10 月 23 日	看護部研修会（化療）	看護部
2012 年 10 月 25 日	消化器系症例検討会	地域医療連携室
2012 年 10 月 26 日	DPC 勉強会　講師 : 病院経営ストラテジスト　井上貴裕　氏	院長　奥島憲彦、請求業務課、診療情報管理室
2012 年 11 月 6 日	講演会 : コンディショニングで健康的に綺麗になろう　【講師・演者】NPO 法人 日本体調改善運動普及協会 会長 有吉与志恵 氏	健康増進委員会
2012 年 11 月 7 日	講演会 : 医学・医療の確実性と不確実性にどのように向き合うか【講師・演者】市立敦賀病院　副院長　麻酔科医　医療安全管理委員長 杉浦良啓 先生	医療安全委員会
2012 年 11 月 8 日	第 19 回院内研究発表会	院内研究発表会実行委員会
2012 年 11 月 9 日	小児外科勉強会	医局
2012 年 11 月 17 日	院内 BLS	ICU・救急検討委員会
2012 年 11 月 27 日	看護部研修会（化療）	看護部
2012 年 11 月 29 日	がん化学療法勉強会（院外講演）	化学療法委員会
2012 年 11 月 30 日	がん化学療法勉強会（院外講演）	化学療法委員会
2012 年 12 月 4 日	第 3 回トラマール WEB 講演会	日本新薬株式会社
2012 年 12 月 6 日	講演会 : 命は与えると強くなる　【講師・演者】UCLA 医学部教授　がん専門医 新原 豊 先生	院長　奥島憲彦
2012 年 12 月 13 日	がん対策推進講演会	がん対策推進委員会
2012 年 12 月 17 日	院内 CPC	医局
2012 年 12 月 21 日	DPC 勉強会　講師 : 病院経営ストラテジスト　井上貴裕　氏	院長　奥島憲彦、請求業務課、診療情報管理室
2012 年 12 月 27 日	消化器系症例検討会	地域医療連携室
2013 年 1 月 17 日	中部地区泌尿器科症例検討会	泌尿器科医師
2013 年 1 月 24 日	講演会 : 災害対策について	医局長　西原　実
2013 年 1 月 25 日	ER&ICU 勉強会	救急外来 : 内間
2013 年 1 月 26 日	医療安全セミナー	医療安全管理室
2013 年 1 月 27 日	医療安全セミナー	医療安全管理室
2013 年 1 月 28 日	統計 / 分析勉強会（Excel 等を使って）	診療情報管理室
2013 年 1 月 29 日	いきいき講演会 : 医療とユーモア【講師・演者】金城学院大学学長 柏木哲夫 先生	院長　奥島憲彦
2013 年 1 月 31 日	CPC 講演会 : 佐々木次雄先生	検査科 天願
2013 年 2 月 1 日	看護部研修会　【講師・演者】名桜大学 小西 清美 先生	看護部
2013 年 2 月 5 日	院内 CPC	医局
2013 年 2 月 8 日	講演会 : メディカルサポートコーチング基礎編　【講師・演者】奥田弘美 先生	院長　奥島憲彦
2013 年 2 月 14 日	機能評価・新制度報告会	薬局 : 伊藤、放射線科 : 仲座

年月日	名称	主催・事務局など
2013 年 2 月 15 日	講演会 : ワークライフバランスの推進が病院を活性化する　【講師・演者】大阪厚生年金病院 名誉 院長 清野佳紀 先生	院長　奥島憲彦
2013 年 2 月 15 日	2 年目症例発表会 : 看護部	看護部教育委員会
2013 年 2 月 16 日	院内 BLS 講習会	ICU・救急検討委員会
2013 年 2 月 18 日	新春寄席　北山亭メンソーレ	健康増進委員会
2013 年 2 月 25 日	統計 / 分析勉強会（Excel 等を使って・第 2 回目）	診療情報管理室　柳　学
2013 年 2 月 26 日	BSC	ワークライフバランス
2013 年 3 月 7 日	講演会・研修会 : 末期がん患者の在宅医療 当院から退院した症例を通して	地域医療連携室、緩和ケア委員会
2013 年 3 月 9 日	院内 BLS 講習会	ICU・救急検討委員会
2013 年 3 月 11 日	院内 CPC	医局
2013 年 3 月 13 日	機能評価・新制度報告会（part2）	薬局 : 伊藤、放射線科 : 仲座
2013 年 3 月 14 日	IVC フィルター勉強会	救急外来 : 内間
2013 年 3 月 15 日	講演会 : 大災害で実際に困ったこと沖縄の備え【講師・演者】沖縄赤十字病院 救急部長 佐々木秀章 先生	災害対策委員会
2013 年 3 月 19 日	DPC 勉強会　講師 : 病院経営ストラテジスト　井上貴裕　氏	院長　奥島憲彦、DPC 委員会、請求業務課、診療情報管理室
2013 年 3 月 25 日	統計 / 分析勉強会（Excel 等を使って・第 3 回目）	診療情報管理室
2013 年 3 月 28 日	がん対策推進講演会（沖縄県の現状と今後）	がん対策推進委員会

今年度の主な出来事

（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）

年	月日	出来事
2012 年 （平成 24 年）	4 月 2 日	平成 24 年度入職式・オリエンテーション
	5 月 19 日～ 20 日	ハートライフ病院主催　沖縄県緩和ケア研修会 2012
	6 月 12 日～ 13 日	科別実績報告会
	7 月 11 日	各委員会実績報告会
	8 月 14 日～ 15 日	各部署実績報告会
	8 月 25 日	第 2 回研修医同窓会
	9 月 10 日	救急医療功労者厚生労働大臣表彰
	10 月 13 日	ハートライフ病院大運動会
	11 月 2 日	病院立入検査（医療監視）
	11 月 8 日	院内研究発表会
	12 月 3 日	H24 年度・患者満足度調査（外来患者・入院患者・透析患者・MSC にて）
	12 月 3 日～ 7 日	病室病床数変更 （内訳）　救急センター：3 床→ 0 床 西館 2 階：4 床→ 3 床 本館 ICU：6 床→ 8 床 3 階新病棟：0 床→ 8 床 人間ドック：10 床→ 4 床
	12 月 5 日	標榜科追加・名称変更 （内訳）　救急科、肝臓内科、食道外科、血管外科、 乳腺外科、人工透析内科、糖尿病内科
	12 月 28 日	納会
2013 年 （平成 25 年）	1 月 18 日	ABMi 療法の臨床研究を開始（第 1 症例の実施）
	2 月 14 日	ハートライフ病院　地域医療連携懇談会
	3 月 21 日	ハートライフ病院　第 8 期研修医修了式

患者統計・病歴統計
医療の質 Quality Indicator(QI)

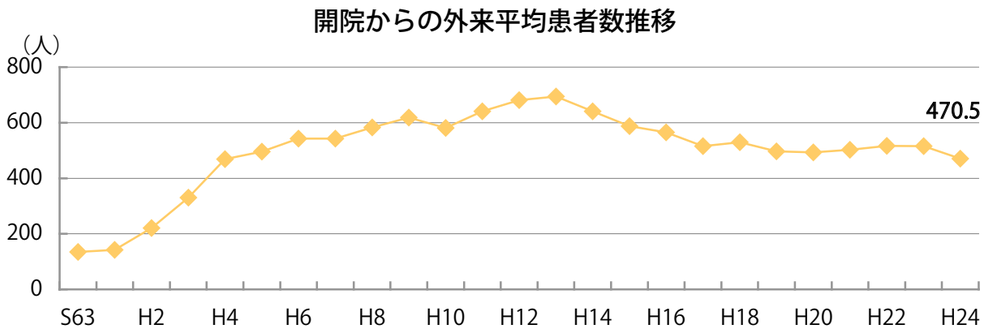
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

（データ作成 : 請求業務課　宮城）

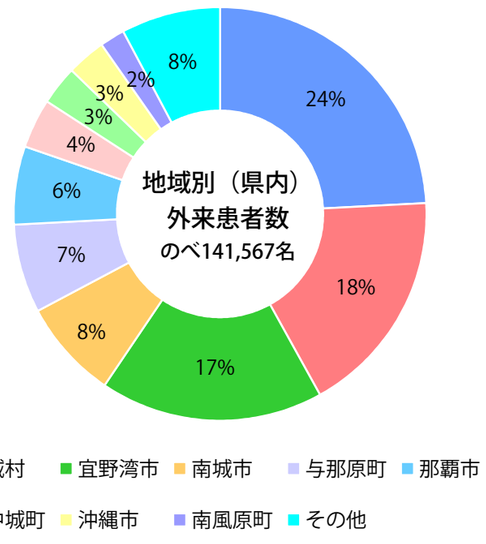
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
平成 19 年度	503.4	498.5	475.0	482.1	463.0	499.4	501.2	525.5	530.9	510.1	483.8	492.8	497.1
平成 20 年度	490.0	495.0	488.6	501.0	473.4	507.2	503.3	491.8	508.7	503.5	475.8	482.4	493.4
平成 21 年度	464.0	499.6	488.4	498.2	499.1	501.0	498.2	508.9	515.6	511.2	497.7	542.3	502.0
平成 22 年度	512.0	504.7	494.5	507.0	500.0	545.8	523.0	545.9	553.9	508.7	492.4	508.7	516.4
平成 23 年度	503.4	523.6	489.1	505	499.7	525.9	510.7	532	544.3	526.6	519.3	501.4	515.1
平成 24 年度	455.7	461.3	446.5	475.9	459.4	488.1	466.9	481.7	481.1	483.0	475.9	470.4	470.5



地域別外来患者数

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	140,632
離島	935
県外	558
その他・不明	526
合計	**142,651**

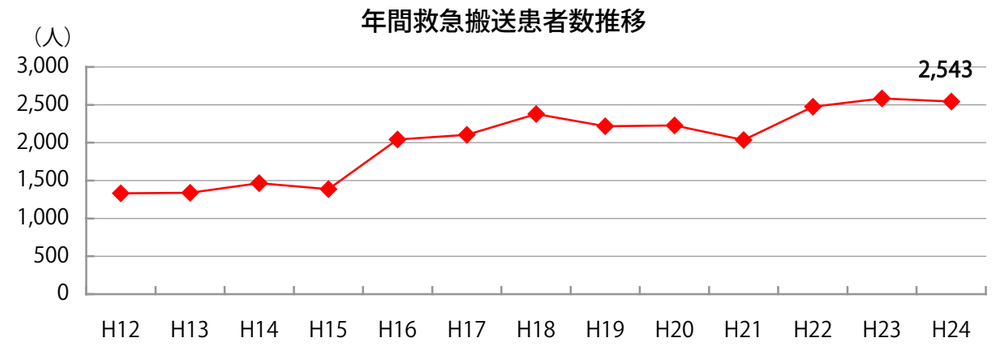
（データ作成 : 企画室広報　知念）



救急搬送件数推移と救急患者の入院数

（データ作成 : 地域医療連携室　砂川）

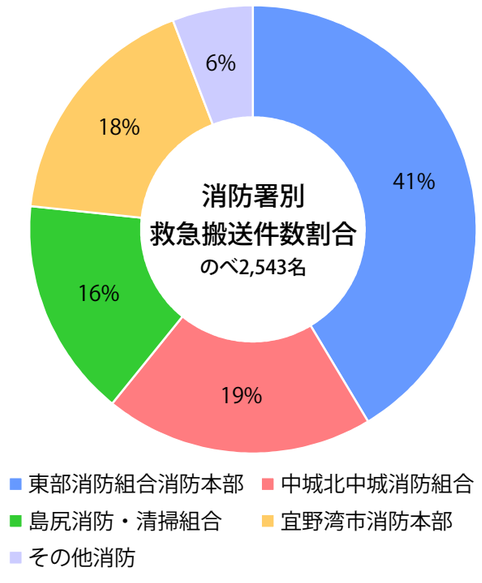
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
平成 19 年度	搬送人数	210	183	190	210	170	195	173	157	161	184	200	192	2,225	185.4
	内入院数	91	87	83	95	67	97	76	77	81	99	92	77	1,022	45.9%
平成 20 年度	搬送人数	204	179	174	219	195	183	190	169	195	208	158	168	2,242	186.8
	内入院数	92	68	67	79	69	67	85	80	85	92	71	72	927	41.3%
平成 21 年度	搬送人数	131	117	140	187	207	194	154	153	194	207	175	176	2,035	170
	内入院数	65	55	56	90	101	87	71	82	98	99	81	81	966	47.5%
平成 22 年度	搬送人数	163	188	185	230	221	224	195	225	223	231	169	222	2,476	206
	内入院数	81	76	91	88	83	84	87	110	96	110	91	99	1,096	44.3%
平成 23 年度	搬送人数	202	187	201	209	215	190	230	209	226	224	240	250	2,583	215
	内入院数	84	78	91	90	109	84	112	98	118	105	101	114	1,184	45.8%
平成 24 年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2543	212
	内入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1245	49%



消防署（地域）別救急搬送件数

（地域医療支援病院運営委員会資料より / データ作成 : 地域医療連携室　砂川）

	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	489	314	64.2%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,055	712	67.5%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	448	308	68.8%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	404	274	67.8%
その他消防（上記以外の市町村）	147	80	54.4%
合　　計	**2,543**	**1,688**	**66.4%**

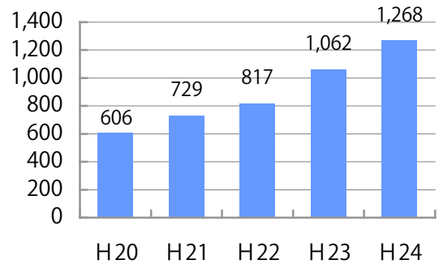


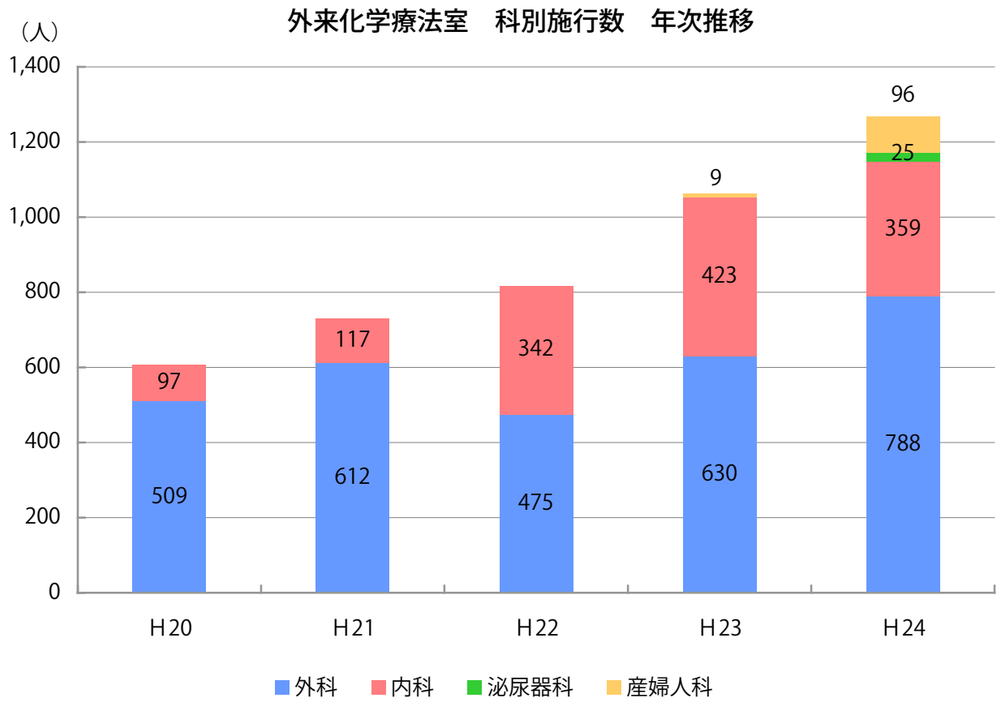
外来化学療法室（がん化学療法外来）施行数推移

（データ作成 : 看護部外来　本田）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	54	62	48	61	62	60	75	51	49	52	55	68	639
乳腺外科	11	20	16	16	9	13	14	9	10	11	13	14	149
消化器内科	3	4	4	8	4	2	0	5	3	2	2	1	41
呼吸器内科	0	5	3	4	1	3	2	1	1	1	6	5	33
血液内科	16	24	29	30	28	23	19	22	24	20	23	33	285
婦人科	9	8	11	18	18	7	5	2	4	6	2	2	96
泌尿器科					1	1	1	2	3	8	4	4	25
計	96	124	117	137	129	97	100	85	84	92	101	106	1,268

外来化学療法件数年次推移

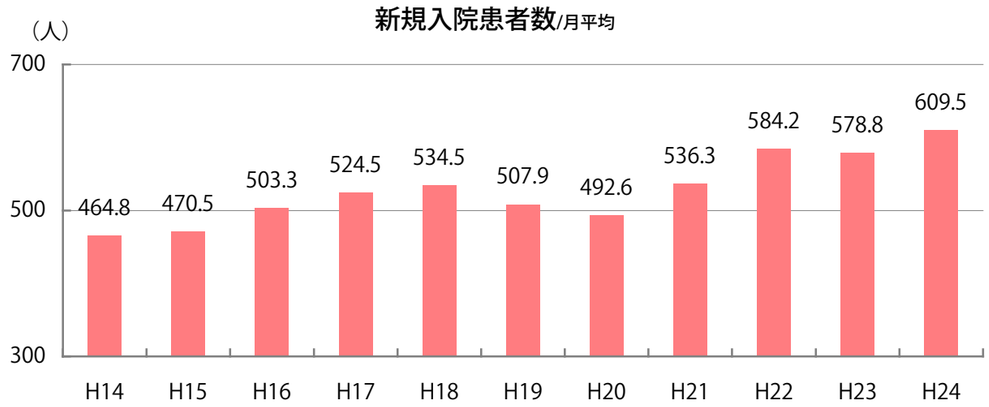


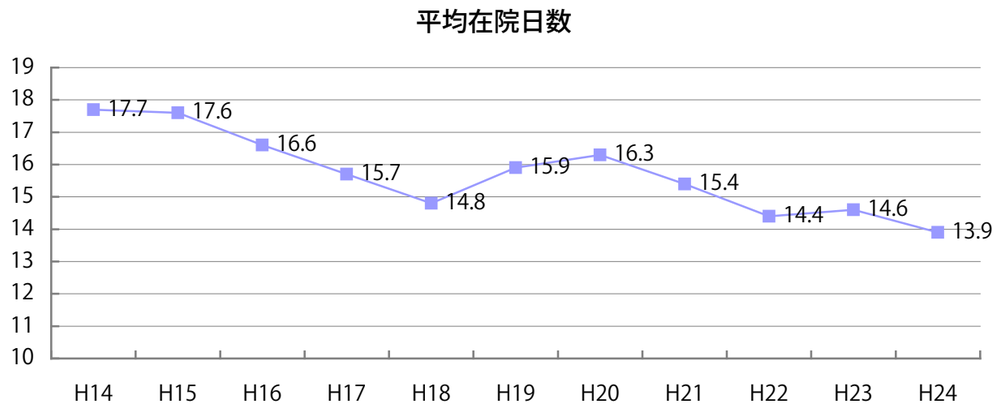


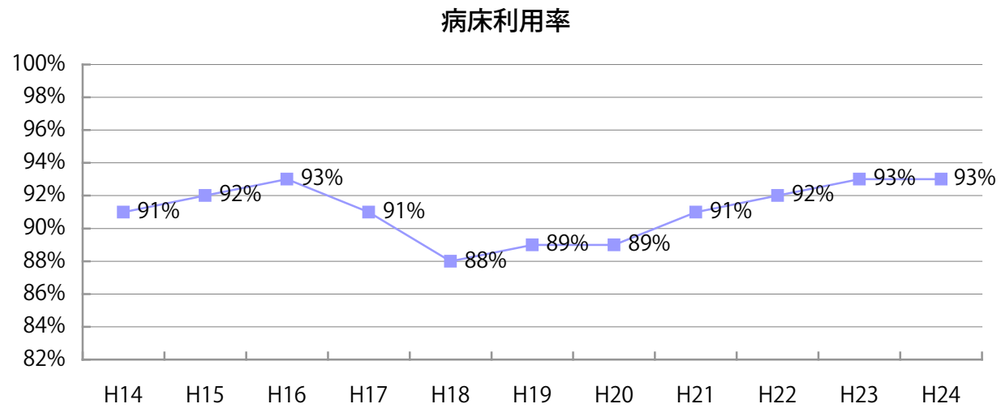
入院

3 指標

（データ作成 : 地域医療連携室　粟盛）



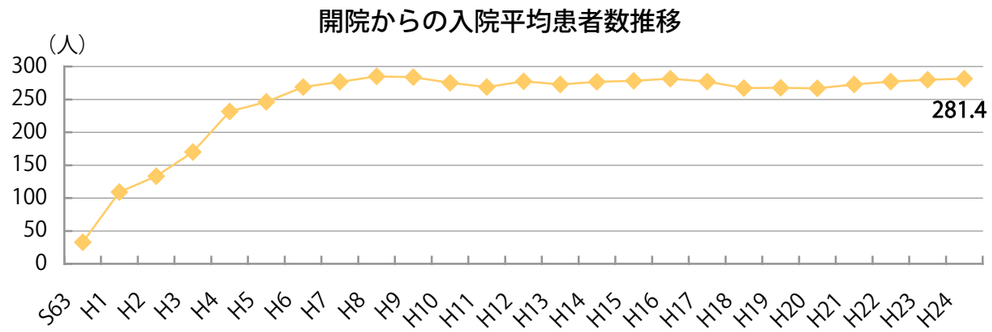




入院 1 日平均患者数推移（稼働）

（データ作成 : 請求業務課　高良）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
平成 23 年度	287.2	271.9	277.5	287.4	283.5	284.2	270.1	282.9	264.3	276.6	286.8	284.5	279.7
平成 24 年度	283.6	274.2	273.4	277.7	273.1	274.7	281.5	283.7	284.8	290.6	294.5	284.8	281.4

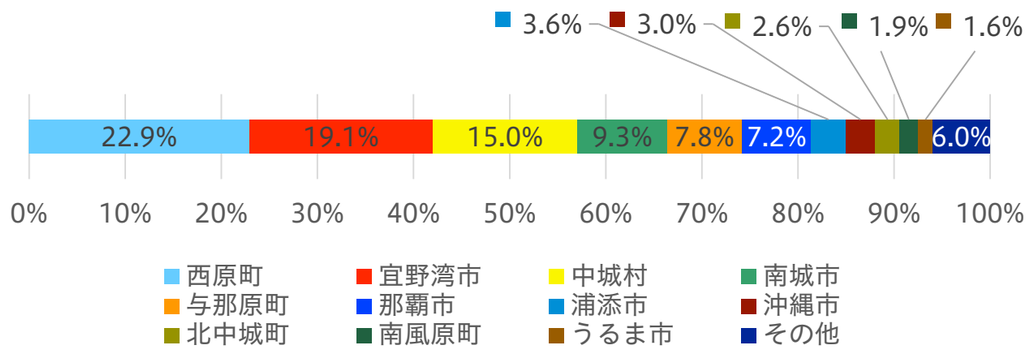


エリア別入院患者数（のべ）

（データ作成 : 企画室広報　知念）

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	7,590
離島	97
県外	74
その他・不明	15
総合計	7,776

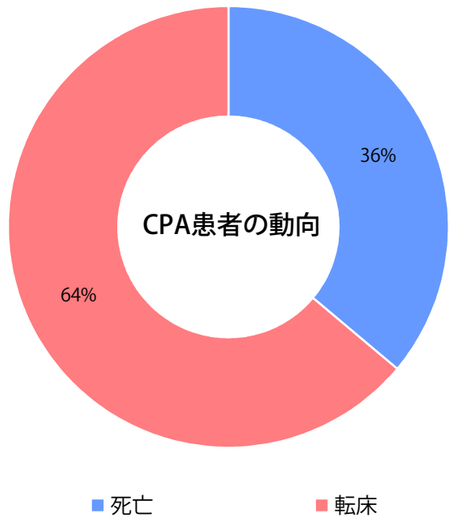
沖縄本島内　入院延べ患者構成比

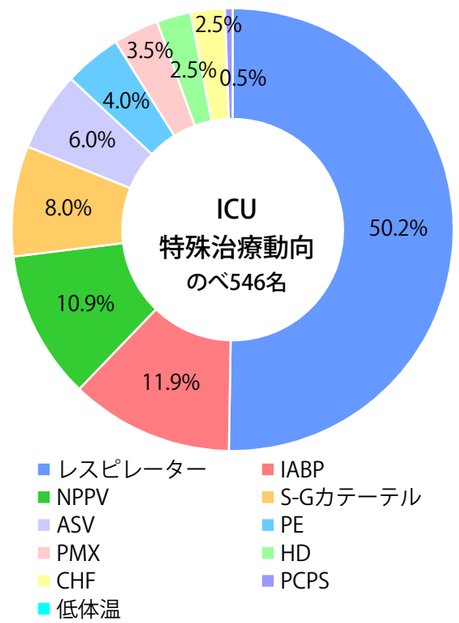


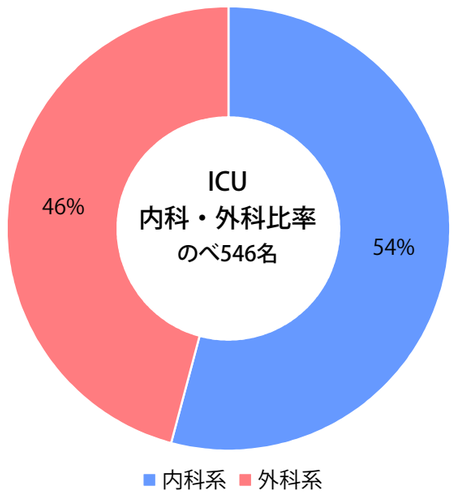
ICU 患者統計

（データ作成　ICU　安村）

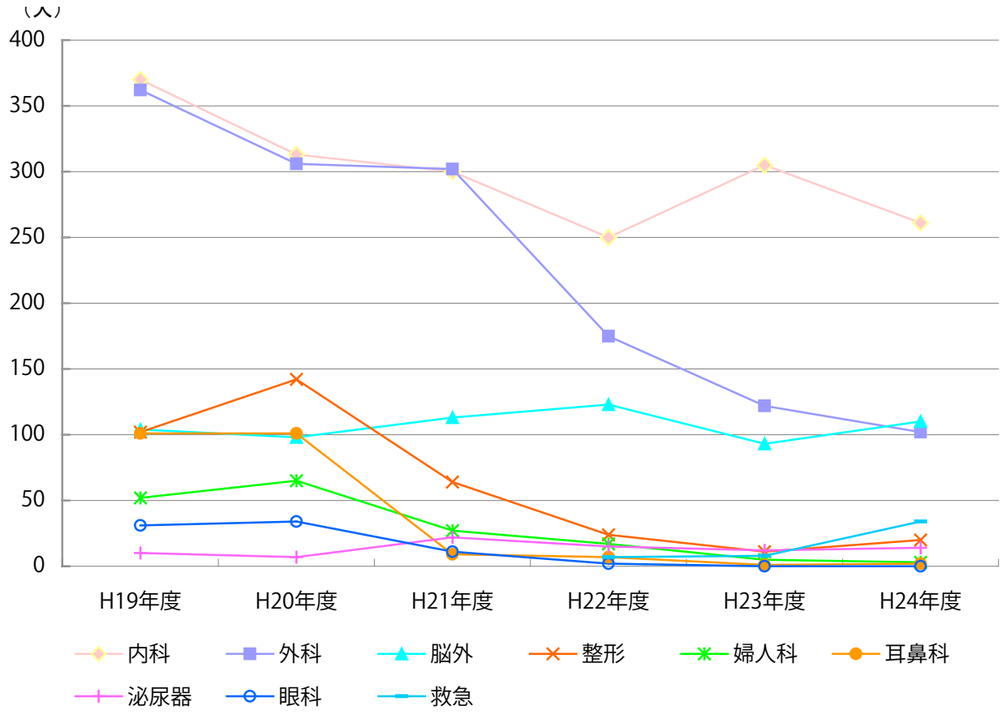
	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
内科	384	367	366	370	313	300	250	305	261
外科	324	318	319	362	306	302	175	122	102
脳神経外科	62	104	116	104	98	113	123	93	110
整形外科	100	83	103	102	142	64	24	11	20
産婦人科	74	86	80	52	65	27	17	5	3
耳鼻咽喉科	41	55	76	101	101	9	7	1	2
泌尿器科	12	13	5	10	7	22	15	12	14
眼科	15	35	20	31	34	11	2	0	0
救急科	-	-	-	-	-	-	7	8	34
総数	1,012	1,061	1,085	1,132	1,066	848	620	557	546







ICU における過去 5 年間の科別患者数動向



※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

退院患者疾患別（病態）分類

（データ作成 : 診療情報管理室　島袋 / 山本）

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	麻酔科	総計
Ⅰ. 感染症および寄生虫症（A 00- B 99）	男	92	4	3	0	2	0	0	24	0	0	0	0	125
	女	95	7	1	1	0	0	3	27	2	4	3	1	144
	計	187	11	4	1	2	0	3	51	2	4	3	1	269
Ⅱ. 新生物（C 00- D 48）	男	292	128	33	2	1	0	14	0	0	0	0	0	470
	女	138	106	12	5	2	0	10	0	1	70	0	0	344
	計	431	234	45	7	3	0	24	0	1	70	0	0	814
Ⅲ. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害（D 50- D 89）	男	28	4	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	37
	女	20	8	2	0	1	0	0	0	1	2	0	0	34
	計	48	12	4	0	1	0	0	3	1	2	0	0	71
Ⅳ. 内分泌、栄養および代謝疾患（E 00- E 90）	男	69	8	1	0	2	1	0	8	0	0	3	0	92
	女	94	16	0	2	0	2	0	9	0	0	0	0	123
	計	163	24	1	2	2	3	0	17	0	0	3	0	215
Ⅴ. 精神および行動の障害（F 00- F 99）	男	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	計	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6
Ⅵ. 神経系の疾患（G 00- G 99）	男	58	5	0	2	18	0	5	2	0	0	1	0	91
	女	27	1	0	7	7	0	4	2	0	0	1	0	49
	計	85	6	0	9	25	0	9	4	0	0	2	0	140
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患（H 00- H 59）	男	0	0	0	0	0	92	2	0	0	0	0	0	94
	女	0	0	0	0	0	96	0	0	0	0	0	0	96
	計	0	0	0	0	0	188	2	0	0	0	0	0	190
Ⅷ. 耳および乳様突起の疾患（H 60- H 59）	男	7	0	0	0	0	0	8	2	0	0	1	0	18
	女	19	0	0	0	0	0	22	3	0	0	0	0	44
	計	26	0	0	0	0	0	30	5	0	0	1	0	62
Ⅸ. 循環器系の疾患（Ⅰ 00- Ⅰ 99）	男	295	13	12	2	73	0	0	1	0	0	18	0	414
	女	219	13	6	1	58	0	1	1	1	1	19	0	320
	計	514	26	18	3	131	0	1	2	1	1	37	0	734
Ⅹ. 呼吸器系の疾患（J 00- J 99）	男	515	14	23	0	0	0	34	140	0	0	2	1	729
	女	455	8	5	0	1	0	23	105	2		2		601
	計	970	22	28	0	1	0	57	245	2	0	4	1	1,330
Ⅺ. 消化器系の疾患（K 00- K 93）	男	312	318	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	635
	女	283	197	6	0	0	0	3	1	0	2	1	0	493
	計	595	515	8	0	0	0	4	3	0	2	1	0	1128
ⅩⅤ. 妊娠、分娩および産じょく<褥>（O00-O99）	女	0	0	0	0	0	0	0	0	488	0	0	0	488
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	488	0	0	0	488
ⅩⅥ. 周産期に発生した病態（P00-P96）	男	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6
	女	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	計	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
ⅩⅦ. 先天奇形、変形および染色体異常（Q00-Q99）	男	0	1	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	6
	女	1	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	6
	計	1	1	3	0	2	0	4	1	0	0	0	0	12

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	麻酔科	総計
X Ⅷ. 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00-R99）	男	7	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	9
	女	18	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	24
	計	25	2	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	33
X Ⅸ. 損傷、中毒およびその他の外因の影響（S00-T98）	男	29	56	14	223	36	3	0	3	0	0	4	0	368
	女	23	13		296	29	2	0	1	0	2	3	0	369
	計	52	69	14	519	65	5	0	4	0	2	7	0	737
XII. 皮膚および皮下組織の疾患（L00-L99）	男	13	29	8	12	1	0	2	5	0	0	1	0	71
	女	28	16	3	7	0	0	0	2	0	0	0	0	56
	計	41	45	11	19	1	0	2	7	0	0	1	0	127
XIII. 骨格筋系および結合組織の疾患（M00-M99）	男	10	3	2	94	0	0	0	2	0	0	1	1	113
	女	9	7	2	88	0	0	0	2	0	1	0	0	109
	計	19	10	4	182	0	0	0	4	0	1	1	1	222
XIV. 腎尿路生殖系の疾患（N00-N99）	男	67	12	70	1	0	0	0	3	0	0	0	0	153
	女	193	5	82	0	0	0	0	2	5	51	1	0	339
	計	260	17	152	1	0	0	0	5	5	51	1	0	492
XX Ⅰ. 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用（Z00-Z99）	男	65	49	6	38	0	0	1	209	0	0	0	0	368
	女	32	24	0	21	2	0	1	161	0	8	0	0	249
	計	97	73	6	59	2	0	2	370	0	8	0	0	617
総計		3,518	1,067	299	802	238	196	140	737	500	141	62	3	7,696

医療の質Quality Indicator（QI）

ハートライフ病院では、医療の質を示す臨床指標 Quality Indicator（QI）を公開しています。

（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）

患者満足度調査

外来患者さん

大変満足 & 満足 88.4%

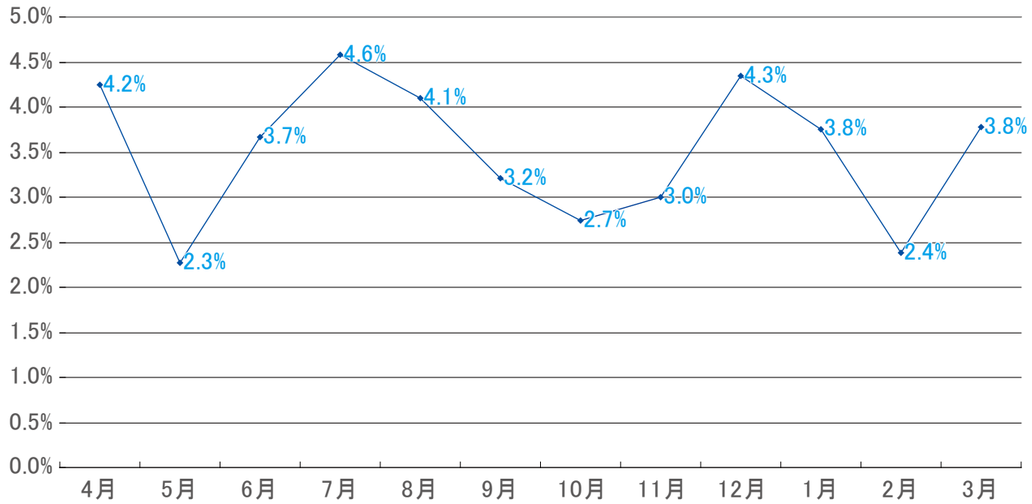
入院患者さん

大変満足 & 満足 91.4%

当院の外来を受診、または入院された患者さんを対象に、診療や環境等に満足いただけたかのアンケート調査を実施。患者さんからの貴重なご意見をお伺いして指標化しました。

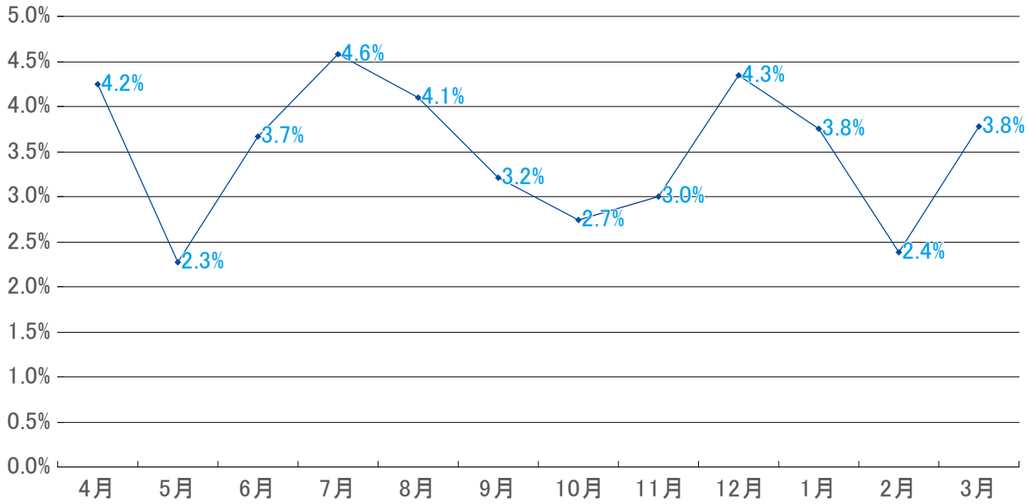
分子	「この病院での診療に大変満足または満足している」と回答した外来患者数・入院患者数
分母	患者満足度調査に回答した外来患者数・入院患者数

死亡退院患者率



分子	死亡退院患者数
分母	退院患者数

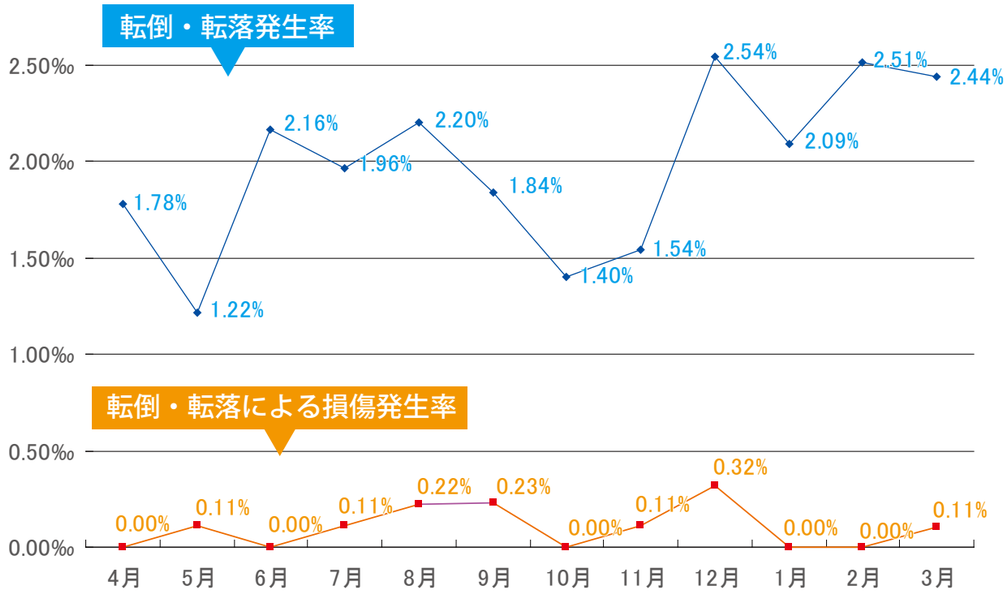
死亡退院患者率（緩和ケア等除く）



分子	死亡退院患者数
分母	退院患者数

転倒転落発生率

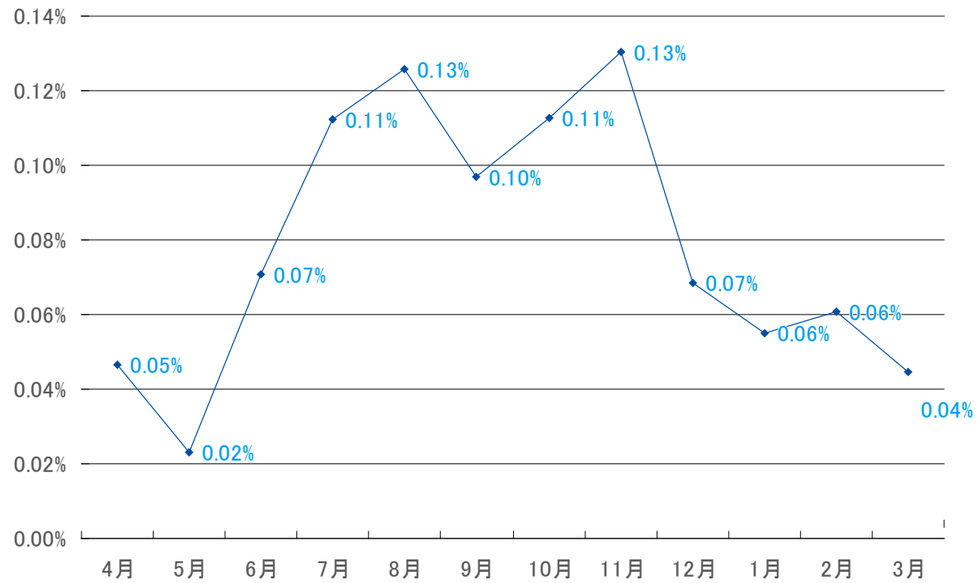
入院中の患者さんの転倒やベッドからの転落は少なくありません。入院という環境の変化によるものや、疾患そのもの、治療や手術などによる身体的なものなど様々なリスク要因があります。病棟や廊下などの療養環境整備、職員の医療安全研修、患者さんやご家族への予防知識の提供などを通じて転倒・転落の防止に努めていきます。



分子	医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル４以上の転倒・転落件数
分母	入院延べ患者数

褥瘡発生率

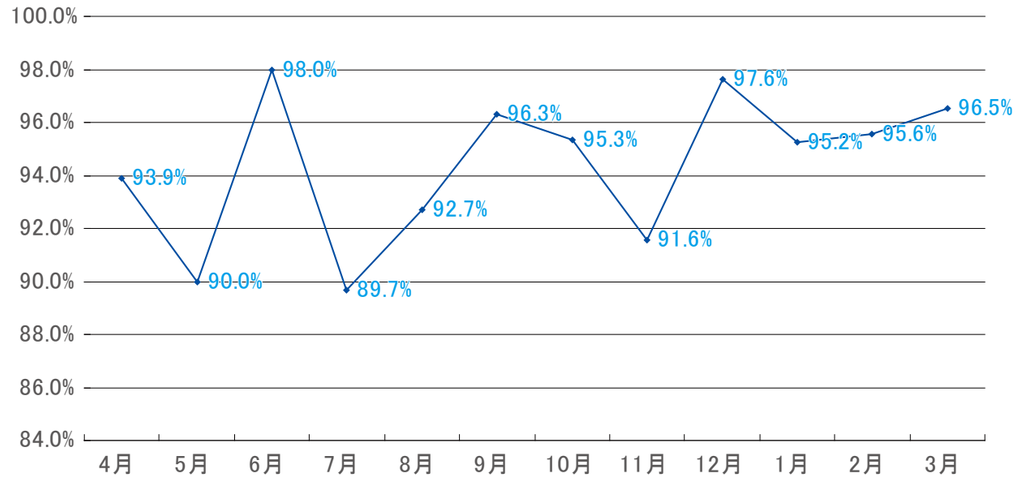
褥瘡とは一般的に「床ずれ」と呼ばれるもので、長期間同じ姿勢や寝たきりなどの状態で圧迫された皮膚が血流障害をおこし傷となってしまったものです。褥瘡の発生は患者さんの QOL（生活の質）の低下をきたし、結果的には在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。褥瘡は看護ケアの質評価や指標の一つとなっています。褥瘡対策を専門的に行う委員会の設置を行い褥瘡発生の低下に努めています。



分子	d2 以上の褥瘡の新規院内発生率
分母	入院延べ患者数

褥瘡の深さ				
d0	皮膚損傷・発赤なし		D4	皮下組織をこえる損傷
d1	持続する発赤		D5	関節腔、体腔に至る損傷
d2	真皮までの損傷		DU	深さ判定が不能の場合
D3	皮下組織までの損傷			

手術開始前１時間以内の予防的抗菌薬投与率



分子	予防的抗菌薬を投与した患者数
分母	手術を受けた患者数

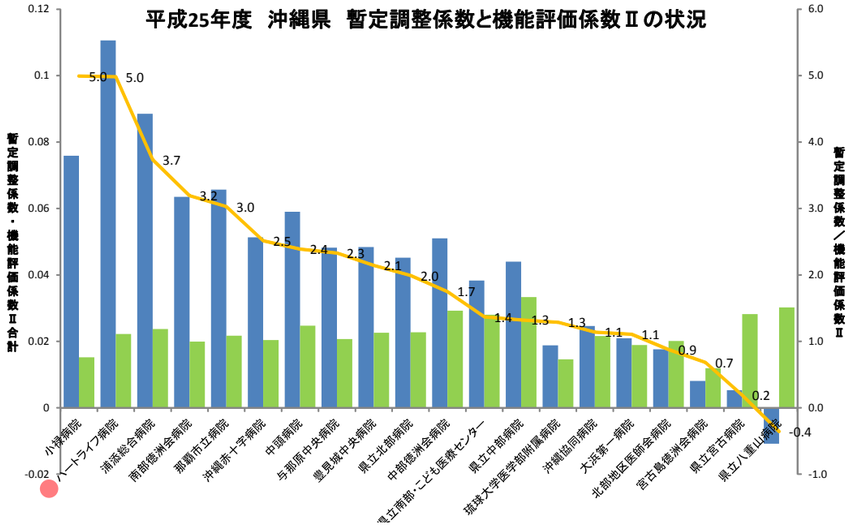
DPCデータからみた平成24年度のハートライフ病院

東京医科歯科大学医学部附属病院 特任講師・病院長補佐
井上　貴裕

機能評価係数Ⅱの重要性

平成 30 年には暫定調整係数が廃止され、機能評価係数Ⅱへの置き換えが行われる。機能評価係数Ⅱは、

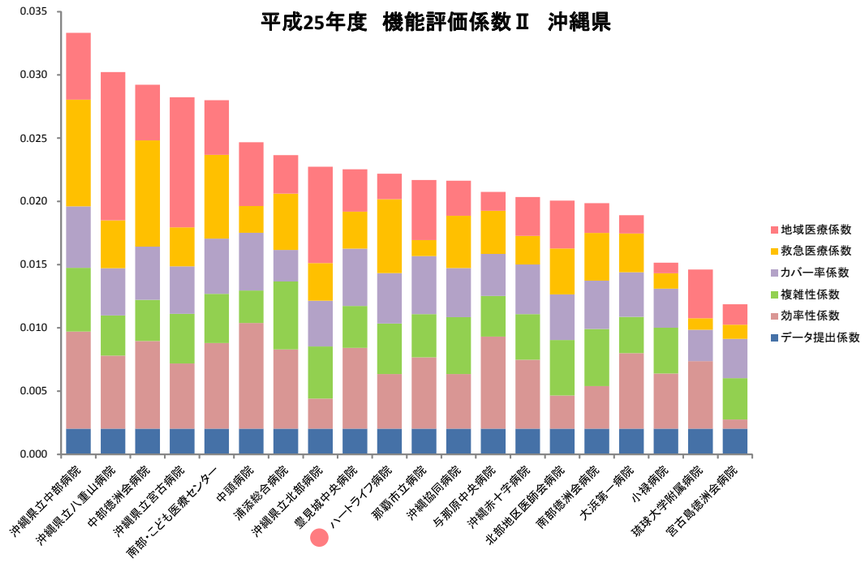
図表1



DPC/PDPS 独自の医療機関の質的側面を評価したものであり、また今後 4 倍程度の重みをづけが行われる予定であり、医療の質及び経済性の向上のための鍵を握る。

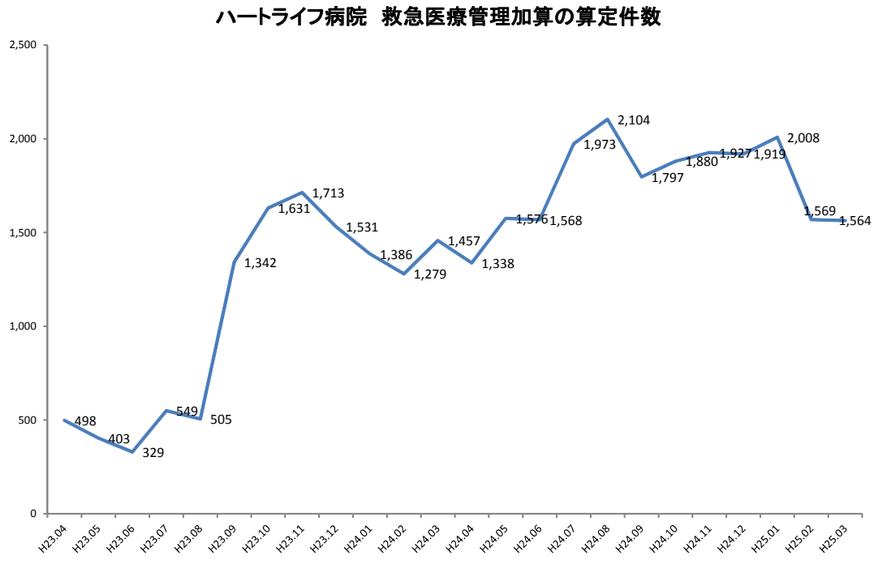
図表 1 に示すようにハートライフ病院は、暫定調整係数が高い割には機能評価係数Ⅱが低く、このままで推移すると中長期的には大幅な減収につながる危険性もある。平成 25 年度（平成 24 年実績を評価）の機能評価係数Ⅱでハートライフ病院は、沖縄県で中央に位置しておりさらなる向上が期待される（図表 2）。当該係数を高めるためには、救急医療係数において適切な評価を受けることが重要であり、平成 24 年度は救急医療係数の対策を入念に行った。

図表2



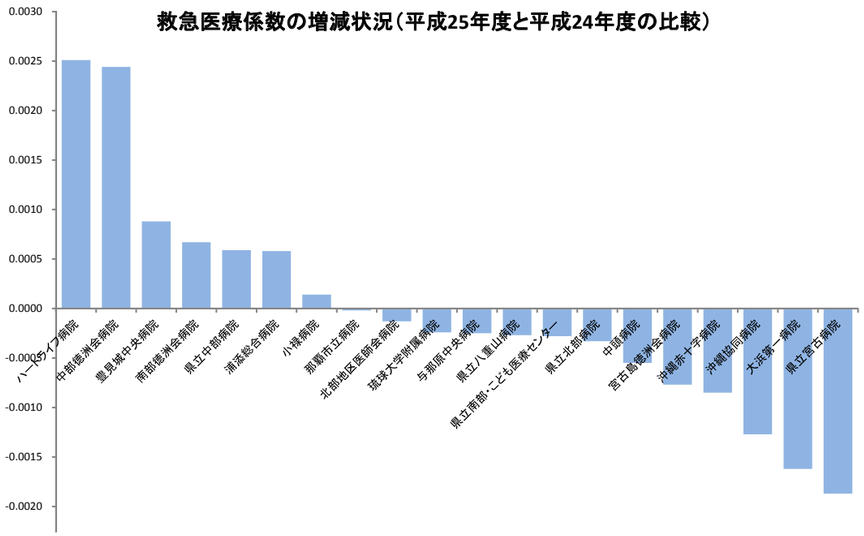
救急医療係数と救急医療管理加算

図表3



平成 24 年度の最も成功した取り組みの 1 つとして救急医療管理加算の適切な算定をあげることができる。図表 3 に示すように、救急医療管理加算の算定件数は大幅に上昇した。救急医療管理加算を算定する状態の患者は DPC 提出データにおいても救急医療入院となり救急医療係数の評価対象となる。結果として平成 25 年度の救急医療係数が大きく上昇した。県内病院の多くが当該係数を下落させた中で、ハートライフ病院は最大の上昇幅となった（図表 4）。救急医療係数は、救急医療入院患者について入院から

図表4



2 日目までの医療資源の投入量が評価されたものであり、さらなる向上のために留意すべきことが 2 つある。

まず 1 つ目は、救急医療入院が対象となることである。すでに救急医療入院の捉え方は院内で徹底されたものと予想されるが、その前提は救急入院の患者が存在することである。1 日に 20 台救急車で搬送されても、入院がゼロであれば当該評価においては何の評価も行われない。適切な経過観察入院が期待される。無理に自宅に帰してあとでトラブルになることは避けたいものである。

2 つ目は、入院から 2 日目までの医療資源の投入量が評価されたものであるため、緊急入院については入院当初の検査や画像診断などを控える必要はないことである。ただし、救急外来等で行ったエコーや心電図などは記録されてないことが多い。DPC/PDPS は包括払いだからと多くの医療職は考える。しかし、記録しなければ実施していないことと同じである。忙しい救急の現場で適切な記録を行うことは困難であろうが医療チーム全員で力を合わせこの課題に取り組む必要がある。

総合入院体制加算と地域医療支援病院

平成 25 年度には総合入院体制加算の届出を行うことが期待される。ハートライフ病院はすでに地域医療支援病院の承認を受けており、中核病院として地域医療を支えている。そのような総合的な医療を行う地域中核病院のための診療報酬における評価が総合入院体制加算である。当該加算を届出るためには、退院患者の 40% 以上を診療情報提供料 I 退院時情報添付加算を算定する必要がある。つまり、画像や検査データ等を付けた逆紹介を推進することが求められる。今後、第六次医療法改正が予定されており、そこでは地域医療支援病院の絞り込みも行われる予定である。診療情報提供料 I は逆紹介率の向上にもつながるため、さらなる積極的な逆紹介と逆紹介患者に対する適切な診療情報提供料 I の算定が求められる。

上記 2 点が平成 24 年度の主な実績と課題である。その他、適切な DPC データの提出という観点から副傷病名の徹底や、肺血栓塞栓病予防管理料、栄養サポートチーム加算など医療の質と経済性の向上を目指した取り組みを進めた 1 年であった。小さな取り組みを 1 つ 1 つ着実に実行し、平成 25 年度にはさらなる成長を遂げることを期待したい。

東京医科歯科大学医学部附属病院 特任講師・病院長補佐

井上　貴裕 (いのうえ　たかひろ)

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科にて医療政策学修士号、上智大学大学院経済学研究科にて経営学修士号、明治大学大学院経営学研究科にて経営学修士号を取得。今年度、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程修了予定。

医療法人の副理事長として急性期病院の経営に関与した後、大手監査法人にて国内外の医療機関のトップマネジメント向け戦略コンサルティングに従事。加えて、日本および米国の公認会計士育成のための学校で 7 年間主任講師として会計および経営学を教え、多数の合格者を輩出。日本銀行をはじめとする大手金融機関、世界のリーディングカンパニーにおいて財務分析、金融工学、経営戦略に関する研修講師として卓越した実績をあげる。

現在、東京医科歯科大学医学部附属病院の特任講師として病院長の経営参謀を務めるほか、長野市民病院ストラテジックアドバイザー、武蔵野赤十字病院、横浜市立みなと赤十字病院、総合病院国保旭中央病院、山形県立中央病院等の地域中核病院の経営アドバイザーとして活躍。また、日本赤十字社本社医療施設教育研修アドバイザー、東邦大学医学部医学科非常勤講師を勤めている。全国自治体病院学会や国立病院総合医学会等で講演多数。

主な著書に、医療経営士テキスト「診療報酬制度と請求事務」、「日本の医療関連サービス」、「医療経営白書 2010 年度版」、「医療経営白書 2009 年度版」などがある。

部署別業務実績

医　局

部門紹介

医師数は常勤 57 名と、非常勤 25 名、研修医 6 名の総勢 88 名が診療にあたっています。内訳は下記の表をご参照ください。

内科は循環器、消化器（内視鏡センターを含む）、呼吸器、血液、内分泌代謝（糖尿病センター含む）と細分化されています。

毎日 500 名前後の患者さん、年間 2,500 件あまりの救急搬送に対応しています。また、当院では臨床研究が盛んで、年間 80 題超の学会発表、論文発表も行っております。

医師数

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

		内科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	糖尿病内科	血液内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	放射線科	麻酔科	心療内科	病理検査部門	予防医学	合計
医師数	常勤	22						1	9	5	0	2	2	4	1	1	0	2	4	1	0	3	57
	非常勤	8						3	4	0	1	0	1	0	1	1	1	2	3	0	2	0	27
指導医数		22						3	7	5	0	2	2	3	1	1	0	1	1	1	0	0	49
研修医数		1 年次　4 名（うち外部より 1 名）　　2 年次　6 名																					

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club（抄読会 / 毎週水曜日　8:15 ～ 8:45 ）

月日	担当者	演題名
2012 年 4 月 4 日	久場良也	災害医療多数傷病者への対応
4 月 11 日	波照間　友基	脳脊髄液減少症
4 月 18 日	奥島憲彦	食道アカラシアとＰＯＥＭ
4 月 25 日	渡辺蔵人	劇症 1 型糖尿病について
5 月 2 日	菅野　善一郎	睡眠薬と不眠症
5 月 9 日	国島知子	若年性特発性関節炎
5 月 16 日	大城琢磨	膀胱尿管逆流症（ＶＵＲ）
5 月 23 日	松元　悟	マラソンの走行距離が 42.195㎞である理由
5 月 30 日	宮城　敬	トキソプラズマ脳炎について
6 月 6 日	大濵昌代	鉄代謝をめぐる最近の動向と鉄過剰症
6 月 13 日	新垣勝男	脊椎手術
6 月 20 日	上笹　航	ｔPA について
6 月 27 日	花城直次	食道癌について
7 月 4 日	渡慶次　学	橈骨遠位端骨折の治療
7 月 11 日	高良　誠	院内肺結核症例の画像的検討
7 月 18 日	佐久川　廣	沖縄県の老人医療の問題点
7 月 25 日	村山茂美	乳腺の画像診断　ＭＭＧ／超音波画像
8 月 1 日	武田　理	子宮内膜症
8 月 8 日	末吉健次	街並失認と道順障害
8 月 15 日	新垣　薫	人工股関節置換術
8 月 22 日	三戸正人	救急部の方向性
9 月 5 日	洲鎌　理知子	いまさら人に聞けないうんこの話
9 月 12 日	渡嘉敷　光紘	咽頭腫瘍におけるＨＰＶ感染について
9 月 19 日	金城太貴	研修報告
9 月 26 日	崎原徹裕	内耳先天奇形により細菌性髄膜炎をくり返した1例
10 月 3 日	耒田美和	血管炎～大動脈炎症候群の画像診断～
10 月 10 日	高橋　遼	上腸間膜動脈塞栓症
10 月 17 日	大城朋之	ドーピング
10 月 24 日	佐久川　裕行	陶器様胆のうの1例
10 月 31 日	仲村武裕	自己免疫性肝炎や薬剤性肝障害との鑑別に苦慮した総胆管結石症の一例
11 月 7 日	嘉手苅　由梨	血液凝固第 XIII 因子製剤が著効した胃全摘術後の難治性膵液瘻の一例
11 月 14 日	仲吉博亮	化学療法が著効した進行癌の一例
11 月 21 日	新垣珠代	咳嗽（咳喘息）
11 月 28 日	下浦広之	心臓リハビリテーション
12 月 5 日	田村次朗	当院での予防的膵管ステントに関する検討
12 月 12 日	照屋明子	眼科領域におけるヘルペス性疾患
12 月 19 日	安谷屋　徳章	糖尿病（高血糖）患者の周術期管理
12 月 26 日	安里義秀	新生児の適応～呼吸循環の適応～
2013 年 1 月 9 日	喜久本　藍	周産期心筋症
1 月 16 日	普天間　光彦	結核の現状
1 月 23 日	狩俣　かおり	ヘパリン起因性血小板減少症
1 月 30 日	比嘉章子	時間栄養学について
2 月 6 日	宮城良浩	胆嚢隆起性病変について
2 月 13 日	川満　豊	乳児細気管支炎について
2 月 20 日	上原盛幸	高血糖緊急症
2 月 27 日	新里輔鷹	脳卒中について
3 月 6 日	前本　均	公立久米島病院研修報告
3 月 13 日	知花賢治	外来における気管支喘息患者と鼻炎の合併について (SACRA-Q を用いて)

院内 CPC（臨床病理検討会）

演題名	年月日	担当者
不整脈源性右室心筋症が疑われた院内突然死の1症例	2012 年 12 月 18 日	前本均、金城太貴、喜友名正也
閉塞性黄疸で発症した肝細胞癌の一剖検例	2013 年 2 月 5 日	田村次朗、喜友名正也
原発不明癌の一例	2013 年 2 月 19 日	新里輔鷹、山入端敦、喜友名正也
成人T細胞性白血病　急性型の一例	2013 年 3 月 11 日	上原盛幸、宮城敬、喜友名正也、戸田隆義
多発性骨髄腫の一剖検例	2013 年 3 月 29 日	仲吉博亮、宮城敬、喜友名正也

研修医向け教育

研修医向けに、外部講師を招聘しての講習会のほか、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。

	時間・内容	時間・内容
月曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	
火曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45　画像診断ミニレクチャー
水曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45　Journal Club（全医師対象）
木曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45　基礎的手技
金曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45　ケースカンファレンス
土曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	

外部講師による講習会

研修・勉強会名	主催	開催地	開催日	出席者
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012 年 4 月 19 日	新里輔鷹、前本　均、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2012 年 5 月 10 日	新里輔鷹、前本　均、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、知花賢治
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012 年 5 月 17 日	新里輔鷹、前本　均、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、知花賢治
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012 年 6 月 7 日	新里輔鷹、前本　均、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2012 年 6 月 21 日	新里輔鷹、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、医学生6年次3名
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012 年 7 月 5 日	新里輔鷹、前本均、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、知花賢治
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012 年 8 月 2 日	新里輔鷹、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、知花賢治
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2012 年 8 月 23 日	新里輔鷹、三原由実子、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2012 年 11 月 22 日	新里輔鷹、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨医学生5年次3名
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2012 年 12 月 6 日	前本　均、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、一条研太郎
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2012 年 12 月 20 日	前本　均、上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、嘉手苅由梨、奥島憲彦、一条研太郎
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2013 年 1 月 17 日	上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、医学生5年次2名
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2013 年 1 月 24 日	上原盛幸、前本　均、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、医学生5年次３名
医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院 院長 亀井徹正先生による教育回診	ハートライフ病院	当院	2013 年 2 月 21 日	上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、医学生5年次4名
一般社会法人群星沖縄臨床研修センター宮城征四郎先生による教育回診	群星プロジェクト	当院	2013 年 3 月 7 日	上原盛幸、佐久川裕行、仲村武裕、仲吉博亮、嘉手苅由梨、佐久川裕行

各種ミニレクチャー

画像診断

診療科 / 分野	日時・内容	
呼吸器内科	指導：知花賢治	
胸部画像	2012 年 4 月 17 日	正常
	2012 年 4 月 24 日	気胸
	2012 年 5 月 1 日	肺炎
	2012 年 5 月 8 日	腫瘍
	2012 年 5 月 15 日	胸水
循環器内科	指導：金城太貴	
心電図	2012 年 5 月 22 日	正常
	2012 年 5 月 29 日	徐脈性不整脈
	2012 年 6 月 5 日	頻脈政府整脈
	2012 年 6 月 12 日	虚血性心疾患
	2012 年 6 月 19 日	房室ブロック
外科	指導：西原　実	
腹部画像	2012 年 6 月 26 日	正常
	2012 年 7 月 3 日	腹部外傷
	2012 年 7 月 10 日	肝、胆嚢疾患
	2012 年 7 月 17 日	膵疾患
	2012 年 7 月 24 日	腸管
整形外科	指導：渡慶次　学、新垣　薫、大城朋之	
骨単純(骨折、脱臼)	2012 年 8 月 7 日	上肢
	2012 年 8 月 14 日	下肢
	2012 年 8 月 21 日	大腿骨
	2012 年 8 月 28 日	椎体
	2012 年 9 月 4 日	骨盤

診療科 / 分野	日時・内容	
脳神経外科	指導：末吉健次	
頭部画像	2012 年 9 月 11 日	正常
	2012 年 9 月 18 日	脳出血
	2012 年 9 月 25 日	SAH、硬膜下出血
	2012 年 10 月 2 日	脳梗塞
	2012 年 10 月 9 日	脳腫瘍
呼吸器内科	指導：普天間光彦	
胸部画像	2012 年 10 月 16 日	正常
	2012 年 10 月 23 日	肺炎
	2012 年 10 月 30 日	肺腫瘍
	2012 年 11 月 6 日	びまん性疾患
	2012 年 11 月 13 日	縦隔腫瘍
放射線科	指導：高良　誠	
シンチ	2012 年 11 月 20 日	骨シンチ
	2012 年 11 月 27 日	Ga シンチ
	2012 年 12 月 4 日	心筋シンチ
	2012 年 12 月 11 日	出血シンチ
	2012 年 12 月 18 日	肺血流シンチ

基礎的手技

内　　容	日　　時	担　　当	
アナフィラキシーショック	2012 年 4 月 19 日	研修医	前本　均
熱中症・低体温	2012 年 4 月 26 日	研修医	上原盛幸
高血糖緊急症、低血糖	2012 年 5 月 10 日	研修医	新里輔鷹
急性呼吸不全 ALI/ARDS	2012 年 5 月 17 日	呼吸器内科	普天間光彦
端息発作	2012 年 5 月 24 日	研修医	前本　均
急性腹症	2012 年 5 月 31 日	研修医	上原盛幸
肺血栓塞栓症	2012 年 6 月 7 日	呼吸器内科	普天間光彦
高血圧緊急症	2012 年 6 月 14 日	研修医	新里輔鷹
IVH の挿入方法	2012 年 6 月 21 日	麻酔科	釜野武志
心電図の解釈とその処置	2012 年 6 月 28 日	循環器内科	三戸正人
導原・尿道力テーテルの挿入方法	2012 年 7 月 5 日	泌尿器科	嘉川春生
消毒と縫合	2012 年 7 月 12 日	外科	宮城良浩
グラム染色の検鏡所見	2012 年 7 月 19 日	呼吸器内科	新垣珠代
外来における緊急止血方法	2012 年 7 月 26 日	外科	国吉史雄
腰椎穿刺の実際	2012 年 8 月 2 日	麻酔科	釜野武志
輸血の適応	2012 年 8 月 9 日	血液内科	宮城　敬

内　容	日　時	担　当	
外来における鼻出血止血方法	2012 年 8 月 16 日	耳鼻咽喉科	渡嘉敷光紘
経鼻・経口胃管・イレウスチューブ、挿入方法と胃洗浄	2012 年 8 月 23 日	外科	高橋　遼
骨折と副木固定	2012 年 8 月 30 日	整形外科	後藤敬子
直腸診、目工門鏡の取扱い方	2012 年 9 月 6 日	外科	高橋　遼
眼底の見方とその所見	2012 年 9 月 13 日	眼科	照屋明子
耳鏡の見方と異物除去 (鼻腔、耳腔、咽頭、気管)	2012 年 9 月 20 日	耳鼻咽喉科	渡嘉敷光紘
動脈ラインのとりかたと圧測定の方法、中心静脈圧の測定方法	2012 年 9 月 27 日	麻酔科	佐久川陽子
腹腔穿刺法	2012 年 10 月 4 日	消化器内科	佐久川　廣
骨髄穿刺および生検方法	2012 年 10 月 11 日	血液内科	平良直也
機械的人工呼吸方法	2012 年 10 月 18 日	呼吸器内科	普天間光彦
緊急ペースメーカー挿入と設定の仕方	2012 年 10 月 25 日	循環器内科	仲田　操
腹腔臓器破裂・損傷	2012 年 11 月 1 日	外科	澤岻安勝
緊急透析の判断と適応	2012 年 11 月 8 日	泌尿器科	嘉川春生
胸腔穿刺とトロッカーカテーテルの挿入方法	2012 年 11 月 15 日	呼吸器内科	新垣珠代
切開とドレナージ	2012 年 11 月 22 日	外科	国吉史雄
気管切開法と輪状甲状間膜穿刺法	2012 年 11 月 29 日	耳鼻咽喉科	渡嘉敷光紘
眼内異物と眼外傷	2012 年 12 月 6 日	眼科	照屋明子
内視鏡 (GF，CF) の適応とその前処置	2012 年 4 月 27 日	消化器内科	宮城　純
スワンガンツカテーテルの適応とその解釈	2012 年 12 月 20 日	循環器内科	仲田　操
気管支鏡の適応とその前処置	2012 年 12 月 27 日	呼吸器内科	普天間光彦

ケースカンファレンス

内　容	日　時	担　当	
敗血症	2012 年 4 月 20 日	研修医	新里輔鷹
急性中毒	2012 年 4 月 27 日	呼吸器内科	新垣珠代
徐脈・頻脈	2012 年 5 月 11 日	循環器内科	金城太貴
吐血・下血	2012 年 5 月 18 日	研修医	上原盛幸
急性冠症候群	2012 年 5 月 25 日	研修医	前本均
急性心不全	2012 年 6 月 1 日	循環器内科	金城太貴
脳血管障害	2012 年 6 月 8 日	脳神経外科	末吉健次
気胸	2012 年 6 月 15 日	呼吸器内科	普天間光彦
脊髄損傷について	2012 年 6 月 22 日	整形外科	大城朋之
急性腹症・消化管穿孔	2012 年 6 月 29 日	外科	宮平　工
救急外来で帰してはいけない小児疾患	2012 年 7 月 6 日	小児科	安里義秀
子宮外妊娠・救急でみる産婦人科疾患	2012 年 7 月 13 日	産婦人科	井手上隆史
肺炎	2012 年 7 月 20 日	呼吸器内科	知花賢治
裂傷、刺傷、挫創	2012 年 7 月 27 日	外科	沢岻安勝
急性膜炎	2012 年 8 月 3 日	消化器内科	折田　均
多発骨折	2012 年 8 月 10 日	整形外科	渡慶次　学
甲状腺機能充進症	2012 年 8 月 17 日	糖尿病内科	山本　壽一
小児科の産筆斥	2012 年 8 月 24 日	小児科	国島知子
原管結石の救急	2012 年 8 月 31 日	泌尿器科	大城琢磨
胆石・胆嚢炎・胆管炎	2012 年 9 月 7 日	消化器内科	田村次朗
出血傾向・DIC	2012 年 9 月 14 日	血液内科	宮城　敬
急性肝炎	2012 年 9 月 21 日	消化器内科	城間丈二
解離性大動脈癌	2012 年 9 月 28 日	循環器内科	三戸正人
インフルエンザ	2012 年 10 月 5 日	小児科	崎原徹裕
DKA"HHNC	2012 年 10 月 12 日	糖尿病内科	渡辺蔵人
腰痛	2012 年 10 月 19 日	整形外科	大城朋之
救急でみる眼科疾患	2012 年 10 月 26 日	眼科	照屋明子
曙血	2012 年 11 月 2 日	呼吸器内科	知花賢治
多発性外傷	2012 年 11 月 9 日	外科	花城直次
高カルシウム血症	2012 年 11 月 16 日	血液内科	平良直也

内　容	日　時	担　当	
見落としやすい骨折	2012 年 11 月 30 日	整形外科	渡慶次　学
頭痛	2012 年 12 月 7 日	脳神経外科	上笹　航
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	2012 年 12 月 14 日	耳鼻咽喉科	渡嘉敷光紘
髄膜炎・脳炎	2012 年 12 月 21 日	小児科	川満　豊
卵巣捻転	2012 年 12 月 28 日	産婦人科	井手上⊠史
痛風発作	2013 年 1 月 11 日	整形外科	新垣　薫

研修医学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
骨髄線維症を伴った成人T細胞白血病リンパ腫の一例	第 114 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2012 年 6 月 10 日	新里輔鷹、宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、喜友名正也（中部徳洲会病院病理診断・臨床検査科）、平良直也
多発肺転移で再発した超高齢者の直腸癌に対し、ＱＯＬを損なわずに化学療法を施行できた 1 症例	第 114 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2012 年 6 月 10 日	前本均、宮平工、国吉史雄、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
ESD を施行した食道血管腫の一例	第 66 回日本食道学会学術集会	長野県	2012 年 6 月 21 日	前本均、奥島憲彦、宮平工、国吉史雄、澤岻安勝、花城直次、西原実、堤真吾、喜友名正也（中部徳洲会病院病理診断・臨床検査科）、島袋隆志（島袋内科・胃腸科）
肝機能障害を契機にＡＴＬが発見された一例	第 298 回日本内科学会収集地方会	福岡県	2012 年 8 月 25 日	仲吉博亮、佐久川廣、田村次朗、城間丈二、宮城純、折田均、山入端敦、末吉健次、中沼安二（金沢大学大学院医学系研究科形態機能病理学）、佐藤保則（同）
再発をきたした気管支喘息による縦隔気腫の 1 例	第 299 回日本内科学会九州地方会	宮崎県	2012 年 11 月 25 日	仲村武裕、新垣珠代、知花賢治、普天間光彦、佐久川廣
小腸間膜デスモイド腫瘍の 1 例	第 74 回日本臨床外科学会総会	東京都	2012 年 12 月 1 日	新里輔鷹、宮平工、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、、村山茂美、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
急性肝炎を発症した脂肪肝の一例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	仲村 武裕 , 田村 次朗 , 城間 丈二 , 宮城 純 , 折田 均 , 佐久川 廣
ガストログラフィン注入にて駆虫し得た無鉤条虫の 1 例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	仲吉 博亮 , 折田 均 , 田村 次郎 , 城間 丈二 , 宮城 純 , 佐久川 廣 , 當眞 弘
発症から急激にショック状態に陥った急性心筋心外膜炎の 1 例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	佐久川 裕行 , 仲田 操 , 下浦 広之 , 金城 太貴 , 三戸 正人 , 與座 一
間質性肺炎先行で MPO-ANCA 陽性の顕微鏡的多発血管炎が疑われた 1 例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	上原 盛幸 , 新垣 珠代 , 知花 賢治 , 普天間 光彦 , 福本 泰三
5 年後に濾胞性リンパ腫として再発したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 症例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	前本 均 , 宮城 敬 , 山入端 敦 , 大濱 昌代 , 狩俣 かおり , 平良 直也
血液凝固第 XIII 因子製剤が著効した胃全摘後の難治性膵液瘻の 1 例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	嘉手苅 由梨 , 宮平 工 , 宮城 良浩 , 国吉 史雄 , 高橋 遼 , 澤岻 安勝 , 村山 茂美 , 花城 直次 , 西原 実 , 奥島 憲彦
画像上、胆嚢癌と鑑別を要した胆石症の 1 例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	新里 輔鷹 , 西原 実 , 宮城 良浩 , 国吉 史雄 , 高橋 遼 , 村山 茂美 , 澤岻 安勝 , 花城 直次 , 宮平 工 , 奥島 憲彦

※初期研修医のみ。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

各科概要・実績

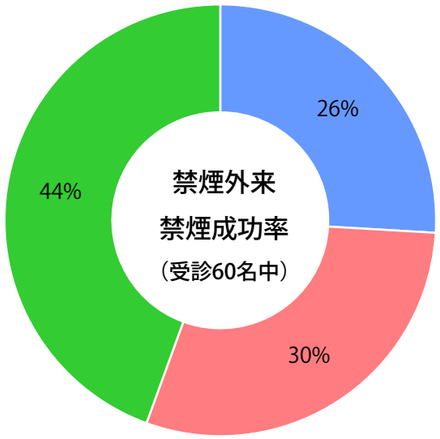
内　科

ハートライフ病院の内科は、消化器 7 名、循環器 6 名、血液 5 名、呼吸器 3 名、総合診療 1 名の体制です。それぞれの専門分野において、県内でトップレベルの診療をしております。一方で、循環器内科医が救急総合診療部の診療を行っており、幅広い疾患に対応しています。また、当院は県内に 7 病院しかない内科学会の認定教育施設になっております。

2010 年 10 月に非血縁者間の骨髄移植を施行できる施設として認定されました。現在、沖縄県内で骨髄バンクを介した骨髄移植が可能な施設としては県内最大規模の無菌センターを有しています。また、自己骨髄細胞投与による肝の再生療法（ABMi 療法）が臨床研究として 2012 年 11 月に厚生労働省に認可され、平成 24 年度中に 4 例の生活習慣病関連肝硬変患者に対して ABMi 療法が施行されました。

「内科」では、各専門内科に含まれない初診・二次精査および各種専門外来を紹介いたします。内科系の詳細なデータは、以降の各専門内科ページをご参照ください。

生活習慣病・禁煙外来



- 5回(12週)の治療で禁煙に成功した方
- 治療を中止したが成功した方
- 禁煙に失敗した方

二次精査件数

他医療機関からの二次精査の紹介患者数※	1,031
ハートライフ病院の予防医学センターからの紹介で2次精査として当院を受診した患者数※	2,227

※診療科にかかわらず、すべての患者を含みます。

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 3 名（スタッフ 2 名、後期研修医 1 名）体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者様も多く診療しています。当科のスケジュールとしては、月曜日と金曜日の午後 1 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師 3 名に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・NST・MSW と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 16 時から胸写カンファレンスを行い、水曜日 17 時からは放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部 CT の読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。木曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
呼吸器内科部長 副医局長 7 階病棟医長	普天間　光彦	肺炎・気管支喘息・肺気腫・肺癌・肺結核	
呼吸器内科医長	知花　賢治	幅広く内科・救急診療に携わっていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。	日本内科学会認定医 日本呼吸器学会専門医 総合内科専門医 がん治療認定医 日本アレルギー学会専門医
後期研修医	新垣　珠代	呼吸器内科一般	

検査・治療件数

検査・治療	件数
気管支鏡検査	56

検査・治療	件数
睡眠時無呼吸外来のべ患者数	1,276 名

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ＬＩＰの経過観察中に進行性のびまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫を発症した一例	第５３回日本肺癌学会総会	岡山県	2012 年 11 月 8 日	知花賢治、新垣珠代、普天間光彦、大濱昌代、藤田次郎（琉球大学医学部附属病院　第一内科）
外来における気管支喘息患者と鼻炎の合併について ＳＡＣＲＡ - Ｑを用いて	第 62 回日本アレルギー学会秋季学術大会	大阪府	2012 年 12 月 1 日	知花賢治、新垣珠代、普天間光彦、藤田次郎(琉球大学医学部第一内科)

年度総括

呼吸器内科部長
普天間　光彦

平成 24 年度は年間 650 名ほどの入院患者の診療を行い、56 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会総会に参加して見聞を広め、県医学会で演題発表を行い、県外の学会でも積極的に演題発表を行いました。また、呼吸気同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。平成 26 年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていく予定です。

循環器内科

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
理事長	安里　哲好	循環器疾患・生活習慣病・禁煙外来	日本内科学会指導医 日本透析医学会専門医 日本循環器学会専門医 日本医師会産業医
外来診療部長兼 救急総合診療部長	與座　一		一般循環器
循環器内科部長	仲田　操		日本内科学会専門医 日本内科学会指導医 日本循環器学会専門医
循環器内科医長	三戸　正人	循環器救急・地域医療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本循環器学会専門医 日本救急医学会救急専門医
	比嘉　章子		一般内科
	金城　太貴		
	下浦　広之		

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	H20	H21	H22	H23	H24
冠動脈 CT	821	629	581	556	412
トレッドミル	125	133	186	304	85
ホルター心電図	210	193	215	229	176
心筋シンチ	107	123	133	111	149
経胸壁心エコー	2,503	2,619	2,753	3,085	2,827
経食道心エコー	8	18	20	31	34

治療件数一覧

	H20	H21	H22	H23	H24
経皮的冠血行再建術 (PCI)	130	142	137	145	124
ペースメーカー植込み術	12	16	20	18	10
電池交換	5	4	4	2	6
一時的ペースメーカー	3	6	15	6	5
IABP	9	19	14	12	7
PCPS	0	1	2	3	1
下大静脈フィルター	0	1	1	5	2
末梢血管拡張術 (PPI)	0	1	1	5	7

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
超高齢患者へのペースメーカー植込後の予後	第１０９回日本内科学会総会・講演会	京都府	2012 年 4 月 13 日	三戸正人、金城太貴、下浦広之、仲田　操、与座　一
ワーファリン服用中に発症した脳血塞栓症患者の残存機能の検討	第 114 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2012 年 6 月 10 日	金城太貴、仲田　操、下浦広之、三戸正人、与座　一
沖縄本島における脳卒中ＩＴ医療連携の試み	第 14 回日本医療マネジメント学会学術総会 / 日本医療マネジメント学会第 11 回九州・山口連合大会	長崎県	2012 年 10 月 12 日	安里哲好、高良英一（沖縄赤十字病院）、仲地　聡（沖縄県立中部病院）
多枝病変に超遅発性ステント血栓症を同時発症した１例	第１１３回日本循環器学会九州地方会	熊本県	2012 年 12 月 8 日	金城太貴、仲田　操、下浦広之、三戸正人、與座　一

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著書
Ｌａｍｂｌ疣贅左冠動脈陥頓の１剖検例	臨床病理（0047-1860）	（2012.08）60 巻 8 号 Page758-761	三戸 正人、喜友名 正也（中部徳洲会病院病理診断・臨床検査科）、戸田　隆義（琉球大学医学部臨床検査医学講座）、佐久川　廣、仲田　操、與座　一、神谷乗敏（病理）

年度総括

循環器内科部長
仲田　操

平成 24 年度、循環器内科の診療は、與座一を中心に、仲田操、三戸正人、金城太貴、下浦広之の 5 人で行っていました。

平成 24 年度は、狭心症や心筋梗塞など虚血性心疾患への PCI に加え、不整脈治療であるカテーテルアブレーションを開始しました。また、心肺運動負荷試験検査のために呼気ガス代謝モニター器を導入し、心大血管疾患リハビリテーション科（Ｉ）の施設認定を取得して、心不全をはじめとした心疾患の心臓リハビリテーション・運動療法を開始しました。心肺運動負荷試験検査により適切な嫌気性代謝閾値ＡＴを予測することにより、効率的かつ安全な運動療法の処方を行うことが可能となりました。さらに、運動処方は、心疾患だけでなく、冠動脈疾患のリスクファクターである糖尿病や高血圧症などへの適応もあるため、今後、積極的に予防医療への介入も検討しています。

平成 25 年度は、引き続き與座および三戸が救急総合診療部と、さらに仲田が総合内科と掛け持ちとなり、下浦が神戸大学大学院へ進学し離職しますが、平成 24 年度より始めた前述の検査・治療を含めた検査・治療件数の増加・安定のため、病診連携のみならず病病連携を積極的に行いつつ、さらに、3 ～ 5 年以内に整備すべきものについて検討したいと思っています。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど（腎臓、副腎など一部臓器を除く）が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く、多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリックシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者のかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われます。当科はなかでも肝疾患に対する治療に力を入れており、厚労省に申請中であった肝再生医療（自己幹細胞から肝臓を再生する）に平成 24 年度認可がおり、平成 25 年 1 月に県内初の自己幹細胞投与療法が行われました。

医師プロフィール

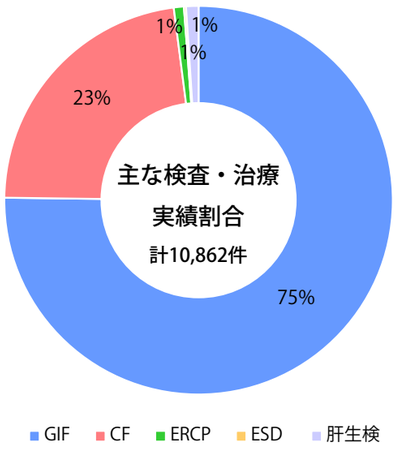
（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長 内科部長	佐久川　廣	肝炎・肝硬変・肝癌・B型及びC型慢性肝炎の治療	日本肝臓病学会専門医 日本感染症学会指導医 インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会認定医 日本消化器病学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
消化器内科部長 内視鏡センター長	折田　均	胸焼け外来（機能性消化管疾患）	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医
5 階病棟医長	宮城　純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定医
消化器内科医長	城間丈二		日本内科学会認定医 日本肝臓学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医
	田村次朗		日本内科学会認定医

検査・治療・手術件数

主な検査・治療実績

	H21	H22	H23	H24
GIF	7,528	7,587	7,288	8,169
CF	2,509	2,509	2,319	2,471
ERCP	56	94	65	91
ESD	35	30	17	19
（食道 / 胃 / 大腸）	（6/15/14）	（13/10/7）	（11/5/1）	（10/7/2）
肝生検	77	72	60	112



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
司会（男女共同参画委員会特別企画 男女共同参画のための意識改革から実践へ）	第 48 回日本肝臓学会総会	石川県	2012 年 6 月 7 日	佐久川廣
特異的な画像を呈した転移性肝癌の一例	第 114 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2012 年 6 月 10 日	田村次朗、城間丈二、宮城純、折田均、佐久川廣
急速に進行した NASH 由来の肝硬変の 2 例	第 99 回日本消化器病学会九州支部例会	佐賀県	2012 年 6 月 30 日	城間丈二、田村次朗、宮城純、折田均、佐久川廣、仲吉朝邦（豊見城中央病院健康管理センター）、前城達次（琉球大学第一内科）、金城福則（琉球大学光学医療診療部）、藤田次郎（琉球大学第一内科）

年度総括

消化器内科部長
折田　均

平成 24 年度は前年度に東日本大震災の影響を受け、激減した内視鏡件数が順調な回復をみせました（詳細は内視鏡センターの年度総括を参照）。業務内容としては肝癌の治療法の一つであるラジオ波焼灼術の件数が急増しています。また先述した自己幹細胞投与療法も導入され、今後は治療経過を慎重に見ながら、症例数を着実に増やして行きたいと考えています。さらに最新式の食道内圧測定器も購入し、機能性食道疾患の診断と治療にも力を入れて行きたいと思います。問題点を挙げるとすれば、ここ数年の課題でもありますが、慢性的なマンパワー不足です。常勤医の高齢化も進んでおり、科内の活性化のためにも、後期研修医を含む若手医師の確保が急務となっています。

血液内科

血液内科は、現在 5 名の医師が常駐しており血液疾患一般の診療を行っています。特に造血幹細胞移植の症例数は県内ではトップであり、全国的にみても上位 30 位前後に入る症例数を誇っております。

その中で骨髄バンクのドナーより行われる非血縁者間骨髄移植は、県内では唯一当院でしか行えず沖縄県の移植医療に貢献しているという自負があります。このような成果はひとえに病院職員、県外まで赴きドナーの骨髄を運搬してくださる方々や病棟看護師、コメディカルの皆様の協力の上で成り立っていると感謝しております。今後とも皆様のお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。

医師プロフィール

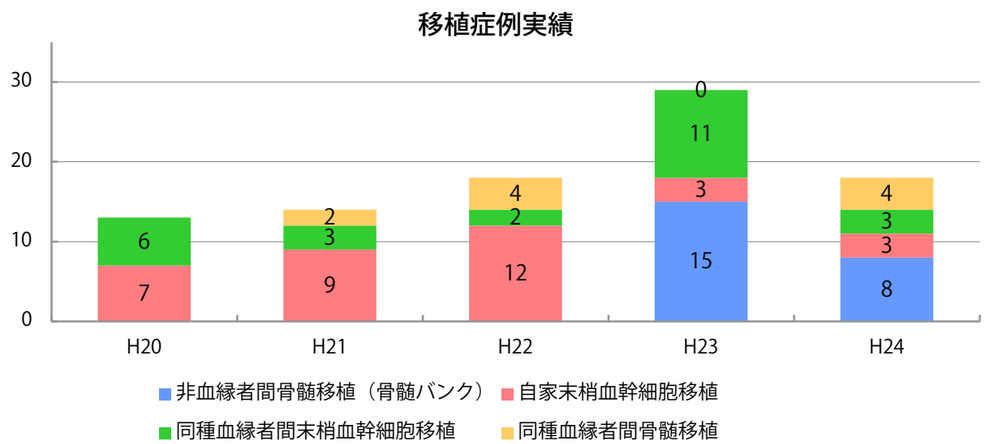
（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
血液内科部長 無菌治療センター長 6 階病棟医長	平良　直也	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科副部長	宮城　敬	一般血液内科	日本内科学会認定医 日本血液学会専門医
血液内科医長	山入端　敦	一般血液内科	日本内科学会認定医 日本血液学会専門医
	狩俣　かおり	一般血液内科	日本内科学会認定医 日本血液学会専門医
	大濱　昌代	一般血液内科	日本内科学会認定医

検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

	H20	H21	H22	H23	H24
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	-	-	-	15	8
自家末梢血幹細胞移植	7	9	12	3	3
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	6	3	2	11	3
同種血縁者間骨髄移植		2	4	0	4
計	13	16	18	29	18



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
生前診断し得た非血縁者間同種骨髄移植後トキソプラズマ脳炎の1例	第 35 回造血細胞移植学会総会	石川県	2013 年 3 月 9 日	宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、平良直也、野呂瀬一美（千葉大学大学院医学研究班・感染症生体防御学）、青才文江（同）

年度総括

血液内科部長
平良　直也

平成 24 年度は我々の念願であった臍帯血バンクの移植認定施設に認可され当院初の臍帯血移植を行いました。これで造血幹細胞移植のすべてオプションである、骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植が当院で行えるようになりました。

臍帯血移植が施行できるようになり、これまで移植を断念もしくは遠く本土まで行って移植を行っていた患者さん方の経済的、精神的な負担を少しでも軽減できるのでないかと思っております。

それに伴い移植環境をより良いものにするために、平成 25 年度には大掛かりな改修工事を行い、無菌室の清浄度アップを図る予定です。

移植症例数が今後増加することが考えられますが、それに関わる医師の数は変わらないことから、医師一人の負担が多くなることが予想されます。それを軽減するために平成 24 年度には日本血液学会の専門医指導施設の承認を得られたことで後継者の育成を積極的に行っていきたいと考えております。

糖尿病内科

糖尿病センターは、今年度より外来部門が分離独立し、ハートライフクリニックへ移転となりました。ハートライフ病院の糖尿病内科では、ハートライフクリニックと連携し、入院での糖尿病患者の診察と教育、他科入院中や透析の糖尿病患者の血糖コントロールを実施しています。また、中部地区の糖尿病医療連携体制における、糖尿病の状態が悪化した場合の専門治療を担当します。状態の悪化は、血糖値のコントロール不良状態（HbA1c が８％以上）が続く場合や繰り返す低血糖、急激な体重変動、合併症の進行悪化、予定手術やステロイド剤投与、妊娠出産希望、インスリン治療での不安定などです。このような状態の時には、入院加療はハートライフ病院が担当、改善したらハートライフクリニックで治療を行っています。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
	渡辺　蔵人	糖尿病	日本内科学会認定医 日本糖尿病学会専門医
	安谷屋　徳章	内分泌・糖尿病を専攻しています。	日本内科学会認定医

検査・治療件数

統計情報は、ハートライフクリニックのページをご参照ください。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
大量インスリン皮下注射を必要とした高度インスリン抵抗性妊婦の1症例	日本内科学会第 297 回九州地方会	福岡県	2012 年 5 月 12 日	安谷屋徳章、渡辺蔵人、毛利貴子、山本壽一

内科年度総括

内科部長・副院長
佐久川　廣

平成 24 年度の内科の収益は、前年と比較して 6.9％の減少となりました。その原因として①ハートライフクリニック開院による外来患者数の減少、②内科全体の入院患者数の減少が上げられます。外来は、糖尿病の患者さんを中心に減少し、延患者数で 11,870 名の減、収益にして 20.5％の減少となりました。入院患者数に関しては、新規入院患者数が月平均で 311 名と前年と比較して約 13 名増加しましたが、稼働患者数が平均で 147.0 と前年より 3.4 名の減少となりました。稼働患者数の減少により、入院収益は昨年と比較して 3.5％の減少となりました。内科の平均在院日数は 14.7 日と昨年と比較して 1.0 日短くなっており、急性期病院のあるべき姿に近づきつつあります。今後は日当点を如何に上げていくかが課題になると思われます。

小児科

小児科の特徴としては、先ずは子供の病気に関しては全部の診療科に、ある程度対応できる必要があるということです。もう一点、子供の身体は大人とは異なりますから、子供を対象に限定して診るだけでも独立した診療科となります。また子供の体は常に変化（成長）しており、年齢が僅か一歳違うだけでも、体の状態に大幅な開きがあるます。即ち、各々の成長期には、各々固有の症状が存在する訳です。小児科はそれに対応しなければなりません。

当院小児科では紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、４名の医師が連携し新生児、膠原病などの専門的な疾患から肺炎、アレルギー性疾患などの一般的な疾患、肺ヘモジデローシスなどの特殊な例まで幅広い疾患に対応しています。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	安里義秀	新生児	日本小児科学会専門医
小児科医長	国島知子	一般小児科	日本小児科学会専門医
	川満　豊	一般小児科	日本小児科学会専門医
	崎原徹裕		日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Mycoplasma 肺炎に合併した Stevens-Johnson 症候群の 14 歳男児例	沖縄小児学会第 75 回例会	沖縄県	2012 年 9 月 9 日	国島知子、崎原徹裕、川満豊、安里義秀、照屋明子（同眼科）
自己免疫性肝炎に間質性肺炎を合併した 11 歳女児例	第 22 回日本小児リウマチ学会総会学術集会	愛知県	2012 年 10 月 6 日	国島知子、金城紀子（琉球大学医学部小児科）、太田孝男（同）

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著書
トシリズマブ投与で構造的寛解となった若年性特発性関節炎少関節型の男児例	小児リウマチ	（2012.06）3 巻 2 号　Page72-76	国島知子、金城紀子（琉球大学医学部小児科）

その他活動実績

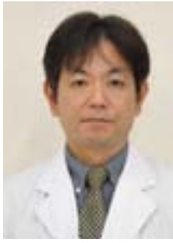
乳幼児健診……宜野湾市、中城村、西原町、与那原町を中心に 78 回

校医……中城小学校 / 中城幼稚園（安里）

西原小学校 / 西原幼稚園（国島）

RyuMIC 臨床研修指導医養成セミナー・タスクフォース（安里）

年度総括



小児科部長
安里　義秀

DPC 統計による当院小児科の平均在院日数平均は約 4 日（全国平均は約 7 日）、治癒退院率 27.5％（同 14％）となっており、より短い期間でより確実に疾病に対応できていると思われます。また紹介入院率は 69.1％（同 37％）とより地域連携病院としての役割を果たしています。一方で来院患児はその 1/3 が西原町となっており、立地から考えると宜野湾市、中城村からの来院者が少ない傾向があります。これは地域への当院小児科の周知が不十分なことを表しており、今後乳幼児健診等に積極的に関わり、周辺市町村への当院小児科医師を身近に感じてもらえるように努力する必要があることを示しています。

心療内科

当科は新設してから 5 年目になります。医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、他科に入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療をする科ということになります。

自律神経の機能がうまく調整できなくなる原因は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

（平成 23 年 8 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
	菅野　善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

年度総括

心療内科
菅野　善一郎

平成 24 年度は通常の外来業務のほか、衛生委員会主催で「心の健康づくり計画」を始めました。これは、職員のメンタルヘルスケアについての規定を明文化して、広く知識を持ってもらうことでメンタルヘルス不調を予防しようという 3 ヶ年計画での試みです。ストレスに関する知識を深める講演会やアンケートによる自己評価を始めています。一人でも多くの職員が「ハートライフ病院に勤められてよかった」と思える環境づくりを目指していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

外　科

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
院長	奥島憲彦	消化器外科・食道外科・食道癌の内視鏡的治療・食道アカラシアの POEM 手術	日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構認定医 日本医師会産業医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター
医局長 外科部長	西原　実	一般消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡外科・抗がん剤治療	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本肝胆膵外科学会評議員 日本コンピュータ外科学会評議員 検診マンモグラフィ読影認定医 Best Doctors in Japan 認定
外科副部長 4 階病棟医長	宮平　工	胃癌・大腸癌に対する手術治療・抗がん剤治療 各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術・単孔式手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内視鏡外科学会評議員 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本消化器外科学会消化器がん治療認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
外科副部長	花城直次		日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
	村山茂美	乳腺外来	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本乳癌学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 JABTS 超音波講習会修了医
	澤岻安勝		日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
	国吉史雄		
	高橋遼		
	宮城　良浩		

検査・治療・手術実績

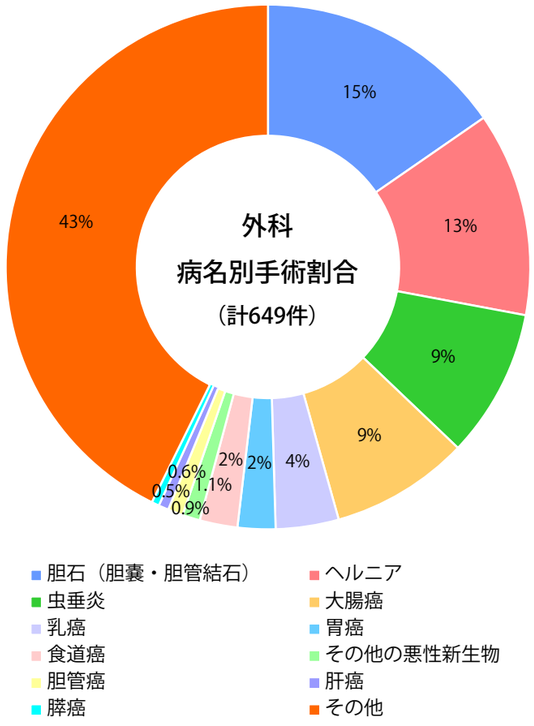
部位別一覧

部位・行為	件数
甲状腺・上皮小体切除	9
乳腺良性切除	15
乳腺悪性切除	25
肺悪性腫瘍切除	1
肺良性 (自然気胸など)	2
食道切除・再建	7
食道 ESD	9
食道 POEM	4
胃開腹幽門側切除	9
胃開腹全摘術	4
胃開腹その他 (胃十二指腸潰瘍など)	8
胃腹腔鏡下手術	5
胃瘻造設	75
肝切除（腹腔鏡含む）	8
腹腔鏡下胆嚢摘出	88
開腹胆嚢摘出	16
総胆管結石	3
胆管膵頭十二指腸切除	3
胆管バイパス術	2
脾腹腔鏡下手術摘出	6

部位・行為	件数
小腸切除・人工虹門	14
小腸その他	1
腹腔鏡下手術結腸切除	20
開腹結腸切除	13
腹腔鏡下直腸切除	12
開腹直腸切除術	11
虫垂炎腹腔鏡下手術	52
虫垂炎開腹	7
鼠径・大腿ヘルニア	57
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	16
腹壁瘢痕ヘルニア	8
毛巣洞手術	4
肛門（痔核・痔瘻ほか）	10
体表の手術	41
リンパ節生検	17
気管切開	6
その他の全身麻酔下の手術	41
その他の局所麻酔下の手術	1
CV ポート挿入等	19
計	649

手術割合

	件数
胆石（胆嚢・胆管結石）	99
虫垂炎	59
大腸癌	55
ヘルニア	81
乳癌	25
胃癌	15
食道癌	15
肝癌	4
膵癌	3
胆管癌	6
その他の悪性新生物	7
その他	275



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
感染性肝嚢胞の 1 症例	第 114 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2012 年 6 月 10 日	澤岻安勝、宮平工、堤真吾、花城直次、村山茂美、国吉史雄、西原実、奥島憲彦
多発肺転移で再発した超高齢者の直腸癌に対し、QOL を損なわずに化学療法を施行できた 1 症例	第 114 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2012 年 6 月 10 日	前本 均、宮平 工、国吉 史雄、澤岻 安勝、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
食道がん ESD 後狭窄防止法の検討	第 66 回日本食道学会学術集会	長野県	2012 年 6 月 21 日	奥島憲彦、前本均、国吉史雄、堤真吾、澤岻安勝、村山茂美、花城直次、宮平工、西原実、喜友名正也（中部徳洲会病院病理診断・臨床検査科
食道アカラシアに対して POEM を施行した 1 例	第 66 回日本食道学会学術集会	長野県	2012 年 6 月 21 日	国吉史雄、澤岻安勝、宮平工、堤真吾、花城直次、村山茂美、西原実、奥島憲彦
ESD を施行した食道血管腫の一例	第 66 回日本食道学会学術集会	長野県	2012 年 6 月 21 日	前本均、宮平工、国吉史雄、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦、堤真吾、喜友名正也（中部徳洲会病院病理診断・臨床検査科）、島袋隆志（島袋内科・胃腸科）
当院の乳癌手術症例におけるK i67 測定結果の検討	第 20 回日本乳癌学会学術集会	熊本県	2012 年 6 月 28 日	村山茂美、喜友名正也（中部徳洲会病院病理診断・臨床検査科）
鼠径ヘルニア嵌頓症例の検討	第 67 回日本消化器外科学会総会	富山県	2012 年 7 月 18 日	澤岻安勝、宮平工、国吉史雄、堤真吾、花城直次、西原実、奥島憲彦
術後急速な転帰を呈した肝癌の 1 例	第 17 回日本外科病理学会学術集会	宮城県	2012 年 10 月 5 日	西原実、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、奥島憲彦
食道アカラシアに対するＰＯＥＭ手術の経験	第 28 回九州食道疾患症例検討会	熊本県	2012 年 8 月 18 日	奥島憲彦
5 年以上生存中の StageIVb 膵癌の 1 例	第 50 回日本癌治療学会学術集会	神奈川県	2012 年 10 月 26 日	西原実、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、奥島憲彦、
上行結腸癌に伴う結腸間膜憩室穿通と考えられた一例	第 74 回日本臨床外科学会総会	東京都	2012 年 11 月 29 日	宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦
交通事故後に遅発性大腸穿通を来した 1 例	第 74 回日本臨床外科学会総会	東京都	2012 年 11 月 29 日	西原実、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、奥島憲彦
膵頭十二指腸切除術後５年無再発生存中の超高齢者胆管癌の 1 例	第 74 回日本臨床外科学会総会	東京都	2012 年 12 月 1 日	宮平工、新里輔鷹、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
虫垂炎との鑑別が困難であった盲腸穿孔の一例	第 74 回日本臨床外科学会総会	東京都	2012 年 12 月 1 日	高橋遼、宮平工、宮城良浩、国吉史雄、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
小腸間膜デスモイド腫瘍の 1 例	第 74 回日本臨床外科学会総会	東京都	2012 年 12 月 1 日	新里輔鷹、宮平工、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、、村山茂美、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
虫垂憩室炎の 1 手術例	第 25 回日本内視鏡外科学会総会	神奈川県	2012 年 12 月 6 日	澤岻安勝、西平実、宮平工、高橋遼、宮城良浩、国吉史雄、花城直次、奥島憲彦
右側結腸癌に対する腹腔鏡下手術の工夫：上方アプローチによる副右結腸静脈の先行処理	第 25 回日本内視鏡外科学会総会	神奈川県	2012 年 12 月 7 日	宮平工、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
初診医で診断がつかなかった食道アカラシアの３例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	奥島憲彦、嘉手苅由梨、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、村山茂美、花城直次、宮平工、西原実

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
術後遺残総胆管結石に対しニトログリセリン胆道内投与を行った２例の検討	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	宮城 良浩、国吉 史雄、高橋 遼、澤岻 安勝、村山 茂美、宮平 工、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
膵頭十二指腸切除術を施行した高齢者膵腫瘍の１例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	西原 実、宮城 良浩、国吉 史雄、高橋 遼、澤岻 安勝、村山 茂美、宮平 工、花城 直次、奥島 憲彦
血液凝固第 XIII 因子製剤が著効した胃全摘後の難治性膵液瘻の１例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	嘉手苅 由梨、宮平 工、宮城 良浩、国吉 史雄、高橋 遼、澤岻 安勝、村山 茂美、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
腫瘍出血による準緊急手術を施行した胃腺扁平上皮癌の一例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	宮平 工、嘉手苅 由梨、宮城 良浩、国吉 史雄、高橋 遼、澤岻 安勝、村山 茂美、花城 直次、西原 実、奥島 憲彦
食道瘙攣症 (+ 食道アカラシア) に対して POEM を施行した１例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	国吉 史雄、奥島 憲彦、井上 晴洋、宮城 良浩、高橋 遼、澤岻 安勝、村山 茂美、花城 直次、宮平 工、西原 実
画像上、胆嚢癌と鑑別を要した胆石症の１例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	新里 輔鷹、西原 実、宮城 良浩、国吉 史雄、高橋 遼、村山 茂美、澤岻 安勝、花城 直次、宮平 工、奥島 憲彦
粘膜下腫瘍様の形態を呈した胃腺扁平上皮癌の一切除例	第 85 回日本胃癌学会総会	大阪府	2013 年 3 月 1 日	宮平工、澤岻安勝、長濱正吉（琉球大学大学院 消化器 腫瘍外科）
食道アカラシアの新しい治療法－ＰＯＥＭの治療経験	第 65 回沖縄県外科会	沖縄県	2013 年 3 月 3 日	奥島憲彦、仲村武裕、仲吉博亮、宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、村山茂美、花城直次、宮平工、西原実
炭酸ランタンによる大腸穿孔の１例	第 49 回日本腹部救急医学会総会	福岡県	2013 年 3 月 14 日	国吉史雄、西原実、花城直次、宮城良浩、高橋遼、澤岻安勝、宮平工、奥島憲彦
初診時の腹部ＣＴで穿孔性腫瘍形成が疑われた直腸粘液癌の一例	第 49 回日本腹部救急医学会総会	福岡県	2013 年 3 月 14 日	宮城良浩、国吉史雄、高橋遼、澤岻安勝、村山茂美、宮平工、花城直次、西原実、奥島憲彦

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
膵頭十二指腸切除術後の胃空腸吻合部に狭窄をきたした１例	沖縄医学会雑誌（0911-5897）	（2012.05）50 巻 4 号 Page5-7	西原 実 , 国吉 史雄 , 堤 真吾 , 澤岻 安勝 , 村山 茂美 , 宮平 工 , 花城 直次 , 奥島 憲彦

外科年度総括

外科部長兼
医局長
西原　実

今年度の外科は食道外来を担当する院長の奥島、肝胆膵を担当する西原、内視鏡外科技術認定医の宮平、消化管を担当する花城、乳腺を担当する村山、消化器病専門医の澤岻、以下若手の高橋、国吉、宮城の９名の常勤医からなります。また、内分泌外科の久高、乳腺外科の白石、血管外科の仲栄真など非常勤として多くの先生方の応援をいただいております。手術件数も年間 649 件におよび、より安全な医療、より質の高い医療、より充実した診療を求めて頑張っているところです。

今年度の後半は新しい取り組みを始めました。前徳島大学准教授の嵩原に月の第二週、第四週にお越しいただき、ヘルニア外来を開設しました。もちろん小児から老人まで手術も担当していただきます。嵩原は小児鼠径ヘルニアの分野で、LPEC 法という画期的な術式を開発された先生であり、沖縄県の小児には福音となる事でしょう。

整形外科

スタッフは、松元悟・新垣勝男・渡慶次学・新垣薫・琉球大学からのローテーター大城朋之・後期研修医後藤敬子の 6 人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。松元悟は膝関節・スポーツを担当。沖縄県整形外科医会会長で運動器疾患の県民への啓蒙活動にも努めています。新垣勝男は脊椎外科を担当し、脊柱管狭窄症等の手術を行っておりました。渡慶次学は手の外科を担当しています。上肢外傷・末梢神経絞扼障害の手術を行っています。新垣薫は股関節を担当し、定評のある専門性の高いアプローチによる人工股関節手術を行い手術件数も増加しています。大城朋之は膝関節を担当し、関節鏡視下手術を中心とした靭帯再建・半月板縫合術を行っています。後藤敬子は一般外傷を担当し、整形外科医としての研鑽を積んでいます。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

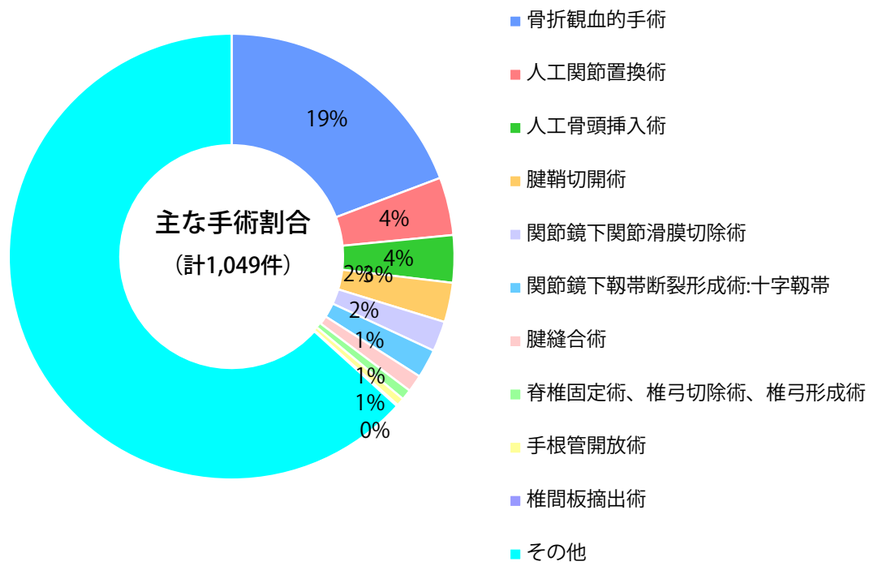
役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長	松元　悟	関節外科（膝関節）・外反母趾・スポーツ障害	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ医認定 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医
整形外科部長	新垣　勝男	脊椎・脊髄外科	日本整形外科学会専門医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医
3 階病棟医長	新垣　薫	関節外科（股関節）	日本整形外科学会専門医 日本体育協会認定スポーツドクター
整形外科医長	渡慶次　学	手の外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本手の外科学会認定専門医
	大城　朋之	関節外科（膝）・スポーツ整形	日本整形外科学会専門医 運動器リハビリテーション医
	後藤　敬子		

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血的手術	202
関節鏡下関節滑膜切除術	23
関節鏡下靭帯断裂形成術 : 十字靭帯	22
人工骨頭挿入術	36
人工関節置換術	44

部位・行為	件数
脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術	8
椎間板摘出術	1
手根管開放術	6
腱縫合術	13
腱鞘切開術	30
その他	664



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
VA-TCP を用いた橈骨遠位端骨折の治療経験	第 25 回日本臨床整形外科学会学術集会・関西	兵庫県	2012 年 7 月 15 日	渡慶次学、松元悟
腰椎椎間板ヘルニア手術例 MRI の検討 - 保存治療困難例 -	第 25 回日本臨床整形外科学会学術集会・関西	兵庫県	2012 年 7 月 16 日	新垣勝男、松元悟、伊佐眞（伊佐整形外科）
ビスホスホネート製剤使用に伴うと考えられる非定型骨折 (atypical fracture) の一例	第115回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月 9 日	後藤 敬子 , 大城 朋之 , 新垣 薫 , 渡慶次 学 , 松元 悟

年度総括

整形外科医長
渡慶次　学

平成 24 年度は 7 月より脊椎脊髄外科指導医（新垣勝男）転勤により脊椎疾患の手術件数が減少しました。高齢化に伴い大腿骨近位端骨折・橈骨遠位端骨折・人工股関節置換術・人工膝関節置換術の手術割合が増加傾向でした。また、膝関節を中心としたスポーツ外傷にも積極的に取り組み、膝前十字靭帯再建術・半月板縫合術共に増加しています。

平成 25 年度は脊椎脊髄外科指導医赴任により脊椎専門外来が再開します。重度の頸椎症性脊髄症・脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニアに対し当院での手術的治療が可能となり、より満足いただける医療を目指していく予定です。なお平成 25 年 4 月より常勤医開業・後期研修医不在のため整形スタッフが減少しますが、安全で健全な診療を継続していけるよう努力いたします。

形成外科

形成外科は、平成 23 年 4 月から診療を開始いたしました。現在、1 週間のうち土曜日のみの診療ですが、午前中は外来及び局麻手術などの保険診療を、午後はレーザー治療を含めた自費診療を行っております。対象疾患は、なかなか治らないきずやきずあとの治療や相談、巻き爪ばかりではなく、眼瞼下垂症や二重手術の希望、わきがなどの美容的な手術から、手指の先天異常、漏斗胸、癌切除後の再建手術や重度顔面外傷など形成外科としてオールラウンドに対応できるように心がけております。近い将来には、常勤として、大学病院レベルの形成外科としての医療をハートライフ病院に提供できるようこれからも頑張る所存です。お気軽にご相談いただきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

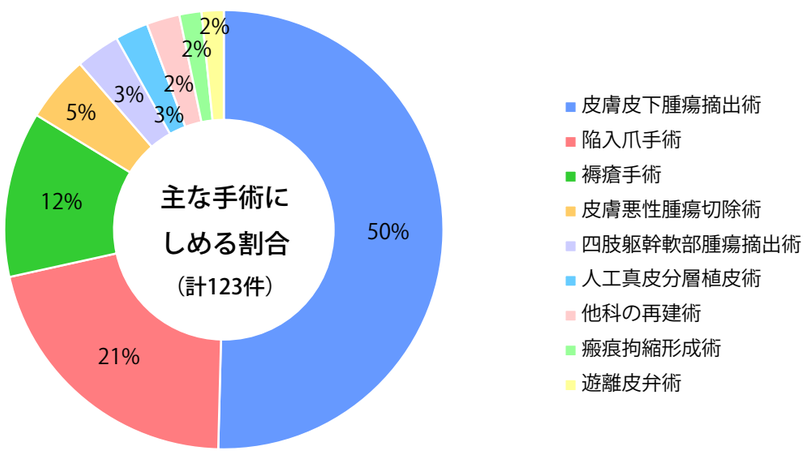
役職	氏名	専門分野	学会認定など
	東盛貴光	手足の外科、広範囲重症熱傷、マイクロサージャリー	日本形成外科学会専門医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医 身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

部位・行為	件数
皮膚皮下腫瘍摘出術	62
皮膚悪性腫瘍切除術	6
四肢躯幹軟部腫瘍摘出術	4
褥瘡手術	15
人工真皮分層植皮術	3

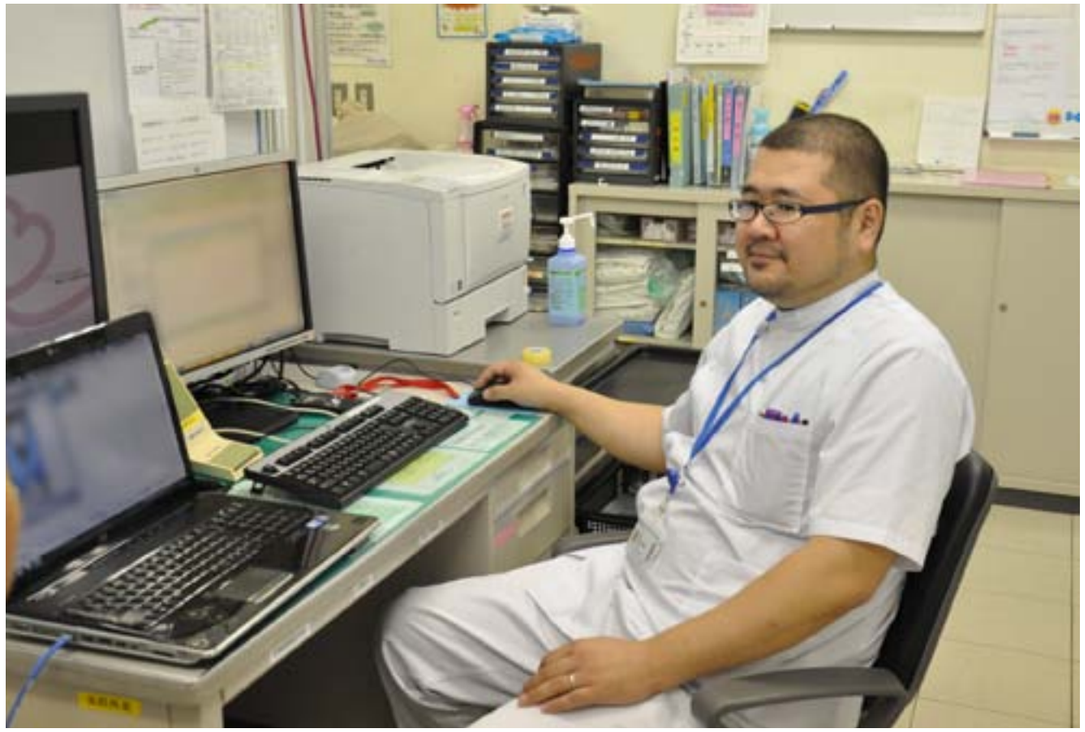
部位・行為	件数
瘢痕拘縮形成術	2
遊離皮弁術	2
陥入爪手術	26
他科の再建手術	3
合計	123



年度総括

形成外科
東盛　貴光

平成 23 年 4 月からスタートし、2 年目を迎えました。現在、平日は東京女子医大病院で通常勤務を行い、当院では毎週土曜日のみの診療ですが、1 日の外来患者は 40 人を超えるまでになり、予約枠がいっぱいになるまで拡大しました。皆様方には大変ご迷惑をおかけしております。これもひとえに安里理事長、奥島院長をはじめとした関連各科の先生方、外来看護スタッフ、手術室スタッフ、事務の方々のおかげに他なりません。平成 24 年はレーザー機器の購入による自費診療が導入され、現在では 1 カ月先まで予約が一杯で、軌道に乗りつつあります。今後は、レーザー治療部門の拡大、救急部門における顔面・手足の重度外傷、外科系各科の再建手術や褥瘡の管理を含め、常勤としてハートライフ病院の発展に寄与していきたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



脳神経外科

脳神経外科は末吉健次、上笹航の二名の脳神経外科専門医が担当しております。主に脳血管障害を治療しておりますが、脳腫瘍、三叉神経痛、顔面けいれん等の手術も行っております。外来に関しましては、脳神経疾患を広く診察し、必要に応じて神経内科医が在籍する病院や琉球大学付属病院へ紹介しております。また、救急搬送も受け入れており、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷等の緊急手術も行っております。

医師プロフィール

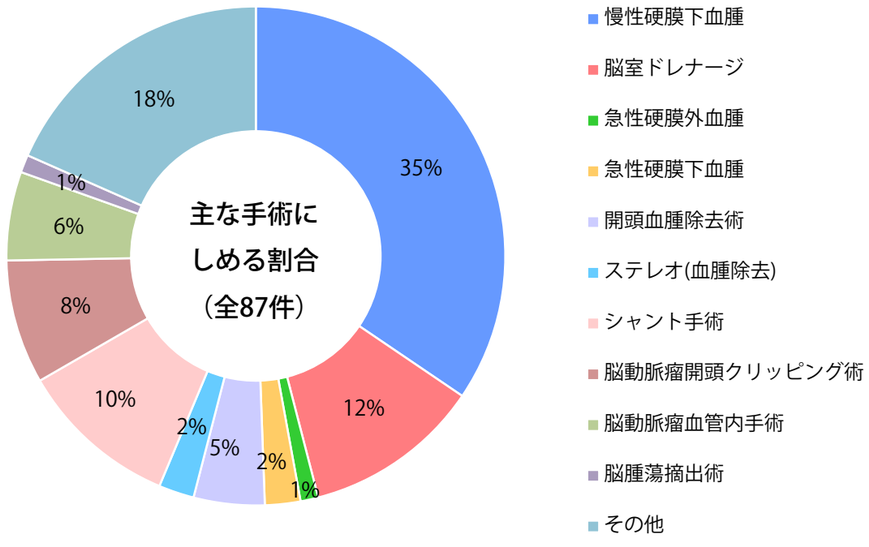
（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉健次	顔面痙攣・三叉神経痛の手術・脳動脈瘤開頭クリッピング	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科医長	上笹　航	脳血管障害	日本脳神経外科学会専門医

検査・治療・手術件数

部位・行為	件数
慢性硬膜下血腫	30
脳室ドレナージ	10
急性硬膜外血腫	1
急性硬膜下血腫	2
開頭血腫除去術	4
ステレオ (血腫除去)	2
シャント手術	9

部位・行為	件数
脳動脈瘤手術 内訳　開頭クリッピング術　(7) 血管内手術　(5)	12
脳腫瘍摘出術	1
その他 内訳　皮下腫瘍摘出術 皮下異物摘出術 硬膜下排膿術 頭蓋形成術	16
合計	87



年度総括

脳神経外科部長
末吉　健次

当院脳外科のハード面、医療機械、脳外科２人体制（脳外科専門医２名）には変化はありませんが、脳動脈瘤の血管内手術を行うなどは治療の幅が広がりました。

平成 23 年 1 月 1 日～ 12 月 1 日の手術件数 63 件（脳動脈瘤 5 例）でしたが、平成 24 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日では手術件数 84 件（脳動脈瘤 12 例）と増加しました。また、昨年度に比べて正常圧水頭症に対するシャント手術を積極的に行い成果を上げております。今年 5 月には 320 列ＣＴが導入される予定であり、ハード面でも充実されます。

今後も安全､安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

眼科

当科の特徴は、前眼部（角結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、年間約 20 件の角膜移植術を行っています。その他、白内障手術や翼状片手術、霞粒腫 (さんりゅうしゅ)、眼瞼内反 (がんけんないはん) 等に対する手術治療も行っています。

外来では一般的な眼科診療を含め、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重度のアレルギー疾患に対する診療や、円錐角膜や角膜移植後の特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています。（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病網膜症や網膜裂孔に対するレーザー治療、緑内障に対するレーザー治療、また、眼瞼けいれんに対するボトックス治療も行っています。緑内障、網膜疾患に関しては必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携し診療を行っています。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

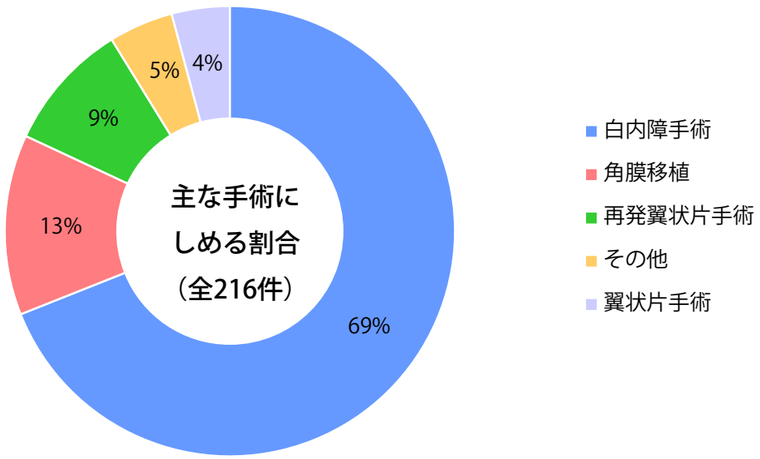
役職	氏名	専門分野	学会認定など
医長	照屋明子	角膜疾患の専門外来は琉大と当院のみ。海外ドナー角膜を用いての角膜移植も行っています。	日本眼科学会専門医

検査・治療・手術件数

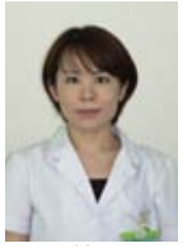
手術件数一覧

部位・行為	件数
白内障手術	149
再発翼状片手術	20
角膜移植	28

部位・行為	件数
翼状片手術	9
その他	10
合計	216



年度総括



眼科医長
照屋　明子

当科は一人体制のため、外来での待ち時間や手術待機期間が長くなってしまい、患者さんにはご迷惑をおかけしています。平成 25 年度からは、常勤医が増員される予定ですので、患者さんの精神的・肉体的な負担が少しでも軽減できるよう、スタッフ一同力を合わせて頑張っていきたいと思います。琉大角膜外来と兼任させていただいていますので、その専門性を活かして、わかりやすく丁寧に、そして今後はさらに質の高い診療（角膜内皮移植の導入等）を行っていきたいと考えています。

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は文字どおり、耳や鼻、咽頭、咽喉の手術、頸部腫瘍などを扱っている診療科ですが、その範囲は広く、のどの先の気管や食道の病気や機能異常も取り扱います。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

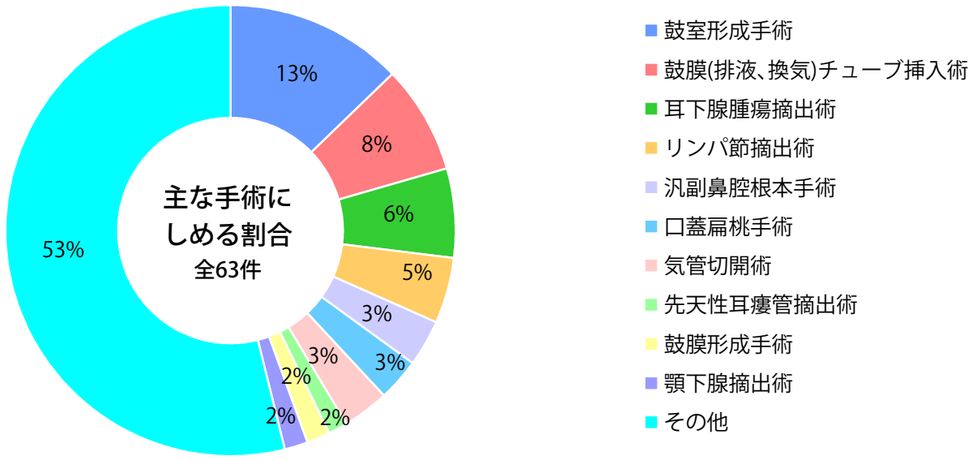
役職	氏名	専門分野	学会認定など
	渡嘉敷　光紘	一般耳鼻咽喉科	

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

部位	集計
扁桃腺手術	15
鼻	13
唾液腺手術	9

部位	集計
リンパ節生検	7
頭頸部悪性腫瘍	2
その他	14
計	72



研究業績

論文・著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著書
喉頭腫瘍におけるヒト乳頭腫ウイルス感染について	喉頭（0915-6217）	（2012.12）24 巻 2 号　Page103-108	渡嘉敷 光紘、喜友名 朝則（琉球大学大学院医学研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座）、比嘉 麻乃（同）、真栄田 裕行（同）、鈴木 幹男（同）

年度総括

耳鼻咽喉科
渡嘉敷　光紘

平成 24 年度より引き続き皆様の診療にあたらせていただいております。平成 24 年度の手術では扁桃腺手術 15 件、鼻手術 13 件、耳手術 12 件、唾液腺手術 9 件、リンパ節生検 7 件、頭頸部悪性腫瘍 2 件、その他 14 件、計 72 件の手術を施行しております。23 年度 (39 件) より大幅に手術件数の増加し、25 年度はさらに増加していくものと考えられます。入院患者数 (24 年 4/1 ～ 25 年 3/30 に入退院したのべ人数) も 140 人と 23 年度 (121 人) より増加しております。

現在、手術は主に開業医、大学病院医師との連携で行っております。地域医療支援病院として、今後も他院・他科の先生方との病診連携の維持に努め、より患者さんの立場に立った診療が行えるように努力したいと考えております。平成 25 年 4 月より、大学病院から医師を招聘し更に外来体制を充実させていく予定です。

今後とも皆様のお力添えをどうぞ宜しくお願い致します。

泌尿器科

泌尿器科は、平成 8 年から派遣の常勤医 1 人体制でスタートし、平成 20 年 4 月からは常勤医 2 人で体制が強化されました。現在、病診連携の推進もあり外来患者さんは増加の一途です。

手術関連では、結石性腎盂腎炎等での緊急ステント留置や経皮的腎瘻が増加しています。ESWL による結石破砕治療も 9 年で 300 例を超えました。腹腔鏡下腎摘術も徐々に増加しています。PSA 検査の普及に伴い早期に発見される前立腺がんが増加傾向であり、手術療法やホルモン療法、他院への放射線治療の紹介等を行っています。

透析業務も兼務しており、外来透析患者 130 名程のうち約 100 名を泌尿器科で担当し、透析の維持管理やシャント手術に対応しています。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川春生	一般泌尿器	日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医
泌尿器科医長	大城琢磨	一般泌尿器・排尿障害・尿路結石	日本泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会専門医

検査・治療・手術件数

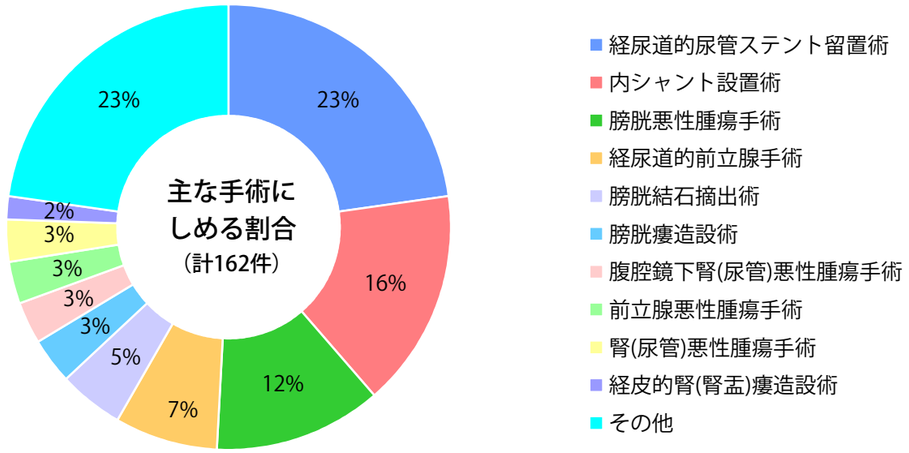
術式別一覧（KCODE ベース）

K-CODE	術式	件数
K000	創傷処理	1
K006	皮膚、皮下腫瘍摘出	1
K672	腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
K803	膀胱結石摘出術	15
K001	皮膚切開術 1. 長径 10cm 未満	1
K610	前腕内シャント設置術	30
K637	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	3
D317	膀胱粘膜生検膀胱尿道ファイバースコピー	1
J012	腎嚢胞穿刺	1
K607	上腕動脈表在化法	1
K691	経皮的肝膿瘍ドレナージ	1
K771	経皮的腎嚢胞穿刺術	1
K773	腎 (尿管) 悪性腫瘍手術 (1 歳以上)	4
	腹腔鏡下腎 (尿管) 悪性腫瘍手術	3
K775	経皮的腎 (腎盂) 瘻造設術	1

K-CODE	術式	件数
K783	経皮的腎 (腎盂) 瘻造設術	55
K798	経尿道的尿管ステント抜去術	4
K805	膀胱瘻造設術	8
K816	外尿道腫瘍切除術	1
K818	外尿道腫瘍切除術	3
K821	尿道狭窄内視鏡手術	2
K827	尿道狭窄内視鏡手術	1
K828	陰茎悪性腫瘍手術	3
K830	精巣摘出術	2
K835	精巣摘出術	2
K836	停留精巣固定術	2
K841	経尿道的前立腺手術	11
K843	前立腺悪性腫瘍手術	3
総計		162

体外衝撃波結石破砕術（ESWL）外来施行数

	件数
年間患者数	37
年間施行数	101



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
脊髄損傷ラットにおけるα1受容体促進薬・遮断薬の効果	第 19 回日本排尿機能学会	愛知県	2012 年 8 月 30 日	大城琢磨、宮里実（琉球大学大学院医学研究科泌尿器科学講座泌尿器科）・波止亮（同）・宮城亮太（同）・松村英理（同）・池原在（同）・町田典子（同）・呉屋真人（同）・大城吉則（同）・斎藤誠一（同）、嘉川春生

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
【泌尿器科の薬物療法　頻用薬ベスト 56】排尿障害の薬の基礎知識	泌尿器ケア（1349-6549）	（2012.09）17 巻 9 号 Page878-879	大城 琢磨

年度総括

泌尿器科部長
嘉川　春生

泌尿器科は、平成 8 年から琉球大学病院派遣の常勤医 1 人体制でスタートし、平成 20 年 4 月からは常勤医 2 人で体制が強化されました。外来は琉球大学泌尿器科からの月、土の応援を頂き大学との協力体制を維持しています。

現在、病診連携の推進もあり、外来患者さんは増加の一途です。特にここ 2、3 年は近隣の泌尿器科の閉院に伴い紹介患者さんが増加傾向にあります。

手術関連では、結石性腎盂腎炎等での緊急ステント留置や経皮的腎瘻が増加しています。ESWL による結石破砕治療も 9 年で 300 例を超えました。腹腔鏡下腎摘術も徐々に増加しています。PSA 検査の普及に伴い早期に発見される前立腺がんが増加傾向であり、手術療法、ホルモン療法、他院への放射線治療の紹介等を行っています。

平成 24 年 12 月には膀胱ファイバーを新たに導入し、痛みの少ない検査で患者さんには好評を頂いております。また、透析業務も兼務しており、外来透析患者 130 名程のうち約 100 名を泌尿器科で担当し、透析の維持管理やシャント手術に対応しています。今後も地域医療への貢献を目指していく所存です。

産婦人科

常勤医師３名、後期研修医（２年目）１名、助産師 17 名と看護師 15 名の体制でした。平成 25 年４月からは後期研修医が２名となり、助産師も 20 名となります。産科領域では NICU 管理を必要とするハイリスク妊娠、婦人科領域では放射線療法を必要とする進行子宮癌そして不妊症領域では体外受精、以上を除くすべての疾患に対する治療を積極的に実施しています。

医師プロフィール

（平成 24 年６月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
産科部長・西２階病棟医長	大西　勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医
婦人科部長	武田　理	産婦人科全般・婦人科腫瘍・腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
	井手上　隆史	産婦人科・不妊症・無痛分娩・腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医
	喜久元　藍		

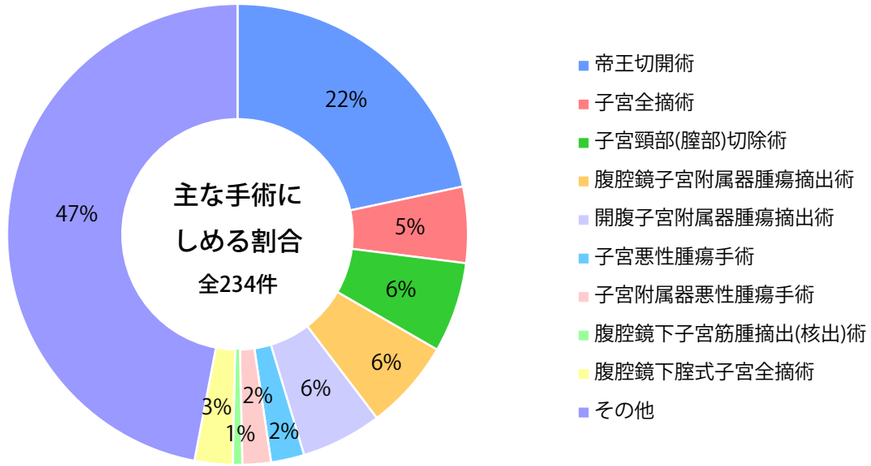
検査・治療・手術件数

総分娩件数　378 件

術式別一覧（KCODE ベース）

K-CODE	術式	件数
K000	創傷処理	4
K611	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込	1
K633	腹壁瘢痕ヘルニア	1
K636	試験開腹術	2
K642	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	1
K643	後腹膜悪性腫瘍手術	1
K726	人工肛門造設術	1
K872	子宮筋腫摘出 (核出) 術 子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	2 11
K877	子宮全摘術 腹腔鏡下腟式子宮全摘術	16 8
K886	子宮悪性腫瘍手術	3
K888	子宮付属器腫瘍摘出術（開腹） 子宮付属器腫瘍摘出術（腹腔鏡） 子宮卵管留血腫手術（腹腔鏡）	17 19 1
K627	リンパ節群郭清術	2
K637	限局性腹腔膿瘍手術	1
K641	大網切除術	1

K-CODE	術式	件数
K860	腟壁形成手術	2
K861	子宮内膜掻爬術	4
K865	子宮脱手術	11
K867	子宮頸部 (腟部) 切除術	19
K871	子宮息肉様筋腫摘出術 (腟式)	1
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	2
K876	子宮腟上部切断術	2
K879	子宮悪性腫瘍手術	7
K889	子宮附属器悪性腫瘍手術	1
K898	帝王切開術	65
K906	子宮頸管縫縮術	4
K909	流産手術 子宮内容除去術（不全流産）	19 2
K911	胞状奇胎除去術	1
K912	子宮外妊娠手術（開腹） 子宮外妊娠手術（腹腔鏡）	1 1
総計		234



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
子宮内膜症に対する低用量ピルとジェノゲストの有効性、使用状況に関する検討	公益社団法人日本産科婦人科学会　第６４回学術講演会	兵庫県	2012 年４月 13 日	武田理、喜久本藍、井手上隆史、大西勉
腹腔鏡下手術後に判明した卵巣カルチノイドの１例	第 52 回特定非営利活動法人　日本婦人科腫瘍学会学術講演会	東京都	2012 年７月 20 日	武田理、喜久本藍、井手上隆史、大西勉、喜友名 正也（中部徳洲会病院病理診断・臨床検査科）, 戸田 隆義（琉球大学医学部臨床検査医学講座）
当院で経験した産褥期心筋症の１例	第１１５回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2012 年 12 月９日	喜久本藍、井手上隆史、武田理、大西勉

■主な院外での活動として、名桜大学、具志川看護専門学校、沖縄看護専門学校、浦添看護専門学校へ非常勤講師派遣を行いました。

年度総括

産科部長
大西　勉

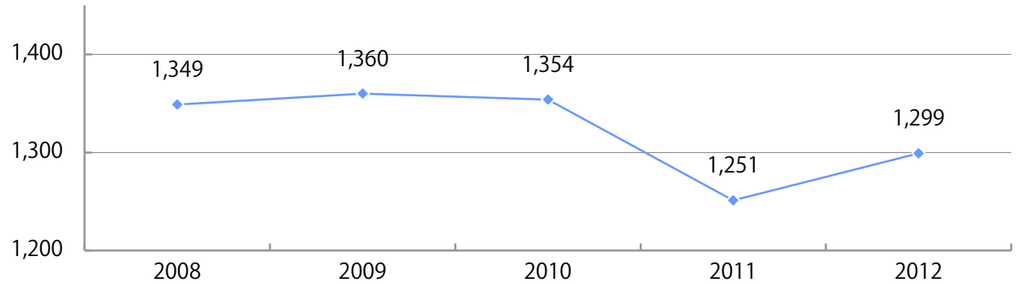
分娩件数は年々増加し、平成 24 年度は 374 件で、昨年度より約 30 件増加しています。手術件数は 235 件と昨年度から 60 件余り減少していますが、腹腔鏡手術は約 30 件と３倍近くに増加しています。

分娩数の増加により外来診療の待ち時間の増加や、産後の個室の確保が困難な状況が発生しています。これらを解消すべく努力はしていますが、すべての方の満足を得るには程遠い状況です。１日も早い移転が望まれます。

皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。
診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

のべ患者数



放射線科

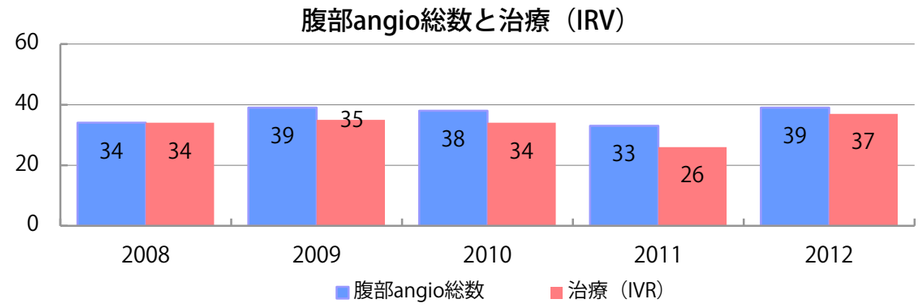
放射線科の診療内容は CT、MRI、RI（ラジオアイソトープ）、マンモグラフィー、IVR（血管内治療）が主な仕事内容になっています。画像診断が間接的に診療に関わるのに対し、IVR は直接治療に携わる領域で、肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、消化管出血、膵炎動注療法等、緊急を要する治療まで臨床の先生方の要求に対応する形になっています。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

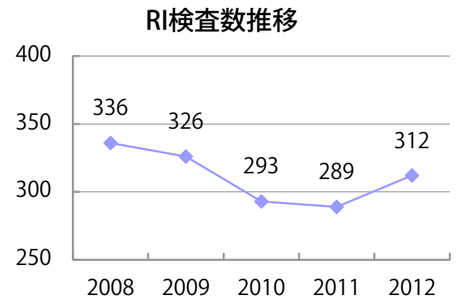
役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科副部長	高良　誠		日本医学放射線学会専門医
	耒田　美和		

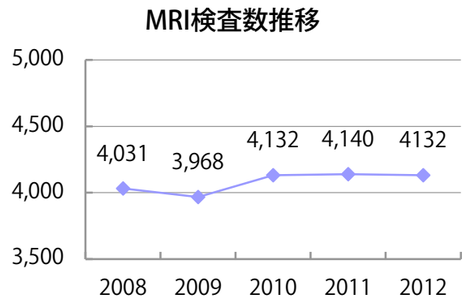
検査・治療件数

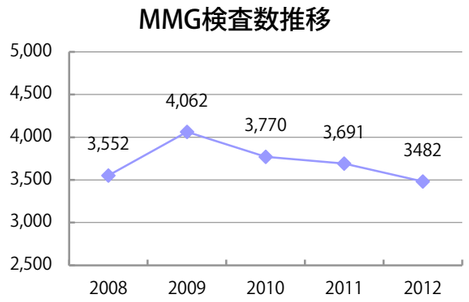


各種検査・治療件数と推移一覧

CT 検査数推移	MRI 検査数推移	RI 検査数推移	MMG 検査数推移	腹部 angio	
				総数	治療（IVR）
11,648	4,140	312	3,482	39	37







年度総括

放射線科副部長
高良　誠

平成 24 年度は CT、MRI、RI の翌診療日までの読影はほぼ規定通りクリアーしています。IVR は TACE の件数がのびて前年を上回りました。

マンモグラフィーのモニタ診断がスタートしました。まだデータ集積が少なくフィルムを併用していますが、本来保存の確実性、比較読影の容易さから今後の精度向上が見込まれています。

平成 24 年度は 4 月から耒田美和先生が赴任され、常勤二名体制になりました。ダブルチェック体制、研修医教育への対応等、放射線科業務の質が向上しました。

平成 25 年度には 320 列 CT を設置します。現在市販される最高峰の機種で今後さらに精度の高い検査が期待されます。さらに来年度に 13 年目に入る MRI の更新申請を行います。進化の早い医療機器分野で 10 数年前の MRI は色んな分野で力不足が目立ち、運用ではカバーしきれない段階に来ています。10 年現役でいられる最新型の MRI を導入したいと考えています。

麻酔科

医師プロフィール

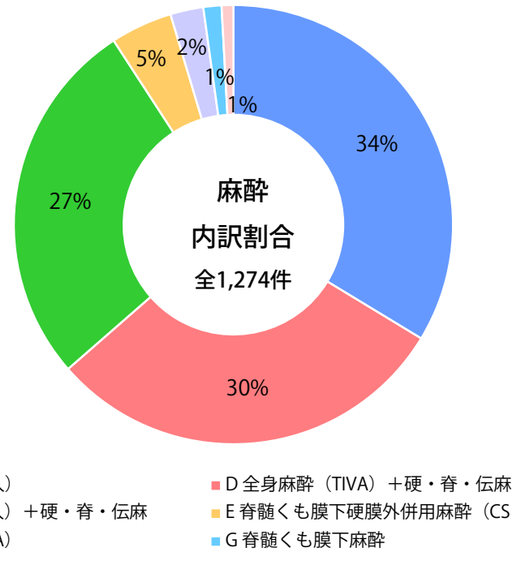
（平成 24 年 6 月現在）

麻酔科			
副院長 麻酔科部長	久場　良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクニック学会認定医
	釜野　武志	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医
	佐久川　陽子	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医
	波照間　友基		日本麻酔科学会認定医

検査・治療・手術件数

麻酔件数一覧

麻酔法	件数
A 全身麻酔（吸入）	429
B 全身麻酔（TIVA）	31
C 全身麻酔（吸入）＋硬・脊・伝麻	347
D 全身麻酔（TIVA）＋硬・脊・伝麻	381
E 脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔（CS	58
F 硬膜外麻酔	11
G 脊髄くも膜下麻酔	17
合計	1,274



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
座長	第 34 回日本呼吸療法医学会学術総会	沖縄県	2012 年 7 月 14 日	久場良也
腰痛を主訴に入院後、確定診断し集中治療を行った破傷風 2 症例	第 22 回日本集中治療医学会九州地方会	鹿児島県	2012 年 7 月 14 日	釜野武志、波照間友其、久場良也
小腸穿孔、閉塞性小腸壊死等を起因とした敗血症性ショックに対するＰＭＸ-ＤＨＰの検討	第 40 回日本集中治療医学会学術集会	長野県	2013 年 3 月 1 日	久場良也（座長）、釜野武志、佐久川陽子
座長	第 40 回日本集中治療医学会学術集会	長野県	2013 年 3 月 2 日	久場良也

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
腸閉塞を誘因として発症した敗血症性ショックに対する PMX-DHP の効果	エンドトキシン血症救命治療研究会誌(1348-821 X)	"（2012.01）16 巻 1 号 Page208-212"	久場 良也 , 釜野 武志 , 佐久川 陽子

年度総括

麻酔科部長・副院長
久場　良也

平成 24 年度は変化の始まりの年でした。骨髄採取(骨髄バンク、肝硬変治療）の全麻が増々増え、更に脳外科の血管内手術の麻酔が本格的に始まったことで全身麻酔が増え、手術室等に拘束される時間が長くなりました。そのため時として術前診察で患者さんやご家族にご迷惑をお掛けしています。

今年は釜野、奥間（旧姓、佐久川）両先生の専門医試験の年です、頑張ってください。また昨年来奥間先生の出産、育児休暇のため、残った二人と琉大麻酔科からの応援によって手術、麻酔件数を減らさぬよう頑張っています。

血液浄化部

血液浄化部は、医師・看護師・臨床工学技士・助手・クラークを含むスタッフ 36 名が従事しております。平成 23 年度に患者監視装置が一新されたことにより、透析中における患者様への看護ケアが充実・向上しております。

平成 25 年度はスタッフ一丸となり、医療安全と患者サービスを強化してまいります。また、スタッフの知識・技術のさらなる向上を図り、患者教育の充実を目指していきたい所存であります。

職員数

医師	3 名（非常勤は除く）	臨床工学技士	9 名（兼任を含む）
正看護師	20 名	助手	2 名
准看護師	1 名	クラーク	1 名

医師プロフィール

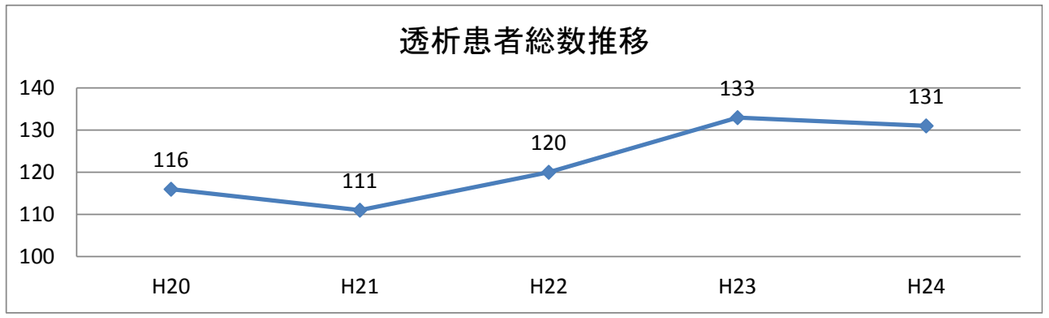
（平成 24 年 6 月現在）

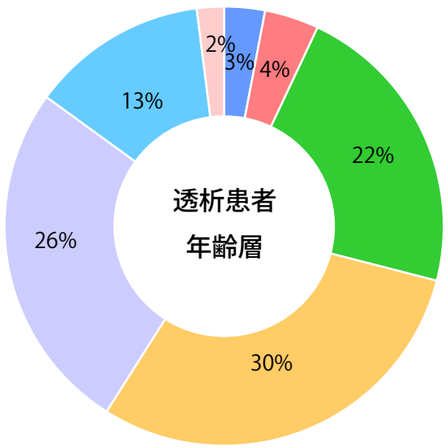
役職	氏名	専門分野	学会認定など
理事長	安里哲好	循環器疾患・生活習慣病・禁煙外来	日本内科学会指導医 日本透析医学会専門医 日本循環器学会専門医 日本医師会産業医
泌尿器科部長・血液浄化部長	嘉川春生	一般泌尿器	日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医
泌尿器科医長	大城琢磨	一般泌尿器・排尿障害・尿路結石	日本泌尿器科学会指導医 日本泌尿器科学会専門医

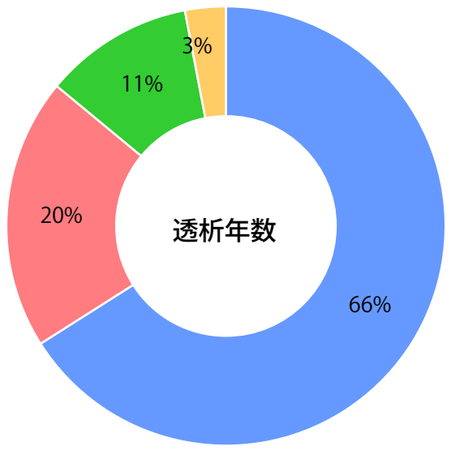
認定・資格

氏　　名	認定・資格
竹本　直美	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
大城　安	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
野原　剛	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
仲松　晋也	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士

透析関連統計







年度総括

泌尿器科部長
嘉川　春生

中城周辺の透析施設は少なく、また近隣の透析施設の閉鎖などにより、当院の透析患者は増加傾向にあります。

平成 24 年度の外来透析患者は 130 名程で、当院の平均年齢は 66.2 歳。透析導入患者の平均年齢は 67.9 歳で、全体の 3 割は後期高齢者です。

患者さんの高齢化により、在宅看護や介護サービスを受けられる患者も多くなってきており、どのようにして患者さんやご家族・地域・施設等との連携をしていくかが課題になってきております。

今後は、家族・地域・施設との連携をはかりながら、より専門性の高い医療の提供をしていく所存です。

救急総合診療部

救急搬送件数、重症度ともに増加してきている現状から救急医と研修医による日中の初期診療を 7 月より開始しました。救急診療の質を確保するため、救急搬送、緊急入院患者については研修医との朝カンファを開始、救外看護師のレベルアップ目的に画像や病状についてのカンファレンスも開始しました。

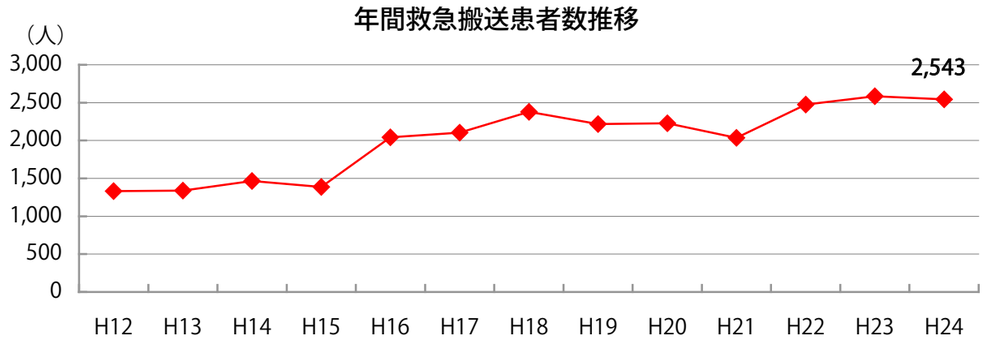
救急はやりがいもありますが、ストレスも多い職場です。もっとよい診療が行えたのではないかと反省する症例を経験したスタッフとは、救急医もしくは師長によるデブリーフィングをできる限り実施するようこころがけるようにしています。

目指すべき救命は、社会復帰であるということを念頭に、PCPS のプライミングをスタッフ全員で行えるようトレーニングを行い、脳低温療法のマニュアルを作成、敗血症診療は、ガイドラインに基づく初期治療を実践しています。

医師プロフィール

（平成 24 年 6 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
副院長・麻酔科部長	久場良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクニック学会認定医
外来診療部長 救急総合診療部長	與座　一	一般循環器	
循環器内科医長	三戸正人	循環器救急・地域医療	日本内科学会認定内科医 日本内科学会指導医 日本循環器学会専門医 日本救急医学会救急専門医
	国吉史雄		



年度総括

救急総合診療部副部長
三戸　正人

院内トリアージの質の向上のため、JTAS トリアージ講習を外来看護師とともに受講、Walk in 患者に隠れる重症患者を見逃さない試みを始めています。

６月には、大事故災害時の病院対応について勉強する Hospital MIMMS 沖縄を開催、院内より多数の職員の参加を予定し、今年度中に当院の災害対策マニュアルの改訂をするつもりです。

昨年スタッフとともに参加させていただいた救急学会総会には平成２５年は３題の演題登録を行い、救急看護学会へも２題の演題登録を予定しています。

病院前への医療の投入を可能とするべく、中部地区 MC 協議会にも今まで以上に積極的に参加、職員の安全を確保するために屋外活動用のユニフォームを準備、現場の状況を病院に伝える重症患者対応用の携帯電話の購入、システムの構築も準備をすすめ、地域に信頼される救急部を目指していきます。

メディカルクラーク

職員数

総数

15 名

職種別

一般事務　13 名

診療情報管理士　２名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	11

運営方針

1. 医師の業務軽減を図る
2. 他職種との協働によるチーム医療を目指す
3. スキルの向上に努める

業務実績

統計業務

1. 消化管膵神経内分泌腫瘍疫学第二次調査
2. 日本肝胆膵学会胆道癌予後調査
3. 真菌感染症の病態解明に基づく検査・治療法の研究調査
4. 乳癌センチネルリンパ節検索の実情調査
5. 日本内科学会認定制度教育病院年報作成
6. 川崎病全国疫学調査
7. 日本胸部外科学会学術調査
8. ATL 患者調査（2001 年～ 2012 年）
9. 鼠径ヘルニア手術症例（2000 年～ 2012 年）

文書作成

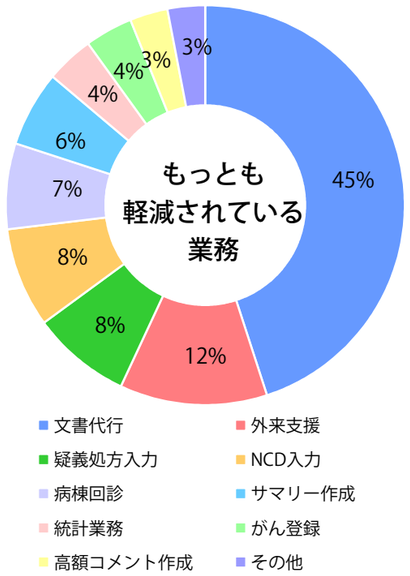
	H 22	H 23	H 24
一般診断書	218	400	287
生命保険文書	1,431	1,607	1,620
介護主治医意見書	560	637	554
傷病手当金請求書	321	470	500
医療要否意見書	390	353	551
特定疾患調査票	218	256	290
身体障害者診断書	57	92	95
年金診断書	5	43	96
その他	372	322	663
小計	3,572	4,180	4,656
退院サマリー代行作成		96	775
高額コメント代行作成			161
合計	3,572	4,276	5,592
ＮＣＤ（消化器外科手術症例）入力		712	932

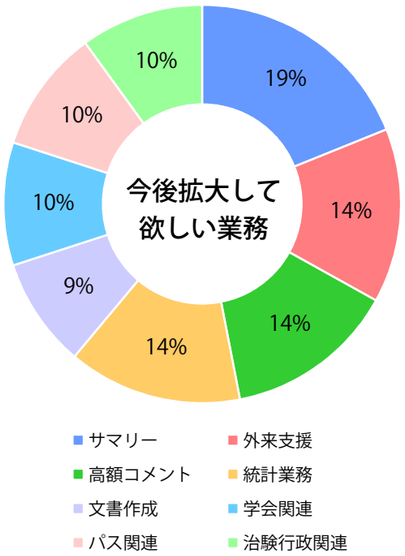
活動実績

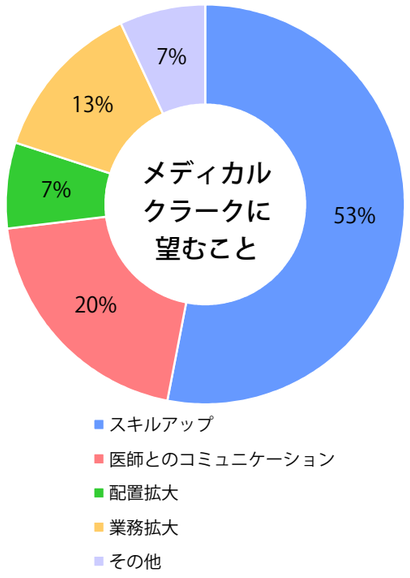
研修会・セミナー参加など

名称	開催地	年月日	参加者
平成 24 年度第1回がん登録研修会	西原町	2012 年 6 月 30 日	2 名
第 2 回日本医師事務作業補助研究会例会	東京	2012 年 6 月 30 日	3 名
NCDデータマネージャーセミナー	富山県	2012 年 7 月 21 日	2 名
平成 24 年度第 2 回がん登録研修会	西原町	2012 年 11 月 17 日	1 名
平成 24 年度介護保険主治医意見書講習会	南風原町	2013 年 1 月 5 日	15 名
平成 24 年度第 3 回がん登録研修会	うるま市	2012 年 3 月 9 日	11 名

医師へのアンケート調査（平成 24 年 10 月実施　回収率 76.5%）







医局総括

医局長兼
外科部長
西原　実

病院の中心としての医局でありますが、その構成は、内科 23 名 (呼吸器 3 名、循環器 7 名、消化器 5 名、血液 5 名、糖尿病 2 名、心療内科 1 名)、外科 9 名、麻酔科 4 名、整形外科 5 名、産婦人科 4 名、小児科 3 名、脳神経外科 2 名、泌尿器科 2 名、眼科 1 名、耳鼻咽喉科 1 名、放射線科 2 名、人間ドック 3 名、研修医 7 名の計 66 名となっております。学会発表等の学術的な取り組みを含め、皆、日々の診療に対しても誠実に、専門的に、着実に取り組んで頑張っております。

毎週水曜日のジャーナルクラブ (勉強会)、火曜、木曜、金曜の朝には研修医に対するレクチヤー、第一、第三木曜の夕方の医局会、その他講演会の開催等、勉強する機会も十分に確保されております。医局行事としては、適宜行う歓送迎会、ビアガーデン、研修終了パーティー、副院長の久場によるカレー会等、多岐に渡って執り行っております。このように非常に活気のある医局と自負しておりますが、至らぬ点があったりご迷惑をおかけしたりする事もあるやもしれません。その際には、遠慮なくご指摘いただければと思っております。

看護部

部門紹介

看護部長　西銘　宣子

看護部は 12 部署あり、平成 24 年 4 月 2 日時点での職員数は 379 名と病院一の大所帯です。建物の 2 階～ 7 階に 6 つの病棟を有し、今年度より 3 階に新病棟が開設されました。そのほかにも集中治療室、救急外来、一般外来、手術室・中央材料室、透析室があります。現在は 7：1 看護を実現しており、様々な看護活動に主体的に取り組み、多職種が関わる委員会活動にも積極的に参加しています。また、平成 24 年度も 2 名の認定看護師が誕生しており、これからも様々な分野でエキスパート看護師を増やし看護の質を向上させることを目標としています。

職員数（平成 24 年 4 月 2 日現在）

総数　379 名

助産師　15 名
正看護師　291 名
准看護師　20 名
看護助手　40 名
臨床心理士　1 名
保育士　1 名
クラーク　9 名
事務　2 名

認定看護師

氏名	認定・資格名
内間幸人	集中ケア認定看護師
宮城美那	感染管理認定看護師
島袋すが子	慢性心不全看護認定看護師

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にした質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

7：1 看護

勤務体制　二交替制

看護方式　固定チームナーシング

看護記録　POS（電子カルテ）

看護単位

■外来

■救急外来

■ ICU

■手術室 / 中央材料室

■透析室

■一般病棟

・2 階病棟（産婦人科）

・3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科）

・3 階新病棟（混合）

・4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

・5 階病棟（消化器内科・小児科）

・6 階病棟（血液内科※クリーンルーム 10 床）

・7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

活動実績

院内・院外研修実績

名称	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
新入職者オリエンテーション	当院	当院	2012 年 4 月 2 日	—	総務課、看護部
BLS	当院	当院	2012 年 4 月 7 日	—	救急 ICU 検討委員会
基礎看護技術研修	看護部	当院	2012 年 4 月 3 日～4 月 12 日	—	仲地ますみ、主任会
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2012 年 5 月 1 日	—	仲地ますみ 、宮城つかさ、當眞さゆり
シミュレーション教育指導者養成研修	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 5 月 15 日～16 日	3F	城間克也、金川優子
臓器移植における基礎知識と看護実践	日本看護協会	東京都	2012 年 5 月 16 日～18 日	6F	比嘉　暢
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 5 月 18 日	—	仲地ますみ、安谷屋佳子
慢性心不全看護認定看護師認定審査	日本看護協会	東京都	2012 年 5 月 22 日	外来	島袋すが子
平成 24 年度保健師助産師看護師実習指導者講習会	沖縄県看護協会	県内	2012 年 6 月 4 日～7 月 31 日	3F、2F	屋宜鮎美 、平屋敷加代
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 5 日	—	仲地ますみ、宮城つかさ、當眞さゆり
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 8 日	—	仲地ますみ、諸喜田久美
看護部領域研修（糖尿病）	看護部主任会	当院	2012 年 6 月 9 日	DM、ハートライフクリニック	知念恵子、大城郁子
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2012 年 6 月 12 日	—	岡田　仁、洲鎌正子
中堅研修①	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 15 日	—	仲地ますみ
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2012 年 6 月 19 日	—	石川由希、宮城美那
看護部領域研修（化学療法）	看護部主任会	当院	2012 年 6 月 26 日	—	本田由佳理
リーダー研修	民間病院管理者会	南風原町	2012 年 6 月 28 日	師長会	外間真紀子、森富　江、米須智子、内間幸人、安村公均
新人看護師 3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 29 日	—	仲地ますみ、宮平典子 、半嶺　梢、嘉陽陽子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2012 年 7 月 3 日	—	仲地ますみ、宮城つかさ、當眞さゆり
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2012 年 7 月 10 日	—	岡田　仁、洲鎌正子
新人看護師リフレッシュ研修（ロゲイニング）	看護部教育委員会	名護市	2012 年 7 月 11 日	各部署	仲地ますみ 、新人看護師
看護部領域研修（糖尿病）	看護部主任会	当院	2012 年 7 月 14 日	DM、ハートライフクリニック	知念恵子、安谷屋佳子、大城郁子
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2012 年 7 月 17 日	—	石川由希、宮城美那
中堅研修②	看護部教育委員会	当院	2012 年 7 月 20 日	—	仲地ますみ
One day Hospital MIMMS	MIMMS 日本委員会	北海道	2012 年 7 月 22 日	看護部、救外	仲地ますみ、内間幸人
看護部領域研修（化学療法）	看護部主任会	当院	2012 年 7 月 24 日	—	本田由佳理
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2012 年 7 月 26 日	—	玉城秀美
第 12 回日本感染看護学会学術集会	学術集会事務局	大阪府	2012 年 7 月 28 日 ~29 日	ICU	城間克也
シミュレーション教育指導者養成研修	沖縄県看護協会	西原町	2012 年 8 月 7 ～ 8 日	感染対策室	宮城美那
看護部領域研修（糖尿病）	看護部主任会	当院	2012 年 8 月 11 日	DM、ハートライフクリニック	知念恵子、安谷屋佳子、大城郁子
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2012 年 8 月 14 日	—	岡田　仁 洲鎌正子
2 年目研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 8 月 17 日	—	仲地ますみ、米須智子 平良　勇、宮城幸江
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2012 年 8 月 21 日	—	石川由希、宮城美那
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2012 年 8 月 23 日	—	玉城秀美
リーダー研修	民間病院管理者会	南風原町	2012 年 8 月 23 日	主任会	安谷屋佳子、當間さゆり、屋宜鮎美 、鈴木千恵、平良　勇、仲田ひろ子、岡田　仁、知念恵子
看護部領域研修（化学療法）	看護部主任会	当院	2012 年 8 月 28 日	—	本田由佳理
看護部領域研修（糖尿病）	看護部主任会	当院	2012 年 9 月 8 日	DM、ハートライフクリニック	知念恵子、安谷屋佳子、大城郁子
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2012 年 9 月 11 日	—	岡田　仁、洲鎌正子
日本臨床心理学会第 30 回秋季大会	日本臨床心理学会	愛知県	2012 年 9 月 14 日 ~16 日	看護部	池村久美子
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2012 年 9 月 18 日	—	石川由希 、宮城美那
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 9 月 21 日	—	仲地ますみ、内間幸人 、比嘉憲貴、安里しのぶ
第 9 回日本循環器学会看護学術集会	日本循環器看護学会	兵庫県	2012 年 9 月 22 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（化学療法）	看護部主任会	当院	2012 年 9 月 25 日	—	本田由佳理
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2012 年 9 月 27 日	—	玉城秀美
師長・主任合同研修	看護部	当院	2012 年 10 月 2 日	—	西銘宣子、仲地ますみ
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2012 年 10 月 9 日	—	岡田　仁、洲鎌正子
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 10 月 12 日	—	仲地ますみ、知念恵子、比嘉　暢
看護部領域研修（糖尿病）	看護部主任会	当院	2012 年 10 月 13 日	DM、ハートライフクリニック	知念恵子、安谷屋佳子、大城郁子

名称	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
看護部領域研修（化学療法）	看護部主任会	当院	2012 年 10 月 23 日	—	本田由佳理
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2012 年 10 月 25 日	—	玉城秀美
医療安全管理者研修修了者　フォローアップ研修	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 10 月 26 日	MRM 委員会（医療安全）	小橋川春子、外間真紀子
第 1 回フレキシブルパス勉強会	株式会社 SSI	大阪府	2012 年 10 月 26 日	看護部	粟盛信子、仲地ますみ
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2012 年 10 月 30 日	—	石川由希、宮城美那
第 3 回アフェレーシスナース講習会	日本輸血細胞治療学会	愛知県	2012 年 11 月 10 日～ 11 日	6F	比嘉　暢
看護部領域研修（糖尿病）	看護部主任会	当院	2012 年 11 月 10 日	DM、ハートライフクリニック	知念恵子、安谷屋佳子、大城郁子
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2012 年 11 月 13 日	—	岡田　仁、洲鎌正子
シミュレーション教育の指導法	沖縄県看護協会	西原町	2012 年 11 月 13 日～ 14 日	4F	宮城つかさ
3 年目研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 11 月 16 日	—	仲地ますみ、中野久野、竹本直美
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2012 年 11 月 20 日	—	石川由希、宮城美那
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2012 年 11 月 22 日	—	玉城秀美
第 2 回同種造血細胞移植看護師研修	日本造血細胞移植学会	東京都	2012 年 11 月 23 日～ 25 日	6F	比嘉　暢
看護部領域研修（化学療法）	看護部主任会	当院	2012 年 11 月 27 日	—	本田由佳理
九州地区リスクマネージャー交流会	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 12 月 2 日	4F 、3F	小橋川春子 、外間真紀子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	当院	2012 年 12 月 4 日	—	仲地ますみ、宮城つかさ、當眞さゆり
平成 25 年度救急看護認定看護師教育課程受験	日本赤十字九州国際大学	福岡県	2012 年 12 月 4 日～ 8 日	救外	兼本愛美
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2012 年 12 月 11 日	—	岡田　仁、洲鎌正子
医療 TQM の仕組み	済生会熊本当院	熊本県	2012 年 12 月 12 日	地連室、3F	粟盛信子、外間真紀子
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2012 年 12 月 26 日	—	玉城秀美
看護部領域研修（呼吸ケア）	看護部主任会	当院	2013 年 1 月 15 日	—	岡田　仁、洲鎌正子
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	当院	2013 年 1 月 18 日	—	各部署プリセプター
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2013 年 1 月 22 日	—	石川由希、宮城美那
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2013 年 1 月 24 日	—	玉城秀美
日本医療コンフリクトマネジメント学会第 2 回学術大会	日本医療コンフリクトマネジメント学会	東京都	2013 年 1 月 26 日～ 27 日	看護部	池村久美子
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	当院	2013 年 2 月 15 日	—	主任会
看護部領域研修（感染）	看護部主任会	当院	2013 年 2 月 19 日	—	石川由希、宮城美那
看護部領域研修（安全）	看護部主任会	当院	2013 年 2 月 28 日	—	玉城秀美
第 28 回日本環境感染学会	日本環境感染学会	神奈川県	2013 年 3 月 1 日～ 2 日	ICU	城間克也
師長・主任合同研修	看護部	当院	2013 年 3 月 5 日	—	西銘宣子、仲地ますみ
新人看護職員 1 年目フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 3 月 8 日	—	仲地ますみ、部署プリセプター
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 3 月 15 日	—	仲地ますみ、宮城つかさ、屋宜鮎美
卒後 1 年目看護師対象看護技術支援研修（日常看護シミュレーション）	名桜大学	西原町	2013 年 3 月 20 日	3F、6F 救外 、4F 3F	屋宜鮎美（サポート）、仲田ひろ子、又吉康矢、宮城辰吏 山城優子

各部署概要・実績

外来

外来師長　屋良　ちえみ

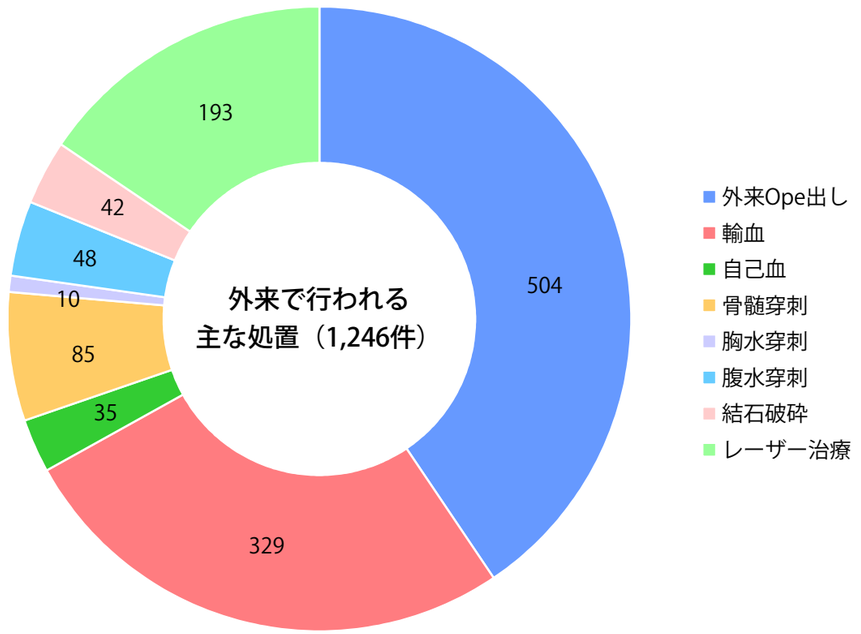
職員数

総数 30 名

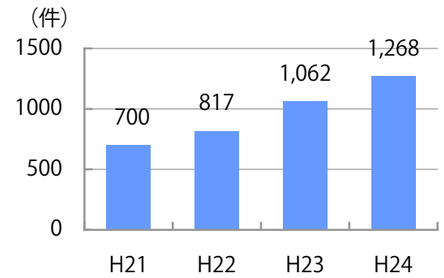
正看護師　15 名　　看護助手　4 名

准看護師　3 名　　クラーク　8 名

業務実績



外来での化学療法



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
乳癌術後のリンパ浮腫～より効果的な指導方法の検討～	第 20 回日本乳癌学会学術総会	熊本県	2012 年 6 月 27 日	山内美咲（発表）徳比嘉恵、村山茂美、本田由佳理
形成外科開設における取組　- 患者が安心＆快適にレーザー治療を受けられる為に -	第 18 回院内研究発表会（看護部予選会参加）	当院	2012 年 9 月 27 日	安谷屋佳子、本田由佳理、島袋すが子、新垣　薫、山内美咲、金城こずえ、石原桂子

活動実績

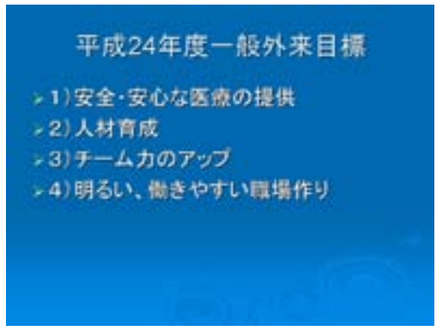
院内・院外研修実績

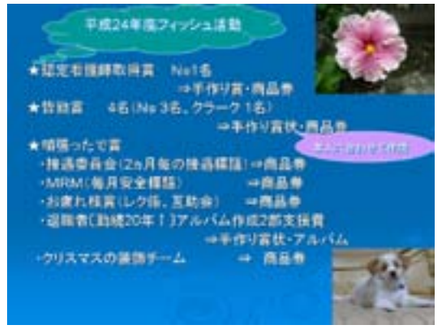
名称	講　師	開催日	参加者
看護助手研修	看護部：仲地	2012 年 5 月 18 日	新垣、呉屋、安里、比嘉、真栄里
看護助手研修	看護部：仲地	2012 年 6 月 8 日	新垣、呉屋、安里、比嘉、真栄里
糖尿病	ハートライフクリニッ：大城	2012 年 6 月 9 日	安谷屋佳子
看護領域研修（呼吸基礎前期）	看護部：内間	2012 年 6 月 12 日	石原佳子
中堅研修	看護部：仲地	2012 年 6 月 15 日	木庭明希子
感染領域研修	感染管理対策室：石川、宮城	2012 年 6 月 19 日	喜屋武綾乃
呼吸療法勉強会	看護部：石原、新垣	2012 年 6 月 22 日	屋良、本田、安谷屋、島袋、金城、新垣、池原、玉城、砂川
CPX 勉強会	看護部：島袋	2012 年 6 月 22 日	屋良、本田、安谷屋、島袋、金城、新垣、池原、玉城、砂川
化学療法	看護部：本田	2012 年 6 月 26 日	山内美咲
第 20 回日本乳癌学会学術総会	日本乳癌学会	2012 年 6 月 27 日～ 29 日	山内美咲（発表）、本田由佳里
看護領域研修（呼吸基礎前期）	看護部：内間	2012 年 7 月 10 日	石原佳子
AED 説明会（新商品）	ME 仲松	2012 年 7 月 11 日	朝礼参加メンバー（スタッフ 25 名）
大久保寛司輝く人生未来塾 2012	人と経営研究所：大久保寛司、Live on：尾角光美	2012 年 7 月 12 日	島袋すがこ
糖尿病	ハートライフクリニッ：大城	2012 年 7 月 14 日	安谷屋佳子
感染領域研修	感染管理対策室：石川、宮城	2012 年 7 月 17 日	喜屋武綾乃
化学療法	看護部：本田	2012 年 7 月 24 日	山内美咲
ゾレア治療指針（皮下注）	ノバルティスファーマ	2012 年 7 月 24 日	屋良、新垣、砂川、長嶺、喜屋武、島袋
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2012 年 7 月 26 日	新垣薫
看護領域研修（呼吸中級）	看護部：内間	2012 年 8 月 14 日	石原佳子
感染領域研修	感染管理対策室：石川、宮城	2012 年 8 月 21 日	木庭明希子
組織の中の看護管理者の位置	医療コンサルテーション	2012 年 8 月 23 日	安谷屋佳子
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2012 年 8 月 23 日	石原佳子
化学療法	看護部：本田	2012 年 8 月 28 日	山内美咲
看護ケアと感染防止（感染管理）	看護協会	2012 年 9 月 6 日	木庭明希子
看護領域研修（呼吸中級）	看護部：内間	2012 年 9 月 11 日	玉城美耶子
ひきこもりゼロの社会つくり	人と経営研究所：大久保寛司、株式会社アイエスエフネット：渡辺幸義	2012 年 9 月 13 日	安谷屋佳子
感染領域研修	感染管理対策室：石川、宮城	2012 年 9 月 18 日	木庭明希子
感染領域研修	感染管理対策室：石川、宮城	2012 年 9 月 19 日	喜屋武綾乃
褥瘡・創傷ケア	看護協会	2012 年 9 月 20 日～ 21 日	玉那覇久美子、玉城美耶子

名称	講　師	開催日	参加者
日本循環器看護学会学術集会	日本循環器看護学会	2012 年 9 月 22 日～ 23 日	島袋すがこ
化学療法	看護部：本田	2012 年 9 月 25 日	山内美咲
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2012 年 9 月 27 日	新垣薫
師長・主任合同研修	看護部：西銘	2012 年 10 月 2 日	屋良、本田、安谷屋、島袋、島袋
ナースのためのメンタルヘルスケア	看護協会	2012 年 10 月 5 日	金城こずえ
看護領域研修（呼吸上級）	看護部：内間	2012 年 10 月 9 日	新垣薫
ゴナックス皮下注・作用機序と臨床効果使用方法	アスナラス製薬	2012 年 10 月 11 日	本田、屋良、安谷屋、吉田、平敷、山内 (外科系)
法律・制度・政策の最新情報とマネジメントの視点	看護協会	2012 年 10 月 12 日～ 13 日	屋良ちえみ
4 種混合ワクチン・クアトロバック	アスナラス製薬	2012 年 10 月 17 日	玉那覇、金城、石原、（小児科系）
4 種混合ワクチン・テトラビック		2012 年 10 月 18 日	大城、玉城、平敷、島袋、當間、屋良、比嘉
洗浄と消毒・滅菌と療養環境整備（感染管理）	看護協会	2012 年 10 月 19 日	木庭亜希子
化学療法	看護部：本田	2012 年 10 月 23 日	山内美咲
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2012 年 10 月 25 日	石原佳子
精神障害患者・家族への支援	看護協会	2012 年 11 月 2 日	古牧香織
災害医療と看護（基礎編）	看護協会	2012 年 11 月 8 日～ 11 月 9 日	屋良ちえみ、古牧香織
第 4 回　リンパ浮腫講習会	那覇市立病院	2012 年 11 月 11 日	平敷美幸
看護領域研修（呼吸上級）	看護部：内間	2012 年 11 月 13 日	石原佳子、新垣　薫
働きつず続けられる職場作りー夜間勤務を科学する	看護協会	2012 年 11 月 22 日	屋良ちえみ、古牧香織
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2012 年 11 月 22 日	新垣　薫
化学療法	看護部 : 本田	2012 年 11 月 27 日	山内美咲
生活習慣病最近のトピックス	看護協会	2012 年 12 月 8 日	古牧香織
生きる力を引き出す	人と経営研究所：大久保寛司、テラ・ルネッサンス：鬼丸昌也	2012 年 12 月 13 日	島袋香織
生活をつなぐ退院支援（基礎編）	看護協会	2012 年 12 月 14 日～ 15 日	古牧香織
呼吸ケア基礎編（後期）	看護部：内間	2012 年 12 月 15 日	古牧香織
新しいシリンジポンプの使用方法と特徴	ME 豊原	2012 年 12 月 20 日	朝礼参加スタッフ（22 名）
沖縄県看護研究学会	沖縄看護協会	2012 年 12 月 22 日	島袋すが子、古牧香織
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2012 年 12 月 27 日	石原佳子
感染管理Ⅲ　洗浄・消毒・滅菌と療養環境整備	看護協会	2013 年 1 月 11 日	古牧香織
ベルケイド投与ガイド（多発性骨髄腫）	大正薬品（外来化療室）	2013 年 1 月 16 日	本田、山内、玉城、石原、屋良
感染領域研修	感染管理対策室：石川、宮城	2013 年 1 月 22 日	古牧香織
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2013 年 1 月 24 日	新垣　薫、古牧香織
ナラティブ - 看護がおもしろい -	看護協会	2013 年 1 月 25 日	古牧香織
アラミスト（点鼻）、ザイザル（アレルギー薬）	グラクソ	2013 年 1 月 25 日	渡嘉敷光紘、上原、大城、金城、安谷屋、屋良
根本原因分析セミナー	自治医科大学メディカルシミュレーションセンター：河野龍太郎	2013 年 1 月 26 日～ 27 日	屋良ちえみ
トランスファー講習会	リハビリ室 : 玉城	2013 年 2 月 8 日	安谷屋、島袋、金城、崎戸、嘉陽田、比嘉
エリザス（点鼻）	日本新薬（耳鼻科外来）	2013 年 2 月 13 日	渡嘉敷、上原、大城、金城、安谷屋、屋良
看護記録 - 電子化に向けて -	看護協会	2013 年 2 月 16 日	古牧香織
2 年目症例発表	看護部：仲地	2013 年 2 月 16 日	古牧香織
感染対策①	感染管理対策室：石川、宮城	2013 年 2 月 19 日	古牧香織

名称	講　師	開催日	参加者
ATL の治験薬の説明会	薬局：伊藤	2013 年 2 月 21 日	屋良、安谷屋、砂川、喜屋武、島袋、新垣
ATL の治験薬の説明会	薬局：伊藤	2013 年 2 月 22 日	島袋、本田、木庭、
アレルギー性疾患治療剤（アレグラ、ディレグラ）	サノフィ株式会社	2013 年 2 月 25 日	渡嘉敷光紘、真栄田（琉大 Dr）、大城、玉城、屋良、本田
安全（MRM）領域研修	医療安全管理室：玉城	2013 年 2 月 28 日	石原佳子
師長・主任合同研修	看護部：西銘	2013 年 3 月 5 日	屋良、本田、安谷屋、島袋、島袋
認定教育課程修了 1 年後のフォローアップ & 学会参加	北里大学、日本循環器学会	2013 年 3 月 15 月～17 日	島袋すが子

実績報告資料等





救急外来

救急外来師長　内間　幸人

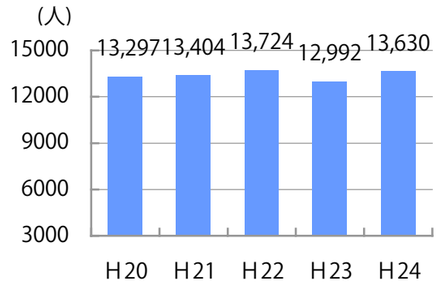
職員数

総数 19 名

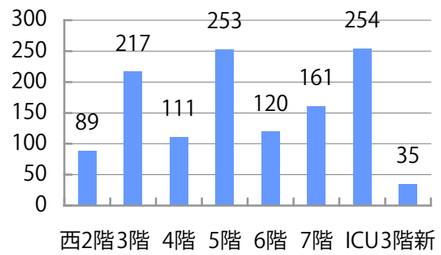
正看護師　18 名　　准看護師　1 名

業務実績

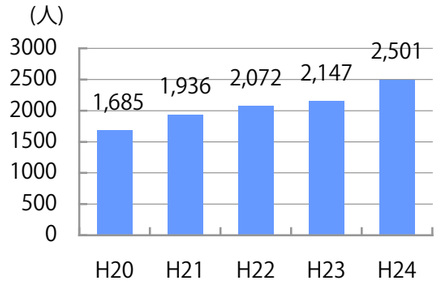
救急受付患者年次推移



救急車搬送受け入れ患者の入院受入先内訳



救急受付患者の入院数



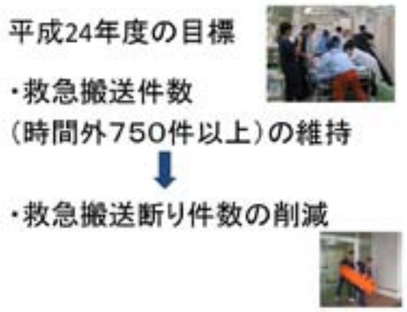
活動実績

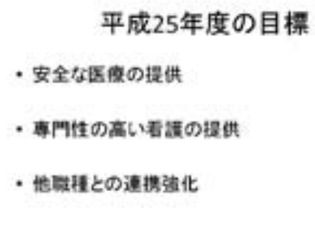
院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
院内 BLS	看護部	院内	2012 年 4 月 7 日	又吉康矢
AHA BLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	沖縄県	2012 年 5 月 20 日	中野智恵
AHA ACLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	沖縄県	2012 年 6 月 23 日～ 24 日	山内優子 恒富加奈 中野智恵
JPTEC	一般社団法人 JPTEC 協議会	沖縄県	2012 年 7 月 8 日	島袋健太
ICLS プロバイダーコース	日本救急医学会	沖縄県	2012 年 7 月 15 日	平田千佳 狩俣千佳
フィジカルアセスメント（基礎編）	日本看護協会	沖縄県	2012 年 7 月 12 日	中野智恵 島袋健太
1day Hospital MIMMS	MIMMS 日本委員会	北海道	2012 年 7 月 21 日	内間幸人
JNTEC	日本救急看護協会	新潟県	2012 年 7 月 28 ～ 29 日	山内優子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
救急車同乗実習	当院	沖縄県	2012 年 8 月 29 日	内間幸人
救急車同乗実習	当院	沖縄県	2012 年 9 月 3 日	小渡君子
救急車同乗実習	当院	沖縄県	2012 年 9 月 6 日	竹本健太
ICLS プロバイダーコース	日本救急医学会	沖縄県	2012 年 9 月 16 日	真志取美幸
AHA ACLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	沖縄県	2012 年 10 月 7 日	又吉康矢
MCLS 標準コース	日本集団災害医学会	沖縄県	2012 年 10 月 14 日	竹本健太
JPTEC	一般社団法人 JPTEC 協議会	沖縄県	2012 年 12 月 8 日	真志取美幸
AHA ACLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	沖縄県	2013 年 1 月 12 日	仲里栄春
JTAS プロバイダーコース	日本臨床救急医学会・日本救急看護学会	神奈川	2013 年 1 月 27 日	小渡君子 狩俣千佳
救急車同乗実習	当院	沖縄県	2013 年 3 月 12 ～ 13 日	山内優子

実績報告資料等





急変時のシミュレーション勉強会

救急外来症例検証会

人工透析室

人工透析室師長　竹本　直美

職員数

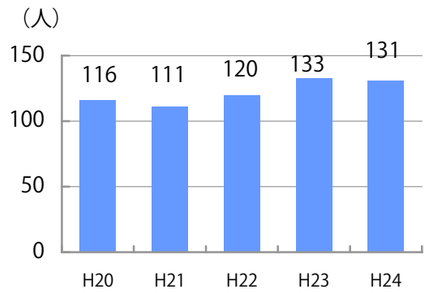
総数 22 名

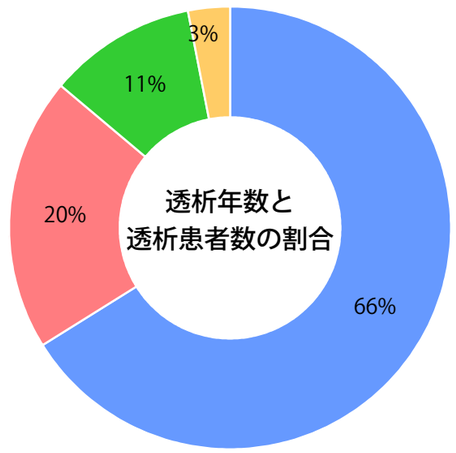
正看護師　18 名

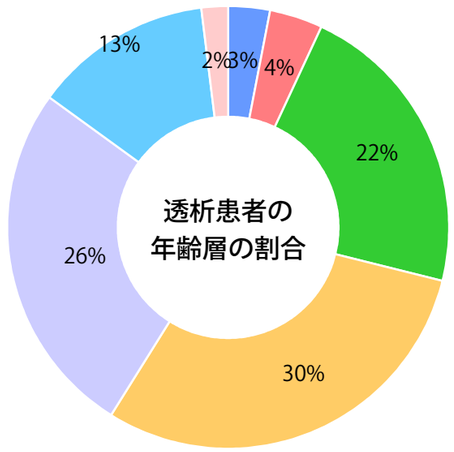
准看護師　２名　　看護助手　２名

業務実績

透析患者総数推移







研究業績

学会発表

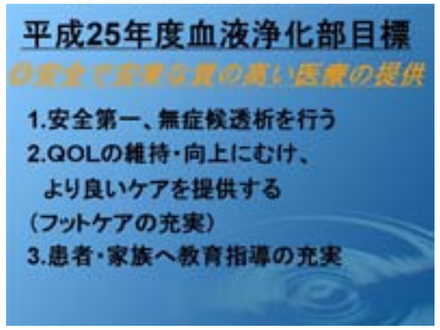
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
フットケアの取り組みについて	第 57 回日本透析医学会・学術集会・総会	北海道	2012 年 6 月 24 日	島袋さおり、与那覇直子
カンファレンスへの意識向上をめざして	第 19 回院内研究発表会 看護部予選会	院内	2012 年 9 月 28 日	川満桃子、上原千晶
カンファレンスへの意識向上をめざして	九州人工透析研究会	宮崎	2012 年 12 月 2 日	上原千晶、川満桃子
バスキュラーアクセス穿刺情報の共有化をめざして	沖縄県人工透析研究会	沖縄	2013 年 3 月 17 日	栄野川盛広、瀬底真由美

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 5 月 18 日	仲村多鶴代
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 8 日	仲松初美
領域研修（糖尿病）①	看護部主任会	当院	2012 年 6 月 9 日	赤嶺美智江
領域研修（呼吸）①	看護部主任会	当院	2012 年 6 月 12 日	屋良淳子
第 57 回　日本透析医学会学術総会	日本透析医学会	北海道	2012 年 6 月 24 日	島袋さおり、與那覇直子
領域研修（糖尿病）②	看護部主任会	当院	2012 年 7 月 14 日	赤嶺美智江
中堅研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 7 月 20 日	屋良淳子
透析療法従事者研修	公益財団法人日本腎臓財団	埼玉県	2012 年 7 月 21 日～7 月 22 日	宮城幸江、久場和子
領域研修（糖尿病）①	看護部主任会	当院	2012 年 8 月 11 日	瀬底真由美
感染管理Ⅱ	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 9 月 6 日	久場和子、栄野川盛広
領域研修（糖尿病）②	看護部主任会	当院	2012 年 9 月 8 日	瀬底真由美
褥瘡・創傷ケア	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 9 月 20 日	上原千晶、與那覇直子
領域研修（安全）②	看護部主任会	当院	2012 年 9 月 27 日	赤嶺美智江
師長・主任合同研修	看護部	当院	2012 年 10 月 2 日	城田玲子、竹本直美、宮城幸江
領域研修（糖尿病）①	看護部主任会	当院	2012 年 10 月 13 日	佐次田桃子
糖尿病患者の合併症予防は フットケアから	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 10 月 27 日	伊保和加子、宮城幸江
災害医療と看護（基礎編）	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 11 月 8 日～9 日	竹本直美
領域研修（糖尿病）②	看護部主任会	当院	2012 年 11 月 10 日	佐次田桃子
領域研修（安全）③	看護部主任会	当院	2012 年 11 月 22 日	赤嶺美智江
第 45 回九州透析研究会	九州透析研究会事務局	宮崎県	2012 年 12 月 1 日～3 日	佐次田桃子、上原千晶
領域研修（呼吸）①	看護部主任会	当院	2012 年 12 月 11 日	新里恭子
領域研修（呼吸）②	看護部主任会	当院	2013 年 1 月 15 日	新里恭子
領域研修（安全）④	看護部主任会	当院	2013 年 1 月 24 日	赤嶺美智江
根本原因分析セミナー	奥島院長	当院	2013 年 1 月 26 日～27 日	宮城幸江
2 年目症例発表会	看護部主任会	当院	2013 年 2 月 15 日	竹本直美
師長・主任合同研修	看護部	当院	2013 年 3 月 5 日	城田玲子、竹本直美、宮城幸江

実績報告資料等



手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長　中野　久乃

職員数

総数 20 名

正看護師　14 名

准看護師　1 名

看護助手　5 名

業務実績

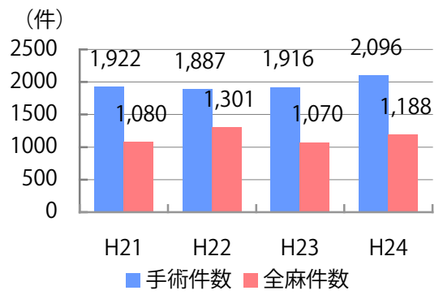
月平均手術件数

174 件

1 日平均手術件数

9 件

手術実績



研究業績

論文・著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
長時間 ESD の皮膚トラブルに関する対策と効果検討	日本手術医学会誌（1340-8593）	2012.8）1340-8593）33 巻 3 Page308-310	大城祥子、中野久乃、釜野武志、佐久川陽子、久場良也

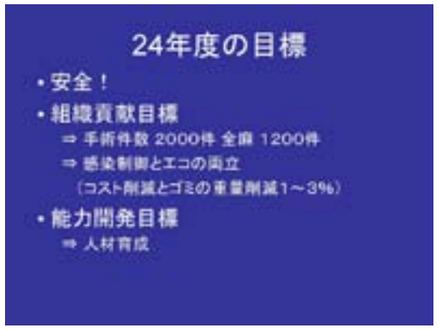
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 5 月 18 日	赤池智子、福島明美
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 8 日	西脇サトリィウス
ステラッドユーザーセミナー	ジョンソン・アンド・ジョンソン	院外	2012 年 5 月 27 日	米田　梓、東恩納小百合
		院外	2012 年 6 月 30 日	米田　梓、東恩納小百合、大城祥子、神里　歩
看護倫理	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 7 月 4 日	神里　歩
フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 7 月 12 日～13 日	大城祥子
	沖縄県看護連盟	院外	2012 年 7 月 14 日	米田　梓、神里　歩
解決志向アプローチで小さな幸せ発見	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 7 月 28 日	米田　梓
ポリナビワークショップ	沖縄県看護連盟	院外	2012 年 9 月 3 日	神里　歩、米田　梓

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 9 月 21 日	比嘉憲貴、
業務改善報告会	看護部	当院	2012 年 9 月 28 日	大城祥子、東恩納小百合、比嘉憲貴、中野久野
師長・主任合同研修	看護部	当院	2012 年 10 月 2 日	東恩納小百合、比嘉憲貴、中野久乃
院内研究発表会		当院	2012 年 11 月 8 日	大城祥子、東恩納小百合、中野久野
3 年目研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 11 月 16 日	大城祥子、中野久野
医療安全	看護部教育委員会	当院	2013 年 1 月 26 日	東恩納小百合
師長・主任合同研修	看護部	当院	2013 年 3 月 5 日	東恩納小百合、比嘉憲貴、中野久乃
手術室内の医療安全管理とは	沖縄県臨床工学士会	院外	2013 年 3 月 10 日	大城祥子、米田　梓、比嘉憲貴
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 3 月 15 日	大城祥子、神里　歩

実績報告資料等



ICU

ICU 師長　安村　公均

職員数

総数 22 名

正看護師　20 名　　看護助手　2 名

月平均入院患者状況

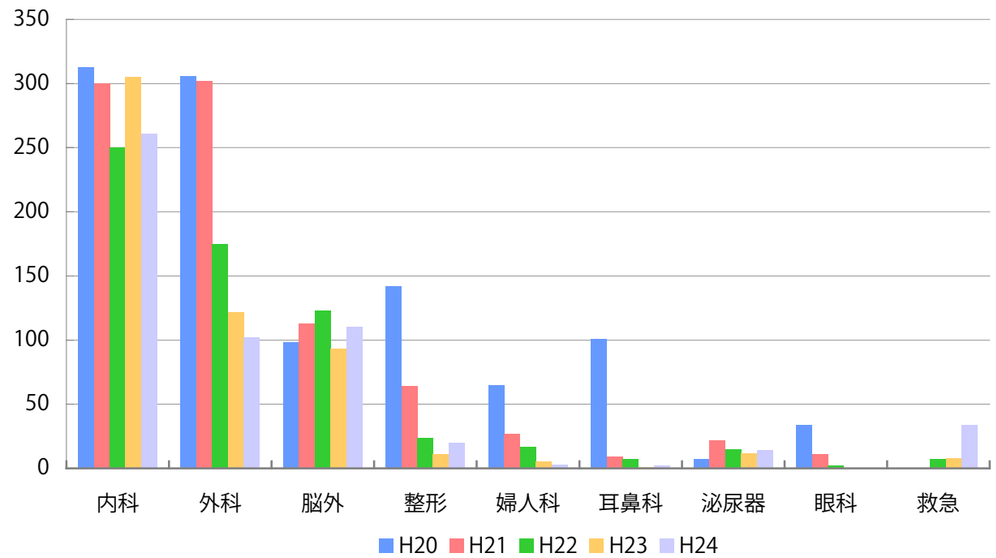
病床利用数　4.7 床

新規入院患者数　33.3 名

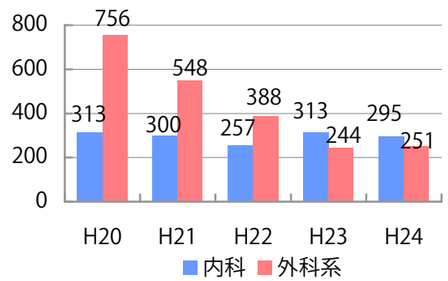
在院日数　7.5 日

業務実績

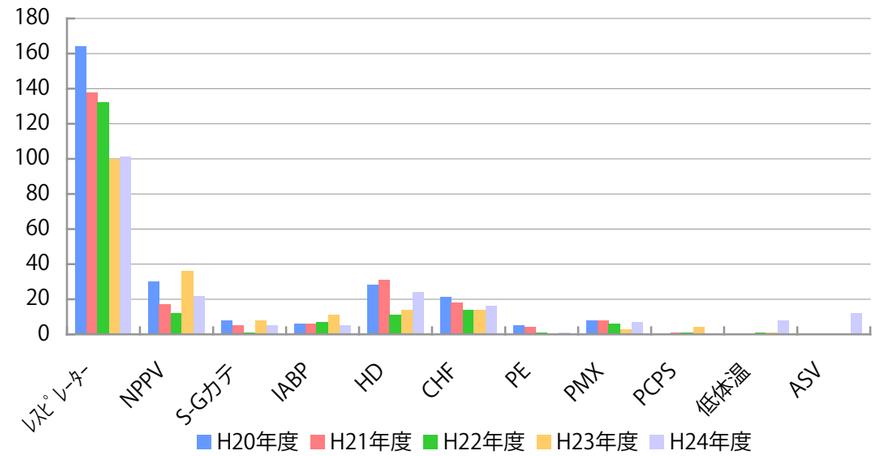
診療科別 ICU 入室患者



内科と外科系の内訳



特殊治療の動向



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
早期経腸栄養開始による平均 ICU 在室日数の短縮に向けて	第 34 回日本呼吸療法医学会学術総会	沖縄	2012 年7月 14 日～7月15日	洲鎌正子、宮本峰香
気管挿管を回避するための呼吸管理	沖縄クリティカル看護セミナー	沖縄	2012 年 6 月 23 日	安里しのぶ
VAP バンドルへの取り組み	院内研究発表会	院内	2012 年 9 月 28 日	塩屋秀子、仲尾寿々奈
セデーションバケーションを取り入れて	日本集中治療医学会	長野	2012 年 2 月 28 ～ 3 月 2 日	玉木紀光

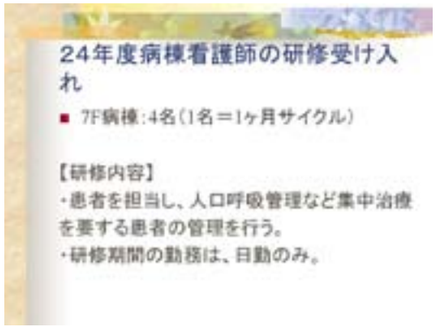
活動実績

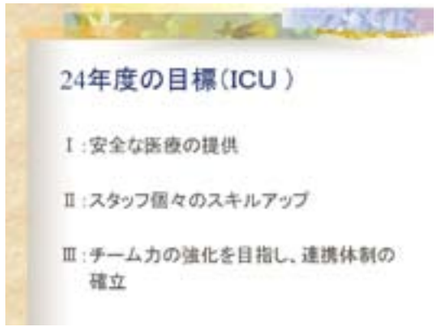
院内・院外研修実績

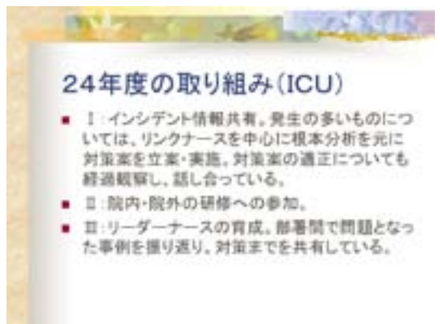
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 5 月 1 日	宮里伸也
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2012 年 5 月 17 日	謝花奈緒
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 5 月 18 日	坂野公則
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 2 日	田畑佑希子
助手研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 8 日	宮里ともみ
呼吸領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 12 日	宮里伸也、塩屋秀子、松田早希
中堅研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 15 日	玉城玲奈
3 ヶ月フォローアップ	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 29 日	田畑佑希子、謝花奈緒
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 7 月 3 日	田畑佑希子
呼吸領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 7 月 10 日	宮里伸也、塩屋秀子、松田早希
リフレッシュ研修	看護協会	南風原町	2012 年 7 月 12 日	謝花奈緒
BLS コース	日本 ACLS 協会	院外	2012 年 7 月 15 日	田畑佑希子
安全領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 7 月 26 日	宮本峰香
ICLS コース	日本 ACLS 協会	院外	2012 年 7 月 29 日	山城奈保子
呼吸領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 8 月 14 日	宮里伸也、塩屋秀子、松田早希
2 年目研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 8 月 17 日	仲尾寿々奈
感染領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 8 月 21 日	松田早希
6 ヶ月フォローアップ	看護部教育委員会	当院	2012 年 9 月 21 日	宮里伸也、謝花奈緒

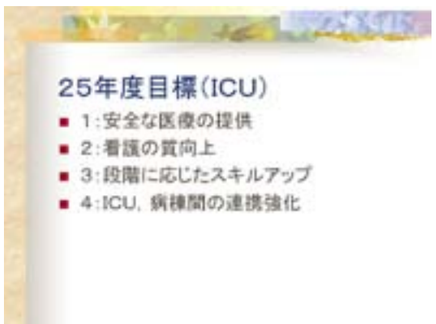
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
安全領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 9 月 27 日	宮本峰香
師長・主任合同研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 10 月 2 日	安村公均、洲鎌正子
ACLS コース	日本 ACLS 協会	院外	2012 年 10 月 6 日～7 日	田畑佑希子
呼吸領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 10 月 9 日	宮里伸也、塩屋秀子、松田早希
感染領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 10 月 30 日	山城敏裕
呼吸領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 11 月 13 日	宮里伸也、塩屋秀子、松田早希
感染領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 11 月 20 日	片桐巳緒
安全領域研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 11 月 22 日	宮本峰香
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 12 月 4 日	宮里伸也
1 年目症例発表	看護部教育委員会	当院	2013 年 1 月 18 日	宮里伸也、田畑佑希子、謝花奈緒
感染領域研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 1 月 22 日	宮里伸也
安全領域研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 1 月 24 日	宮本峰香
2 年目症例発表	看護部教育委員会	当院	2013 年 2 月 15 日	仲尾寿々奈
師長・主任合同研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 3 月 5 日	安村公均、洲鎌正子
1 年目フォローアップ	看護部教育委員会	当院	2013 年 3 月 8 日	田畑佑希子、謝花奈緒
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 3 月 15 日	玉木紀光、松田早希、片桐巳緒

実績報告資料等









西 2 階病棟（産婦人科）

西 2 階病棟師長代行　諸喜田　久美

職員数

総数 29 名

助産師　16 名　　准看護師　3 名

正看護師　8 名　　看護助手　2 名

月平均入院患者状況

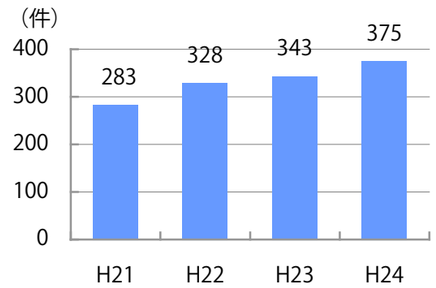
病床利用数　16.4 床

新規入院患者数　77 名

在院日数　6.0 日

業務実績

分娩件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
終末期にある患者の在宅に向けた退院調整 - 他職種との連携を通して-	業務改善報告会	当院		仲地春代、東　初美、成田明日香

活動実績

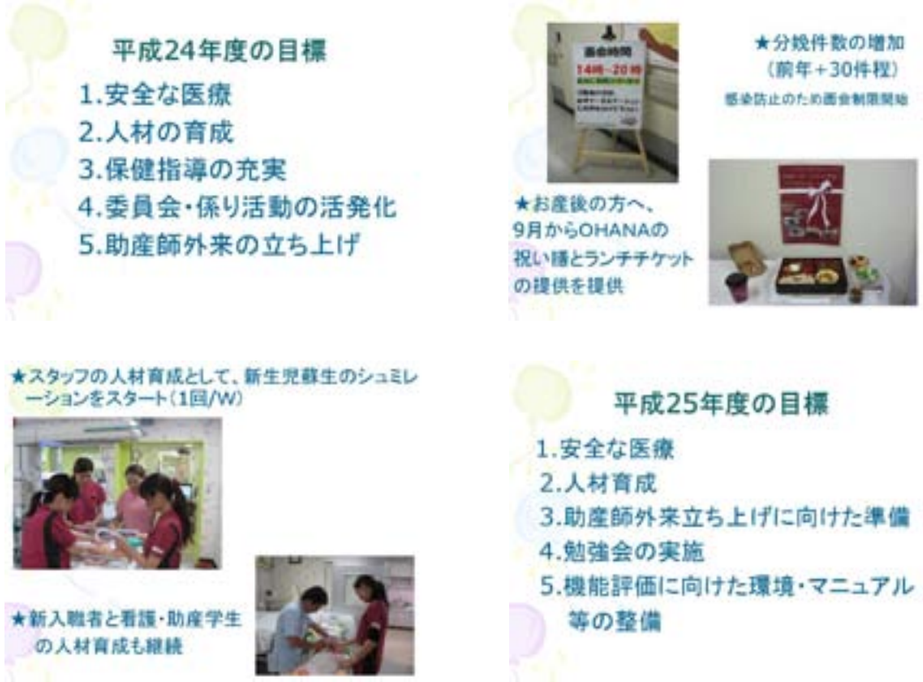
院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	看護部教育委員	当院	2012 年 4 月 1 日	上原裕美、城間　愛、玉栄陽子
新入職者オリエンテーション記録	看護部教育委員	当院	2012 年 4 月 12 日	諸喜田久美
プリセプター報告会	看護部教育委員	当院	2012 年 5 月 1 日	又吉志菜子・上原ちえみ、今井理恵
リフレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 5 月 17 日	上原裕美、城間愛、玉栄陽子
助手研修	看護部教育委員	当院	2012 年 5 月 15 日	宮城美和子
緩和ケア研修	琉球大学医学部付属病院	西原町	2012 年 5 月 19 日～20 日	成田明日香
准看護師研修	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 5 月 24 日	平良由美
沖縄県臨床指導者研修	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 6 月 4 日～7 月 28 日	平屋敷加代
プリセプター報告会	看護部教育委員	当院	2012 年 6 月 5 日	又吉志菜子、上原ちえみ

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修	看護部教育委員	当院	2012 年 6 月 8 日	諸喜田久美、名城唄代
領域別研修　DM ①	看護部教育委員	当院	2012 年 6 月 9 日	具志堅理沙、上原ちえみ
領域別研修　呼吸基礎	看護部教育委員	当院	2012 年 6 月 12 日	本村いずみ、新城真鶴
中堅研修	看護部教育委員	当院	2012 年 6 月 15 日	新城真鶴
KYT 研修	看護協会	南風原町	2012 年 6 月 22 日 ～ 29 日	成田明日香
領域別研修　化学療法①	看護部教育委員	当院	2012 年 6 月 26 日	仲地春代、東　初美
3 ヵ月フォローアップ研修	看護部教育委員	当院	2012 年 6 月 29 日	上原裕美、城間　愛、玉栄陽子
プリセプター報告会	看護部教育委員	当院	2012 年 7 月 3 日	上原ちえみ、今井理恵
領域別研修　呼吸基礎②	看護部教育委員	当院	2012 年 7 月 10 日	新城真鶴、本村いずみ
看護に役立つ放射線の基礎知識	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 7 月 11 日	平良由美
1 日新入職者研修　リフレッシュ研修	看護部教育委員	当院	2012 年 7 月 12 日	上原裕美、城間　愛、玉栄陽子
領域別研修　DM ②	看護部教育委員	当院	2012 年 7 月 14 日	具志堅理沙、上原ちえみ
領域別研修　化学療法②	看護部教育委員	当院	2012 年 7 月 24 日	仲地春代、東　初美
助産学生メント一会議	県立看護大学	那覇市	2012 年 7 月 25 日	新城真鶴
領域別研修　DM ①	看護部教育委員	当院	2012 年 8 月 11 日	今井理恵、平良由美
新生児蘇生講習会	医師会	南風原町	2012 年 8 月 11 日	上原ちえみ
呼吸中級	看護部教育委員	当院	2012 年 8 月 14 日	原順子、成田明日香、上原美代子
看護協会助産師研修　助産師の自立した働き方を目指して	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 8 月 17 日	金城嘉奈子、今井理恵
領域別化学療法③	看護部教育委員	当院	2012 年 8 月 28 日	仲地春代、東　初美
領域別　DM ②	看護部教育委員	当院	2012 年 9 月 8 日	今井理恵
不隠患者の看護介入とチームアプローチの実際	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 9 月 15 日	平良由美
6 ヶ月フォローアップ	看護部教育委員	当院	2012 年 9 月 21 日	上原裕美、城間愛、玉栄陽子
領域別研修化学療法④	看護部教育委員	当院	2012 年 9 月 25 日	仲地春代、東初美
師長・主任合同研修	看護部教育委員	当院	2012 年 10 月 2 日	諸喜田久美・平屋敷加代・成田明日香
プリセプター研修	看護部教育委員	当院	2012 年 10 月 12 日	又吉志菜子・今井理恵
領域別研修　DM ①	看護部教育委員	当院	2012 年 10 月 13 日	又吉志菜子・辺土名弘美・仲村なおみ
領域別研修　化学療法⑤	看護部教育委員	当院	2012 年 10 月 23 日	仲地春代、東　初美
領域別研修　安全	看護部教育委員	当院	2012 年 10 月 25 日	小野朋子
TENA 排泄ケアセミナー	ユニチャームメンリック株式会社	北部	2012 年 10 月 28 日	成田明日香・東　初美
領域別研修　感染	看護部教育委員	当院	2012 年 10 月 30 日	新城真鶴
国際助産師の日	助産師会	沖縄市	2012 年 11 月 3 日	平屋敷加代・又吉志菜子・上原裕美・玉栄陽子・城間　愛・我如古志乃
領域別研修　DM ②	看護部教育委員	当院	2012 年 11 月 10 日	又吉志菜子・辺土名弘美・仲村なおみ
3 年目研修	看護部教育委員	当院	2012 年 11 月 16 日	上原ちえみ・今井理恵
領域別研修　感染	看護部教育委員	当院	2012 年 11 月 20 日	新城真鶴
領域別研修　化学療法⑤	看護部教育委員	当院	2012 年 11 月 27 日	仲地春代、東初美
プリセプター報告会	看護部教育委員	当院	2012 年 12 月 4 日	又吉志菜子・上原ちえみ・今井理恵
新生児蘇生講習会	医師会	南風原町	2012 年 12 月 8 日	仲地春代
生活習慣病最近のトピック	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 12 月 8 日	今井理恵
領域別研修呼吸基礎②	看護部教育委員	当院	2013 年 1 月 15 日	今井久代
1 年目症例報告会	看護部教育委員	当院	2013 年 1 月 18 日	上原裕美、城間　愛、玉栄陽子
領域別研修　感染	看護部教育委員	当院	2013 年 1 月 22 日	上原ちえみ
BLS 講習会	看護部教育委員	当院	2013 年 2 月 16 日	原　順子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
根本分析セミナー	看護部教育委員	当院	2013 年 1 月 26 日～ 27 日	諸喜田久美
中部地区ハイリスク妊産婦に関する連携会議	看護部教育委員	当院	2013 年 1 月 22 日	平屋敷加代
1 年目フォローアップ研修	看護部教育委員	当院	2013 年 3 月 8 日	上原裕美、城間愛、玉栄陽子
BLS 講習会	看護部教育委員	当院	2013 年 3 月 9 日	仲地春代
プリセプター研修	看護部教育委員	当院	2013 年 3 月 15 日	又吉志菜子、上原ちえみ

実績報告資料等



3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科）

3 階病棟師長　外間　真紀子

職員数

総数 43 名

正看護師　37 名　　看護助手　5 名

准看護師　1 名

月平均入院患者状況

病床利用数　57.1 床

新規入院患者数　89.1 名

在院日数　18.0 日

研究業績

学会発表

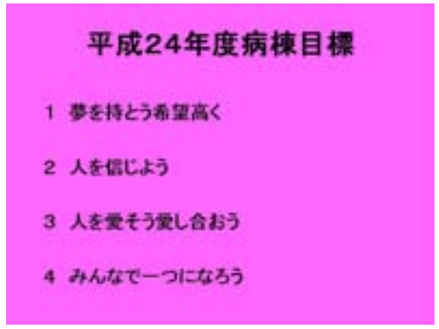
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
精油を用いた皮膚ケアの効果と看護師の皮膚ケアに対する意識への影響		当院		佐伯　恵、天久園代、仲宗根夏子、桑本佳裕

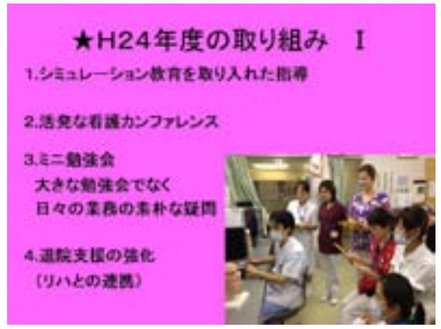
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	病院	当院	2012 年 4 月 1 日	城間一輝、 渡具知つばさ、山城優子
看護研究入門	看護協会	当院	2012 年 5 月 12 日	佐伯　恵、桑本佳裕、天久園代、仲宗根夏子
シュミレーション教育の基本的な指導方法	看護協会	当院	2012 年 5 月 15 日～5 月 16 日	城間克也、金川優子
フレッシュマン研修	看護協会	当院	2012 年 5 月 18 日	城間一輝、山城優子、渡具知つばさ
リーダーシップ研修	看護協会	当院	2012 年 5 月 25 日	伊是名さやこ、足立聖子
感染管理	看護協会	当院	2012 年 6 月 2 日	大見謝奈々、屋宜鮎美
看護必要度　院内指導者研修	S-QUE 研究会	院外	2012 年 6 月 3 日	足立聖子、高良那津子
中堅研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 6 月 15 日	足立聖子、伊是名さや子
フィジカルアセスメント	看護協会	当院	2012 年 7 月 12 日～7 月 13 日	奥間有太郎、知念宏共
新人リフレッシュ研修	看護部教育委員会	院外	2012 年 7 月 12 日	吉田麻美、城間一輝、渡具知つばさ、山城優子
実習指導者研修	看護協会	当院	2012 年 6 月 4 日～7 月 31 日	屋宜鮎美
2 年目研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 8 月 17 日	崎原盛史、宜野座里香、仲宗根夏子
不隠患者への看護介入とアプローチの実際	看護協会	当院	2012 年 9 月 15 日	宜野座里香、崎原盛史、仲宗根夏子
感染管理	看護協会	当院	2012 年 9 月 6 日	屋宜鮎美、大見謝奈々
6 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 9 月 21 日	城間一輝、渡具知つばさ、山城優子
リーダー研修　主任の関わり方でスタッフも変わる	沖縄県民間病院管理者会	院外	2012 年 8 月 23 日	當間さゆり、屋宜鮎美
ナースの為のメンタルヘルスケア	看護協会	院外	2012 年 10 月 5 日	宜野座里香、仲宗根夏子、山内緑
TENA セミナー	ユニチャーム	院外	2012 年 10 月 28 日	外間真紀子、屋宜鮎美、當間さゆり
3 年目研修	看護部教育委員会	当院	2012 年 11 月 16 日	知念宏共
沖縄リハビリテ―ション栄養研究会	沖縄県栄養士会　作業療法士会	院外	2013 年 3 月 2 日	吉田麻美、佐伯　恵、足立聖子
プリセプター研修	看護部教育委員会	当院	2013 年 3 月 15 日	伊是名さや子、佐伯　恵、雨宮裕貴
シュミレーションを通して日常の看護を振り返ってみよう	ケアリングアイランド九州沖縄大学	院外	2013 年 3 月 20 日	屋宜鮎美、山城優子

実績報告資料等





3 階新病棟

3 階新病棟師長　安村　公均

職員数

総数 22 名

正看護師　20 名　　看護助手　2 名

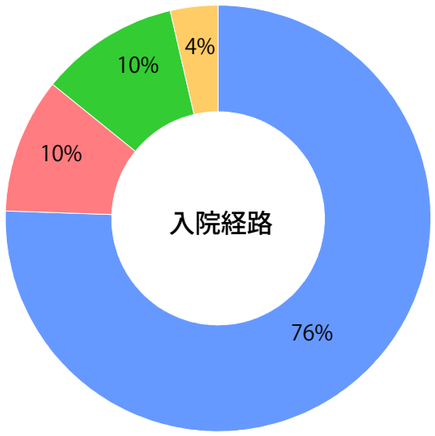
月平均入院患者状況

病床利用数　4.3 床

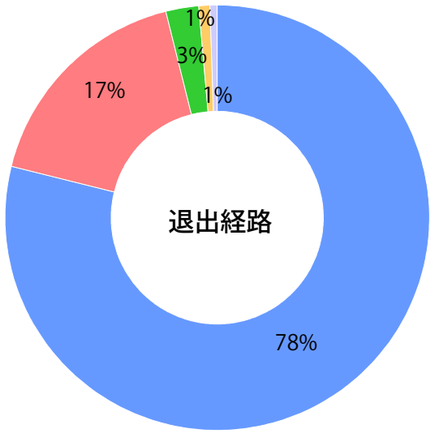
新規入院患者数　36.5 名

在院日数　4.6 日

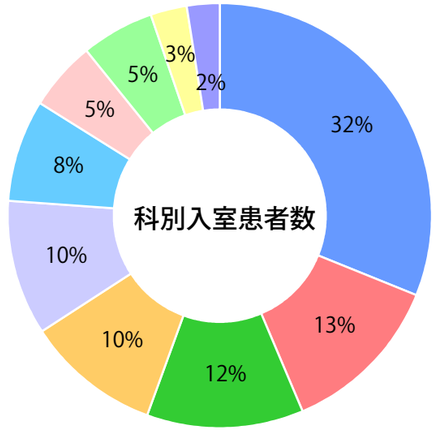
業務実績



救急外来　外来　ICU　病棟

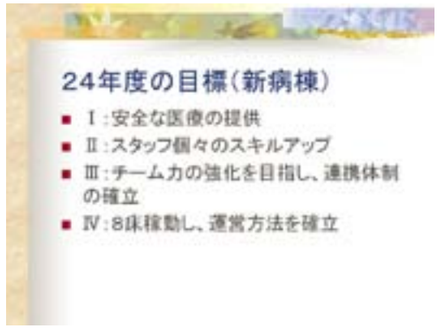


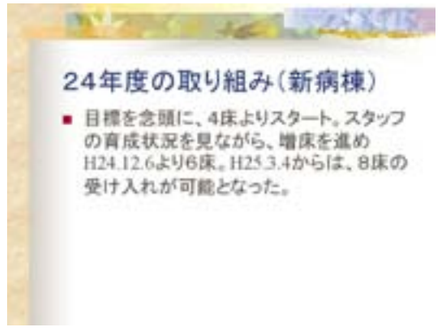
病棟　退院　転院　ICU　死亡

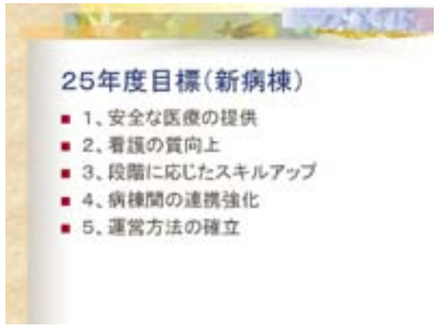


循環器　呼吸器　消化器　外科
救急　脳外　血液　内科
整形　泌尿器

実績報告資料等







4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長　小橋川　春子

職員数

総数 46 名

正看護師　39 名　　看護助手　4 名

准看護師　2 名　　クラーク　1 名

月平均入院患者状況

病床利用数　50.7 床

新規入院患者数　95.8 名

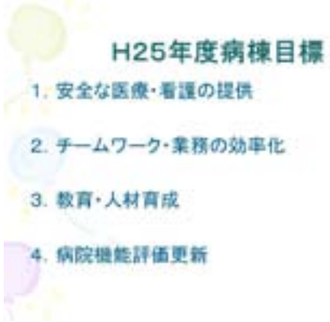
在院日数　15.6 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	当院	当院	2012 年 4 月 1 日	林　俊介、宮城辰吏、中島加保里、赤嶺七海、西村恭子
沖縄緩和ケア研修会	琉球大学医学部付属病院	西原町	2012 年 4 月 15 日・22 日	藤堂早紀、野原千草
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 5 月 17 日	林　俊介、宮城辰吏
助手研修	看護部	当院	2012 年 5 月 18 日	西村由香、上原朋恵
准看護師研修	沖縄県看護協会	当院	2012 年 5 月 24 日	川上美和子
リーダーシップ研修	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 5 月 25 日	島袋由香、下地　睦
がん看護研修 I	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 5 月 26 日	大城千佳子、新地博美
がん看護研修 II	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 6 月 1 日	大城千佳子、新地博美
感染管理 II	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 6 月 2 日	川上美和子
医療安全の動向と基礎知識	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 6 月 8 日	玉城直美、平良　桐
助手研修	看護部	当院	2012 年 6 月 8 日	與那覇敬子、岡村麗奈
領域研修・糖尿病	看護部	当院	2012 年 6 月 9 日	兼島　誠、岩佐みどり
領域研修・呼吸	看護部	当院	2012 年 6 月 12 日	玉城直美、平田いとも
領域研修・感染	看護部	当院	2012 年 6 月 19 日	野原千草、藤井育子
中堅研修・10 年目以上	看護部	当院	2012 年 6 月 15 日	兼島　誠
領域研修・化学療法	看護部	当院	2012 年 6 月 26 日	下地　睦、仲田真理
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 6 月 29 日	林　俊介、宮城辰吏
領域研修・糖尿病	看護部	当院	2012 年 7 月 14 日	岩佐みどり、兼島　誠
癌看護研修 III 緩和ケア	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 7 月 15 日	大城千佳子、新地博美
がんリハビリテーション研修	合同委員会	東京	2012 年 7 月 7・8 日	大城千佳子
中堅研修	看護部	当院	2012 年 7 月 20 日	下地　睦、新地博美
中堅研修	看護部	当院	2012 年 7 月 20 日	徳元千里
領域研修・化学療法	看護部	当院	2012 年 7 月 24 日	下地　睦、仲田真理
領域研修・感染	看護部	当院	2012 年 7 月 17 日看護部領域研修・感染	野原千草、藤井育子
領域研修・安全	看護部	当院	2012 年 7 月 26 日看護部領域研修・安全	仲里久美子、徳元千里、赤嶺七海
領域研修・糖尿病	看護部	当院	2012 年 8 月 11 日	野原千草、赤嶺七海
領域研修・呼吸	看護部	当院	2012 年 8 月 14 日	玉城直美、平田いとも
領域研修・糖尿病	看護部	当院	2012 年 8 月 11 日	野原千草、赤嶺七海
領域研修・感染	看護部	当院	2012 年 8 月 21 日	外間幸代、兼島誠
領域研修・安全	看護部	当院	2012 年 8 月 23 日	宮平良太、仲宗根　恵
			2012 年	岩佐みどり
領域研修・化学療法	看護部	当院	2012 年 8 月 28 日	下地　睦、仲田真理
2 年目研修	看護部	当院	2012 年 8 月 17 日	川上美和子
領域研修・糖尿病	看護部	当院	2012 年 9 月 8 日	野原千草、赤嶺七海
領域研修・感染	看護部	当院	2012 年 9 月 18 日	外間幸代、兼島　誠
6 ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 9 月 21 日	宮城辰吏
領域研修・化学療法	看護部	当院	2012 年 9 月 25 日	下地　睦、仲田真理
領域研修・安全	看護部	当院	2012 年 9 月 27 日	仲里久美子、徳元千里、赤嶺七海
不隠患者への看護介入とチームアプローチの実際	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 9 月 15 日	宮城つかさ、下地　睦
褥創・創傷ケア	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 9 月 20 日	岩佐みどり、宮平良太
AHABLS,ProviderCourse	NPO 法人沖縄救急災害医療機構		2012 年 10 月 7 日	宮平良太
師長・主任合同研修	看護部	当院	2012 年 10 月 2 日	小橋川春子、平良　勇、宮城つかさ
プリセプター研修	看護部	当院	2012 年 10 月 12 日	野原千草、宮平良太
領域研修・化学療法	看護部	当院	2012 年 10 月 23 日	下地　睦、仲田真理
領域研修・安全	看護部	当院	2012 年 10 月 25 日	宮平良太、仲宗根　恵、岩佐みどり
TENA コンチネンスケアセミナー	ユニチャームメンリック株式会社	北部	2012 年 10 月 28 日	宮城つかさ、下地　睦
領域研修・感染	看護部	当院	2012 年 10 月 30 日	平良　桐、金城昭子
リンパ浮腫講習会	那覇市立病院	那覇市	2012 年 11 月 11 日	天久瑞紀、赤嶺七海
シュミレーション教育の振り返り、セッションに」焦点あてた指導法	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 11 月 13 日 14 日	宮城つかさ
3 年目研修	看護部	当院	2012 年 11 月 16 日	宮平良太
領域研修・感染	看護部	当院	2012 年 11 月 20 日	平良　桐、金城昭子
領域研修・安全	看護部	当院	2012 年 11 月 22 日	天久瑞紀、徳元千里、赤嶺七海
領域研修・化学療法	看護部	当院	2012 年 11 月 27 日	下地　睦、仲田真理
九州地区リスクマネージャー交流会	沖縄県看護協会	南風原町	2012 年 12 月 1 日	小橋川春子
領域研修・呼吸	看護部	当院	2012 年 12 月 11 日	金城昭子、大城千佳子
1 年目症例報告会	看護部	当院	2012 年 1 月 18 日	林　俊介、宮城辰吏
領域研修・安全	沖縄県看護協会	南風原町	2013 年 1 月 24 日	天久瑞紀、徳元千里、赤嶺七海
根本原因分析セミナー	医療安全委員会	当院	2013 年 1 月 26 日 27 日	小橋川春子
2 年目症例報告会	看護部	当院	2013 年 2 月 15 日	川上美和子
領域研修・安全	看護部	当院	2013 年 2 月 28 日	宮平良太、仲宗根　恵、岩佐きどり
九州ストーマリハビリテーション講習会	九州スト - マリハビリテーション講習会実行委員会	福岡	2013 年 3 月 6 ～ 8 日	平良　勇
師長・主任合同研修	看護部	当院	2013 年 3 月 5 日	小橋川春子、宮城つかさ、平良　勇
1 年目フォローアップ研修	看護部	当院	2013 年 3 月 8 日	林　俊介、宮城辰吏
メディカルサポートセミナー			2013 年 3 月 9 日	
IN 沖縄	メディカルサポート事務局	県内	2013 年	岩佐みどり、宮平良太
プリセプター研修	看護部	当院	2013 年 3 月 15 日	兼島　誠、赤嶺七海

実績報告資料等



5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長　米須　智子

職員数

総数 42 名

正看護師　34 名　　看護助手　5 名

准看護師　2 名　　保育士　1 名

月平均入院患者状況

病床利用数　49.7 床

新規入院患者数　152.8 名

在院日数　9.8 日

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
病棟における緩和ケアの意識付けと形式化	院内業務改善報告会	当院	2012 年 9 月 28 日	森　春香、市川祐鼓、比嘉君代、大城美紀、北代いずみ

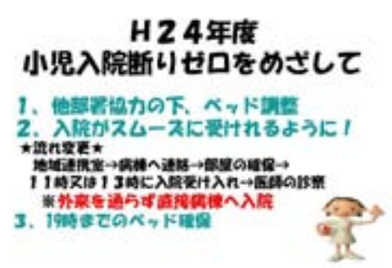
活動実績

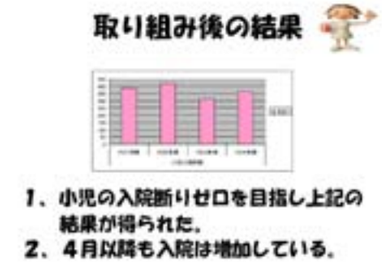
院内・院外研修実績

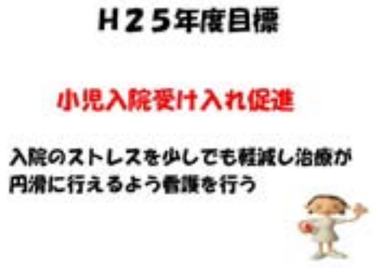
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職オリエンテーション	看護部	当院	2012 年 4 月	川添貴世、近藤祐可
助手研修		当院	2012 年 5 月 18 日	篠原花織、尾崎聖子
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2012 年 5 月 18 日	川添貴世、近藤祐可
		当院	2012 年 5 月 18・19 日	森　春香
感染管理Ⅰ	看護協会	南風原町	2012 年 6 月 2 日	又吉愛美
看護必要度研修	看護協会	院外	2012 年 6 月 3 日	我謝要子
助手研修		当院	2012 年 6 月 8 日	仲村嶺子、金城義乃、新城千加子
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 6 月 9 日	門谷　優、嘉陽陽子
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2012 年 6 月 12 日	新垣涼香、前田利枝子
中堅研修	看護部	当院	2012 年 6 月 15 日	前田利枝子
領域研修（化学療法）	看護部	当院	2012 年 6 月 26 日	大城美紀
呼吸ケアチーム医療	一般社団法人Ｓ－ＱＵＥ研究所	院外	2012 年 6 月 27 日	新垣涼香、前田利枝子
新人看護師 3 ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 6 月 29 日	川添貴世、近藤祐可
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2012 年 7 月 10 日	新垣涼香、前田利枝子
1 年目リフレッシュ研修	看護部	当院	2012 年 7 月 12 日	川添貴世、近藤祐可
領域研修 (糖尿病）	看護部	当院	2012 年 7 月 14 日	門谷　優、嘉陽陽子
中堅研修	看護部	当院	2012 年 7 月 20 日	伊波佐智恵、大城祥子
領域研修（化学療法）	看護部	当院	2012 年 7 月 24 日	大城美紀
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 8 月 11 日	嘉陽陽子、大城祥子
領域研修（呼吸中級）	看護部	当院	2012 年 8 月 14 日	新垣涼香、前田利枝子
2 年目研修	看護部	当院	2012 年 8 月 17 日	川添貴世、近藤祐可
領域研修（感染）	看護部	当院	2012 年 8 月 21 日	知念晶子、仲松さと子

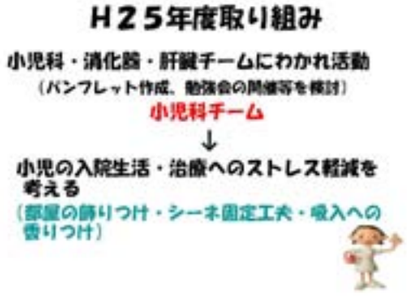
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域研修（化学療法）	看護部	当院	2012 年 8 月 28 日	大城美紀
院内 BLS	救急検討委員会	当院	2012 年 9 月 1 日	平安名吟子、松尾香澄
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 9 月 8 日	嘉陽陽子、大城祥子
緩和ケア研究会	ハートライフ病院	当院	2012 年 9 月 8 日～9 月 9 日	森　春香
褥瘡・創傷ケア	看護協会	南風原町	2012 年 9 月 20 日	蔵根由乃
褥瘡・創傷ケア	看護協会	南風原町	2012 年 9 月 21 日	新垣涼香
6M フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 9 月 21 日	川添貴世、近藤祐可
救急外来研修	救急外来	当院	2012 年 9 月 21 日	大城美紀
領域研修（化学療法）	看護部	当院	2012 年 9 月 25 日	大城美紀
領域研修（安全）	看護部	当院	2012 年 9 月 27 日	玉村生子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2012 年 10 月 2 日	米須智子、鈴木千恵、嘉陽陽子
プリセプター研修	看護部	当院	2012 年 10 月 12 日	新垣涼香、又吉愛美
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 10 月 13 日	嘉陽陽子、又吉愛美
領域研修（化学療法）	看護部	当院	2012 年 10 月 23 日	大城美紀
コンチネンスケア沖縄	ユニチャームメンリッケ株式会社	院外	2012 年 10 月 28 日	米須智子、蔵根由乃、新垣涼香
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 11 月 10 日	嘉陽陽子、又吉愛美
領域研修（安全）	看護部	当院	2012 年 11 月 22 日	与那城茂子
領域研修（呼吸基礎）	看護部	当院	2012 年 12 月 11 日	鈴木千恵
事故の構造に基づく分析手法	医療安全管理室	当院	2013 年 1 月 26 日～27 日	米須智子
Wellbeing と褥瘡対策を考える	メディカルケアサポートセミナー事務局	院外	2013 年 3 月 9 日	伊波佐智恵、蔵根由乃
プリセプター研修	看護部	当院	2013 年 3 月 15 日	伊波佐智恵、蔵根由乃

実績報告資料等









6 階病棟　（血液内科）

6 階病棟師長　比嘉　暢

職員数

総数 43 名

正看護師　37 名

准看護師　1 名

看護助手　5 名

月平均入院患者状況

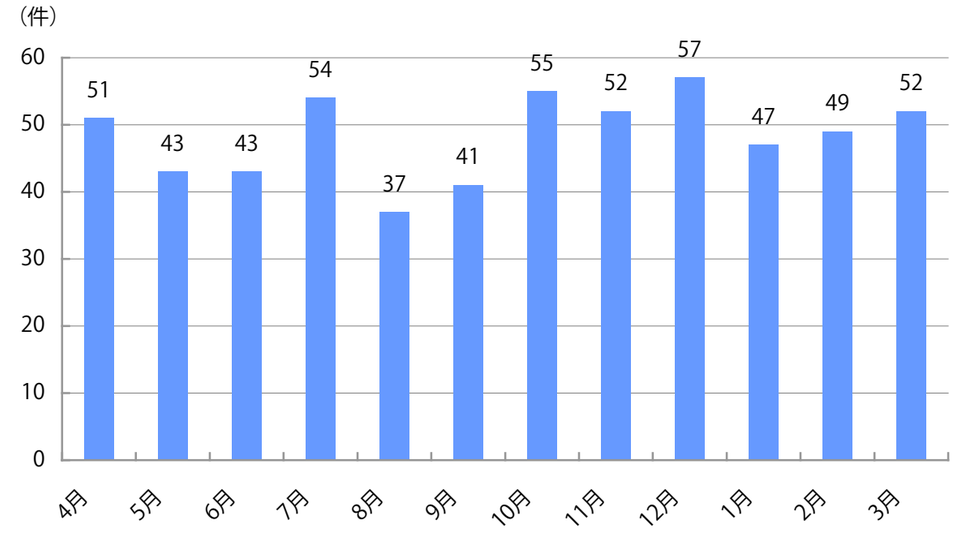
病床利用数　47.1 床

新規入院患者数　52.8 名

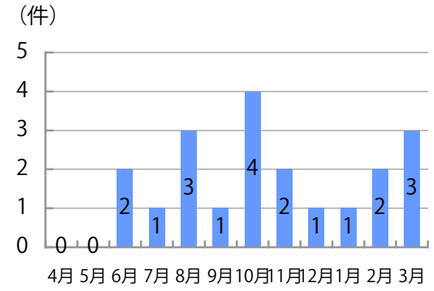
在院日数　25.8 日

業務実績

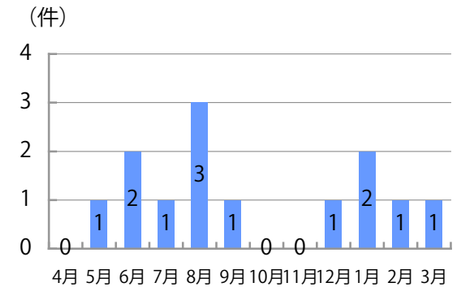
化学療法件数



移植件数



バンクドナー採取件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ポスター発表「モガムリズマブを受ける患者の知識・自己管理能力の向上を図る―パンフレットを作成して―」	第 35 回日本造血細胞移植学会総会	石川県	2012 年 3 月 9 日	平井智洋、親川あかね、下地久美子、城間菊乃、仲子佳織、比嘉　暢

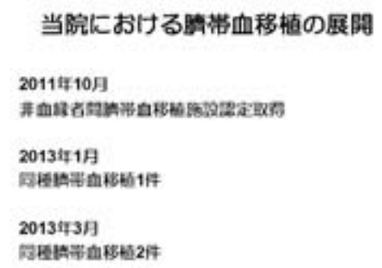
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
がん化学療法勉強会		当院	2012 年 5 月 14 日	下地奈帆、城間菊乃、玉城裕美、比嘉常美、本郷朋美
がん化学療法勉強会		当院	2012 年 5 月 15 日	會田愛美、大山絢子、神山紋子、平良ゆかり、本間陽子、水野美千子、宮里瀬菜、嘉川夕菜
臓器移植における基礎知識と看護実践	公益社団法人日本看護協会	東京都	2012 年 5 月 16 日～18 日	比嘉　暢
助手研修①	看護部	当院	2012 年 5 月 18 日	山城小百合、宮城幸子、城間鈴奈
感染対策講習会＜標準予防策＞		当院	2012 年 5 月 24 日	會田愛美、松本香奈子
基礎から学ぶ造血細胞移植	中外製薬株式会社	当院	2012 年 5 月 30 日	森　富江、比嘉　暢、比嘉常美、下地久美子、仲子佳織、本郷朋美、平良ゆかり、泉淑子、神山紋子、吉田美幸
正しいポジショニング方法		当院	2012 年 5 月 31 日	會田愛美、泉　淑子、大田あずさ、諸喜田雅子、玉城裕美、仲松未来、比嘉常美、本郷朋美、宮里瀬菜
助手研修②	看護部	当院	2012 年 6 月 8 日	柴田　忍、嶺井あずみ
領域別研修 DM ①	看護部	当院	2012 年 6 月 9 日	本郷朋美、田中菜里子
領域別研修呼吸①	看護部	当院	2012 年 6 月 12 日	冨里康太、大田あずさ
H23 年度各科実績報告会 2 日目		当院	2012 年 6 月 13 日	比嘉　暢
領域別研修化療①	看護部	当院	2012 年 6 月 26 日	下地久美子、仲田ひろ子、水野美千子
3 ヶ月フォローアップ	看護部	当院	2012 年 6 月 29 日	會田愛美、宮里瀬菜
領域別研修呼吸②	看護部	当院	2012 年 7 月 10 日	大田あずさ、冨里康太
リフレッシュ研修	看護部	当院	2012 年 7 月 12 日	會田愛美、宮里瀬菜
領域別研修 DM ②	看護部	当院	2012 年 7 月 14 日	本郷朋美、田中菜里子
医療安全勉強会		当院	2012 年 7 月 18 日	神山紋子、鈴木育美、玉城裕美、仲田ひろ子、比嘉暢、本間陽子
医療安全勉強会		当院	2012 年 7 月 19 日	會田愛美、大山絢子、下地久美子、城間菊乃、宮里瀬菜
領域別研修化療②	看護部	当院	2012 年 7 月 24 日	下地久美子、水野美千子
院内講演会（感染）		当院	2012 年 8 月 8 日	北川千恵、仲田ひろ子、比嘉暢
大久保寛司さん講演会		当院	2012 年 8 月 10 日	仲田ひろ子
領域別研修 DM ①	看護部	当院	2012 年 8 月 11 日	泉　淑子、親川あかね
領域別研修呼吸中級①	看護部	当院	2012 年 8 月 14 日	大田あずさ、冨里康太
H23 年度各部署実績報告会 1 日目		当院	2012 年 8 月 14 日	仲田ひろ子、比嘉　暢、水野美千子
H23 年度各部署実績報告会 2 日目		当院	2012 年 8 月 15 日	大山絢子、親川あかね、北川千恵、下地久美子、城間菊乃、平良ゆかり、田中菜里子、仲子佳織、仲田ひろ子、仲松未来、比嘉暢、宮里瀬菜
2 年目研修	看護部	当院	2012 年 8 月 17 日	下地奈帆
領域別研修安全	看護部	当院	2012 年 8 月 23 日	諸喜田雅子
領域別研修化療③	看護部	当院	2012 年 8 月 28 日	下地久美子、仲田ひろ子
領域別研修呼吸中級②	看護部	当院	2012 年 9 月 11 日	大田あずさ、冨里康太
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ	看護部	当院	2012 年 9 月 21 日	會田愛美、宮里瀬菜
領域別研修化療④	看護部	当院	2012 年 9 月 25 日	下地久美子、仲田ひろ子、水野美千子
業務改善報告会兼院内研究発表会看護部予選会	看護部	当院	2012 年 9 月 28 日	親川あかね、下地久美子、城間菊乃、平良ゆかり、仲田ひろ子、比嘉　暢、平井智洋、森　富江
師長・主任合同研修会	看護部	当院	2012 年 10 月 2 日	森　富江、仲田ひろ子、比嘉暢
東日本大震災講演会（Dr. 久場）		当院	2012 年 10 月 5 日	會田愛美、泉　淑子、大山絢子、親川あかね、諸喜田雅子、平良ゆかり、田中菜里子、仲田ひろ子、比嘉常美、本郷朋美、宮里瀬菜
第 36 回日本造血細胞移植学会総会 Kick-off meeting	慶應義塾大学病院	宜野湾市	2012 年 10 月 5 日	比嘉　暢
骨髄バンク推進月間関連行事「血液の病気と造血細胞移植について」	沖縄県骨髄バンクを支援する会	宜野湾市	2012 年 10 月 6 日	森　富江、比嘉　暢、冨里康太
SCT カンファレンス	慶應義塾大学病院	宜野湾市	2012 年 10 月 6 日	森　富江、比嘉　暢、冨里康太
領域別研修呼吸上級①	看護部	当院	2012 年 10 月 9 日	冨里康太
プリセプター研修	看護部	当院	2012 年 10 月 12 日	比嘉　暢、鈴木育美、田中菜里子
領域別研修 DM ①	看護部	当院	2012 年 10 月 13 日	平良ゆかり、泉　淑子
がん化学療法勉強会パートⅡ		当院	2012 年 10 月 15 日	大山絢子、北川千恵、金城隆也、城間菊乃、友寄隆彦、仲田ひろ子、比嘉常美、本郷朋美、水野美千子、嘉川夕菜
がん化学療法勉強会パートⅡ		当院	2012 年 10 月 16 日	大田あずさ、諸喜田雅子、平良ゆかり、比嘉　暢、冨里康太、宮里瀬菜、吉田美幸
医療技術部院内研究発表会予選会		当院	2012 年 10 月 17 日	安里みゆき、田中菜里子、比嘉　暢
領域別研修化療⑤	看護部	当院	2012 年 10 月 23 日	下地久美子、仲田ひろ子、水野美千子
領域別研修感染	看護部	当院	2012 年 10 月 30 日	安里紀子、宮城杏子
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2012 年 11 月 1 日	仲田ひろ子
健康増進委員会講演会	健康増進委員会	当院	2012 年 11 月 6 日	平良ゆかり
医療安全講演会		当院	2012 年 11 月 7 日	友寄隆彦、仲田ひろ子、比嘉暢
第 19 回院内研究発表会		当院	2012 年 11 月 8 日	會田愛美、下地久美子、諸喜田雅子、城間菊乃、水野美千子、宮里瀬菜
領域別研修 DM ②	看護部	当院	2012 年 11 月 10 日	泉　淑子、平良ゆかり
学会認定・アフェレーシスナース講習会・筆記試験	一般社団法人日本輸血細胞治療学会	愛知県	2012 年 11 月 10 日～11 日	比嘉　暢
領域別研修呼吸上級②	看護部	当院	2012 年 11 月 13 日	冨里康太
多発性骨髄腫～診断から治療までの流れと看護のポイント～	中外製薬株式会社	当院	2012 年 11 月 14 日	森　富江、比嘉　暢、比嘉常美、下地久美子、池村智子、宮城杏子、大田あずさ、平良ゆかり、平井智洋、下地奈帆
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2012 年 11 月 15 日	仲田ひろ子
3 年目研修	看護部	当院	2012 年 11 月 16 日	本郷朋美、玉城裕美
領域別研修感染	看護部	当院	2012 年 11 月 20 日	宮城杏子
領域別研修安全	看護部	当院	2012 年 11 月 22 日	嘉川夕菜
第 2 回造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会	一般社団法人日本造血細胞移植学会	東京都	2012 年 11 月 23 日～25 日	比嘉　暢

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
領域別研修化療⑥	看護部	当院	2012 年 11 月 27 日	仲田ひろ子、下地久美子、水野美千子
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2012 年 11 月 29 日	仲田ひろ子
がん化学療法勉強会（院外講演）		当院	2012 年 11 月 30 日	會田愛美、安里紀子、大田あずさ、親川あかね、平良ゆかり、友寄隆彦、仲田ひろ子、西本悦子、比嘉常美、宮里瀬菜
講演会（新原豊教授）		当院	2012 年 12 月 6 日	親川あかね、諸喜田雅子、鈴木育美、友寄隆彦、仲田ひろ子、吉田美幸
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2012 年 12 月 20 日	仲田ひろ子
1 年目症例発表	看護部	当院	2013 年 1 月 18 日	田中菜里子、會田愛美、宮里瀬菜
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2013 年 1 月 18 日	仲田ひろ子
災害対策について		当院	2013 年 1 月 24 日	大田あずさ、吉田美香
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2013 年 1 月 24 日	仲田ひろ子
ER&ICU 勉強会		当院	2013 年 1 月 25 日	下地久美子、城間菊乃、西本悦子、比嘉常美、本郷朋美、吉田美香、吉田美幸
医療安全セミナー		当院	2013 年 1 月 26 日～27 日	諸喜田雅子、仲田ひろ子
いきいき講演会 / 医療とユーモア		当院	2013 年 1 月 29 日	比嘉　暢、吉田美香
ポテリジオ講習会	協和発酵キリン株式会社	宜野湾市	2013 年 2 月 1 日	比嘉　暢、城間菊乃、親川あかね、安里紀子、諸喜田雅子、嘉川夕菜
ATL シンポジウム	財団法人沖縄科学技術振興センター	那覇市	2013 年 2 月 3 日	鈴木育美、吉田美幸、冨里康太、金城隆也、友寄隆彦
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2013 年 2 月 7 日	仲田ひろ子
講演会（奥田弘美先生）		当院	2013 年 2 月 8 日	北川千恵、仲子佳織、比嘉　暢
機能評価・新制度報告会		当院	2013 年 2 月 14 日	比嘉暢、水野美千子、宮里瀬菜
2 年目症例発表	看護部	当院	2013 年 2 月 15 日	下地奈帆、比嘉　暢
講演会（清野佳紀先生）		当院	2013 年 2 月 15 日	比嘉　暢
第 27 回日本がん看護学会学術集会	日本がん看護学会	石川県	2013 年 2 月 16 日～17 日	仲田ひろ子
緩和ケア特論・緩和ケア特別演習	琉球大学保健学科	西原町	2013 年 2 月 21 日	仲田ひろ子
師長主任合同研修会	看護部	当院	2013 年 3 月 5 日	比嘉　暢、仲田ひろ子
在宅医療に関する講演会・研修会		当院	2013 年 3 月 7 日	仲田ひろ子、水野美千子
第 35 回日本造血細胞移植学会総会	一般社団法人日本造血細胞移植学会	石川県	2013 年 3 月 7 日～9 日	比嘉　暢、平井智洋、親川あかね
第 36 回日本造血細胞移植学会総会（沖縄）での企画検討会	慶応義塾大学病院	石川県	2013 年 3 月 8 日	比嘉　暢
1 年目フォローアップ	看護部	当院	2013 年 3 月 8 日	會田愛美、宮里瀬菜
メディカルサポートセミナー in 沖縄	メディカルサポートセミナー事務局	浦添市	2013 年 3 月 9 日	大田あずさ、嘉川夕菜
機能評価・新制度報告会（part2）		当院	2013 年 3 月 13 日	比嘉　暢
プリセプター研修	看護部	当院	2013 年 3 月 15 日	平井智洋、親川あかね
沖縄県がん化学療法看護勉強会	中外製薬株式会社	宜野湾市	2013 年 3 月 16 日	平井智洋、金城隆也、吉田美香、親川あかね、本郷朋美、安里みゆき、北川千恵、仲田ひろ子
がん対策推進講演会（沖縄県の現状と今後）		当院	2013 年 3 月 28 日	金城隆也、仲田ひろ子、比嘉暢

実績報告資料等



7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

7 階病棟師長　宮平　典子

職員数

総数 40 名

正看護師　32 名

准看護師　3 名　　看護助手　5 名

月平均入院患者状況

病床利用数　51.7 床

新規入院患者数　86.8 名

在院日数　16.2 日

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院初の VAC 療法	ウンドマネージメント学会	沖縄県	2012 年 5 月 25 日	新垣仕言、砂川友美、宮平典子、嘉数智子
高齢者へデブリードマン及び筋皮弁術を行い改善した症例	ウンドマネージメント学会	沖縄県	2012 年 5 月 25 日	宮城久美子、半嶺　梢、宮平典子、嘉数智子
コンチネスケアの見直し	TENA コンチネンスケア	沖縄県	2012 年 10 月 28 日	宮平典子
環境整備の基準作り	院内業務改善報告会	当院	2012 年 9 月 28 日	屋嘉比愛実・下地博一・安次嶺　徹

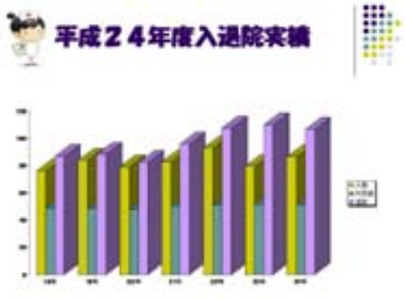
活動実績

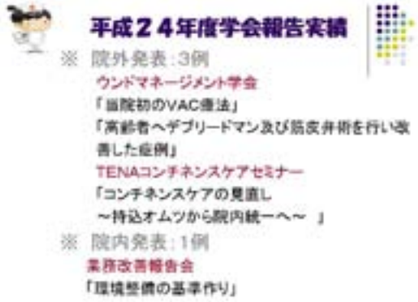
院内・院外研修実績

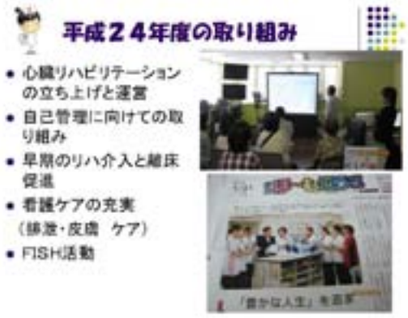
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエン	看護部	当院	2012 年 4 月 1 日～14 日	比嘉明日美、他 2 名
新入職者オリエン	看護部	当院	2012 年 4 月 4 日	岡田　仁、新垣仕言
新入職者オリエン	看護部	当院	2012 年 4 月 6 日	知念恵子、平良由紀子
助手研修	看護部	当院	2012 年 5 月 18 日	
緩和ケア研修会	ハートライフ病院	当院	2012 年 5 月 19 ～ 5 月 20 日	下地博一
フレッシュマン研修	看護協会	院外	2012 年 5 月 18 日	比嘉明日美、徳森唯菜、知念賀菜子
メンタルヘルス研修	衛生委員会	当院	2012 年 6 月 1 日	砂川友美、他 6 名
感染管理 I	看護協会	南風原町	2012 年 6 月 2 日	當銘亜里沙
看護必要度研修	看護協会	南風原町	2012 年 6 月 3 日	狩俣貴子
医療安全の動向と基礎知識	看護協会	南風原町	2012 年 6 月 8 日	森岡亜季美
助手研修	看護部	当院	2012 年 6 月 9 日	新垣絹子、新垣裕子、内間琴菜
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 6 月 9 日	當銘亜里沙、滝田千晶
ICU 研修	7 階・ICU	当院	2012 年 6 月 6 日～	安次嶺　徹
呼吸・循環ビギナー	沖縄呼吸療法学会	院外	2012 年 6 月 10 日	當銘亜里沙、宮城和子、知念賀菜子、奈良成明、比嘉明日美、徳森唯菜
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2012 年 6 月 12 日	砂川友美、東江幸枝、宮城久美子
中堅研修	看護部	当院	2012 年 6 月 15 日	森岡亜季美、宮城久美子
領域研修（感染）	看護部	当院	2012 年 6 月 19 日	真栄城克匡、奈良成明
領域研修（化療）	看護部	当院	2012 年 6 月 26 日	半嶺　梢、下地博一
3M フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 6 月 29 日	比嘉明日美、徳森唯菜、知念賀菜子、新垣仕言、宮平典子、半嶺　梢
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2012 年 7 月 10 日	砂川友美、東江幸枝、宮城久美子
ICU 研修	7 階・ICU	当院	2012 年 7 月 9 日～	平良由貴子
1年目リフレッシュ研修	看護部	当院	2012 年 7 月 12 日	比嘉明日美、徳森唯菜、知念賀菜子、新垣仕言
領域研修（糖尿病）	看護部	ハートライフクリニック	2012 年 7 月 14 日	當銘亜里沙、滝田千晶、知念恵子
領域研修（感染）	看護部	当院	2012 年 7 月 17 日	真栄城克匡、奈良成明
中堅研修	看護部	当院	2012 年 7 月 20 日	笹原　綾、桑田さやか
領域研修（化療）	看護部	当院	2012 年 7 月 23 日	半嶺　梢、下地博一
領域研修（安全）	看護部	当院	2012 年 7 月 26 日	丸山友望、奈良成明
ICU 研修	7 階・ICU	当院	2012 年 8 月 6 日～	屋嘉比愛実
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 8 月 11 日	宮城和子、奈良成明
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2012 年 8 月 14 日	砂川友美、東江幸枝、宮城久美子、岡田仁
2年目研修	看護部	当院	2012 年 8 月 17 日	當銘亜里沙
院内 BLS	QQ 検討委員会	当院	2012 年 8 月 18 日	岡田仁、安次嶺徹
領域研修（感染）	看護部	当院	2012 年 8 月 21 日	屋嘉比愛実、平良由貴子
リーダーシップ研修	看護協会	院外	2012 年 8 月 22 日	岡田　仁、知念恵子
領域研修（化療）	看護部	当院	2012 年 8 月 28 日	半嶺　梢、下地博一
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 9 月 8 日	知念恵子、奈良成明
緩和ケア研究会	ハートライフ病院	当院	2012 年 9 月 8 日	下地博一
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2012 年 9 月 11 日	砂川友美、東江幸枝、宮城久美子、岡田　仁
新人看護師 6 ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 9 月 21 日	比嘉明日美、徳森唯菜、知念賀菜子
領域研修（安全）	看護部	当院	2012 年 9 月 27 日	丸山友望、奈良成明
師長・主任合同研修	看護部	当院	2012 年 10 月 2 日	宮平典子、岡田　仁、知念恵子、半嶺梢
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2012 年 10 月 9 日	砂川友美、東江幸枝、宮城久美子、岡田　仁
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 10 月 9 日	知念恵子、新垣仕言
プリセプター研修	看護部	当院	2012 年 10 月 12 日	知念恵子、新垣仕言
領域研修（化療）	看護部	当院	2012 年 10 月 23 日	半嶺　梢、下地博一
領域研修（感染）	看護部	当院	2012 年 10 月 30 日	滝田千晶、渡口　純
領域研修（糖尿病）	看護部	当院	2012 年 11 月 10 日	知念恵子、渡口　純、新垣仕言
3年目フォローアップ研修	看護部	当院	2012 年 11 月 16 日	新垣仕言、滝田千晶
領域研修（感染）	看護部	当院	2012 年 11 月 20 日	滝田千晶、渡口　純
領域研修（安全）	看護部	当院	2012 年 11 月 22 日	奈良成明
領域研修（化療）	看護部	当院	2012 年 11 月 27 日	半嶺　梢、下地博一
プリセプター報告会	看護部	当院	2012 年 12 月 4 日	新垣仕言
領域研修（呼吸 / 初級）	看護部	当院	2012 年 12 月 11 日	下地博一、安次嶺　徹
1年目症例報告会研修	看護部	当院	2013 年 1 月 18 日	比嘉明日美、徳森唯菜、知念賀菜子
領域研修（呼吸）	看護部	当院	2013 年 1 月 15 日	砂川友美、東江幸枝、宮城久美子、岡田　仁
領域研修（感染）	看護部	当院	2013 年 1 月 22 日	新垣仕言、當銘亜里沙
領域研修（安全）	看護部	当院	2013 年 1 月 24 日	奈良成明、丸山友望
事例分析セミナー	医療安全管理室	当院	2013 年 1 月 26 日～27 日	宮平典子

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
２年目研修	看護部	当院	2013 年 2 月 15 日	當銘亜里沙
領域研修（感染）	看護部	当院	2013 年 2 月 19 日	新垣仕言、當銘亜里沙
領域研修（安全）	看護部	当院	2013 年 2 月 28 日	新垣仕言
沖縄リハビリテーション研究会	沖縄リハビリテーション研究会	院外	2013 年 3 月 2 日	伊佐友美　宮城久美子
師長・主任合同研修	看護部	当院	2013 年 3 月 5 日	宮平典子、岡田　仁、知念恵子、半嶺梢
１年目フォローアップ研修	看護部	当院	2013 年 3 月 8 日	比嘉明日美、徳森唯菜、知念賀菜子、新垣仕言
プリセプター研修	看護部	当院	2013 年 3 月 15 日	丸山友望、當銘亜里沙、若命彩子

実績報告資料等







看護部　年度総括

看護部長
西銘　宣子

平成 24 年度は、「安全」「人材育成」「チームワーク」「きびきびと明るく学びあう職場風土」の 4 つを目標に掲げました。具体的な課題は 11 項目を掲げ、更にステップアップできるように全体で取り組みました。

4 月にクリニックの開院、8 月にクリニック内に念願の病児保育施設の開設、秋には満床を理由に救急車を断ることがないようにという主旨で 3 階新病棟が開設されました。4 床からスタートしてスタッフを徐々に揃え、年度末には 8 床のフル稼働に至っています。下半期の病床利用率アップにつながりました。

人材育成については、感染管理、慢性心不全看護の認定看護師が新たに誕生しており、平成 25 年度も救急看護、感染管理の認定研修に参加予定です。また、平成 24 年度に予定した 6 領域の院内認定研修も計画通り実施しました。認定看護師やエキスパートナースが指導者となり知識技術の向上が図れる体制作りを継続して進めていきます。

看護職の採用は、平成 24 年度新卒採用が 15 名でした。平成 25 年度採用の活動は、5 月から開始していますが、12 月までに 30 名余の新卒者の内定が決まるなど明るい兆しが見えてきました。

看護ケアの充実にも引き続き取り組み、今年は、排泄ケアの充実に力を入れ、これまでの患者さん持込のおむつから、病院で購入して提供（自費請求）する体制に変更しました。患者さんにとって良い製品であるとともに、ご家族にとって購入の負担を減らし、看護者にとってもおむつ交換の負担軽減につながっています。

スタッフの希望が大きかったユニフォームの変更も行いました。アクティブさが増したように感じます。

平成 25 年度も安全で質の高い看護の提供に努めます。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の６部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

活動実績

医療技術部勉強会

（データ作成　放射線科　仲座）

演題名	担当部署（座長）	発表年月日	発表者
各部署 5S の取り組みについて	栄養科：真栄城　ゆかり	2012 年 4 月 25 日	放射線科：宮城直哉
医療技術部予選会	リハビリテーション科：玉城義彦	2012 年 10 月 17 日	放射線科：程岡美貴
ハートライフクリニックについて	放射線科：石原　悟	2012 年 10 月 27 日	ハートライフクリニック：長嶺敦司

各部署概要・実績

放射線科

放射線科技師長　仲座　義富

今年度は、9 月からマンモグラフィ装置を 1 台増設し PACS へ移行、これにより放射線科のすべての画像がフィルムレスとなりました。また、マンモグラフィ装置が 2 台体制になった事により、外来や人間ドックでの待ち時間の短縮が図られ検査がスムーズに行えるようになりました。さらに、マンモグラフィ専用の高画質 5 メガモニターも装置と共に導入しており、作業の効率化や診断能向上などが見込まれます。平成 25 年度には 320 列 CT の導入を予定しており、撮影スピード・画質とも世界最高水準の高機能機器を導入し診断能向上に寄与していきたいと考えております。放射線技師の人員計画に関しては平成 25 年度の 5 月で定員が確保出来る見込みです。

職員数

総数

18 名

職種別

診療放射線技師　17 名

助手　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
宮城竜也	基準撮影認定員 胃がん検診専門技師
大城雅史	第 1 種放射線取扱主任者
新垣弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波麻利子	検診マンモグラフィ認定技師

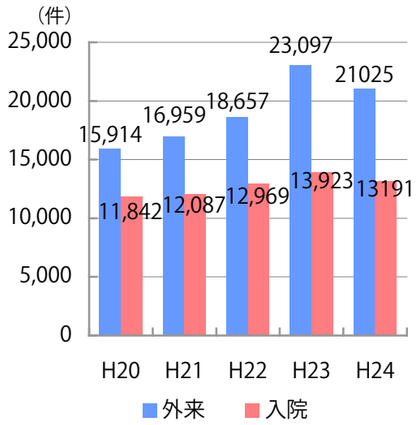
氏名	認定・資格名
新垣千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡美貴	検診マンモグラフィ認定技師
岸本伊智子	検診マンモグラフィ認定技師
出津利恵	検診マンモグラフィ認定技師

運営方針

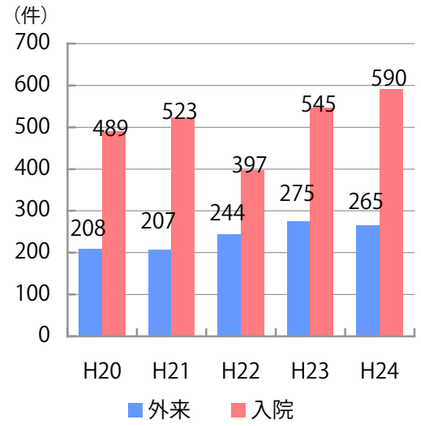
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

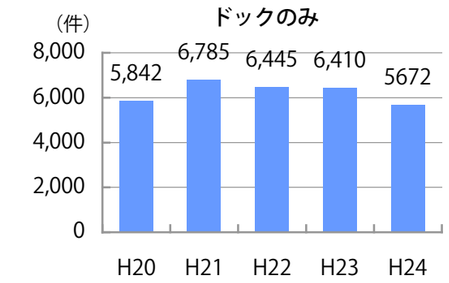
一般撮影



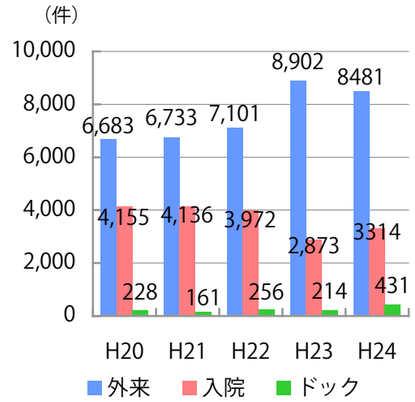
透視検査



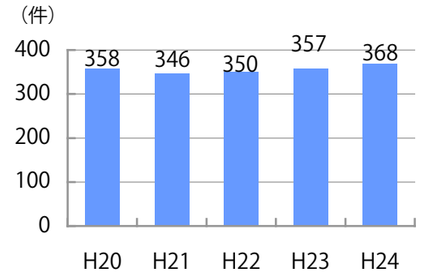
透視検査



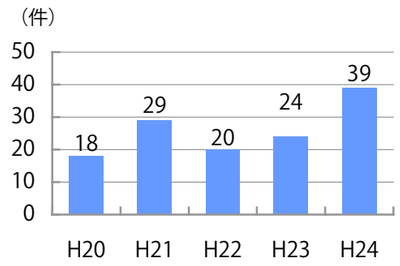
CT 検査



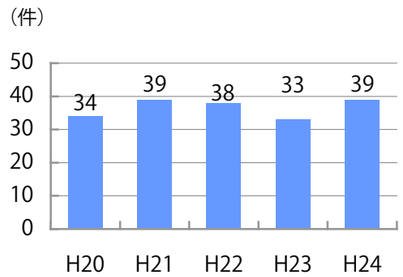
血管造影検査



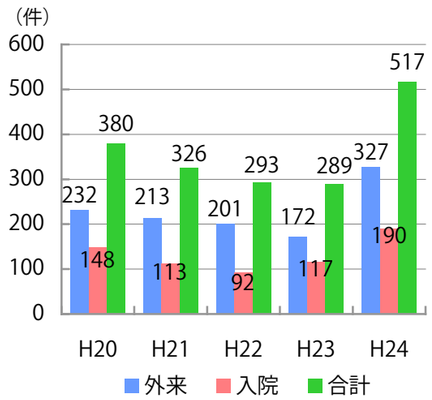
脳アンギオ



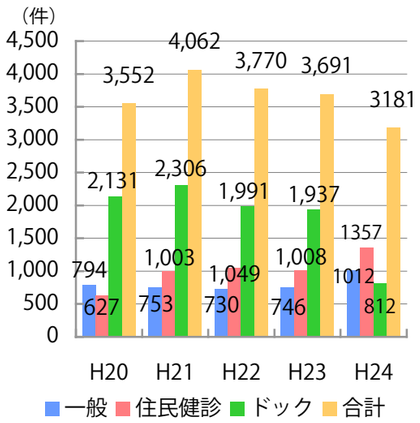
腹部アンギオ



RI 検査



マンモグラフィ検査



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
胃がん検診検診の精度向上について ～見逃し症例から学ぶこと～	沖縄県放射線技師会 学術研究発表大会	那覇市	2012 年 5 月 20 日	程岡美貴
当院における感染対策について	沖縄県放射線技師会 学術研究発表大会	那覇市	2012 年 5 月 20 日	新垣弘扇
フレッシャーズセミナー　「頭部 CT 検査の基礎」	沖縄県放射線技師会 学術研究発表大会	那覇市	2012 年 5 月 20 日	与古田　拡

活動実績

科内勉強会

演題名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
放射線科 5S の取り組み	当院	2012 年 4 月 21 日	宮城直哉
胃がん検診検診の精度向上について	当院	2012 年 5 月 18 日	程岡美貴、新垣弘扇
当院の CT 基準撮影法について	当院	2012 年 6 月 30 日	喜屋武結子
放射線科におけるインシデントと対策	当院	2012 年 7 月 18 日	石原　悟
H23 年度放射線科報告	当院	2012 年 8 月 14 日	大城盛寛
椎間板ヘルニアについて	当院	2012 年 9 月 26 日	大城雅史
CT 造影検査について	当院	2012 年 11 月 6 日	与古田　拡
胃について	当院	2012 年 11 月 28 日	新垣　千登勢
骨撮影について	当院	2012 年 12 月 7 日	出津利恵
結核を勉強しよう	当院	2012 年 12 月 7 日	神谷己代、宮城直哉
胃の前壁撮影法について	当院	2012 年 12 月 22 日	米須　勇
陥凹性病変について	当院	2013 年 3 月 28 日	新垣弘扇

実績報告資料

臨床検査科

臨床検査科技師長　神谷　乗敏

今年度は CPC も稼動し、県内で初めてとなる肝硬変治療を目的とした幹細胞移植事業がスタートしました。また、細菌検査室の設置が決まり、今後は迅速に細菌検査が出来るようになります。それに伴いスタッフの教育を他の医療機関で行う予定です。来年度は 2 台のエコー機器の購入も検討しており、それに伴い超音波検査専門技師の育成にも取り組んで参ります。その他認定技師の育成にも取り組みます。

職員数

総数

28 名

職種別

臨床検査技師	23 名	眼科助手（OMA）	1 名
衛生検査技師	1 名	検査助手	2 名
視能訓練士	1 名		

認定・資格

氏名	認定・資格名
比嘉一廣	細胞検査士 健康食品管理士
神谷乗敏	健康食品管理士
吉野仁高	細胞検査士
斎藤辰好	超音波検査士

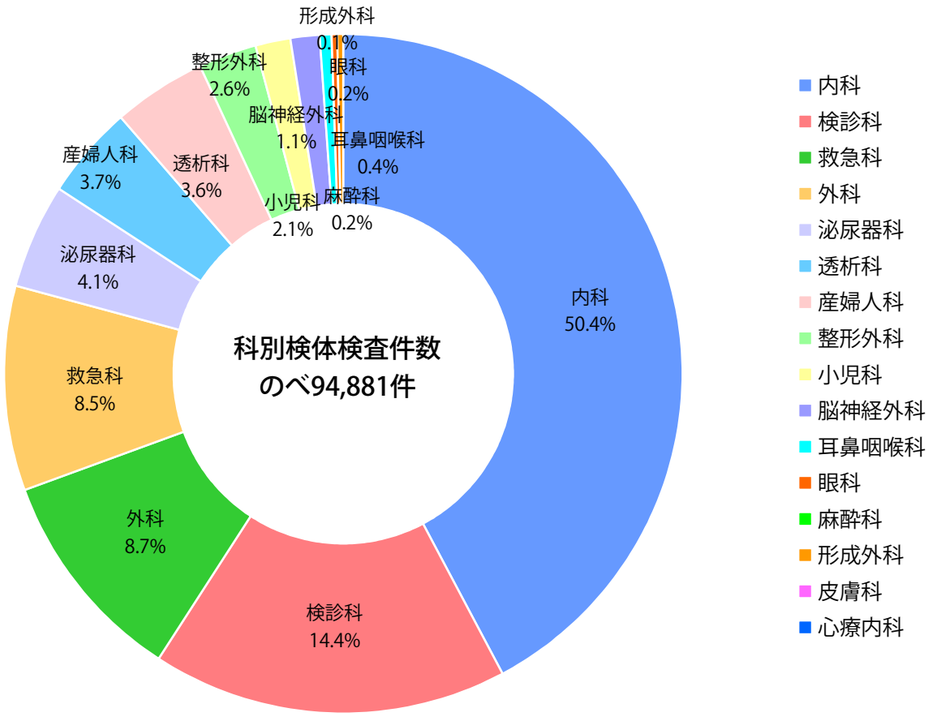
氏名	認定・資格名
島袋泰彦	超音波検査士
仲松勝彦	超音波検査士
照屋祥子	超音波検査士
安里奈美	超音波検査士
天願聖子	認定血液検査技師
津波克幸	細胞検査士

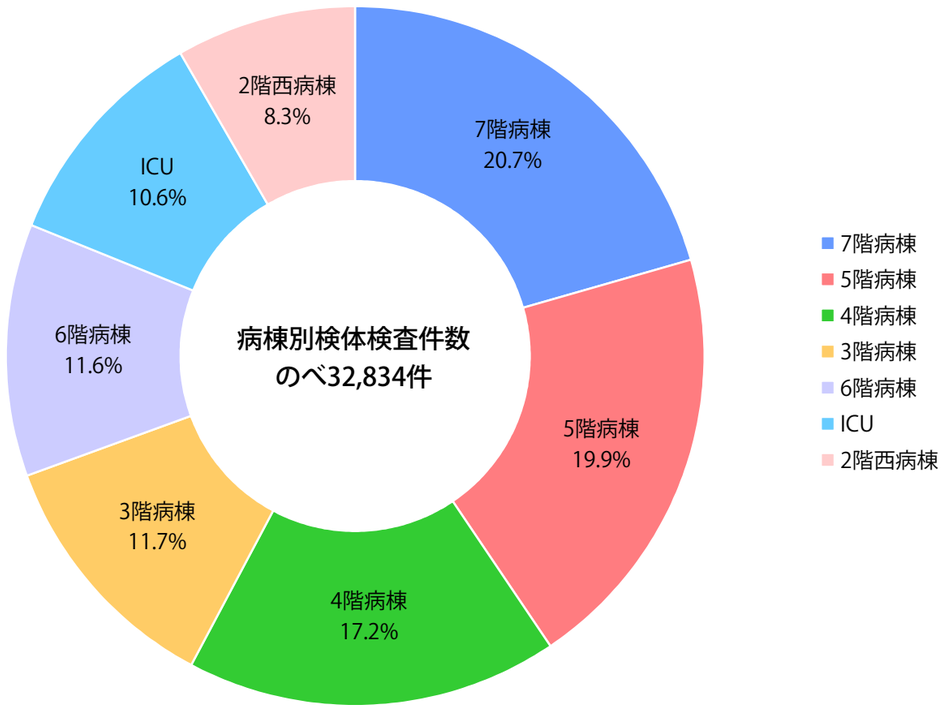
運営方針

臨床検査は①疾病の診断②治療方針決定③予後の判定にかかわる重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を目的とする。

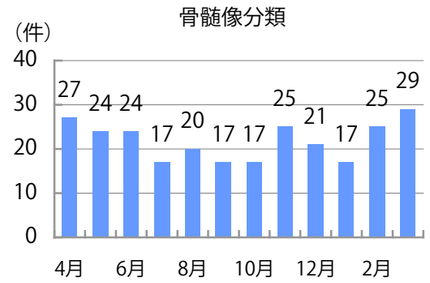
検査・治療実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
心電図	461	423	425	442	431	398	442	385	359	391	406	394	4,963
CVR-R-ECG	3	4	4	4	7	3	4	3	1	5	1	1	40
マスター心電図	19	17	18	12	19	19	12	15	26	20	18	8	203
トレッドミル負荷心電図	9	13	13	6	10	6	4	9	3	5	4	4	96
ホルター心電図	13	8	13	12	14	11	17	15	8	10	10	14	145
24 時間血圧測定	2	3	2	2	1	2	3		7	2	3	3	30
肺機能検査 2 項目	32	29	42	40	37	41	30	33	34	33	34	34	314
肺機能検査 4 項目	45	62	23	47	57	39	38	28	39	42	34	30	503
ABI 測定	22	21	23	20	27	16	26	32	23	15	18	29	272
サーモグラフィ	6	8	9	2	1	1	2	5	3	3	2	3	45
呼気中尿素試験	13	18	17	20	14	16	12	14	18	11	14	20	179
脳波検査	7	9	8	5	3	4	10	7	5	4	5	2	66
筋電図誘発筋電図	5	3	2	5	2	6	0	1	1	3	2	22	46
終夜睡眠ポリグラフィー	1	3	7	2	5	2	3	2	3	3	6	2	34
心肺運動負荷試験	0	10	7	15	12	5	14	6	10	10	4	0	93
心エコー	241	266	236	235	258	193	245	240	238	276	266	202	2,896
腹部エコー	395	465	496	493	473	424	483	434	414	418	410	497	5,365
泌尿器科エコー	117	118	115	130	115	106	122	96	109	105	96	110	1,344
表在エコー	127	155	161	185	192	182	214	214	179	164	161	155	2,089
血管エコー	78	80	89	54	65	68	77	69	75	96	67	93	911
胎児エコ -	24	33	27	23	33	20	37	32	29	25	31	30	344
経食道エコー	1	4	3	1	4	1	2	5	3	4	1	1	36
聴力検査	0	0	0	50	60	62	62	98	60	46	43	88	743
ティンパノメトリー	0	0	0	12	20	19	18	13	18	13	20	23	226
MRI	294	361	331	375	350	331	372	362	330	342	339	361	4,159
食道 PH モニター	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	7
経直腸エコー	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	4	10
ENOG	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
アブミ骨反射検査	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4

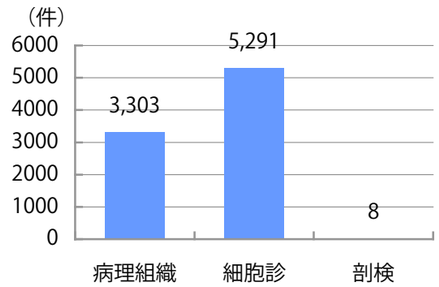




骨髄像分類



病理細胞診



研究業績

学会発表

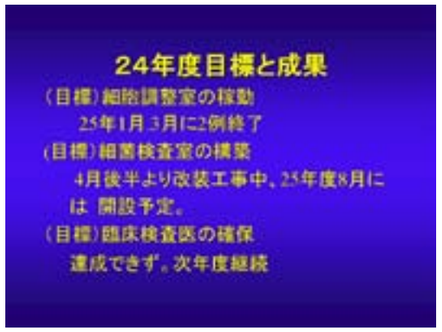
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
講師	第 9 回血液形態実技講習会（血液検査シニアコース	西原町	2012 年	天願聖子
沖縄県医師会臨床検査精度管理報告会発表　発表者、実務員	第 27 回沖縄県医師会臨床検査精度管理調査結果報告会	南風原町	2012 年 4 月 14 日	我如古靖（発表）、天願聖子（発表）、具志堅義則（実務員）
参加	第 1 回骨髄検査技師養成セミナー	東京都	2012 年 5 月 14 日～15 日	天願聖子
当院における血糖 POCT 機器スタットストリップ XP2 の基礎的検討　発表	第 49 回沖縄県医学検査学会	浦添市	2012 年 6 月 3 日	吉野仁高（発表）、仲里幸康、神谷乗敏
頸部 MRI における画像向上の試み脂肪抑制を中心に　発表	第 49 回沖縄県医学検査学会	浦添市	2012 年 6 月 3 日	島袋泰彦（発表）、我如古、山川、照屋
参加	第 11 回日本再生医療学会総会	神奈川県	2012 年 6 月 12 日～14 日	天願聖子
参加	第 12 回日本再生医療学会	神奈川県	2012 年 6 月 30 日～7 月 1 日	天願聖子
参加	第 40 回九州細胞診研修会	大分県	2012 年 7 月 28 日～29 日	津波克幸
参加	化学療法勉強会	中城村	2012 年 9 月 8 日～9 日	津波克幸
参加	細胞検査士養成講習会	那覇市	2012 年 9 月 15 日～17 日	津波克幸
県技師会新人宿泊研修　講師、実務員	第 4 回新人宿泊研修プログラム	宜野座村	2012 年 9 月 29 日	我如古靖（講師）、天願聖子（講師）、具志堅義則（実務員）
実務委員参加	臨床検査フェスタ 2012in 環境の杜ふれあい	南風原町	2012 年 10 月 20 日	新垣和史、吉野仁高、山川奈津子、我如古靖、天願聖子、具志堅義則 、仲里幸康、神谷乗敏、比嘉一廣
参加	日本検査血液学会第 13 回学術集会	大阪府	2012 年 11 月 9 日～10 日	天願聖子
細胞診定例会　発表（症例提示）	日本臨床細胞学会沖縄県支部定例会	中城村	2012 年 11 月 17 日	吉野仁高（発表）
陰嚢内に発生した分化型脂肪肉腫炎症型の 1 例　発表	第 51 回日本臨床細胞学会　秋季大会	新潟県	2012 年 11 月 21 日	吉野仁高（発表）、比嘉一廣、喜友名正也（中部徳洲会病院・病理診断科）
各種診療ガイドラインから見た尿検査の役割期待とそのポイント　参加	沖縄県臨床検査技師会一般検査分野	那覇市	2012 年 12 月 8 日	新垣和史、吉野仁高
院内糖尿病領域看護研修会　講師	看護部	中城村	2012 年 12 月 9 日	吉野仁高（講師）
日本臨床衛生検査技師会九州支部病理細胞研修会参加	日本臨床衛生検査技師会九州支部	熊本県	2013 年 1 月 13 日	吉野仁高
腹腔細胞診でみられた卵巣ブレンナー腫瘍の 1 例	第 33 回日本臨床細胞学会沖縄県支部学術集会	那覇市	2013 年 1 月 19 日	津波克幸（発表）、吉野仁高

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
参加	今後の尿沈渣の進め方「円柱のお話」	那覇市	2013 年 1 月 26 日、27 日	津波克幸、具志堅善則
細胞診定例会　参加	日本臨床細胞学会沖縄県支部定例会	中城村	2013 年 2 月 9 日	吉野仁高（発表）
沖縄県医師会臨床検査精度管理報告会発表　発表者、実務員	第 28 回沖縄県医師会臨床検査精度管理調査結果報告会	南風原町	2012 年 2 月 24 日	我如古靖（発表）、天願聖子（発表）、具志堅義則（実務員）
座長	第 47 回日臨技九州支部医学検査学会	宮崎県	2013 年 3 月 16 日	天願聖子
座長	第 10 回日本検査血液学会沖縄支部学術集会	那覇市	2013 年 3 月 24 日	天願聖子
実務委員参加	子宮頸がん啓発活動	那覇市	2013 年 3 月 21 日～23 日	津波克幸

論文・著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
子宮体部同所性癌肉腫の 1 例	第 49 回沖縄県医学検査学会誌	2012.6)1349-6980)Page89-93	吉野仁高、津波克幸、仲里幸康、神谷乗敏、比嘉一廣、大西勉、喜友名正也（中部徳洲会病院・病理診断科）、戸田隆義（琉球大学附属病院検査部）

実績報告資料等



臨床工学科

臨床工学科技士長　大城　安

今年度は血管造影での業務や医療機器管理等、積極的に取り組んで参りました。来年度は増加傾向にあるオペ室で使用する多くの機器の管理が可能なスタッフの育成に取り組む予定です。

平成 24 年度の人員計画に関しては、昨年度から取り組んだスタッフの確保について積極的に取り組んだ結果、徐々に成果を上げており、県外の学校へ PR 活動を行った結果 2 名の採用が決定しました。

職員数

総数

10 名

職種別

臨床工学士　10 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
大城　安	透析技術認定士 呼吸療法認定士 医療機器情報コミュニケータ（MDIC） 透析技能 2 級検定試験 医療ガス保安管理技術者 VELA 保守管理研修終了者 EVT-4 保守管理研修終了者 OT-707 保守管理研修終了者
野原　剛	透析技術認定士 呼吸療法認定士 第 2 種 ME 技術実力検定試験 ペースメーカ関連業務習得（セミナー第Ⅰ期） ペースメーカ関連業務習得（セミナー第Ⅱ期） VELA 保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4 保守管理研修終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守管理研修終了者 フットポンプ SC-D700 保守管理研修終了者
豊川真理	医療機器情報コミュニケータ（MDIC） 第 2 種 ME 技術実力検定試験 VELA 保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4 保守管理研修終了者 OT-707 保守管理研修終了者 TE-161S 保守管理研修終了者 TE-331S 保守管理研修終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守管理研修終了者 トップ TOP-6100 保守管理研修終了者 コンパクトドレーンユニット保守管理研修終了者 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者 フットポンプ SC-D700 保守管理研修終了者
弓濵義之	ペースメーカ関連業務習得（セミナー第Ⅰ期） ペースメーカ関連業務習得（セミナー第Ⅱ期） 第 2 種 ME 技術実力検定試験 ACLS VELA 保守管理研修終了者 OT-707 保守管理研修終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守管理研修終了者 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者 フットポンプ SC-D700 保守管理研修終了者
仲松晋也	第 1 種 ME 技術実力検定試験 / 臨床 ME 専門認定士 透析技術認定士 呼吸療法認定士 実習指導者講習会 透析液安全管理責任者 VELA 保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4 保守管理研修終了者 OT-707 保守管理研修終了者 トップ TOP-6100 保守管理研修終了者 コンパクトドレーンユニット保守管理研修終了者 電気メス（Force Triad）保守管理研修終了 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者 フットポンプ SC-D700 保守管理研修終了者
大濵明日香	第 2 種 ME 技術実力検定試験 OT-707 保守管理研修終了者 VELA 保守管理研修終了者 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者

氏名	認定・資格名
内里　司	呼吸療法認定士 VELA 保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4 保守管理研修終了者 OT-707 保守管理研修終了者 カンガルー 624 型ポンプ保守管理研修終了者 トップ TOP-6100 保守管理研修終了者 電気メス（Force Triad）保守管理研修終了者 フットポンプ SC-D700 保守管理研修終了者 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者
大濵健太	第 2 種 ME 技術実力検定試験 OT-707 保守管理研修終了者 トップ TOP-6100 保守管理研修終了者 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者

氏名	認定・資格名
宮城直史	第 2 種 ME 技術実力検定試験 EVT-4 保守管理研修終了者 OT-707 保守管理研修終了者 トップ TOP-6100 保守管理研修終了者 ニプロ個人用透析装置（NDF-21）保守管理研修終了者 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者
新川桂一朗	第 2 種 ME 技術実力検定試験 VELA 保守管理研修終了者 OT-707 保守管理研修終了者 トップ TOP-6100 保守管理研修終了者 日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修終了者

平成 24 年度技士取得ライセス

名称	開催地	実施年月日	参加者
電気メス (Force Triad）保守管理研修	主催 : 臨床工学科 主催 : 医療機器安全管理委員会 共催 :covidien	2012 年 4 月 12 日	仲松晋也、内里　司
ニプロ個人用透析装置（NDF-21）保守管理研修	主催 : ニプロ株式会社	2012 年 8 月 8 日 ~10 日	宮城直史
透析技術認定士	透析療法合同委員会	2012 年 10 月 1 日	大城　安
フットポンプ SC-D700 保守管理研修	主催 : 臨床工学科 主催 : 医療機器安全管理委員会 共催 :covidien	2012 年 12 月 20 日	野原剛、豊川真理、弓濵義之、仲松晋也、内里　司
日機装コンソール（DCS-27・28・73）保守管理研修	主催 : 臨床工学科 主催 : 医療機器安全管理委員会 共催 : 日器装	2013 年 1 月 19 日 ~20 日	豊川真理、弓濵義之、仲松晋也、大濵明日香、宮城直史、新川桂一郎

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に、他部門との連携を密にし高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

【ME 機器日常点検（始業・終業・使用中）】

人工呼吸器

始業点検 :227 件 / 年（前年度 221 件）

終業点検 :263 件 / 年（前年度 246 件）

使用中点検 :2,643 件 / 年

⇒ 1 日平均 8.5 台の人工呼吸器ラウンド点検

シリンジポンプ

1,126 台 / 年

⇒ 1 日平均 3.6 台

⇒ 1 月平均 93.8 台

輸液ポンプ

2,048 台 / 年

⇒ 1 日平均 6.7 台

⇒ 1 月平均 170.7 台

納品時点検

フットポンプ 13 台、シリンジポンプ 10 台、蘇生バッグ 43 台、輸液ポンプ 10 台、AED 11 台

【臨床支援業務】

レンタル対応（開始、返却）

NPPV（BIPAP VISION）:74 件 / 年

平均 6.1 件 / 月

在宅人工呼吸器 (ASV-CS など):76 件 / 年

平均 6.3 件 / 月

ラジオ波焼灼術　立ち会い

28 件（前年度 13 件）/ 年

その他中止 2 件

勉強会

108 件

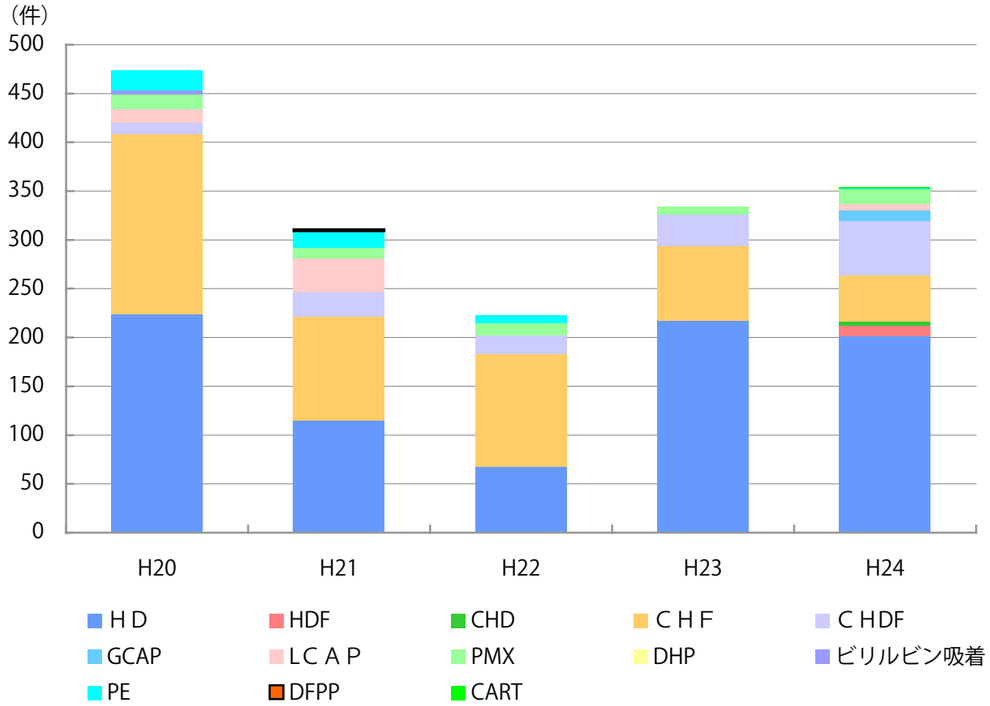
HOT 導入指導

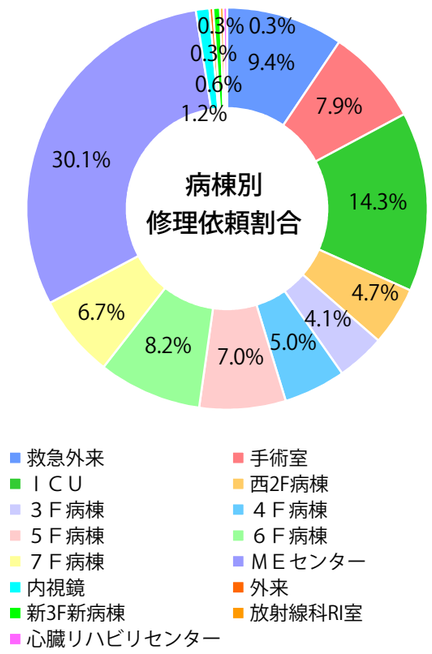
24 件（前年度 28 件）/ 年※指導、機械の手配、メーカへの退院の連絡までをトータルでサポート

心カテ・ＰＭ埋込症例数

ＣＡＧ・ＰＣＩ症例数													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CAG		15	10	15	15	8	21	19	16	13	9	9	9	159
PCI		11	6	5	13	2	8	6	12	6	11	7	10	97
緊急		3	1	2	2	4	1	5	6	3	4	1	5	37
IABP		0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	6
PCPS		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		29	18	23	31	14	31	30	36	22	24	17	24	299
ＰＭ埋込症例数														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
埋込	Med	2	2	2	4	1	0	0	0	2	0	1	1	15
	SJM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
対外式		1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0	6
小計		3	2	3	4	2	0	1	0	4	0	1	2	22

出張血液浄化実績



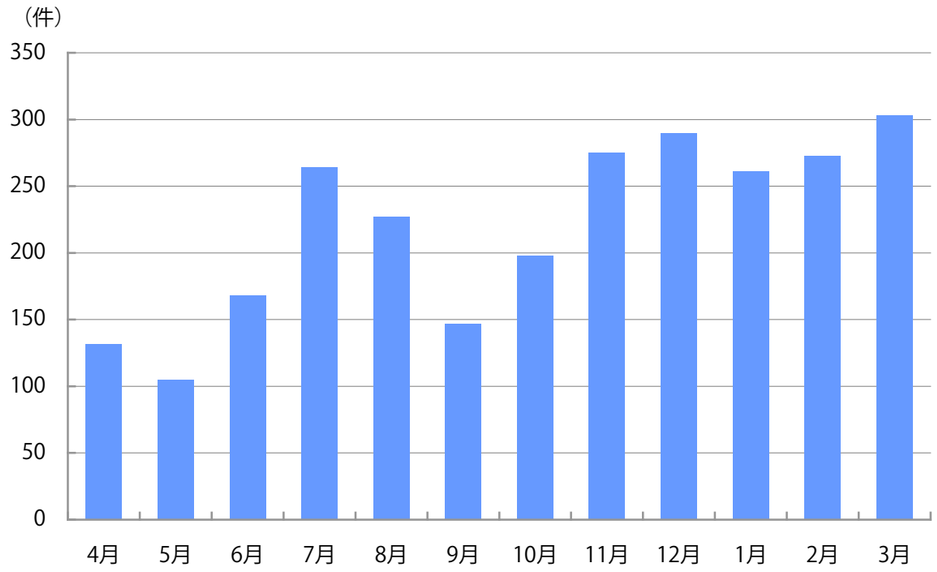


PM チェック症例数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院 PMC	PM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ICD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PMC		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	PM	12	15	18	15	16	11	15	15	15	14	16	15	177
	ICD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	12	15	18	15	16	11	15	15	15	14	16	15	177
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
IVCF		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
PPI		0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1	6
その他		0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
小計		0	0	2	0	1	1	2	0	1	1	2	1	11

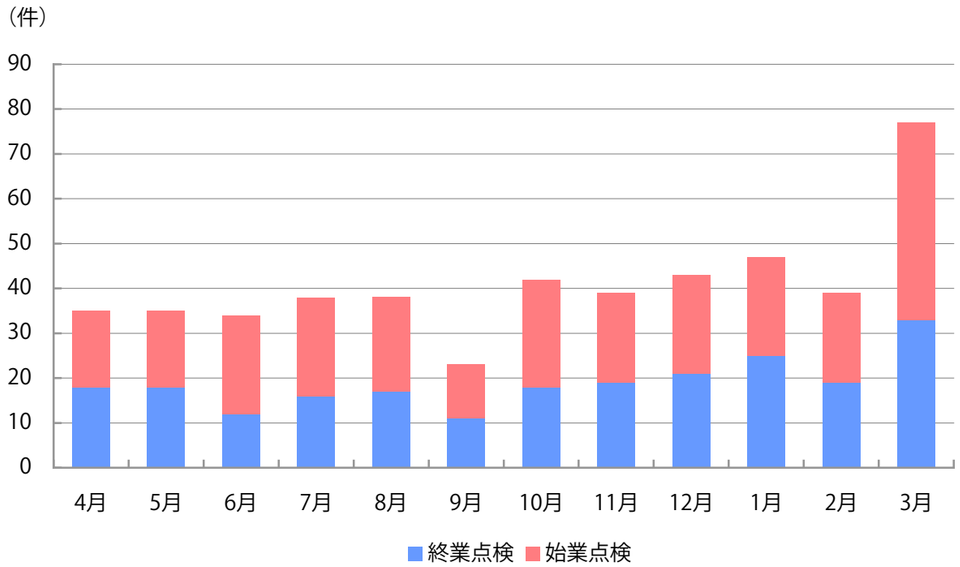
人工呼吸器ラウンド点検件数（全 2,643 件）

1 月平均 220 台の人工呼吸器ラウンド点検の実績



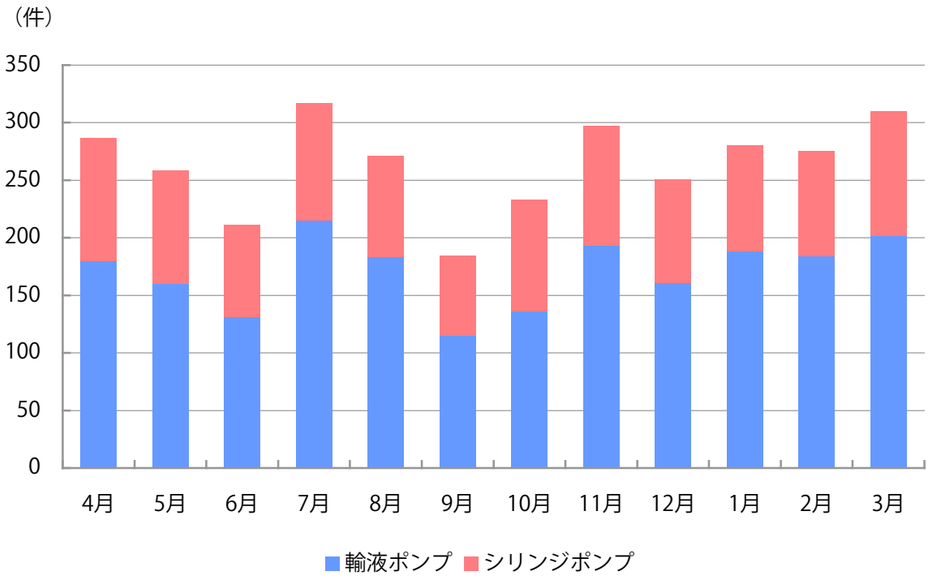
人工呼吸器日常点検（全 490 件）

1 月平均 40.8 台の終業・始業点検の実績



ポンプ日常点検（全 3174 件）

1 月平均 264 台の終業点検の実績



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
血小板数減少症例に対する PMX-DHP 施行中の出血性合併症の検討	第 23 回日本急性血液浄化学会学術集会	埼玉県	2012 年 10 月 27 日 ～ 28 日	仲松晋也、野原剛、大城　安、久場良也
循環器関連検査患者データベースのアップグレードと運用	第 7 回九州臨床工学会	那覇市	2012 年 10 月 13 日 ～ 14 日	弓濵義之、宮城直史、野原剛、大城　安
当院の外来透析患者における体成分測定機器 (inbody) の使用に関する検討	第 18 回院内研究発表会	当院	2012 年 11 月 8 日	新川桂一朗、仲松晋也
透析システムトラブル時対応の取組み ~ フューチャーネット Web+ 運用 ~	第 45 回九州人工透析研究会総会	宮崎県	2012 年 12 月 2 日	大城　安、豊川真理、野原　剛
心臓カテーテル検査業務への介入 ~ カテーテル検査室立ち上げから現在までの軌跡 ~	鎌倉 livedemonstration2012	神奈川県	2012 年 12 月 8 日 ～ 9 日	弓濵義之、宮城直史、野原　剛、大城　安
当院血液浄化部の医療安全の取り組み	第 8 回沖縄県透析医会学術講演会	宜野湾市	2013 年 2 月 9 日	大城　安
講師「医療用機器の原理と実際上」	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校	うるま市	2013 年 2 月 18 日	大城　安
講師「医療用機器の原理と実際下」	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校	うるま市	2013 年 2 月 25 日	大城　安
透析患者における体成分測定機器 inBody430 と inBodyS10 の比較	第 31 回沖縄県人工透析研究会	宜野湾市	2013 年 3 月 17 日	新川桂一朗、宮城直史、内里司、弓濵義之、仲松晋也、豊川真理、野原　剛、大城　安

活動実績

院内研修講義実績

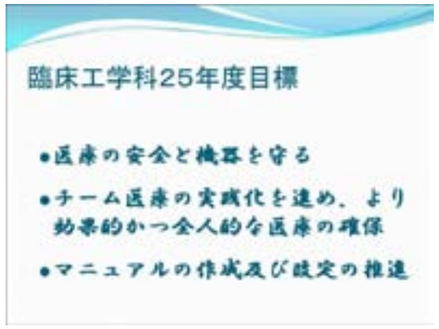
テーマ	開催場所	実施年月日	主催・共催
新人研修（心電計、モニタ）	2 階講堂	2012 年 4 月 6 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
整形マイクロ OME-700 バランス調整方法	手術室	2012 年 4 月 9 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
新人研修（シリンジポンプ、輸液ポンプ、モニタ）	2 階講堂	2012 年 4 月 11 日	主催 : 看護部　　共催 :CE 科 共催 : 医療機器安全管理委員会
心電計使用方法説明	手術室	2012 年 4 月 25 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器管理の基礎知識	院内（2 階講堂）	2012 年 6 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
看護部領域研修 主任会（人工呼吸器の基礎）	院内（2 階講堂）	2012 年 6 月 12 日	主催 : 看護部　　共催 :CE 科 共催 : 医療機器安全管理委員会
AED（FR3pro）取扱い説明会	透析室	2012 年 6 月 20 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	6 階病棟	2012 年 6 月 20 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	透析室	2012 年 6 月 20 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	医局	2012 年 6 月 25 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	ICU	2012 年 6 月 25 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
ネーザルハイフロー、VISION での使用方法	ICU	2012 年 6 月 25 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	OR	2012 年 6 月 25 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科

テーマ	開催場所	実施年月日	主催・共催
AED（FR3pro）取扱い説明会	5 階病棟	2012 年 6 月 27 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	栄養科	2012 年 6 月 27 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	栄養科	2012 年 6 月 28 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	ICU	2012 年 6 月 28 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	リハビリ室	2012 年 6 月 29 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	2 階講堂	2012 年 6 月 29 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	薬局	2012 年 7 月 2 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	内視鏡センター	2012 年 7 月 2 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	医事課	2012 年 7 月 4 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	検査科	2012 年 7 月 4 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	3 階病棟	2012 年 7 月 5 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	MSC	2012 年 7 月 6 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	6 階病棟	2012 年 7 月 7 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	ICU	2012 年 7 月 9 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	7 階病棟	2012 年 7 月 9 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	放射線科	2012 年 7 月 10 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
看護部領域研修 主任会（人工呼吸器使用方法）	院内（2 階講堂）	2012 年 7 月 10 日	主催 : 看護部　　共催 :CE 科 共催 : 医療機器安全管理委員会
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	ICU	2012 年 7 月 10 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	西 2 階病棟	2012 年 7 月 11 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	一般外来	2012 年 7 月 11 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	看護部	2012 年 7 月 11 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	救急外来	2012 年 7 月 11 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	4 階病棟	2012 年 7 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	3 階病棟	2012 年 7 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	6 階病棟	2012 年 7 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
人工呼吸器加湿器　自動給水説明	4 階病棟	2012 年 7 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科

テーマ	開催場所	実施年月日	主催・共催
AED（FR3pro）取扱い説明会	4 階病棟	2012 年 7 月 13 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
AED（FR3pro）取扱い説明会	4 階病棟	2012 年 7 月 18 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
リスクマネ - ジメント勉強会	院内（2 階講堂）	2012 年 7 月 18 日～19 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
IVH 用カフティポンプ操作説明会	5 階病棟	2012 年 8 月 30 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
看護部領域研修 主任会（蘇生バッグ点検方法勉強会）	第 2 会議室	2012 年 9 月 5 日	主催 : 看護部　　共催 :CE 科 共催 : 医療機器安全管理委員会
蘇生バッグ点検方法勉強会	3 階病棟	2012 年 9 月 10 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
BIPAP　VISION 使用方法勉強会	4 階病棟	2012 年 9 月 28 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
経腸栄養ポンプ操作説明	6 階病棟	2012 年 11 月 7 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
モニター誘導について（オムロン）、モニタ設定方法	内視鏡センター	2012 年 11 月 10 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
エビタ 4 の使用方法	4 階病棟	2012 年 11 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
エビタ 4 の使用方法	4 階病棟	2012 年 11 月 15 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
オートセット CS（ASV）管理方法	4 階病棟	2012 年 11 月 21 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
ASV-CS 取扱説明	4 階病棟	2012 年 11 月 29 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
ドリップアイ（NE-1）の使用方法	西 2 階病棟	2012 年 12 月 14 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
新規導入シリンジポンプ取扱い説明会（テルモ TE-351）	西 2 階病棟	2012 年 12 月 14 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
バッグバルブマスク点検方法勉強会	MSC	2012 年 12 月 17 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
新規導入シリンジポンプ取扱い説明会（テルモ TE-351）	内視鏡センター	2012 年 12 月 17 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
IVH 用カフティポンプ操作説明会	5 階病棟	2012 年 8 月 30 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
看護部領域研修 主任会（蘇生バッグ点検方法勉強会）	第 2 会議室	2012 年 9 月 5 日	主催 : 看護部　　共催 :CE 科 共催 : 医療機器安全管理委員会
蘇生バッグ点検方法勉強会	3 階病棟	2012 年 9 月 10 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
BIPAP　VISION 使用方法勉強会	4 階病棟	2012 年 9 月 28 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
経腸栄養ポンプ操作説明	6 階病棟	2012 年 11 月 7 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
モニター誘導について（オムロン）、モニタ設定方法	内視鏡センター	2012 年 11 月 10 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
エビタ 4 の使用方法	4 階病棟	2012 年 11 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
エビタ 4 の使用方法	4 階病棟	2012 年 11 月 15 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
オートセット CS（ASV）管理方法	4 階病棟	2012 年 11 月 21 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科

テーマ	開催場所	実施年月日	主催・共催
ASV-CS 取扱説明	4 階病棟	2012 年 11 月 29 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
ドリップアイ（NE-1）の使用方法	西 2 階病棟	2012 年 12 月 14 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
新規導入シリンジポンプ取扱い説明会（テルモ TE-351）	西 2 階病棟	2012 年 12 月 14 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
バッグバルブマスク点検方法勉強会	MSC	2012 年 12 月 17 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
新規導入シリンジポンプ取扱い説明会（テルモ TE-351）	内視鏡センター	2012 年 12 月 17 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
圧トランスディューザ（エドワーズフィリップス MP30）変更説明会（モニタ DS-7110 設定方法）	5 階病棟	2013 年 2 月 7 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
オートセット CS 観察方法説明	5 階病棟	2013 年 2 月 12 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
オートセット CS 使用方法説明	6 階病棟	2013 年 2 月 13 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
バッグバルブマスク点検方法勉強会	ハートライフクリニック	2013 年 2 月 15 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科
フットポンプ（SCD700）の使用方法新規導入のため	ICU	2013 年 3 月 21 日	主 : 医療機器安全管理委員会 / 共 :CE 科

実績報告資料等



栄養科

栄養科科長　久場　徳子

今年度の栄養科は患者満足度を高めるためにアンケート調査を行い、患者さんの不満解消に取り組みました。野菜などを洗う水の水質の改善のために新しい機器を導入しましたが、20 年を経過して老朽化が進んでいる厨房設備も多く、来年度は段階的に更新する事を検討しております。また、災害時の食料の備蓄倉庫も新しく整備確保し、栄養相談室も環境の整った部屋に移動する予定です。
来年度も引き続き患者満足度向上に向けて、積極的に患者さんの声を聞き、より良い食事を提供していきたいと思います。

職員数

総数

29 名

職種別

管理栄養士　5 名
栄　養　士　1 名
調　理　師　9 名
調理補助　6 名
食器洗浄　7 名
事　　務　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士

氏名	認定・資格名
渡真利ゆりか	健康運動指導士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士

運営方針

・患者様のニーズに応える食事を提供します。
・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病の食事療法　―ハートライフクリニックにて―	看護部勉強会	西原町	2012 年 6 月 9 日、8 月 11 日、10 月 13 日	真栄城ゆかり
座長	糖尿病の治療・看護・指導の為の講習会	那覇市	2012 年 12 月 22 日	久場徳子
栄養科の 5S の取り組み	医療技術部勉強会	当院	2012 年 4 月 25 日	高屋美希
安心、安全な病院食の提供を目指して	院内研究発表会　医療技術部予選会	当院	2012 年 10 月 17 日	當間結子

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
安心、安全な病院食の提供を目指して	平成 24 年度　院内研究発表会	当院	2012 年 11 月 8 日	當間結子

論文・著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
食事療法（炭水化物）	沖縄 CDEJ News	2012 年 12 月　8号	真栄城ゆかり

活動実績

患者さんを招いての昼食会

名称	開催地	実施年月日	参加
クリスマスバイキング	ハートライフクリニックオハナ	平成 24 年 12 月	栄養科：當間結子、真栄城ゆかり、オハナスタッフ

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
糖尿病治療・看護・指導の為の講習会	浦添市	2012 年 6 月 2 日	久場徳子
うつ病の予防と対策	当院	2012 年 6 月 11 日	久場徳子、高屋美希
科別実績報告会	当院	2012 年 6 月 12 日	久場徳子、高屋美希
メンタルヘルス職場改善意識調査票活用法	当院	2012 年 6 月 18 日	久場徳子
学術講演会	那覇市	2012 年 6 月 29 日	渡真利ゆりか
沖縄県臨牀栄養懇話会	南風原町	2012 年 6 月 30 日	真栄城ゆかり、當間結子
ハートライフ病院 NST 勉強会	当院	2012 年 7 月 2 日	當間結子
各委員会実績報告会	当院	2012 年 7 月 10 日～11 日	久場徳子、高屋美希、當間結子
糖尿病治療・看護・指導の為の講習会	那覇市	2012 年 7 月 28 日	久場徳子、真栄城ゆかり、當間結子
沖縄 NST 研究会	南風原町	2012 年 7 月 28 日	久場徳子、當間結子、渡真利ゆりか、高屋美希
血液を介して感染するウイルス感染症	当院	2012 年 8 月 8 日	久場徳子
糖尿病透析予防指導セミナー	那覇市	2012 年 8 月 12 日	久場徳子、真栄城ゆかり渡真利ゆりか
各部署実績報告会	当院	2012 年 8 月 14 日～15 日	久場徳子、高屋美希、渡真利ゆりか
食中毒防止研修会	沖縄市	2012 年 8 月 17 日	花城清次
食中毒防止研修会	那覇市	2012 年 8 月 15 日	比嘉正英
肝不全治療研究会	那覇市	2012 年 9 月 13 日	渡真利ゆりか、當間結子、高屋美希、知念あゆみ
ハートライフ病院 NST 勉強会	当院	2012 年 9 月 14 日	當間結子
症例検討会	西原町	2012 年 9 月 14 日	久場徳子、真栄城ゆかり、當間結子
入院診療計画書・栄養管理計画書の作成の仕方	浦添市	2012 年 9 月 18 日	當間結子、高屋美希
糖尿病治療・看護・指導の為の講習会	那覇市	2012 年 12 月 22 日	久場徳子、真栄城ゆかり、當間結子
ハートライフ病院ＮＳＴ勉強会	当院	2013 年 1 月 17 日	當間結子
糖尿病チーム医療ワークショップ in 沖縄	宜野湾市	2013 年 2 月 3 日	久場徳子、當間結子
沖縄リハビリテーション栄養研究会	宜野湾市	2013 年 3 月 2 日	久場徳子
平成 24 年度栄養・健康づくり従事者研究会	那覇市	2013 年 3 月 5 日	久場徳子、高屋美希

研修名	開催地	実施年月日	参加
症例検討会	西原町	2013 年 3 月 8 日	久場徳子、真栄城ゆかり
ハートライフ病院ＮＳＴ勉強会	当院	2013 年 3 月 11 日	當間結子

科内研修会実績

名称	開催地	実施年月日	講師
家庭でできる食中毒対策	当院	2012 年 4 月	久場徳子
もやしについて	当院	2012 年 5 月	當間結子
病院食の食種形態	当院	2012 年 6 月	棚原佳世
夏こそ体を温める	当院	2012 年 7 月	高屋美希
塩麹について	当院	2012 年 8 月	當間結子
脂肪と代謝	当院	2012 年 10 月	久場徳子
インフルエンザの予防	当院	2012 年 11 月	知念あゆみ
ノロに呪われるな	当院	2012 年 12 月	高屋美希（感染委員）
食べ物と放射線	当院	2013 年 1 月	當間結子
インフルエンザについて	当院	2013 年 2 月	久場徳子

イベント参加

名称	開催地	発表年月日	参加者
糖尿病週間　―栄養相談　サンエー京塚にて―	浦添市	2012 年 10 月 27 日	真栄城ゆかり、當間結子
糖尿病サマーキャンプ　―栄養相談　玉城少年自然の家にて―	南城市	2012 年 8 月 2 日～3 日	當間結子

実績報告等

薬局

薬局長　伊藤　昌徳

薬剤師の採用状況に関しては、県外の大学へ足を運び当院の PR 活動を行っています。来年度も引き続き活動を続けて採用に向けて努力します。今後の人員計画に関しては、将来的に現在の 14 名体制から 23 名体制へ拡大し当直体制を確立させ、医師・看護師の業務の負担軽減を図ると共に薬局業務の更なるスキルアップに取り組みます。

平成 25 年度は院内 SPD システムを導入し院内在庫の軽減に取り組みます。また薬剤管理指導業務支援システムの再導入も検討しています。

職員数

総数

17 名

職種別

薬剤師　13 名

薬局助手　3 名

一般事務　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
伊藤昌徳	認定実務実習指導薬剤師 公認スポーツファーマシスト
義田育美	NST 専門療法士

氏名	認定・資格名
谷山美紗子	糖尿病療養指導士
魚住達也	糖尿病療養指導士

理念

私たちは心と心を結ぶ信頼される医療を目指します。

患者さんが喜ぶ医療を目指します。

運営方針

全ての入院患者さんの状況把握と関与

医薬品の適正使用

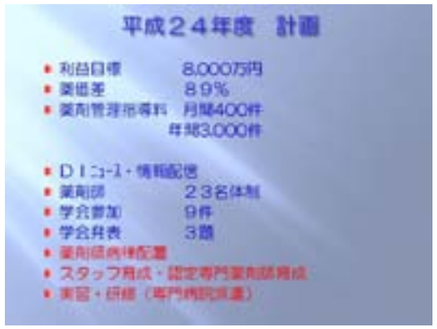
「より安全な薬物療法」と「より質の高い薬物療法」

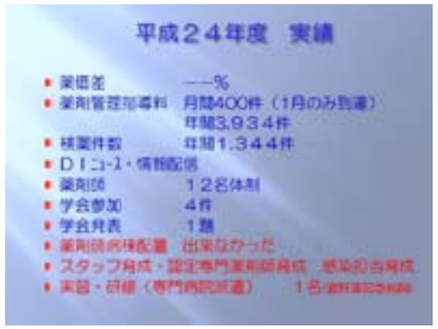
活動実績

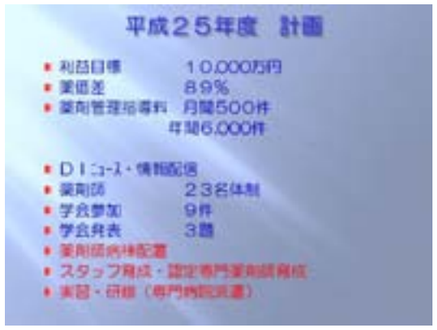
学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
座長	沖縄県がん疼痛治療・医療用麻薬研修会	当院	2012 年 5 月 7 日	伊藤昌徳
講師	沖縄県緩和ケア研修会２０１２	当院	2012 年 5 月 19 日	伊藤昌徳
講師	看護協会主催・癌エキスパートナース講習会	島尻郡	2012 年 5 月 26 日	伊藤昌徳
演者	宮崎コメディカル勉強会・糖尿病劇場	宮崎県	2012 年 6 月 23 日	魚住達也
演者	宮崎コメディカル勉強会・糖尿病劇場	宮崎県	2012 年 6 月 23 日	翁長寛人
講師	CANCER PAIN MANAGEMENT Forum in OKINAWA	那覇市	2012 年 6 月 28 日	伊藤昌徳
座長	第３回沖縄疼痛研究会	島尻郡	2012 年 9 月 28 日	伊藤昌徳
講師	スポーツファーマシスト講習会	那覇市	2012 年 12 月 16 日	伊藤昌徳
講師	スポーツファーマシスト講習会	那覇市	2013 年 1 月 27 日	伊藤昌徳
座長	漢方調剤セミナー	宜野湾市	2013 年 3 月 4 日	伊藤昌徳
座長	沖縄臨床栄養セミナー	那覇市	2013 年 3 月 16 日	伊藤昌徳

実績報告等







リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長　玉城　義彦

今年度は 7 階病棟に専用フロアを設置し心臓リハビリをスタートしました。医師・看護師・理学療法士をはじめとする専門スタッフで対応しています。

平成 25 年度は救急及び急性期リハビリの充実をはかり業務の拡充に向けて取り組みます。それに伴い、理学療法士 2 名・作業療法士 1 名・言語療法士 1 名の増員を計画し事業計画を含め人材確保に向けて取り組みます。

職員数

総数

20 名（育休職員 1 名・助手 1 名含む）

職種別

理学療法士　11 名

作業療法士　5 名（育休職員 1 名含む）

言語聴覚士　3 名

助手　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
玉城義彦	介護支援専門員
屋宜伸春	呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士
栄野比智也	がんのリハビリテーション研修終了
波平静香	呼吸療法認定士

氏名	認定・資格名
新垣　健	がんのリハビリテーション研修終了
玉栄優子	がんのリハビリテーション研修終了
大城盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
狩俣貴康	呼吸療法認定士
橋爪佳代	呼吸療法認定士

理念

患者さんの目標 (家庭復帰等) に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネージメントする。

運営方針

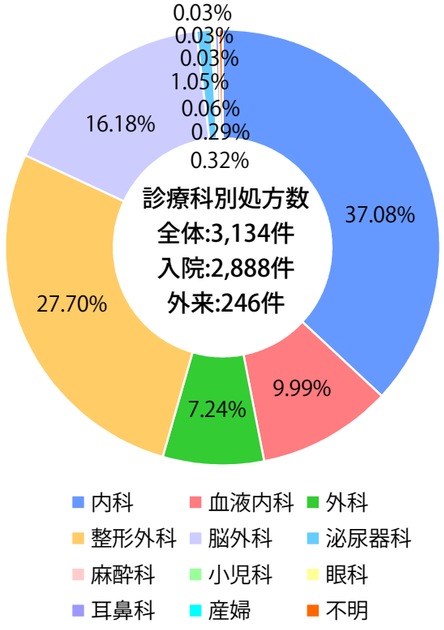
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

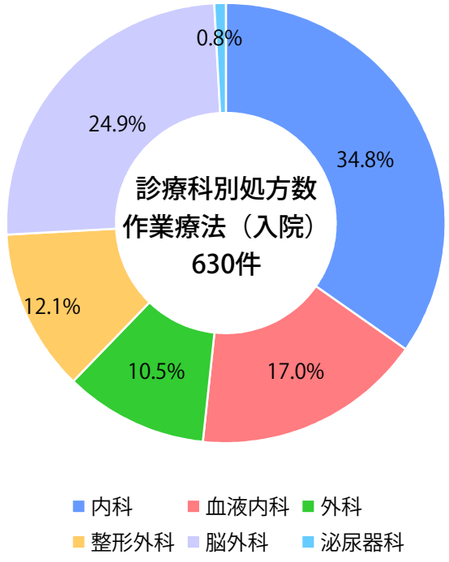
院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

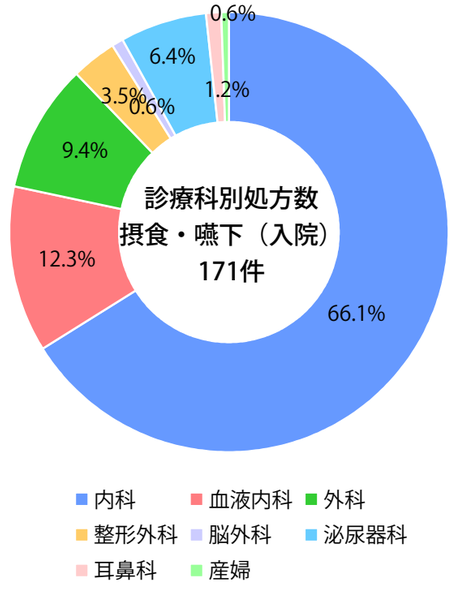
部及び個々の診療技術の向上を目指す

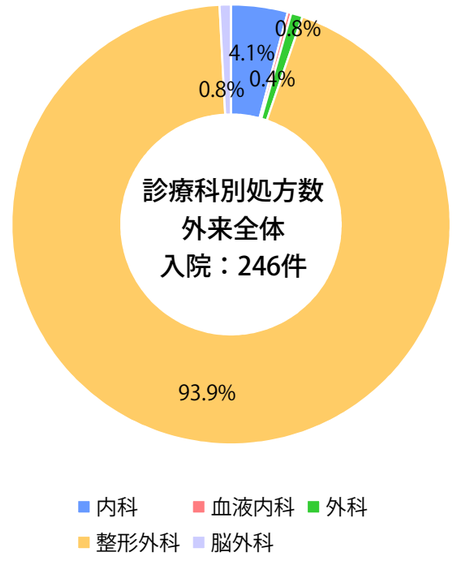
検査・治療実績

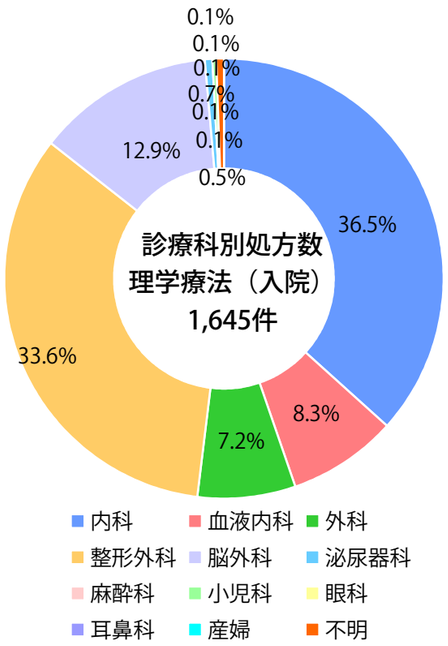
リハビリテーション処方状況

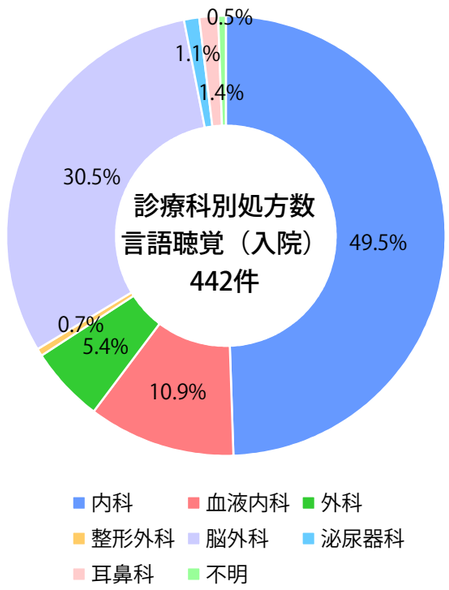




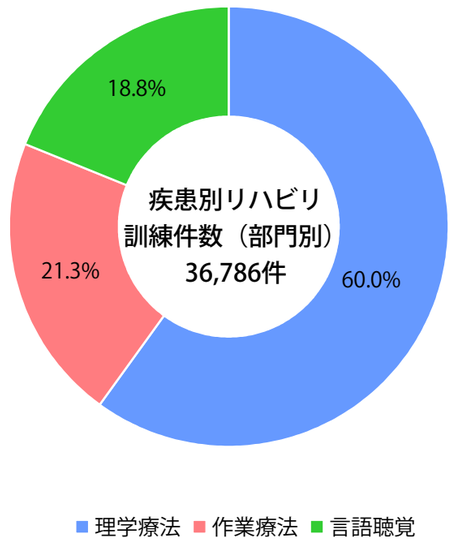


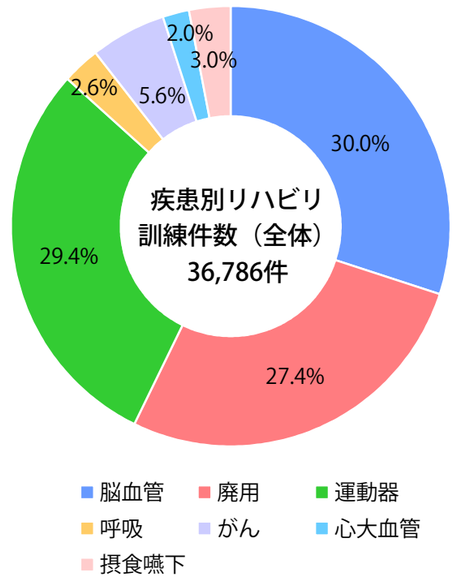


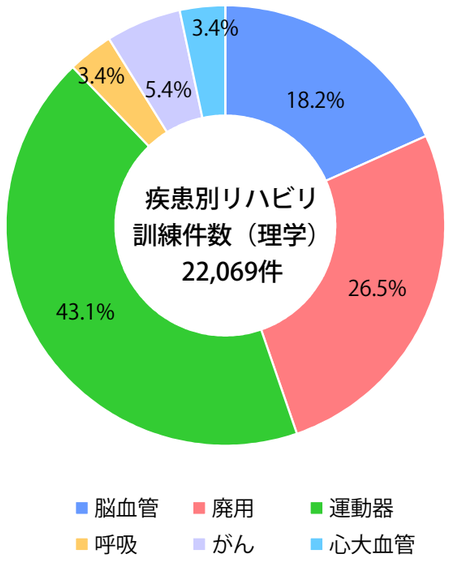


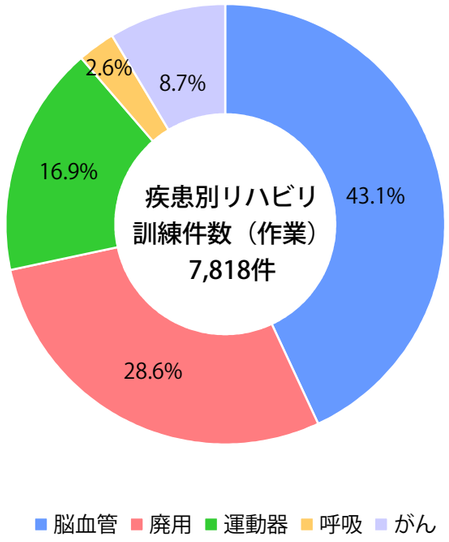


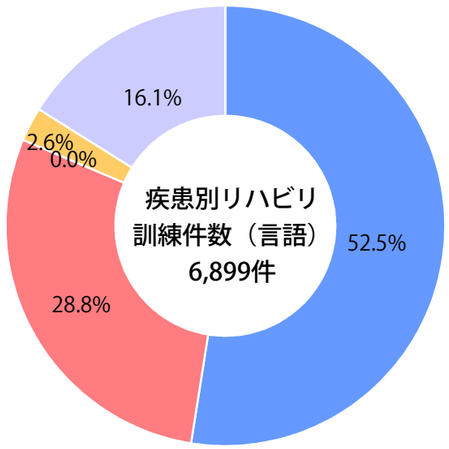
リハビリテーション実施状況



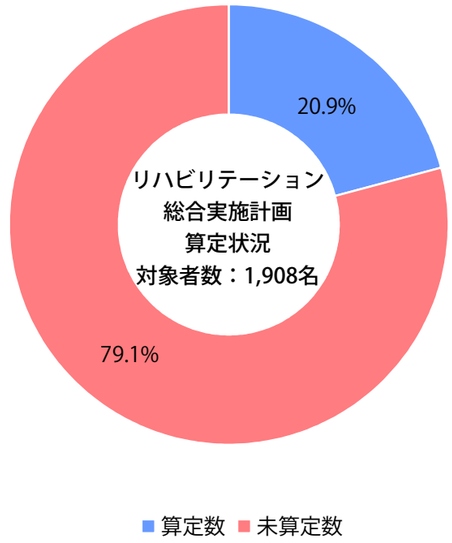








リハビリテーション総合実施計画



算定状況	
対象新患数	1,908
算定数	398
未算定数	1510
算定率	20.9%
未算定率	79.1%
算定点数	119,400
未算定点数	453,000

研究業績

学会発表

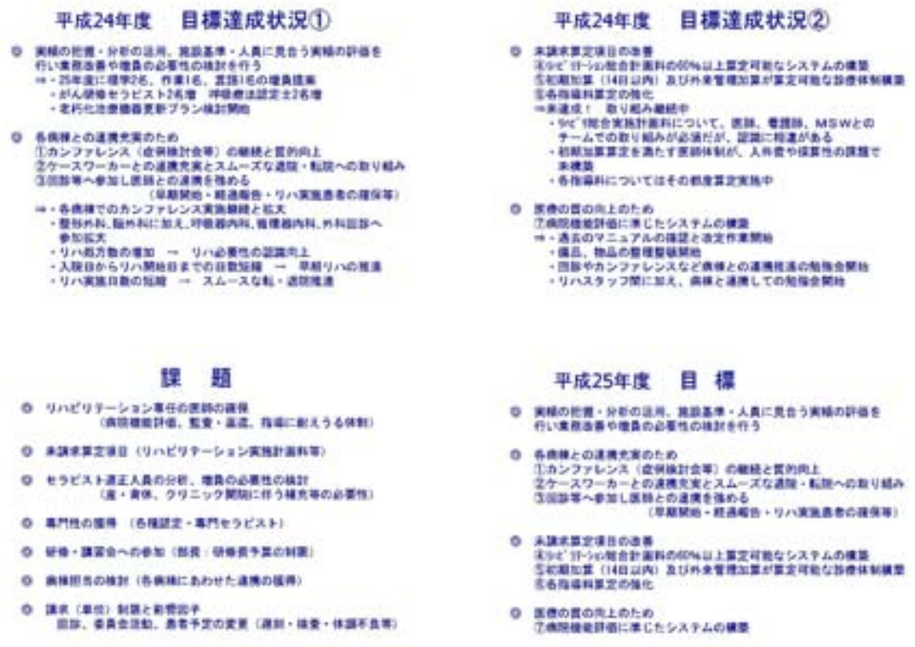
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
発表	院内研究大会医技部予選会	当院	2012 年 10 月 17 日	大城盛彦
参加	理学療法フェア 2012	北谷町	2012 年 7 月 8 日	玉城義彦、橋爪佳代
参加	県民健康フェア 2012	宜野湾市	2012 年 8 月 19 日	玉城義彦、橋爪佳代
参加	JICA 国際交流フェスタ 2012	浦添市	2012 年 11 月 10 日 ～ 11 日	玉城義彦
座長	沖縄県理学療法士学術大会	沖縄市	2012 年 11 月 23 日	玉城義彦
参加	石垣市健康福祉祭り	石垣市	2012 年 12 月 2 日	玉城義彦
座長	日本理学療法士協会九州ブロック研修会	那覇市	2012 年 12 月 9 日	玉城義彦

活動実績

新入職員向け講習実施

名称	開催地	発表年月日	発表者と研究者
平成 24 年度　看護部新入職者研修会　トランスファー	当院	2012 年 4 月 5 日	玉城義彦

実績報告資料等



平成24年度　目標達成状況①

◎ 実績の把握・分析の活用、施設基準・人員に見合う実績の評価を行い業務改善や増員の必要性の検討を行う
⇒・25年度に理学2名、作業1名、言語1名の増員提案
・がん研修セラピスト2名増　呼吸療法認定士2名増
・老朽化治療器更新プラン検討開始

◎ 各病棟との連携充実のため
①カンファレンス（症例検討会等）の継続と質的向上
②ケースワーカーとの連携充実とスムーズな退院・転院への取り組み
③回診等へ参加し医師との連携を強める
（早期開始・経過報告・リハ実施患者の確保等）
⇒・各病棟でのカンファレンス実施継続と拡大
・整形外科、脳外科に加え、呼吸器内科、循環器内科、外科回診へ参加拡大
・リハ処方数の増加　→　リハ必要性の認識向上
・入院日からリハ開始日までの日数短縮　→　早期リハの推進
・リハ実施日数の短縮　→　スムースな転・退院推進

平成24年度　目標達成状況②

◎ 未請求算定項目の改善
①ｼﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ総合計画料の60%以上算定可能なシステムの構築
②初期加算（14日以内）及び外来管理加算が算定可能な診療体制構築
③各指導料算定の強化
⇒未達成！　取り組み継続中
・ｼﾋﾞﾘ総合実施計画料について、医師、看護師、MSWとのチームでの取り組みが必須だが、認識に相違がある
・初期加算算定を満たす医師体制が、人件費や採算性の課題で未構築
・各指導料についてはその都度算定実施中

◎ 医療の質の向上のため
⑦病院機能評価に準じたシステムの構築
⇒・過去のマニュアルの確認と改定作業開始
・備品、物品の整理整頓開始
・回診やカンファレンスなど病棟との連携推進の勉強会開始
・リハスタッフ間に加え、病棟と連携しての勉強会開始

課　題

◎ リハビリテーション専任の医師の確保
（病院機能評価、監査・査定、指導に耐えうる体制）

◎ 未請求算定項目（リハビリテーション実施計画料等）

◎ セラピスト適正人員の分析、増員の必要性の検討
（産・育休、クリニック開院に伴う補充等の必要性）

◎ 専門性の獲得　（各種認定・専門セラピスト）

◎ 研修・講習会への参加（部長：研修費予算の制限）

◎ 病棟担当の検討（各病棟にあわせた連携の獲得）

◎ 請求（単位）制限と勤務調子
回診、委員会活動、患者予定の変更（遅刻・欠勤・休調不良等）

平成25年度　目　標

◎ 実績の把握・分析の活用、施設基準・人員に見合う実績の評価を行い業務改善や増員の必要性の検討を行う

◎ 各病棟との連携充実のため
①カンファレンス（症例検討会等）の継続と質的向上
②ケースワーカーとの連携充実とスムーズな退院・転院への取り組み
③回診等へ参加し医師との連携を強める
（早期開始・経過報告・リハ実施患者の確保等）

◎ 未請求算定項目の改善
①ｼﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ総合計画料の60%以上算定可能なシステムの構築
②初期加算（14日以内）及び外来管理加算が算定可能な診療体制構築
③各指導料算定の強化

◎ 医療の質の向上のため
⑦病院機能評価に準じたシステムの構築

医療技術部　年度総括

医療技術部部長
宮城　竜也

今年度は多くの医療職を育てる、あるいは興味を持ってもらえるように、医療職を目指す学生を抱える親を対象に講演会を行いました。各専門職になるまでの過程や学業の内容・業務の大まかな内容等を各セクションに講演してもらいました。評判は良く来年度も継続して行いたいと考えています。

今年度からは医療技術部サブリーダー会が発足し、月 1 回開催されている医療技術部委員会（所属長会）へ様々な提案を行って活動しており、院内勉強会のポスター作りやテーマの決定・運営を一任し開催しています。さらには院内の空きスペースを利用し写真を展示する活動にも参加しています。来年度もさらに拡大させ多くの場所に展示できるように協力していきます。また、今年度は一年目の看護学生を対象とした体験学習会を開催しました。薬局では擬似体験として抗がん剤の調合の実習、検査室では血液を顕微鏡で観察、放射線科では実際に目で放射線を見てもらうため測定器を使い放射線を測定、理学療法科では電気治療を体験、さらに作業療法の訓練を受けていただき普段体験できない事に触れていただきました。この体験学習は好評で今後も継続していきたいと考えております。

昨年から取り組んだスタッフの確保については、県外の学校へ PR 活動を行うなど積極的に取り組んだ結果、徐々に成果を上げています。平成 25 年度に予定している医療技術部全体での取り組みは、平成 24 年度と同様に年 3 回の勉強会の開催、看護学生の体験学習、県内外での学会発表、個人又は部署のスキルアップに取り組みます。また、病院事業への積極的な参加、人材確保や認定資格取得などの人材育成、院内研究発表会の企画運営、互助会の企画運営などにも積極的に取り組んで参ります。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理室師長　玉城　秀美

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者（リスクマネジャー）として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 22 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室　理念

1．心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2．医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室　運営方針

1．医療事故防止の為の安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2．医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3．安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化を醸成を促進する

職員数

総数

1 名

職種別

医療安全管理室　専従看護師　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
玉城　秀美	医療安全管理者認定

研究業績

学会発表

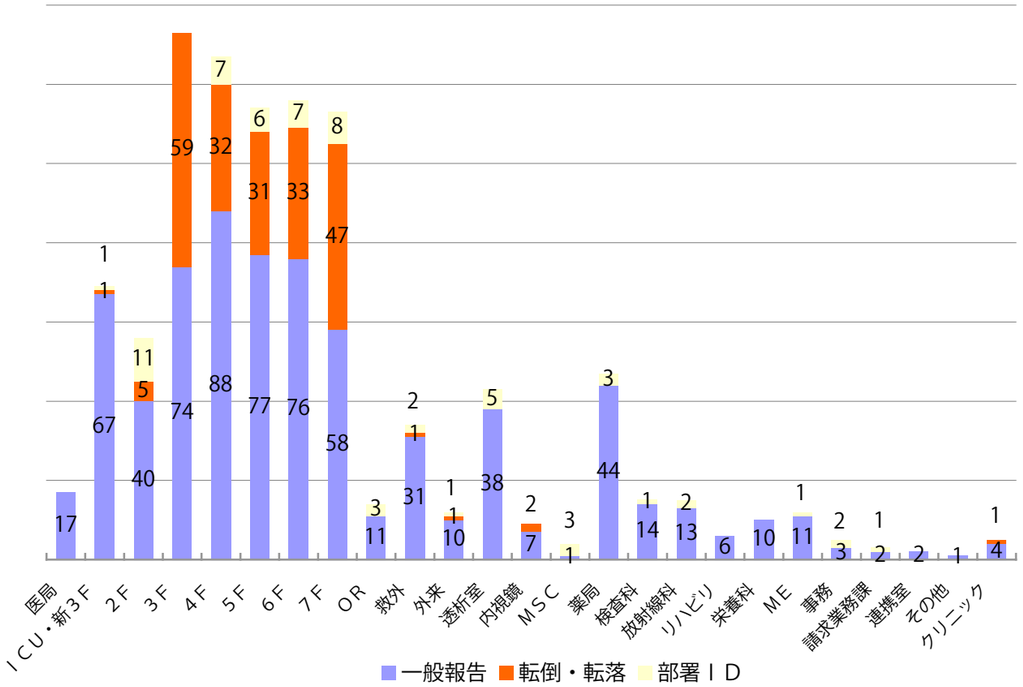
（データ作成　医療安全管理室　玉城）

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
医療安全管理者のネットワーク活動の意義 / ポスター発表	日本マネジメント学会	長崎県	2012 年 10 月 12 日・13 日	玉城秀美 他施設リスクマネジャー

活動実績

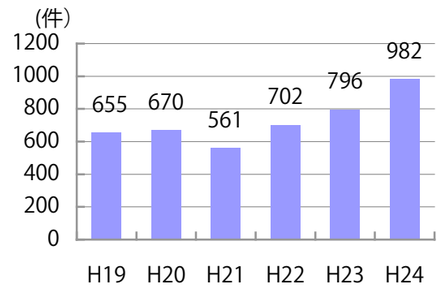
インシデント報告件数

ハートライフ病院では小さいインシデントでも発見者が報告しやすい環境を整え、患者さんへの影響を最小限に抑えるため、部署 ID での報告制度を導入しています。各部署へ振り分けた ID で報告する事により、当事者が分からない場合や影響レベルの低いケースなどでも、気付いた時点で誰でも早々の報告を行えるようになり、報告件数が増加し事故防止対策を図る事が可能となっています。



合計 982 件うち 67 件が部署 ID 件数

インシデント件数年次推移

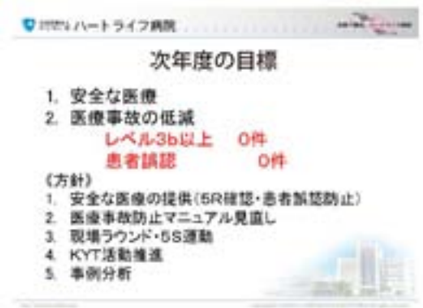


勉強会・講習会開催

（データ作成　医療安全管理室　玉城）

名称	開催地	年月日	演者
新入職者オリエンテーション	当院	2012 年 4 月 3 日	玉城秀美
研修医へオリエンテーション	当院	2012 年 4 月 4 日	玉城秀美
化学療法勉強会	当院	2012 年 5 月 14 ～ 15 日	玉城秀美
ストレスへの気付きとその対処法	当院	2012 年 6 月 1 日	玉城秀美
心の健康づくり計画について	当院	2012 年 6 月 18 日	玉城秀美
医療ガスの安全使用について	当院	2012 年 6 月 20 日	玉城秀美
医療安全勉強会	当院	2012 年 7 月 18 ～ 19 日	玉城秀美
医療安全領域研修①	当院	2012 年 7 月 26 日	玉城秀美
医療安全領域研修②	当院	2012 年 8 月 23 日	玉城秀美
ＳＳユーザー会	当院	2012 年 8 月 25 日	玉城秀美
医療安全領域研修③	当院	2012 年 9 月 27 日	玉城秀美
医療安全領域研修④	当院	2012 年 10 月 25 日	玉城秀美
医療安全管理者養成研修フォーローアップ研修	当院	2012 年 10 月 26 日	玉城秀美
医療安全領域研修⑤	当院	2012 年 11 月 22 日	玉城秀美
九州地区リスクマネジャー交流会	沖縄県	2012 年 12 月 1 日	玉城秀美
医療安全領域研修⑥	当院	2012 年 12 月 27 日	玉城秀美
医療安全領域研修⑦	当院	2013 年 1 月 24 日	玉城秀美
根本分析セミナー	当院	2013 年 1 月 26 ～ 27 日	玉城秀美
医療安全領域研修⑧	当院	2013 年 2 月 28 日	玉城秀美

実績報告資料等



医療安全管理室　年度総括

医療安全管理室
玉城　秀美

平成 24 年度は、医療安全強化と医療事故の低減を目標に医療安全委員会メンバーと共に安全活動を進めてきました。職員の安全に対する意識向上を目的とした医療安全勉強会を 7 月に 2 日間開催。委員会メンバーを中心に医療安全に関してはインシデント報告、放射線科に関しては放射線科における対策、事務部に関しては受け付け時における患者誤認防止、医療機器に関しては最近の医療過誤報道のまとめ、医薬品に関してはハイリスク薬と安全の内容で安全教育研修を実施しました。

今年度から週 1 回の患者サポートカンファレンスが運用され、また、参加する事で問題点が速やかに報告され早めの対応が出来る体制が整いました。

業務関連では、心肺蘇生・胃カメラ・大腸カメラに関する説明と、同意書の内容変更する事で患者さんやそのご家族へ理解しやすい環境を整えました。

そのほかにも院外の講師を招いて根本分析セミナーを 2 日間実施しました。セミナーで学んだ分析手法を元に事例の分析を増やしていきたいと考えており、委員会メンバーを中心に現場のスタッフへ根本分析手法の指導と、分析した内容をフィードバックできる体制を検討しています。

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室　石川　由希

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、平成 24 年度からは専従看護師 2 名（うち 1 名感染管理認定看護師）と事務員 1 名で活動しております。おもに、感染管理業務と委員会やラウンド等の運営をおこなっております。

感染対策委員会は呼吸器内科医を感染対策委員長とし、院長、医師、看護部長、事務部長、検査技師長、薬局長、師長など各部門の所属長と感染対策管理室のメンバーで構成され、月 1 回の会議を行っております。また、ICT（Infection Control Team）で週に 1 回の耐性菌・抗菌薬ラウンドと会議を行っており、月 1 回は環境ラウンド等を実施してます。コメディカル部門も含めた各部署より 1 ～ 2 名を選出し、月 1 回の感染対策小委員会を設置､感染対策に関する問題提起や感染対策の周知を行っております。また、職員教育や地域支援の一環として関連施設への勉強会等にも力を入れております。

感染管理対策室　理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

3 名

職種別

感染対策管理室　専従看護師　2 名

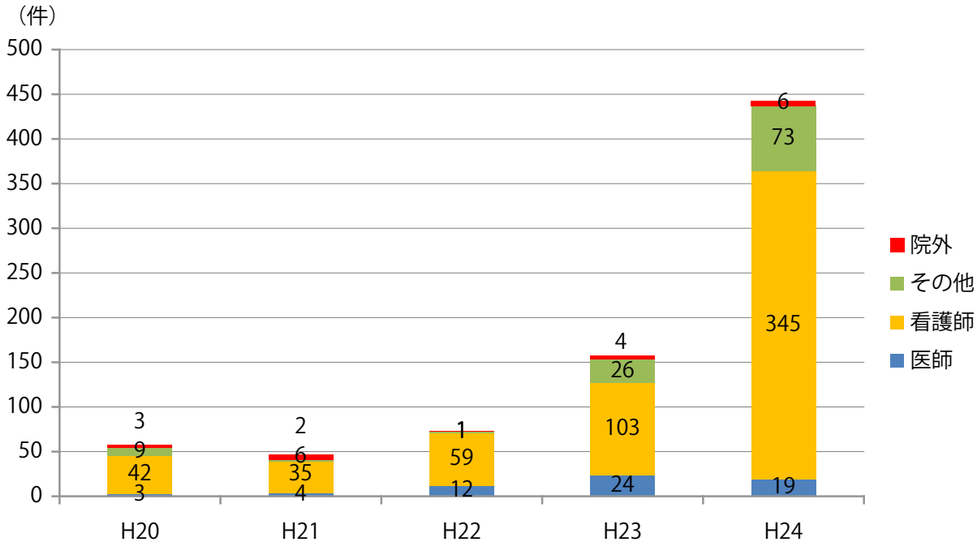
一般事務　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
石川由希	呼吸療法認定士 医療環境管理士
宮城美那	感染管理認定看護師

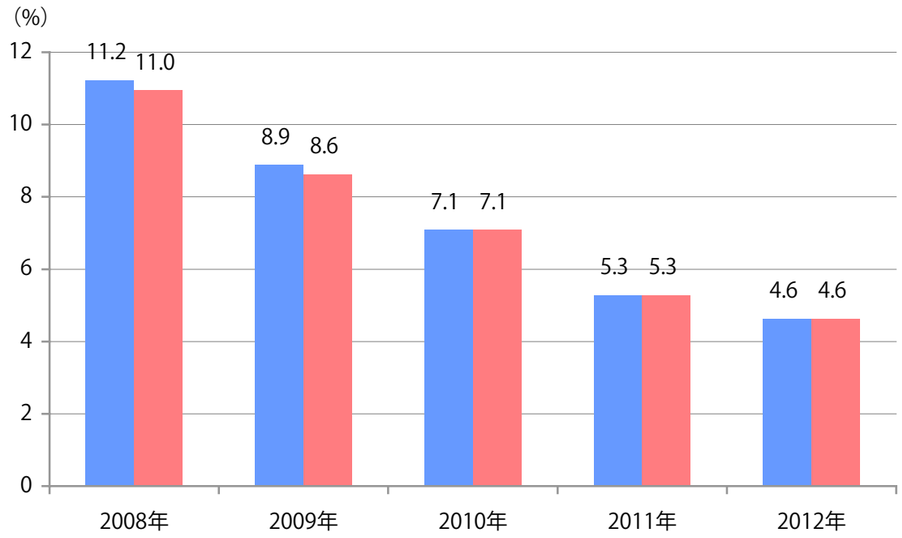
業務実績

コンサルト件数



MRSA 感染率

（JANIS　提出データ）



感染率（‰）＝（感染症患者数）÷（総入院患者数）× 1000

罹患率（‰）＝（新規感染症患者数）÷（総入院患者数－継続感染症患者数）× 1000

活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
同じ部署における二つの事例のノロウイルス感染症対策を振り返って	第１２回日本感染看護学会学術集会	大阪	2012 年 7 月 29 日	城間克也、石川由希
感染管理の施設に求められる基準と取り組み～実践報告～	第 28 回沖縄県看護研究学会	沖縄市	2012 年 12 月 22 日	宮城美那
電子カルテ導入に伴う、耐性菌スクリーニング検査運用変更の効果	第２８回日本環境感染学会	横浜	2013 年 3 月 1 日	石川由希、城間克也、宮城美那
病棟環境ラウンド方法変更過程での効果～相互チェックによるリンクナースの意識改善～	第２８回日本環境感染学会	横浜	2013 年 3 月 1 日	宮城美那、石川由希、城間克也
座長	第7回 CN ネットワークセミナー	沖縄県医師会	2013 年 2 月 2 日	石川由希

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策について	当院	2012 年 4 月 2 日	普天間光彦	新入職者全員
感染対策	当院	2012 年 4 月 3 日	石川由希、宮城美那	新入職（看護部）
血流感染・カテーテル管理	当院	2012 年 4 月 5 日	石川由希、宮城美那	新入職（看護部）
院内感染対策の実際	当院	2012 年 4 月 6 日	石川由希	研修医
感染管理について	当院	2012 年 4 月 27 日	石川由希	感染対策小委員会
標準予防策・手洗い	あさと大腸肛門クリニック	2012 年 5 月 17 日	石川由希	あさと大腸肛門クリニック職員
標準予防策・手洗い	当院	2012 年 5 月 18 日	石川由希、宮城美那	看護助手
標準予防策・手洗い講習	当院	2012 年 5 月 24 日	普天間光彦、宮城美那	全職員対象
洗浄・消毒・滅菌	当院	2012 年 6 月 8 日	宮城美那、石川由希	OR
標準予防策・手洗い	当院	2012 年 6 月 8 日	石川由希、宮城美那	看護助手
食中毒	ハートライフクリニック	2012 年 6 月 12 日	石川由希、宮城美那	クリニックカフェ職員
血流感染	当院	2012 年 6 月 19 日	宮城美那、石川由希	領域研修（看護師）
標準予防策	当院	2012 年 7 月 2 日	接触感染グループ	感染対策小委員会
血流感染・血液培養の採取方法	当院	2012 年 6 月 29 日	宮城美那、石川由希	3 か月フォローアップ
感染性胃腸炎	当院	2012 年 7 月 17 日	宮城美那、石川由希	領域研修（看護師）
PPE（個人防護具）	当院	2012 年 7 月 17 日	宮城美那、石川由希	5F 病棟
細菌学の基礎	当院	2012 年 7 月 27 日	森山武志	感染対策小委員会
知って得する　血液を介して起こるウイルス感染症	当院	2012 年 8 月 8 日	佐久川廣	全職員対象
血流感染	当院	2012 年 8 月 21 日	宮城美那	領域研修（看護師）
抗菌薬について	当院	2012 年 8 月 24 日	宮里武行	薬局
感染性胃腸炎	当院	2012 年 9 月 18 日	宮城美那	領域研修（看護師）
感染性胃腸炎	当院	2012 年 9 月 21 日	宮城美那	6 か月フォローアップ
血流感染	当院	2012 年 9 月 28 日	血流感染グループ	感染対策小委員会
インフルエンザ	いなほ会	2012 年 10 月 23 日	石川由希、宮城美那	いなほ会春華園、信成苑職員
血流感染	当院	2012 年 10 月 30 日	宮城美那	領域研修（看護師）
手洗い講習会	当院	2012 年 10 月 31 日	宮里武行	薬局
感染管理	当院	2012 年 11 月 6 日	石川由希	ぐしかわ看護専門学校
感染性胃腸炎	当院	2012 年 11 月 20 日	宮城美那	領域研修（看護師）
感染管理・感染管理認定看護師の道のりと役割	当院	2012 年 11 月 30 日	石川由希、宮城美那	沖縄看護専門学校
手洗い講習会	当院	2012 年 11 月 30 日	手洗いグループ	全職員対象
ガウンテクニック	当院	2012 年 12 月 3 日	石川由希	4 階病棟
感染性胃腸炎	当院	2012 年 12 月 6 日	宮城美那	5 階病棟

名称	開催地	年月日	演者	対象
感染性胃腸炎	当院	2012 年 12 月 11 ～ 12 日	石川由希	患者サービス
感染性胃腸炎	当院	2012 年 12 月 27 日	宮城美那	栄養科
結核の現状	当院	2013 年 1 月 16 日	普天間光彦	医局
感染性胃腸炎	当院	2013 年 1 月 22 日	宮城美那	領域研修（看護師）
インフルエンザ	当院	2013 年 1 月 25 日	石川由希	感染対策小委員会
血液培養の採取方法	当院	2013 年 2 月 13 ～ 3 月 15 日	宮城美那	各病棟
洗浄・消毒・滅菌	当院	2013 年 2 月 22 日	石川由希	感染対策小委員会
培養結果報告・手指衛生	当院	2013 年 2 月 25 ～ 27 日	石川由希	各病棟
職業感染・針刺し防止について	当院	2013 年 3 月 8 日	宮城美那	1 年目フォローアップ

勉強会参加実績

名称	開催地	年月日	主催	参加者
感染管理認定看護師課程修了者のための集中講座	東京	2012 年 4 月 14 日	NPO 法人 HAICS 研究会	宮城美那
ICN ネットワークセミナー	琉球大学	2012 年 5 月 11 日	沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	石川由希、宮城美那
2012 年第 1 回 EBIC セミナー in Okinawa 遠藤和郎先生記念セミナー 臨床的な抗菌薬感受性結果の読み方 あなたはその感受性 (S) を信じられるか？	宜野湾市	2012 年 5 月 19 日	NPO 法人 HAICS 研究会	石川由希
感染制御講習会第1クール	東京	2012 年 6 月 2 日～ 3 日	日本病院会	宮里武行、森山武志
感染管理シュミレーションを考える～1 人 1 人の力でみんなを守ろう～	琉球大学 シュミレーションｾﾝﾀｰ	2012 年 7 月 6 日	琉球大学 シュミレーションセンター	石川由希、宮城美那
ICN ネットワークセミナー	琉球大学	2012 年 7 月 20 日	沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	石川由希、宮城美那
第 4 回沖縄県インフェクションコントロール研修会	浦添市	2012 年 7 月 21 日	インフェクションコントロール研修会	石川由希、宮城美那
VPD s：Vaccome Preventable Diseases（ワクチンで予防できる病気）と院内感染対策」（東京都立小児総合医療センター感染症科：堀越　裕歩）	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	2012 年 8 月 17 日	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	石川由希、宮城美那
感染制御講習会第 2 クール	東京	2012 年 11 月 10 日 ～ 11 日	日本病院会	宮里武行、森山武志
感染管理研究会	那覇市	2012 年 11 月 17 日	沖縄県感染管理研究会	石川由希、宮城美那
院内スタッフの感染対策意識を高めよう - 効果的な院内研修を実施するために -	東京	2012 年 11 月 23 日	日本看護協会出版会	石川由希
マーケティング勉強会（モレーンコーポレーション草場恒樹）	琉球大学	2013 年 1 月 31 日	琉球大学	石川由希、宮城美那、城間克也
院内感染対策講習会	神戸	2013 年 1 月 28 日～ 29 日	厚生労働省	宮城美那、宮里武行
第 7 回］沖縄県 ICN ネットワークセミナー 針刺し切創・血液暴露への感染防止	沖縄県医師会	2013 年 2 月 22 日	沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	石川由希、宮城美那、城間克也
感染制御講習会第 3 クール	東京	2013 年 2 月 23 日 ～ 24 日	日本病院会	宮里武行、森山武志

実績報告資料等

平成25年度目標

- 針刺し・切創20件以下
- 新性菌院内発生件数　MRSA50件以下　ESBL25件以下
- 速乾性擦式アルコール製剤使用量　1日5L以上
- 手術部位感染サーベイランスのフィードバック
- 血流感染サーベイランスの確立（予防対策の強化、感染率の算出）

感染対策管理室　年度総括

感染対策管理室
石川　由希

平成 24 年度は感染管理認定看護師が誕生して専従看護師との 2 名体制となり、感染対策管理室において大きな転機となりました。2 名体制になったことでラウンドや小委員会活動の充実を図ることができました。具体的には小委員会のグループでおしぼり器や調剤台の清浄度チェックや環境ラウンドを実施、中心静脈カテーテルや末梢ラインの消毒方法や針刺し対応のマニュアル作成を行いました。また、ICT メンバーとリンクスタッフで月 1 回実施している環境ラウンドはラウンド後にリンクスタッフミーティングを設け、各部署間での情報交換共有ができるようにしました。リンクスタッフを巻き込み活動したことでスタッフ自身のレベルアップにもつながったと考えています。

感染対策を実践可能にするために、各病室への個人防護具のホルダー設置を進めました。排泄ケア委員と共同で排泄ケアのマニュアル・チェックリストを作成しラウンドを行い、正しい PPE の着用と手指衛生のタイミングや汚物廃棄方法まで各部署で指導を行いました。

診療報酬改定に伴い、感染管理加算 1 を取得し地域連携として 4 回のカンファレンスを行いました。また加算 1 の施設同士で相互にラウンドを行い共に感染管理を考えていくことができました。

地域支援の一環として、地域のクリニックへ標準予防策・手指衛生のレクチャーや連携施設へのインフルエンザの講演会を行いました。また教育にも力を入れ血液培養採取方法の勉強会を各部署で行いました。

領域研修では「血流感染」と「感染性胃腸炎」を 4 クール行い、次年度はさらに研修内容を強化し「隔離予防策」「細菌検査の基礎知識・抗菌薬」「医療関連感染」「職業感染」の 4 項目を予定しております。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室　嘉数　智子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。翌 18 年には褥瘡対策委員会と合併し NST・褥瘡対策委員会として協働で活動しています。平成 22 年度から看護部より出向のもと、看護師 1 名を専従として配置し栄養サポート体制を強化しました。

栄養サポート室　理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室　運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室　専従看護師　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
嘉数智子	栄養サポートチーム専門療法士
	日本静脈経腸栄養学会員
	日本褥瘡学会員

NST 回診＆カンファレンスについて

NST 対象患者選択

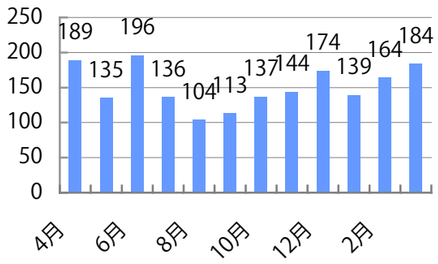
●回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
●褥瘡を有してる
●摂食・嚥下障害がある
●経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

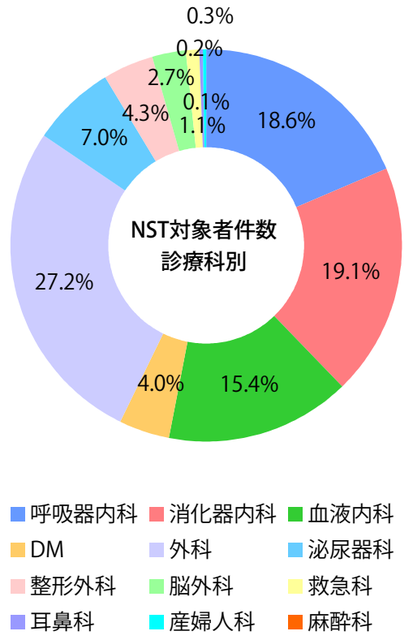
●術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
●ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
●化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

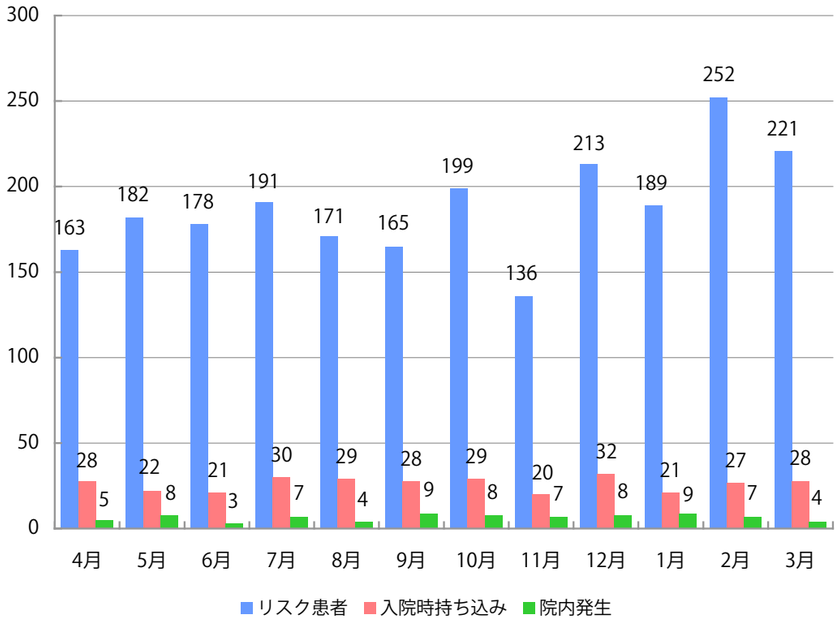
NST 対象患者件数



NST 対象患者件数診療科別

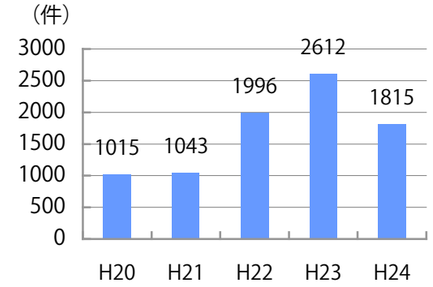


褥瘡患者推移（月別）

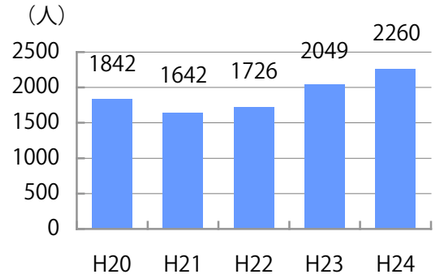


[リスク] とは？
座位保持できるが屋内の生活に何らかの介助を要する状態、または、終日ベッド上で過ごし、生活のほとんどにおいて介助を要する状態を指します。※日常生活自立度判定で、ランクＢ、ランクＣの状態。

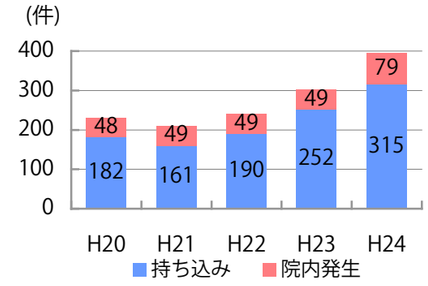
NST 対象患者数推移



褥瘡発生リスク患者総数



褥瘡入院時持ち込み及び院内発生数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
高齢患者に対しデブリードマン及び非弁形成術を行い改善した症例	第 11 回沖縄ウンドマネジメント研究会	那覇市	2012 年 5 月 26 日	宮城久美子、嘉数智子
当院初の VAC 療法を行い褥瘡治癒に至った症例	第 11 回沖縄ウンドマネジメント研究会	沖縄県	2012 年 5 月 26 日	新垣仕言、嘉数智子

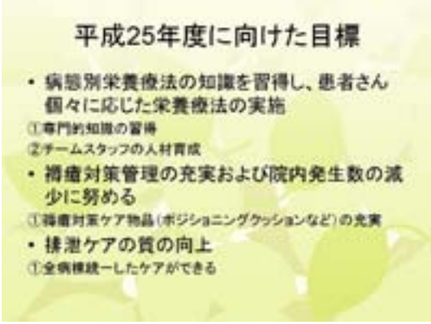
活動実績

勉強会及び研修会参加

名称	開催地	開催日	参加者
「輸液・栄養（水・電解質）」	当院	2012 年 5 月 7 日	委員会
第 11 回　沖縄ウンドマネジメント研究会	那覇市	2012 年 5 月 26 日	新垣仕言、宮城久美子、嘉数智子他委員会
「ポジショニング」について	当院	2012 年 5 月 31 日	委員会
栄養剤「アバンド」「グルセルナ」について	当院	2012 年 6 月 4 日	委員会
第 11 回　沖縄臨床栄養懇話会	那覇市	2012 年 6 月 30 日	嘉数智子
第 11 回　TNT 沖縄研修会	那覇市	2012 年 7 月 28 ～ 29 日	新垣珠代
被覆材の使用方法	当院	2012 年 8 月 6 日	委員会
第 14 回　日本褥瘡学会学術集会	神奈川県	2012 年 9 月 1 ～ 2 日	宮平典子、米須智子、嘉数智子
第 8 回　沖縄胃瘻研究会	那覇市	2012 年 11 月 10 日	嘉数智子
「消化器癌化学療法における栄養学的サポート」：ライブセミナー	当院	2012 年 11 月 19 日	職員

名称	開催地	開催日	参加者
「脳神経外科疾患急性期における栄養管理のポイント」：ライブセミナー	当院	2012 年 11 月 26 日	職員
「沖縄輸液栄養セミナー」：静脈栄養・感染対策を考える	那覇市	2012 年 1 月 19 日	職員
第 2 回　沖縄リハビリテーション栄養研究会	宜野湾市	2012 年 3 月 2 日	宮城久美子、他 7 名
Wellbeing　と褥瘡対策を考える	那覇市	2012 年 3 月 9 日	嘉数智子、宮平典子、他 16 名
第 7 回　沖縄 NST フォーラム	那覇市	2012 年 3 月 24 日	嘉数智子

実績報告資料等



栄養サポート室　年度総括

栄養サポート室
嘉数　智子

平成 24 年度は、外科副部長を栄養サポート委員長、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 27 名、医療技術部 11 名で構成しています。

採血の結果、Alb 値 3.0g/dL 以下の入院患者さんのリストアップを行い、リンクナースは NST 回診の対象となる患者さんを選出し、病棟回診およびカンファレンスを実施しました。嚥下障害や食思不振のある患者さんに対しては言語聴覚士が介入し、摂食・嚥下状態の評価を実施し摂食レベルの確認を行いました。また、褥瘡を有する患者さんに対しては、亜鉛やアルギニンを強化した栄養食品を提供し、栄養管理・局所管理を行い褥瘡の早期改善を図り、対象となった患者さんについてカンファレンスを実施し、経腸栄養の選択や摂取しやすい食事形態や食事量の検討を行い、主治医や病棟スタッフに対し提案・助言を行い栄養状態の改善に努めました。

経口摂取が困難なため胃瘻をつくり自宅へ退院される方もいらっしゃいます。そのような患者さんやご家族へ栄養剤の注入方法や胃瘻の管理方法指導へも介入することができました。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつであり、栄養サポートチームは、静脈・経腸・経口栄養を一貫して行うべきチームのひとつとも言われています。今後の取り組みとして、症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう、スタッフの人材育成に取り組んでいきたいと考えております。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長　折田　均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフなど 28 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がん、大腸がんに対して、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。

職員数

平成 24 年 9 月現在

総数 28 名

職種別

指導医　2 名

専門医　5 名

その他　7 名

内視鏡技師　Ⅰ種　6 名

Ⅱ種　2 名

看護師　3 名

助手　3 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
古波倉美登利	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
平良ゆかり	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
喜屋武香織	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
宮城愛子	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師

氏名	認定・資格名
国仲トモ子	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
渡久山すえの	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
宮里奈央	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
野原さやか	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師

内視鏡センター　運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

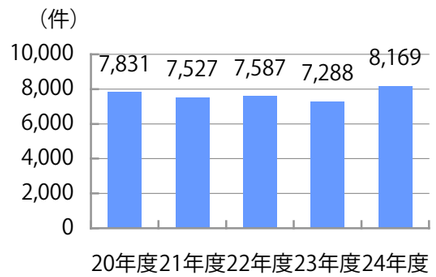
検査・治療件数

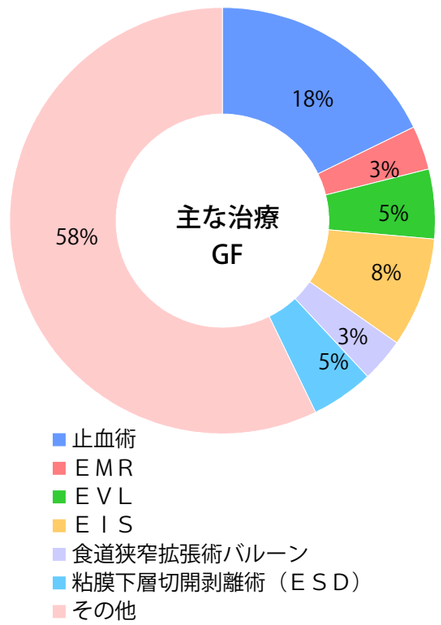
内視鏡検査及び内視鏡的治療

種別	
胃内視鏡	8169
大腸内視鏡	2471
ERCP	91
小腸内視鏡	1
気管支鏡	47
内視鏡検査及び内視鏡的治療　合計	10,779
上部消化管（内訳）	
止血術	70
ＥＭＲ	13
ＥＶＬ	21
ＥＩＳ	33
食道狭窄拡張術バルーン	13
食道狭窄拡張術ブジー	28
食道ステント留置術	0
焼灼術	58
異物摘出術	13
胃瘻造設術	71
粘膜下層切開剥離術（ＥＳＤ）	19
超音波内視鏡	52
POEM	4

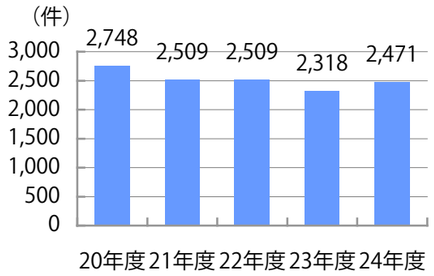
下部消化管（内訳）	
ＥＭＲ	272
止血術	14
直腸狭窄拡張術	10
異物摘出術	0
超音波内視鏡	0
粘膜下層切開剥離術（ESD）	2
胆道・膵管（内訳）	
乳頭切開術（EST）	43
乳頭拡張術（EPBD）	4
総胆管結石砕石 / 採石術	30
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	28
胆道ステント	20
すい管ステント	20
気管支鏡（内訳）	
経気管支肺生検（ＴＢＬＢ）	22
肺胞洗浄（BAL）	34
気管 / 気管支ステント留置術	0

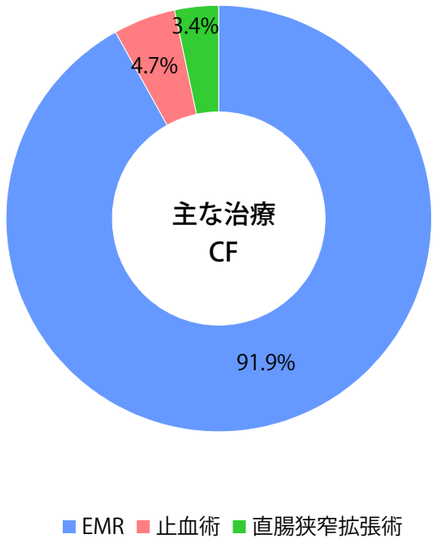
GF 件数



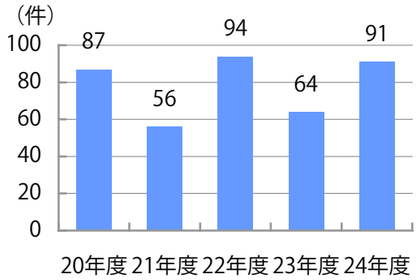


CF 件数

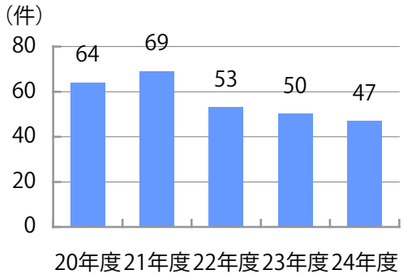




ERCP 件数



BF 件数



研究業績

学会発表

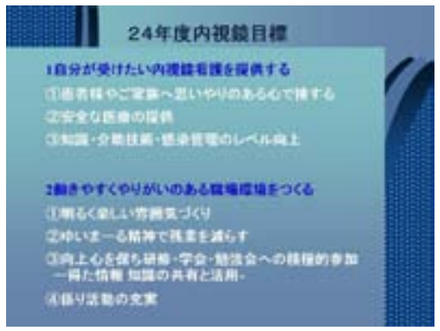
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
効果的な咽頭麻酔法と手技の統一化を目指して	第 62 回九州内視鏡技師研究会	鹿児島	2012 年 11 月 3 日	喜屋武香織、大城　敦
座長	第 62 回九州内視鏡技師研究会	鹿児島	2012 年 11 月 3 日	古波倉　美登利

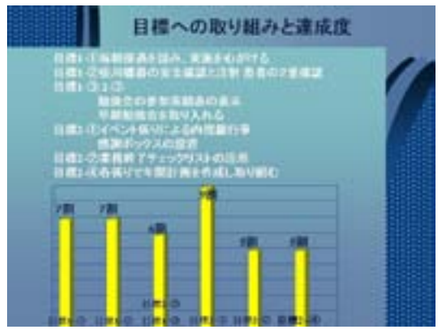
活動実績

院内外研修・勉強会参加実績

名称	開催地	年月日	参加者
大腸洗浄液の効果的服用法　講師：堀井薬品　竹山秀樹氏 大腸用手圧迫のコツとポイント　講師：山鹿市民医療センター仲井　博康氏	沖縄市	2012 年 5 月 26 日	古波倉、野原、平良、喜屋武、宮里、国仲、渡久山、大城
内視鏡勉強会　食道静脈瘤　講師：Dr 仲吉	当院	2012 年 6 月 8 日日	古波倉、平良、喜屋武、国仲、渡久山、宮城、野原、大城、宮里、佐久田、
内視鏡勉強会　胃 ESD の実際　講師：内視鏡センター長　Dr 折田	当院	2012 年　7 月 12 日	古波倉、平良、喜屋武、国仲、渡久山、宮城、野原、大城、宮里、佐久田、
VOP システム導入　新機種スコープの説明　講師：オリンパス九州サービス　荻野圭一郎氏	当院	2012 年 8 月 1 日	古波倉、平良、国仲、喜屋武、宮里、渡久山、野原、大城、佐久田
高周波焼灼電源装置使用のコツ　講師：中央医療機　上原健一氏	当院	2012 年 8 月 24 日	古波倉、平良、国仲、喜屋武、宮里、渡久山、野原、大城、佐久田
内視鏡早朝勉強会　胃　十二指腸潰瘍について　講師：内視鏡センター長　Dr 折田	当院	2012 年 9 月 8 日	古波倉、平良、喜屋武、宮里、渡久山、野原、大城、佐久田
内視鏡早朝勉強会　潰瘍性大腸炎について　講師:内視鏡センター長　Dr 折田	当院	2012 年 10 月 13 日	古波倉、平良、国仲、喜屋武、宮里、渡久山、野原、佐久田
心電図モニター　電極貼り付け位置について　講師：ME　弓濱義之	当院	2012 年 11 月 10 日	内視鏡技師、看護師
内視鏡の故障予防　講師：オリンパス九州サービス　荻野圭一郎氏	当院	2012 年 11 月 22 日	古波倉、平良、国仲、喜屋武、宮里、渡久山、野原、大城、佐久田
第 62 回　消化器内視鏡技師研究会　発表者：喜屋武香織	鹿児島	2012 年 11 月 3 日	古波倉、喜屋武、大城
ハートライフ病院連携学術講演会	当院	2012 年 12 月 7 日	古波倉、国仲、野原、大城、渡久山
内視鏡勉強会　POME 当院の症例を通して　担当：内視鏡技師　宮里	当院	2012 年 12 月 8 日	古波倉、平良、国仲、喜屋武、宮里、渡久山、野原、大城、佐久田
内視鏡勉強会　糸付きクリップの作り方と使用法　ビデオ観賞と実践　担当：内視鏡技師　喜屋武	当院	2013 年 1 月 12 日	古波倉、国仲、喜屋武、宮里、渡久山、野原、大城、佐久田
内視鏡早朝勉強会　ヘリコバクターピロリについて　講師：内視鏡センター長　Dr 折田	当院	2013 年 1 月 26 日	古波倉、喜屋武、宮里、佐久田
内視鏡で使用される薬剤の薬理作用と注意事項	沖縄市	2013 年 2 月 9 日	古波倉、国仲、宮里、渡久山、野原、平良、大城
内視鏡勉強会　胃癌の分類について　担当：内視鏡技師　国仲	当院	2013 年 2 月 16 日	古波倉、喜屋武、宮里、渡久山、野原
内視鏡勉強会　大腸癌の分類（pit pattern 早期癌　進行癌を含めて）　担当：内視鏡技師　平良	当院	2013 年 3 月 9 日	古波倉、国仲、喜屋武、宮里、渡久山、野原
中・下咽頭表在癌の長期予後　ELPS 治療　講師：慶應義塾大学医学部内視鏡センター　大森泰	当院	2013 年 3 月 30 日	内視鏡技師、看護師、内科消化器医、外科医

実績報告資料等





内視鏡センター　年度総括

内視鏡センター長
折田　均

平成 24 年度の内視鏡件数は東日本大震災の影響を受けた前年度と比較して、順調な回復をみせました。上部内視鏡検査の件数は過去最高で 8,000 件を超え、下部内視鏡検査は 2 年前の件数には及ばなかったものの、ほぼ同数となりました。しかし上部の検査の現状の体制では MAX に近く、これ以上の大幅な上乗せは期待できません。下部検査はもう少し件数を増やせる余地があり、直前のキャンセルを防ぐなど、検査枠を無駄にしないような工夫が必要だと考えています。

7 月には大きな出来事として、念願であった VPP システム（内視鏡装置を数年毎で定期的に入れ替えるシステム）の導入があり、内視鏡機種の入れ替えが行われ、長年の課題であった機種の老朽化が解消されました。5 年をめどに定期的に機種が入れ替えられることとなり、内視鏡医やスタッフのモチベーションの向上にも効果があるものと確信しています。また、年間を通して大きな偶発症の発生はありませんでした。今後の大きな課題としては内視鏡センターの臨床部門と検診部門の分割が挙げられます。臨床部門は業務効率を考えると ICU や手術室に近い場所への移転が望まれ、その際には透視装置や酸素や吸引などの中央配管システムも備えた内視鏡業務が全て一か所で完遂できる施設にしなければなりません。9 階にある現在の内視鏡センターは検診部門に特化したセンターとすべきではと考えております。

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長　謝花　隆光

予防医学センターは昭和 63 年の開院時はからスタートしており、当初は外来部分に位置し、平成 3 年に 9 階建ての建物が完成し 8 階へ移動しました。

スタート時の受診者はドックが 46 名、健診が 197 名でしたが、9 階へさらにの拡張しハード・ソフト面で受診者の受け入れ態勢を充実させた結果、平成 24 年度には、ドックが 11,986 名、健診が 1,684 名となりました。平成 7 年から開始した脳ドックが 127 名、平成 20 年より開始した特定健診が 323 名となっています。

職員数

総数

49 名

職種別

医　　師　7 名
看 護 師　11 名
保 健 師　4 名
一般事務　11 名
クラーク　6 名
検査技師　7 名
助　　手　3 名

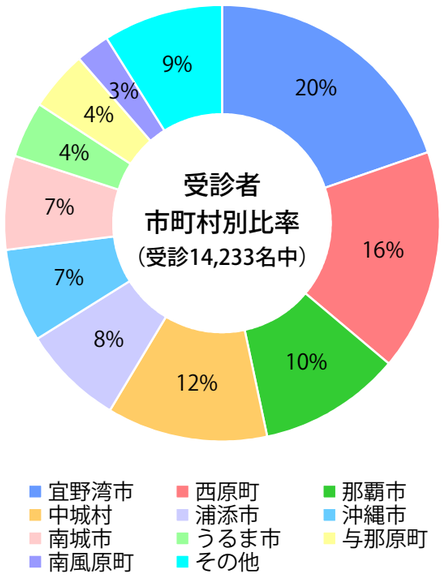
予防医学センター　理念

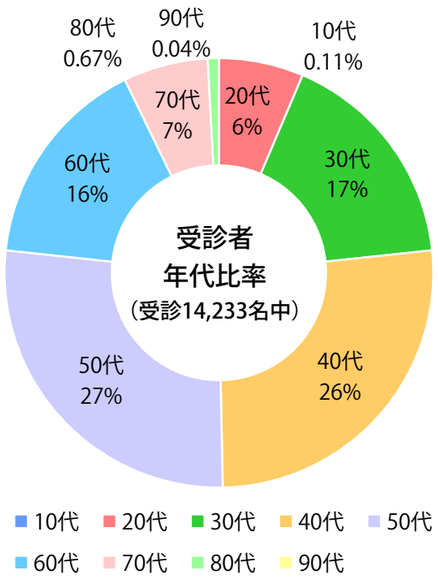
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

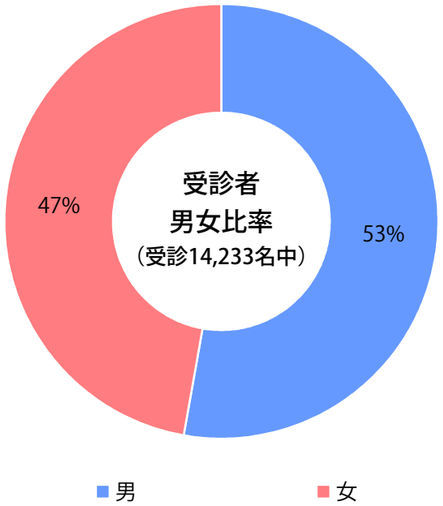
予防医学センター　運営方針

私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします。

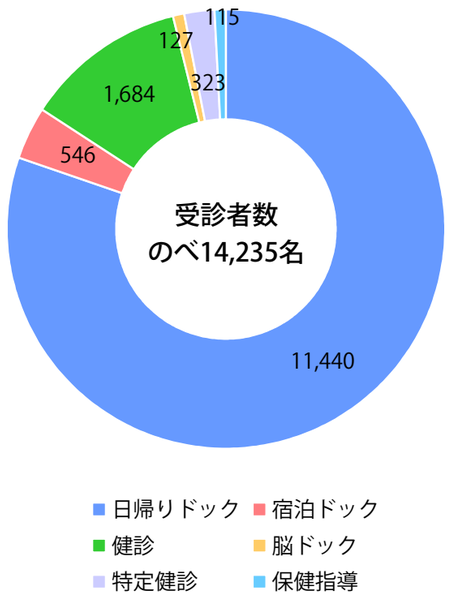
検査件数



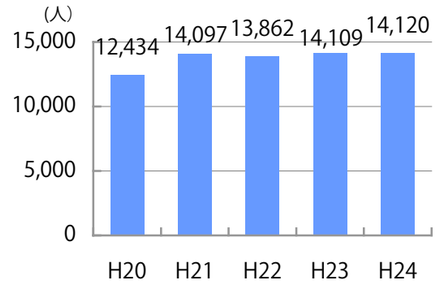




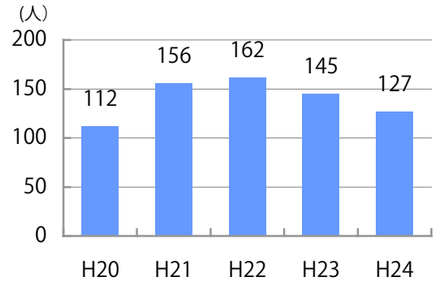
平成 24 年度受診者数



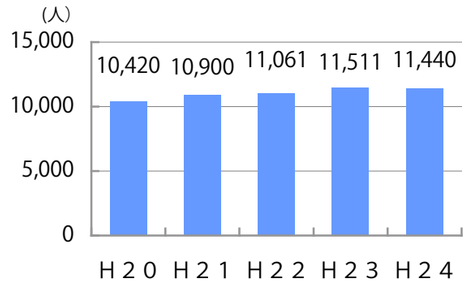
受診者総数の推移



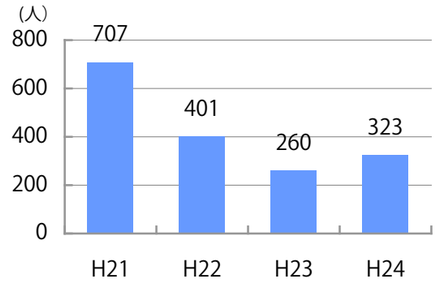
脳ドック



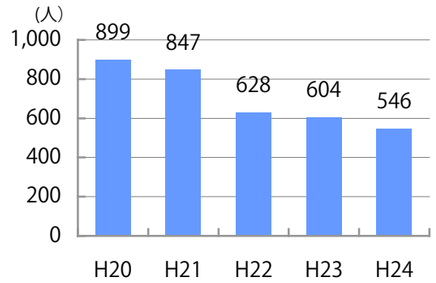
日帰りドック



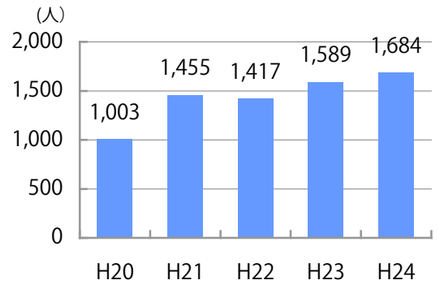
特定健診



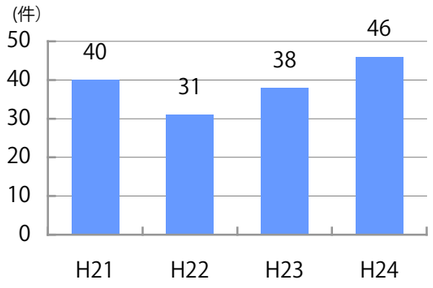
宿泊ドック



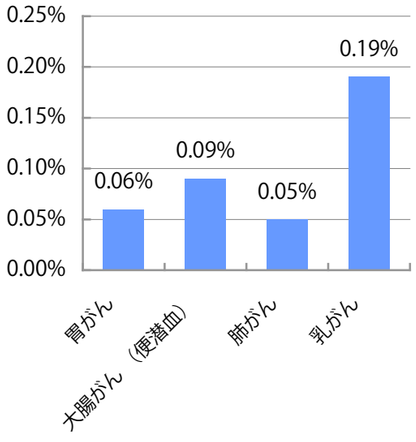
健康診断



悪性腫瘍発見報告数



全受診者に対する悪性腫瘍発見率



実績報告資料等

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
乳房超音波検査にて要精査とされた所見の検討と今後の課題	第 52 回日本人間ドック学会	東京都	2012 年9月1日～2日	比嘉紀子、大城ゆかり、蔵下かおり、上地理恵子、吉田裕、川上国男、宮平守博

活動実績

課内勉強会

名称	場所	月時	参加者
バリウム検査の安全な実施のために 講師：橋詰健太郎㈱カイゲン	当院	2012 年 4 月 25 日	予防医学センター職員　29 名
放射線勉強会　講師：宮城竜也医療技術部長	当院	2012 年 7 月 9 日	予防医学センター職員　29 名
検査結果の見方：脂質検査　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2012 年 1 月 24 日	予防医学センター職員　26 名
検査結果の見方：糖代謝検査　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 1 月 31 日	予防医学センター職員　17 名
検査結果の見方：肝・胆道・膵　血液検査　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 2 月 6 日	予防医学センター職員　29 名
検査結果の見方：血液一般検査（ＣＢＣ）　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 2 月 14 日	予防医学センター職員　29 名
検査結果の見方：総論　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 2 月 21 日	予防医学センター職員　15 名
検査結果の見方：腎機能検査　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 2 月 28 日	予防医学センター職員　18 名
検査結果の見方：尿・便検査　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 3 月 6 日	予防医学センター職員　15 名
検査結果の見方：血清学的検査　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 3 月 18 日	予防医学センター職員　17 名
検査結果の見方：電解質・微量元素　講師：謝花隆光予防医学センター長	当院	2013 年 3 月 28 日	予防医学センター職員　16 名

予防医学センター　年度総括

予防医学センター
副センター長
宮里　稔

平成 24 年度は、未だに日本経済の回復が見られない中、東日本大震災の傷跡も癒えず、日本全体がもやもやとした気分に満ちていました。平成 24 年度はそのような中でのスタートで、宮平センター長以下、スタッフも前年度の震災による不可避的な受診者減少（物品不足による検査制限）を盛り返すため、気を引き締め業務に臨みました。

昨年度を受診者数の伸びで見てみると、4 月こそ職員検診の影響で前年度比プラスでしたが、5 月から 7 月までは前年度比マイナスが続きました。夏に設備の面で 8 階人間ドックに新しいマンモグラフィーの撮影装置が設置されたことで、受診者の利便性が高まり、8 月の受診者は前年度比でかろうじてプラスとなりましたが、9 月には宮平センター長の退職があり、一気に前年度比マイナス二桁となりました。9 月から 12 月まではセンター長不在のまま残った診察医の体制で何とか乗り切りましたが、受診者数はマイナスのままでした。年が明け、1 月より新しいセンター長の謝花隆光が着任し、そこから一気に受診者数が伸び始め、1 月から 3 月までは前年度比プラスとなり、最終的には平成 24 年度の総受診者数は前年比で 20 人減まで回復しました。しかも総売上額では前年度比でわずかながらプラスとなりました。以前から検診の月ごとの受診者の偏りをなくすため、1 月から 3 月に受診を誘導したり、地域の検診の制度が多少変化したりしたこともありますが、やはり年が明け受診者数が増加したのは、センターの責任者の存在が大きいものと思われます。センター長の謝花は以前にも当院に勤めており、ハートライフ病院の立ち上げ時期から長くかかわった医師でもあることから、病院の事情にも通じ、病院の各部門、スタッフとスムーズに連携をとれることが強みです。

昨年度の秋には自民党が政権を取り返し、アベノミクスなるもので景気も徐々に回復傾向にあります。資本主義の社会では、やはり経済状態が良くならなければ、社会・経営者は住民・雇用人の健康は二の次となり、個人も自分の体のことまでは手が回らなくなります。その意味では、今後、経済の回復とともに健康や予防医学への意識も高まり、当センターの業務の意義が高まってくるものと思われます。

事務部

部門紹介

事務部は総務課、経理課、用度課、請求業務課、施設管理課、診療情報管理室、経営企画室、地域医療連携室の８部署で構成されており、平成24年度６月１日現在では123名の職員が所属しています。

職員数

総数

123名

職種別

一般事務	89名	調理師（収益部門）	２名
医療ソーシャルワーカー	５名	その他	23名
施設技術者	４名		

各部署概要・実績

総務課

総務課係長　比嘉　康文

職員数

総数

20 名

職種別

一般事務	6 名	警備員	1 名
研修医担当	1 名	患者送迎係	8 名
秘書	4 名		

運営方針

事務処理の迅速を図る。

各部署に対する支援強化を図る。

職場環境の整備に努める。

活動実績

院内行事

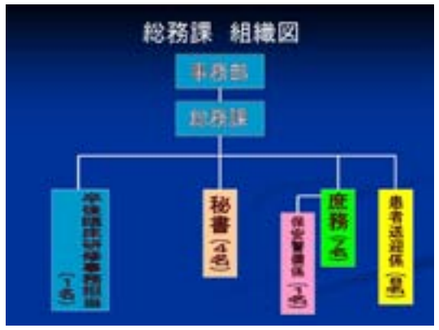
年月日	行　事
2012 年 4 月 2 日	平成 24 年度入職式オリエンテーション　　新入職歓迎会
2012 年 4 月 26 日	消化器症例検討会
2012 年 4 月 27 日	救急症例検討会
2012 年 5 月 13 日	新入職歓迎会沖縄縦断駅伝
2012 年 5 月 19 日	沖縄県緩和ケア研修会 2012　ハートライフ病院主催
2012 年 5 月 20 日	沖縄県緩和ケア研修会 2012 ハートライフ病院主催
2012 年 5 月 22 日	井上貴裕先生による勉強会
2012 年 5 月 30 日	講演会「いい病院をつくりましょう」大久保　寛司先生
2012 年 6 月 12 日	科別実績報告会
2012 年 6 月 13 日	科別実績報告会
2012 年 6 月 18 日	メンタルヘルス研修会
2012 年 6 月 28 日	消化器症例検討会
2012 年 7 月 11 日	各委員会実績報告会
2012 年 7 月 27 日	救急症例検討会
2012 年 8 月 1 日	チーム対抗「消費エネルギーコンペ」 ~11/30
2012 年 8 月 8 日	院内講演会「知って得する！血液を介して起こるウィルス感染症」
2012 年 8 月 10 日	いきいき講演会 大久保寛司 （鶴田歯科医院）
2012 年 8 月 14 日	各部署報告会
2012 年 8 月 15 日	各部著報告会
2012 年 8 月 16 日	卓球大会
2012 年 8 月 17 日	卓球大会
2012 年 8 月 25 日	第 2 回研修医同窓会　リスリーナ西原ヒルズガーデンにて
2012 年 8 月 27 日	講演会「いい病院をつくりましょう」菓匠 Shimizu
2012 年 9 月 6 日	Dr スミスによる教育回診
2012 年 9 月 7 日	メンタルヘルス研修会（全職員対象）

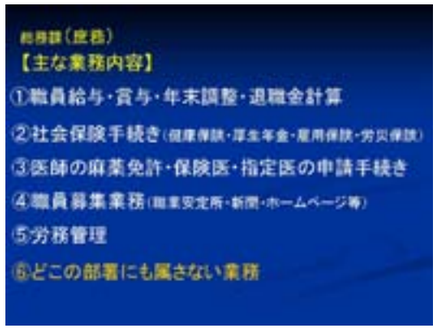
年月日	行　事
2012 年 9 月 8 日	琉球大学公開講座（がん患者、家族を癒す緩和ケアの実際）
2012 年 9 月 11 日	中城中学校 ~ 9/13 チャレンジウィーク
2012 年 9 月 12 日	お笑い寄席（笑ってもらって元気になろう）
2012 年 9 月 25 日	井上貴裕先生による勉強会　　宮坂信之先生による 講演会
2012 年 9 月 27 日	メンタルヘルス研修会（役職者対象）
2012 年 9 月 29 日	BLS・ICLS 講習 9:00~ 2 階講堂
2012 年 10 月 3 日	講演会 アイエスエフネットグループ 渡邉幸義先生
2012 年 10 月 5 日	講演会「東日本大震災と救急医療」田勢長一郎先生
2012 年 10 月 13 日	ハートライフ病院 大運動会 吉の浦体育館
2012 年 10 月 17 日	医療技術部 院内研究発表会「予選会」
2012 年 10 月 19 日	事務部 院内研究発表会「予選会」
2012 年 10 月 22 日	スロージョギング 田中教授
2012 年 10 月 25 日	登録医との消化器症例検討会
2012 年 10 月 26 日	講演会 井上貴裕先生
2012 年 11 月 2 日	病院立入検査（医療監視）
2012 年 11 月 5 日	インフルエンザ予防接種開始（職員）~11/30　午後の救急外来・各病棟にて
2012 年 11 月 5 日	事務部男性　衣替え
2012 年 11 月 6 日	講演会 : 有吉与志恵（コンディショニングトレーナー）
2012 年 11 月 7 日	医療安全講演会　市立敦賀病院　副院長　杉浦良啓（スギウラ　ヨシヒロ）先生
2012 年 11 月 7 日	「医学・医療の確実性と不確実性にどのように向合うか」
2012 年 11 月 8 日	院内研究発表会　17:30~　2 階講堂
2012 年 11 月 12 日	秋季・職員検診（一般職員）~11/16　9F 予防医学センター
2012 年 11 月 17 日	BLS 講習会　2 階講堂　9:00~12:00　事務部門
2012 年 11 月 18 日	秋季・職員検診（医局員 /1 回目）医局内にて　8:30~9:00
2012 年 11 月 29 日	「がん化学療法と医療経済　誰でもわかる医療経済学」 がん化学療法講演会　東京女子医科大学　教授 林　和彦（ハヤシ　カズヒコ）先生
2012 年 12 月 3 日	H24 年度・患者満足度調査（外来患者・入院患者・透析患者・MSC）~7 日（金）
2012 年 12 月 6 日	防災訓練　14:00~　3 階病棟北側火災を想定
2012 年 12 月 6 日	講演会「生命（いのち）は与えると強くなる」 17:00~　2 階講堂にて　UCLA 医学部教授・がん専門医　新原豊　医師による
2012 年 12 月 7 日	「ハートライフ病院連携学術講演会」
2012 年 12 月 21 日	井上貴裕先生による勉強会
2012 年 12 月 22 日	社会医療法人かりゆし会　大忘年会　　エリスリーナ西原ヒルズガーデンにて
2012 年 12 月 27 日	「登録医との消化器症例検討会」
2012 年 12 月 28 日	社会医療法人かりゆし会　納会
2013 年 1 月 11 日	もちつき大会
2013 年 1 月 16 日	院内献血　13 時 ~17 時　とまと食堂前にて
2013 年 1 月 29 日	講演会「医療のユーモア」学校法人　金城学院長　柏木哲夫先生
2013 年 1 月 31 日	講演会「再生医療について」佐々木次雄先生
2013 年 2 月 6 日	救急症例検討勉強会
2013 年 2 月 7 日	臨床研修委員会
2013 年 2 月 8 日	講演会「メディカルサポート　コーチング基礎編」 講師 : 精神科医　奥田弘美先生
2013 年 2 月 14 日	ハートライフ病院地域医療連携懇談会　19:00~　エリスリーナ西原ヒルズガーデン
2013 年 2 月 15 日	講演会「職員のワークライフバランス」講師 : 大阪厚生年金病院　名誉院長　清野佳紀先生
2013 年 2 月 18 日	「ハートライフ新春寄席・北山亭メンソーレ」
2013 年 2 月 28 日	登録医との消化器症例検討会
2013 年 3 月 7 日	講演会「末期がん患者の在宅医療　~ 当院から退院した症例を通して~」
2013 年 3 月 15 日	講演会「広域災害対策について」 講師 : 沖縄赤十字病院・救急部長　佐々木秀章先生
2013 年 3 月 19 日	井上貴裕先生による勉強会　2 階講堂にて　18:00~19:30
2013 年 3 月 21 日	ハートライフ病院　第 8 期研修医　修了式
2013 年 3 月 21 日	研修医修了パーティー　エリスリーナ西原　ヒルズガーデン 3F
2013 年 3 月 28 日	がん対策推進講演会「沖縄県の現状と今後」 2 階講堂にて　18:00~

セミナー・勉強会などへの参加

名　　称	開催地	年月日	参加者
2012 年大久保寛司の輝く人生未来塾	沖縄	2012 年 4 月 12 日	冨里　等
E レジフェア 2012 in 東京	東京都	2012 年 4 月 28 日	嶋崎裕一
E レジフェア 2012 in 東京	東京都	2012 年 4 月 29 日	嶋崎裕一
社会保険セミナー	福岡県	2012 年 6 月 7 日	河上裕一
社会保険セミナー	福岡県	2012 年 6 月 8 日	河上裕一
2012 年　大久保寛司の輝かく人生未来塾	沖縄	2012 年 7 月 12 日	冨里　等
E レジフェア 2012 in 東京	東京	2012 年 7 月 14 日	嶋崎裕一
E レジフェア 2012 in 東京	東京都	2012 年 7 月 15 日	嶋崎裕一
2012 年大久保寛司の輝かく人生未来塾	沖縄県	2012 年 9 月 13 日	冨里　等
2012 年末調整セミナー	福岡県	2012 年 12 月 4 日	冨里　等、河上裕一
2012 年末調整セミナー	福岡県	2012 年 12 月 5 日	冨里　等、河上裕一
2012 年　大久保寛司の輝かく人生未来塾	沖縄県	2012 年 12 月 13 日	冨里　等
医療 BSC ワークショップ at 日本大学商学部	東京都	2013 年 2 月 16 日	比嘉康文
医療 BSC ワークショップ at 日本大学商学部	東京都	2013 年 2 月 17 日	比嘉康文
第 4 回病院機能改善支援セミナー	東京都	2013 年 3 月 12 日	比嘉康文

実績報告会発表資料





経理課

事務副部長　比嘉　靖

職員数

総数

3 名

職種別

一般事務　3 名

運営方針

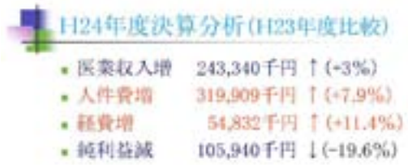
1. 経理・財務内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門予算執行状況の把握。
4. 経理予算業務のマニュアル化を図る。

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	発表年月日	参加者
医療経営セミナー	沖縄県	2012 年 10 月 25 日	大山朝史
経理基礎力養成講座 (全 7 回)	沖縄県	2012 年 11 月 14 日	金城信矢

実績報告資料等



用度課

用度課長　新川　進

職員数

総数

5 名

職種別

一般事務　5 名

運営方針

物品の安全供給

物品の管理（在庫・定数管理）の強化

課員の教育

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
症例単価払い方式による機器導入の成果	院内研究発表会	当院	2012 年 10 月	新川、比嘉、諸見里、上原、名嘉間

院外研修・見学

目的	研修地	研修日	参加者
物品管理の強化	福岡県	2012 年 5 月 22 日～ 23 日	比嘉敦子、伊藤薬局長、米倉主任 (薬局)

実績報告資料等

平成24年度用度課実績

24年度物品仕入額

分類名	対前年度比（千円）
診療材料費	1,931
医療消耗器具	3,222
医療用器械備	20,421
検査試薬費	1,682
寝具委託費	1,211
医用修繕費	-10,374
器機保守料	-700
研究費(図書)	-8,045
検査委託費	10
ソフトウエア	4,341
保守委託費	1,155

その他の物品仕入額

分類名	対前年度比（千円）
印刷物費	-156
消耗器具備品	-510
消耗品費	17,452
什器備品	-1,619
建物付属設備	45,389
その他修繕費	2,524
その他委託費	716
構築物	1,684
清掃委託費	-22
燃料費	-843
職員被服費	3,034
雑費	352
福利厚生費	30

診療情報管理室

診療情報管理室 課長　柳　学

職員数

総数

8 名

職種別

診療情報管理士　5 名　　一般事務　2 名

図書司書　　1 名

認定・資格

（データ作成　診療情報管理室　柳）

氏名	認定・資格名
柳　学	診療情報管理士
宮平奈美子	診療情報管理士
真栄平久美子	診療情報管理士
山本亜矢子	診療情報管理士
島袋　絢	診療情報管理士
宮城映子	図書司書

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
【業務 (収入) 計画】	○ 診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成。	10%	DPC 委員会の内容を定例で医局会にて報告を開始 (H24.11 ～)。
	○「MEDI-ARROWS」のさらなる活用の拡充。	10%	DPC 委員会で「MEDI-ARROWS」データを活用。委員会内容を医局会にて定例で報告を開始 (H24.11 ～)。
	○ データ精度向上への取組み。	30%	各担当の IT スキルアップを図り、IT 技術を駆使しチェックを行い精度向上、時間の短縮を行えている。
	○ 院内がん登録の見直し。（システム構築・業務協力の依頼の検討を含む）	50%	次年度の DPC 機能評価係数Ⅱの地域医療係数に反映された。国立がん研究センターへ平成 23 年度院内がん登録データの提出を行った。今後システム構築が検討課題。
	○ 電子カルテ導入による業務の見直し及びマニュアル作成。（病院機能評価受審に向けての準備も含めた）	10%	電子カルテ導入による業務はある程度落ち着いてきたが、マニュアルの作成が未。
	○ カルテ廃棄の作業。（保管スペースの確保）	80%	H13 年死亡カルテ廃棄 (H24.11.29)。死亡カルテ棚の整理が未。
	○ 年報作成へ資料提供。	100%	年報作成委員として 2 名参加。
	○ 整理・整頓。	80%	部署内の整理整頓。
【要員計画】	○ 統計・分析の強化を図るために診療情報管理室内の人員の役割担当編成の変更もしくは専門部署の設置（2 名専任化）の検討を。	0%	現状維持。
	○ 診療情報管理士通教生 (契約職員 2 名）の資格取得後の正職員へ起用の検討。	0%	1 名退職。1 名資格試験不合格。

項目	概要	達成率	評価
【教育研修計画】	○ 平成 24 年度「第 20 回院内研究発表会」へ演題発表。	50%	事務部予選会へ島袋　絢の参加あり。本選出場ならず。
	○ 沖縄県診療情報管理研究会定例勉強会（毎月）への参加及び発表。	50%	参加はしたが、発表が無かった。
	○ 平成 24 年度「沖縄県診療情報管理研究会主催セミナー」での発表。	0%	山本亜矢子、島袋　絢の参加はあったが、発表が無かった。
	○ 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会主催の院内がん登録研修会への参加（年 4 回）。	100%	6 月 16 日、11 月 17 日、3 月 9 日参加（今年度 3 回）。
	○ DPC 夏季セミナーへの参加。	100%	柳　学、島袋　絢の参加。
	○ 国立がん研究センター主催の院内がん登録実務初級者・中級者研修会への参加。	50%	6 月 13 日、9 月 11 日、11 月 14 日の初級者研修へ参加（4 名）。
	○「MEDI-ARROWS」スタートアップセミナー・テクニカルセミナーへの参加。	50%	島袋　絢の事例発表会へ参加。
	○ 平成 24 年度「第 38 回日本診療情報管理学会学術大会」へ参加。	0%	不参加。
	○ IT スキルの向上（Excel・Access・FileMaker・QlikView・GIS 分析等の勉強会の開催）	100%	柳　学の参加（スタートアップセミナー・06/24）。
【設備計画】	○ カルテ保管スペースの確保。	0%	屋内の保管スペース確保が難しく、やむなく屋外のコンテナ倉庫での保管へ。
	○ 診療情報管理室用データ端末の入替え。	0%	現状維持。

活動実績

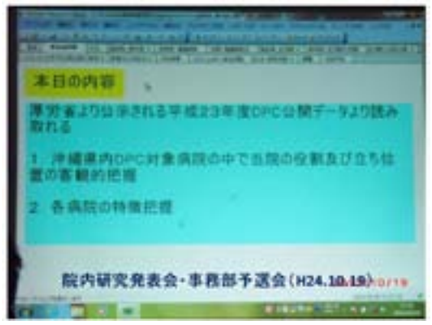
セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
平成 24 年度 QI 推進事業（QI プロジェクト 2012）実務者説明会＆QlikviewDPC 分析	東京都	2012 年 5 月 22 日	柳　学
医療情報可視化セミナー（沖縄）	浦添市	2012 年 5 月 25 日	柳　学、宮平奈美子、真栄平久美子、山本亜矢子、島袋　絢
院内がん登録実務初級者研修（前期）	大阪府	2012 年 6 月 13 日	山本亜矢子
沖縄メディカルライブラリー研究会総会・第 30 回研修会	糸満市	2012 年 6 月 15 日	宮城映子
DPC 夏季セミナー	福岡県	2012 年 8 月 5 日	柳　学、島袋　絢
院内がん登録実務初級修了者研修	東京都	2012 年 9 月 10 日	宮平奈美子、真栄平久美子、島袋　絢
医療経営セミナー～病院独自の利益体質づくり～	浦添市	2012 年 9 月 13 日	柳　学
Qlikview 講座受講	那覇市	2012 年 9 月 18 日	柳　学、島袋　絢
第 5 回診療情報管理セミナー in 宮古島	宮古島	2012 年 10 月 20 日	山本亜矢子、島袋　絢
医療経営セミナー	与那原町	2012 年 10 月 25 日	柳　学、宮平奈美子、真栄平久美子、山本亜矢子、島袋　絢
「がん対策推進基本計画の見直しと地域医療連携」セミナー	東京都	2012 年 10 月 30 日	宮平奈美子
院内がん登録実務初級者研修（後期）	大阪府	2012 年 11 月 13 日	山本亜矢子
沖縄県メディカルライブラリー研究会　発足 15 周年記念(第 31 回）研修会	浦添市	2012 年 11 月 16 日	宮城映子
第 7 回可視化研究会	福岡県	2012 年 11 月 9 日	柳　学
平成 24 年度 QI プロジェクト第 1 回フィードバック説明会および意見交換会（シンポジウム）参加	東京都	2012 年 12 月 2 日	柳　学
DPC セミナー神戸会場	兵庫県	2013 年 1 月 25 ～ 1 月 27 日	柳　学
MEDI-ARROWS を活用した分析事例の発表への参加	大阪府	2013 年 2 月 13 日	島袋　絢
「医療経営セミナー」参加	与那原町	2013 年 2 月 21 日	柳　学
第 8 回医療情報可視化研究会ハンズオンセミナー（初級編）	福岡県	2013 年 3 月 2 日	柳　学
MEDI-ARROWS 分析ワークショップ	福岡県	2013 年 3 月 16 日	柳　学
平成 24 年度第 3 回院内がん登録研修会	うるま市	2013 年 3 月 9 日	宮平奈美子

院内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
副傷病名について	第 8 回 DPC 勉強会	当院	2012 年 4 月 12 日	山本亜矢子
当院の機能評価係数Ⅱの現状と対策	第 9 回 DPC 勉強会	当院	2012 年 7 月 27 日	柳　学
DPC 夏季セミナー報告会＆「Qlikview 講習会」	伝達報告会	当院	2012 年 8 月 24 日	島袋　絢
当院の機能評価係数について	第 10 回 DPC 勉強会	当院	2012 年 9 月 25 日	柳　学
厚労省公開データ（平成 23 年度）を使った分析 - 県内各病院の特徴は？ -	院内研究発表会　事務部予選	当院	2012 年 10 月 19 日	島袋　絢
厚労省公開データ（平成 23 年度）を使った分析 - 県内各病院の特徴は？ -	第 11 回 DPC 勉強会	当院	2012 年 10 月 26 日	島袋　絢
退院患者の退院前日午後 5 時までの把握率（Qlikview）	第 12 回 DPC 勉強会	当院	2012 年 12 月 21 日	柳　学
Qlikview を使って当院の疾患別在院日数の比較分析（対入院期間Ⅱ）	第 13 回 DPC 勉強会	当院	2013 年 3 月 19 日	柳　学

実績報告資料等



請求業務課

請求業務課 課長　當眞　嗣美

職員数

総数

41 名

職種別

一般事務　39 名　　診療情報管理士　2 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

運営方針

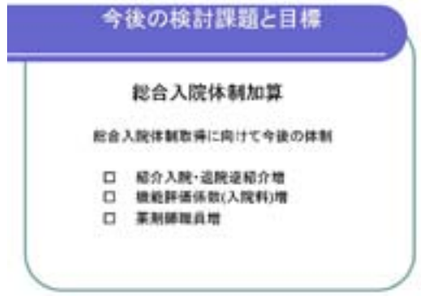
1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築　（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
再生医療技術の開発と患者へ届ける仕組み作り	当院	2012 年 6 月 1 日	経営企画、請求業務課、その他
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012 年 7 月 27 日	請求業務課、診療情報管理室
MEDI-ARROWS」基本操作勉強会	当院	2012 年 8 月 30 日	請求業務課、診療情報管理室
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012 年9月 25 日	請求業務課、診療情報管理室
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012 年 10 月 26 日	請求業務課、診療情報管理室
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2012 年 12 月 21 日	請求業務課、診療情報管理室
根本原因分析セミナー	当院	2013 年 1 月 26 日～27 日	請求業務課
医療経営セミナー	与那原町	2013 年 2 月 21 日	請求業務課、情報管理室
DPC データ分析勉強会及び実績報告会	当院	2013 年 3 月 19 日	請求業務課、診療情報管理室
医療コンシェルジュ資格認定講習会	那覇市	2013 年 3 月 23 日～24 日	請求業務課
会員の倫理・資質向上に関する講演会	那覇市	2013 年 3 月 27 日	請求業務課
医療経営セミナー	南風原町	2013 年 3 月 29 日	請求業務課

実績報告資料等



地域医療連携室

地域医療連携室 課長　仲地　智俊

職員数

総数

13 名

職種別

一般事務	8 名	入退院調整看護師	1 名
医療ソーシャルワーカー	4 名		

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	4
精神保健福祉士	2

認定・資格名	人数
介護支援専門員	2
医療福祉連携士	1

理念

ハートライフ病院地域医療連携室は、「患者さん」を中心として「地域社会・連携先各機関」と「ハートライフ病院」がスムーズに連携出来るように機能することを目的として存在する。

運営方針

①患者さんとそのご家族、連携先各機関の信頼に応える支援を目指す。

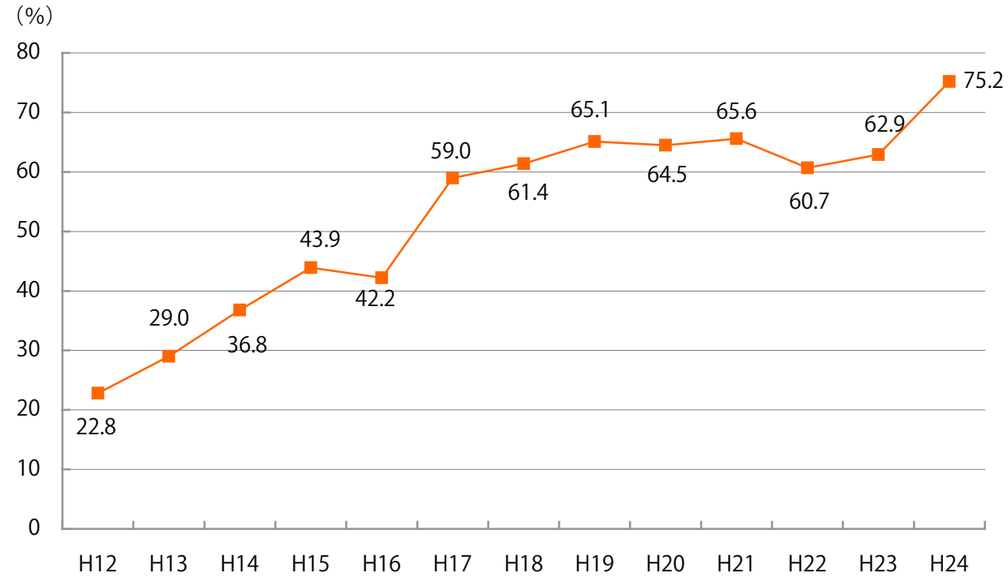
②院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築に努める。

③常に、部署のチーム力と接遇スキルの向上を目指し続ける。

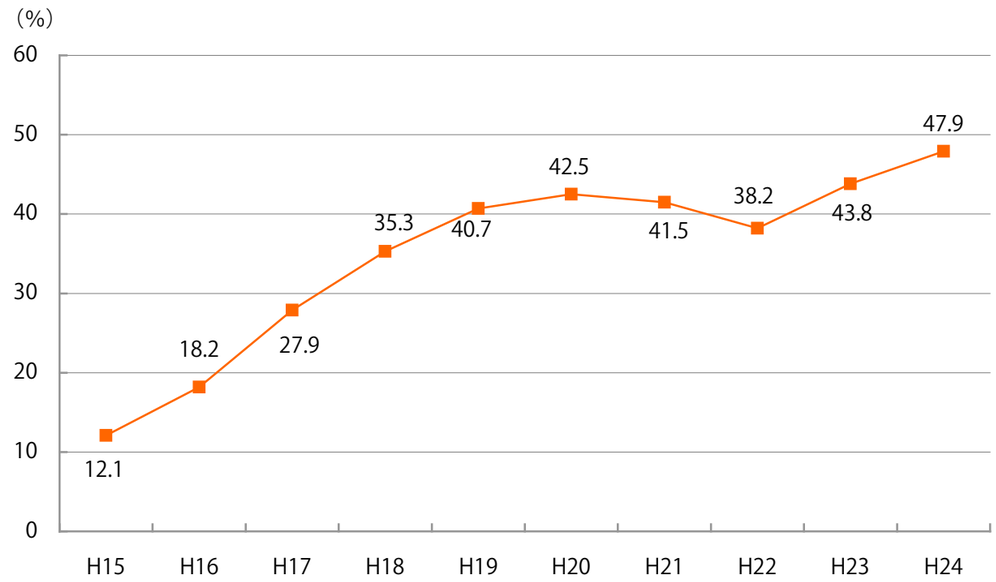
業務実績

【前方連携（事務）担当の実績報告】

地域医療支援病院紹介率の実績（月平均紹介率）



地域医療支援病院逆紹介率の実績（月平均逆紹介率）

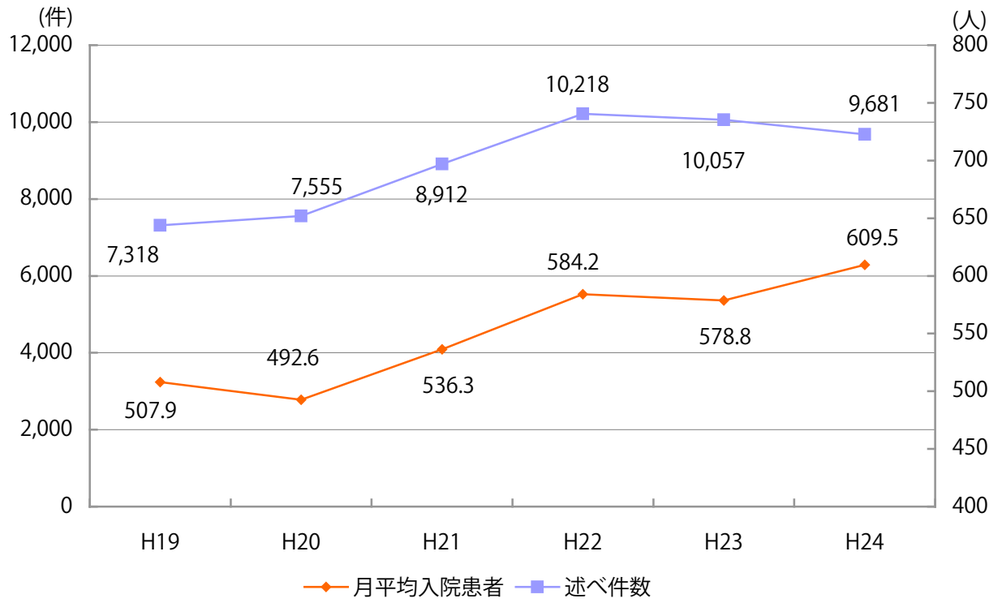


【後方連携（医療ソーシャルワーカー）担当の実績】

全体の相談件数の推移

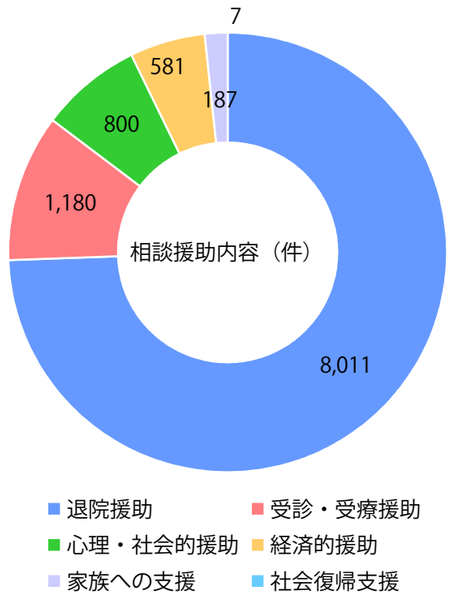
	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年
述べ件数	7,318	7,555	8,912	10,218	10,057	9,681
月平均の述べ件数	610	630	743	851	838	807
月平均の新規入院	507.9	492.6	536.3	584.2	578.8	609.5
病床利用人数	267.4	265.5	274	278.6	279.7	279.3
在院日数	15.9	16.3	15.4	14.4	14.6	13.9

延べ相談件数と新規入院患者数の推移

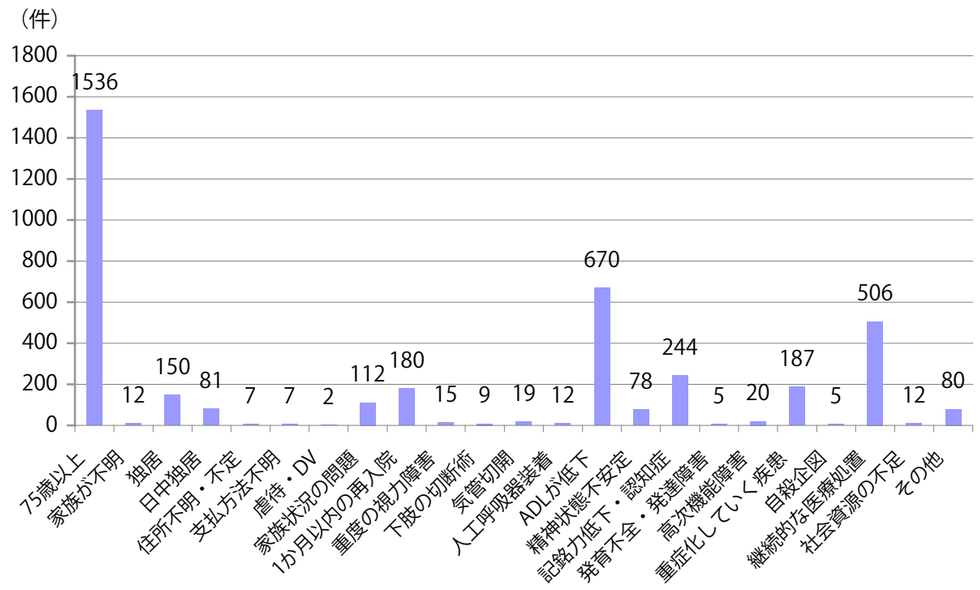


【相談援助ケース（入院）の概要】

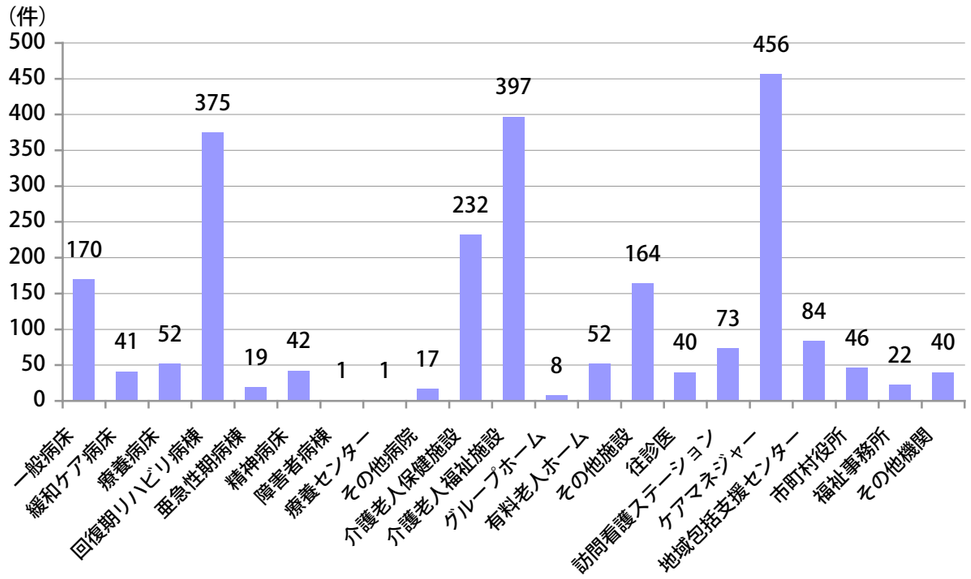
相談援助内容



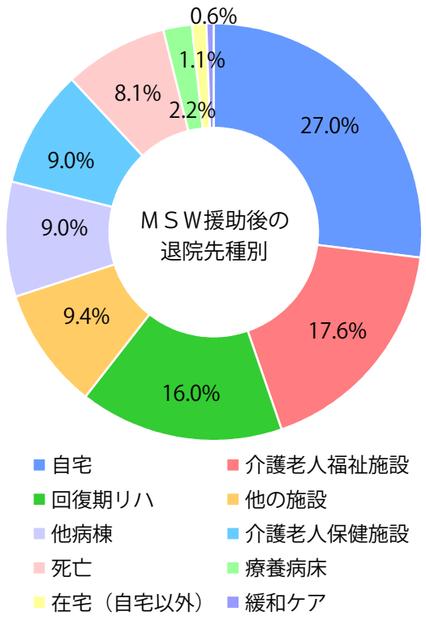
援助を行ったケースの特徴（入院）



援助中に調整した機関（入院）



MSW 援助後の退院先種別



活動実績

地域医療連携室主催の研究会や懇談会など

名称	開催地	年月日	参加者
地域医療支援病院ネットワーク	当院	2012 年 5 月 25 日	仲地、砂川、仲地、新垣、砂川、喜納　那覇市立病院、豊見城中央病院、北部地区医師会病院
沖縄県中部地区連携研究会	当院	2012 年 6 月 21 日	望月、桑江、西田、城間、奥平
第 8 回ハートライフ病院地域医療連携懇談会 / 前方連携主催	県内	2012 年 9 月 6 日	地域医療連携室全職員
平成 24 年度第 2 回卒後臨床研修管理委員会	当院	2013 年 2 月 7 日	當銘、安次富
第 9 回ハートライフ病院地域医療連携懇談会 / 前方連携主催	県内	2013 年 2 月 14 日	地域医療連携室全職員
研修会『末期がん患者の在宅医療』/ ＭＳＷ主催	当院	2013 年 3 月 7 日	地域医療連携室全職員

講演会・研究会などへの参加実績

名称	開催地	年月日	参加者
平成 24 年度　おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	県内	2012 年 5 月 30 日	粟盛、望月、桑江
沖縄県ＭＳＷ協会定例会	県内	2012 年 6 月 15 日	桑江、西田
沖縄県中部地区地域連携研究会	当院	2012 年 6 月 21 日	粟盛、桑江、望月
中部地区在宅医療連携ネットワーク説明会参加	県内	2012 年 6 月 27 日	望月、西田
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会	県内	2012 年 7 月 12 日	望月
沖縄県脳卒中パスシステム研修会	県内	2012 年 9 月 24 日	粟盛、望月
沖縄県ＭＳＷ協会定例会	県内	2012 年 9 月 26 日	桑江
平成 24 年度　おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	県内	2012 年 10 月 5 日	粟盛、桑江
沖縄県ＭＳＷ協会定例会	県内	2012 年 10 月 5 日	奥平
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会	県内	2012 年 10 月 18 日	望月
中部地区在宅医療連携ネットワーク研修会	県内	2012 年 10 月 25 日	望月
おきなわ津梁ネットワーク脳卒中地域連携パスシステム講習会	県内	2012 年 11 月 20 日	粟盛、望月
沖縄県ＭＳＷ協会定例会	県内	2012 年 11 月 21 日	桑江、西田
沖縄県中部地区地域連携研究会	当院	2012 年 11 月 29 日	粟盛、桑江、望月
沖縄県慢性期医療協会ＭＳＷ定例会	県内	2012 年 12 月 5 日	講師、望月
沖縄県ＭＳＷ協会定例会	県内	2012 年 12 月 12 日	望月
平成 24 年度　おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	県内	2013 年 1 月 24 日	粟盛、桑江
沖縄県ＭＳＷ協会定例会	県内	2013 年 1 月 28 日	望月
沖縄県ソーシャルワーカー学会	県内	2013 年 2 月 23 日	望月、桑江、西田
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会	県内	2013 年 2 月 28 日	望月
沖縄県ＭＳＷ協会定例会	県内	2013 年 3 月 9 日	望月
沖縄県ＭＳＷ協会初任者研修会	県内	2013 年 3 月 10 日	桑江
沖縄県ＭＳＷ協会初任者研修会	県内	2013 年 3 月 17 日	桑江
沖縄県中部地区地域連携研究会	県内	2013 年 3 月 21 日	粟盛、望月、桑江
社会福祉士実習指導者講習会	県内	2012 年 11 月 10 日 ～ 11 日	西田
医療メディエーター養成研修（基礎編）	県内	2012 年 6 月 23 日 ～ 24 日	桑江、西田
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会	県内	2012 年 7 月 6 日	望月
中部地区在宅医療連携ネットワーク研修会	県内	2013 年 3 月 6 日	望月、西田
西原町高齢者ケアネットワーク	県内	2013 年 3 月 7 日	仲地

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
第 1 回沖縄県緩和ケア研修会 2012	県内	2012 年 4 月 15 日、4 月 22 日	望月、粟盛
第 2 回沖縄県緩和ケア研修会 2012　ファシリテーター	県内	2012 年 5 月 19 日～20 日	粟盛、望月、城間、西田
在宅・訪問診療市民講演会	県内	2012 年 6 月 17 日	望月、城間
『医療機関に役立つマーケティング思考と分析例』	当院	2012 年 8 月 11 日	全員参加
『雇用延長に関する勉強会』	当院	2012 年 8 月 15 日	仲地
『病院の増改築で大事なこと』	当院	2012 年 8 月 21 日	仲地
ハートライフ病院連携学術講演会	県内	2012 年 12 月 7 日	仲地、新垣
根本原因分析セミナー	当院	2013 年 1 月 26 日～27 日	仲地
医療経営セミナー参加	県内	2013 年 2 月 21 日	砂川
日本造血幹細胞移植学会　ＣＴＣの会総会	石川県	2013 年 3 月 9 日～10 日	奥平
講演会『聖隷浜松病院　病院長講演会』	県内	2013 年 3 月 14 日	仲地、新垣、砂川
豊見城中央病院 ﾛﾜｼﾞｰﾙ那覇（講演会・懇談会）	県内	2013 年 3 月 14 日	仲地、新垣、砂川
講演会『クレームマネジメントで患者満足度を高めましょう』	県内	2013 年 3 月 27 日	仲地、新垣、砂川、喜納
講演会『沖縄県地域がん対策と院内がん登録制度について』	県内	2013 年 3 月 28 日	粟盛、望月、西田、桑江、新垣、砂川、仲本
講演会『山形県酒田市病院機構設立経緯と現状、今後の課題について』	県内	2013 年 3 月 29 日	仲地、喜納

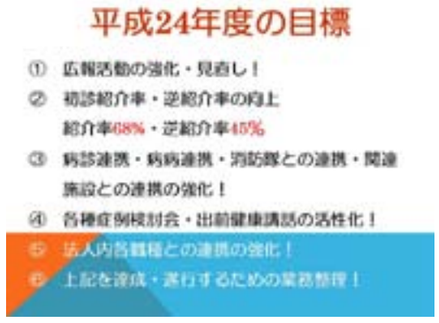
学会発表

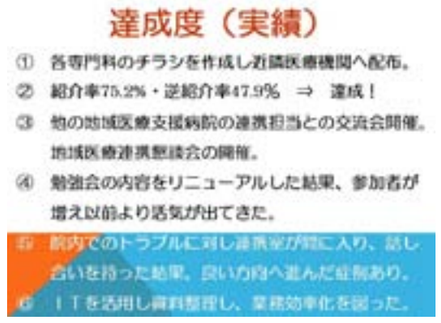
演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
当院における末期がん患者の退院支援	第 49 回　九州医療ソーシャルワーカー研修会	福岡県	2012 年 11 月 17 日～18 日	望月祥子、奥平藤也、桑江幸子、西田悠希子

出前健康講話実施状況

講座名	開催地	日付	演者
寝たきりにならないための運動	いいあんべー家（西原町）翁長公民館	2012 年 5 月 14 日	長嶺敦司(理学療法士)
脳卒中を予防しよう！	いいあんべー家（西原町）小那覇公民館	2012 年 6 月 8 日	長嶺敦司(理学療法士)
寝たきりにならないための運動	中城村　登又公民館	2012 年 7 月 18 日	長嶺敦司(理学療法士)
職場で出来るストレッチ	中城村　吉の浦会館	2012 年 7 月 31 日	長嶺敦司(理学療法士)
転倒予防について	いいあんべー家（西原町）美咲民館	2012 年 10 月 1 日	長嶺敦司(理学療法士)
転倒予防について	いいあんべー家（西原町）我謝公民館	2012 年 11 月 2 日	長嶺敦司(理学療法士)
転倒予防について	中城村　北上原公民館	2012 年 11 月 28 日	長嶺敦司(理学療法士)
生活習慣病予防について	吉の浦会館　別棟会議室	2013 年 3 月 1 日	長嶺敦司(理学療法士)

実績報告資料等





ハートライフ病院 企画室・法人事務局 経営企画室

ハートライフ病院 企画室・法人事務局 経営企画室 課長　安里　竜

平成 24 年 4 月のハートライフクリニックの開院に伴い法人事務局が設置され、それに併せて平成 24 年 6 月に事務部の組織改正が行われ、ハートライフ病院企画室および法人事務局経営企画室の配下に「電算係」と「広報係」が設置されました。

職員数

総数

6 名

職種別

一般事務　1 名　　広報係　　2 名

電算係　　3 名

運営方針

1. 事業計画への早期取組と構築
2. 医療制度改革への取り組み
3. 経営分析・報告と提案
4. 分析・計画・調整・実行・理念
5. 介護事業への取り組み

活動報告

＜事務局等＞

・先端医療技術産業化研究（CPC）事業 事務局
・㈶骨髄移植推進財団 非血縁者間骨髄移植・採取認定施設 事務局
・災害医療派遣チーム（DMAT）設立事務局
・QI プロジェクト導入推進 事務局
・おきなわ津梁ネットワーク導入推進 事務局
・医療バランストスコアカード導入推進 事務局

＜プロジェクト＞

・新版事業計画書導入推進・ICU 改築工事（6 床→ 8 床）
・3 階新病棟増築工事（8 床）
・無菌治療センター機能強化、無菌調剤室増築工事計画
・本院増改築準備
・介護事業設立準備
・病棟ホスピタリティ向上活動（ベッド、マットレス入替サポート等）
・カルテ庫整備
・職員駐車場整備

活動実績

研究事業報告会

名称	開催地	年月日	参加者
先端医療技術産業化研究事業・研究開発委員会	沖縄県	2012 年 10 月 20 日	事業委員各位、沖縄県
先端医療技術産業化研究事業・メディア報告会	沖縄県	2013 年 2 月 1 日	事業委員各位、沖縄県
先端医療技術産業化研究事業・研究報告会（県民向け）	沖縄県	2013 年 2 月 22 日	事業委員各位、一般市民
先端医療技術産業化研究事業・研究開発委員会	沖縄県	2013 年 2 月 23 日	事業委員各位、沖縄県

セミナー・勉強会開催

名称	開催地	年月日	参加者
持続する病院経営と BSC	当院	2013 年 2 月 26 日	病院職員

実績報告資料等

【電算係】

認定・資格

認定・資格名
第二種情報処理技術者
システムアドミニストレータ
第一級陸上特殊無線技士
デジタル第 1 種工事担当者
ソフトウェア開発技術者

認定・資格名
日本商工会議所簿記検定試験 2 級
cisco certified network associate
cisco certified network professional (BSCI)
cisco certified network professional (BCMSN)
microsoft certified professional (70-270)

運営方針

1. 院内ネットワークの有効活用
2. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
3. スキルの向上
   a. プログラミング、ドキュメント化技術の向上
   b. 病院業務への理解を深める

理念

IT への理解力と応用力を身に付け、院内 IT 環境の充実に努める

活動報告

- ３階病棟に患者サービス目的インターネットスポット設置
- クリニック開院以降の端末保守、機器増設
- クリニックへの健診システム導入サポート
- 部門業務のサポート、ツール作成
  1）職員通知用スライドボード、ER 朝カンファレンス帳票
  2）沖縄津梁ネットワーク用データ伝送（脳卒中・糖尿病）
  3）自動精算機、再来受付機、会計待受表示板導入サポート

＜進行中＞

- 日本語変換エンジン（ATOK）の導入
- ネットワーク機器不具合対応
- 服薬指導システム導入サポート
- 細菌検査システム導入サポート

実績報告資料等

【広報係】

活動目的

1. 院内の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する
2. 院内の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。
3. 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。
4. 院内における掲示物などに関して、規定を作成する。

活動報告

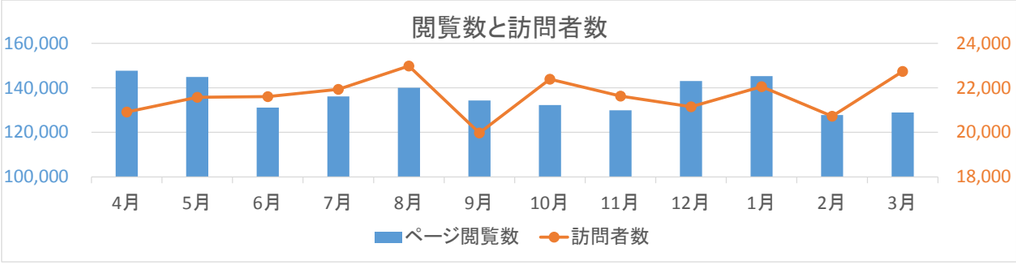
- ハートライフ病院の街路看板撤去およびリニューアル
- ハートライフクリニック開院に伴うパンフレットや販促チラシの作成
- 公式ホームペ―ジ運用・管理
- Twitter、Facebook 運用・管理
- 広報誌あすなろの発行（年 4 回）
- ハートライフ病院平成 24 年度年報のリニューアルおよび作成
- 入院案内、病院案内のリニューアル
- 院内誘導表示板の更新・追加
- 講演会ポスター作製、撮影や垂れ幕の作成などの講演会運営に関するサポート業務

- 各種報道・取材対応

  1）　琉球朝日放送「ステーションＱ　患者の骨髄液から肝硬変治療に新たな光」2012 年 2 月 1 日放送

公式サイト統計

項　目	日平均	月平均	年間合計合計
ページ閲覧数	4496.78	136776.92	1,641,323
訪問者数	711.45	21639.92	259,679



セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
クリエイティブディレクション基礎講座	那覇市	2012 年 7 月 10 日	知念政治、仲田尚正
第 160 回　企画広報塾　HIS 広報プランナー養成講座	鹿児島県	2012 年 10 月 20 日	知念政治
HIS フォーラム 2012in 長野	長野県	2012 年 11 月 1 日～4 日	仲田尚正

実績報告資料等

施設管理課

施設管理課 課長　我謝　三男

職員数

総数

4 名

職種別

施設技術者　4 名

認定・資格

認定・資格名	人数
第 3 種電気主任技術者	2
第 1 種電気工事士	1
第 2 種電気工事士	3
2 級ボイラー技士	4

認定・資格名	人数
危険物取扱者 乙種 4 類	4
消防設備乙種 4 類	4
自衛消防講習修了	4
医療ガス保安講習修了	3

運営方針

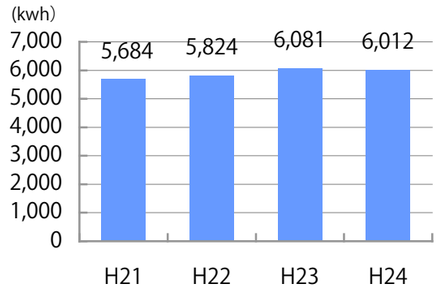
省エネ（CO_2 削減 1％）

理念

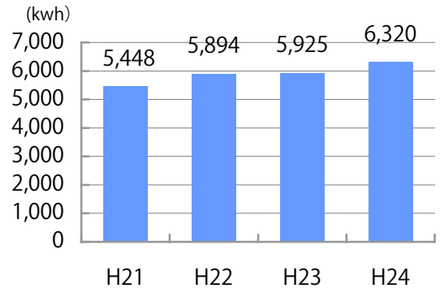
節電に努める

業務実績

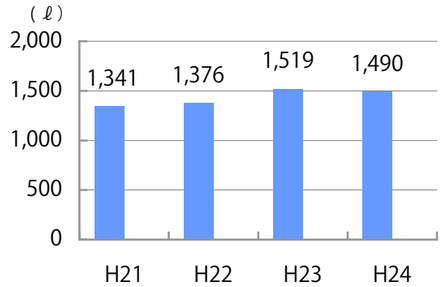
（総電力量（単位：千）



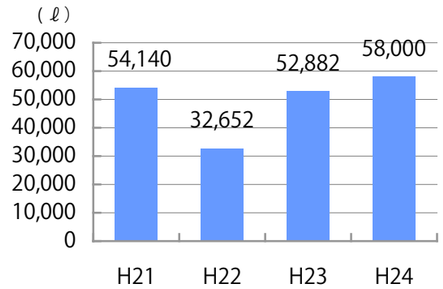
蓄熱電力量（kwh ）単位：百



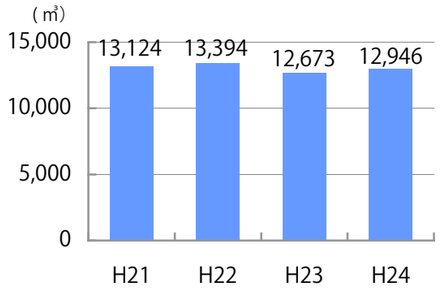
A 重油使用量（ボイラ、単位：百）



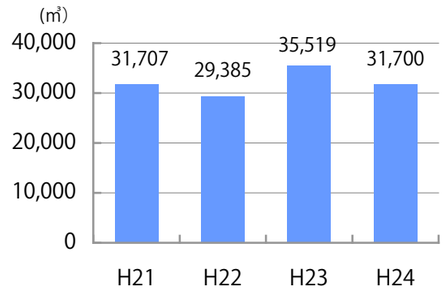
A 重油使用量（常用発電機）（ℓ）



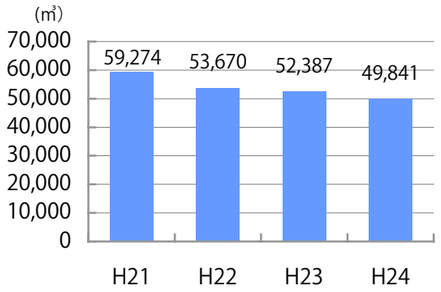
LPG 使用量（厨房）（㎥）



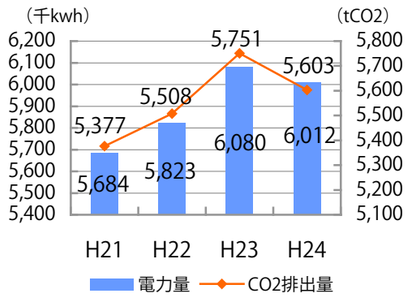
LPG 使用量（吸収式冷凍機）（㎥）



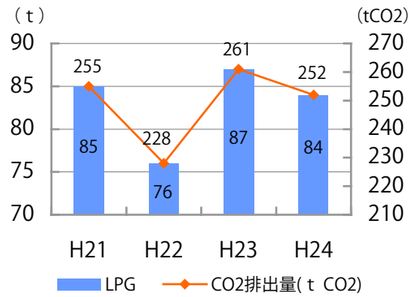
上水道使用量（㎥）



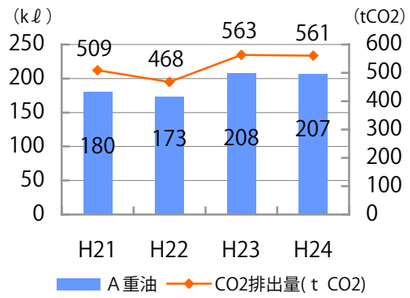
エネルギー消費量・CO 2排出量（電力・CO2）



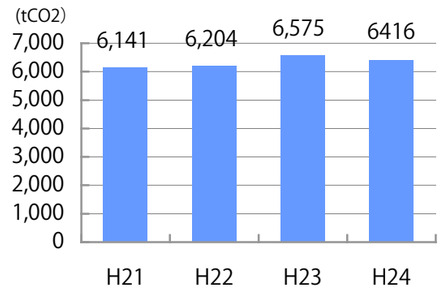
エネルギー消費量・CO 2排出量（LPG・CO2）



エネルギー消費量・CO 2排出量（A 重油・CO2）



CO 2総排出量



活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
医療ガス講習会	当院	2012 年 6 月	具志堅徳明
電気設備保全担当者講習会	福岡県	2012 年 8 月	比屋根　崇
消防設備士講習会	沖縄市	2012 年 9 月	具志堅徳明、比屋根　崇
消防設備士講習会	沖縄市	2012 年 10 月	比屋根　斉
危険物取扱者講習会	沖縄市	2012 年 10 月	比屋根　斉
電気主任技術者会議	那覇市	2013 年 3 月	具志堅徳明

防災訓練

名称	開催地	年月日	参加者
新入職員向け消防訓練	当院	2012 年 4 月	当院職員
総合防災訓練	当院	2012 年 12 月	当院職員

実績報告資料等

料飲・販売

事務副部長　比嘉　靖

職員数

総数

16 名

職種別

調理師　2 名　　その他　14 名

運営方針

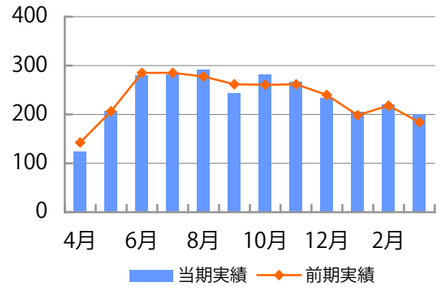
食の安全とより良いサービスの提供

理念

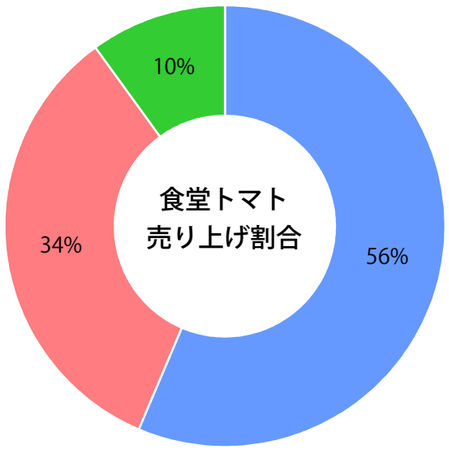
目配り・気配り・思いやり

業務実績

食堂　トマト　売上推移（単位：万）

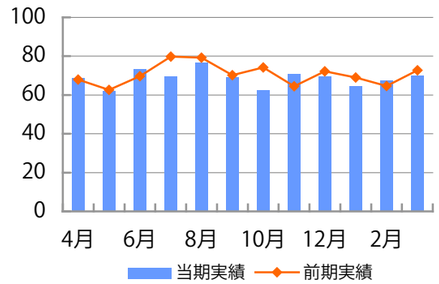


食堂　トマト　売上割合

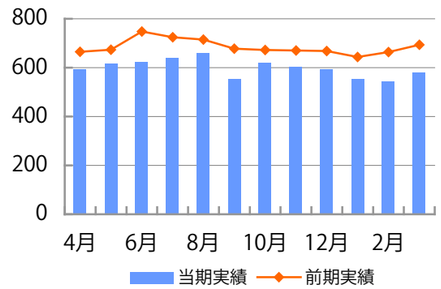


■人間ドック ■店舗売上 ■弁当/惣菜等

喫茶　グリーン　ケイブルズ売上推移（単位:万）

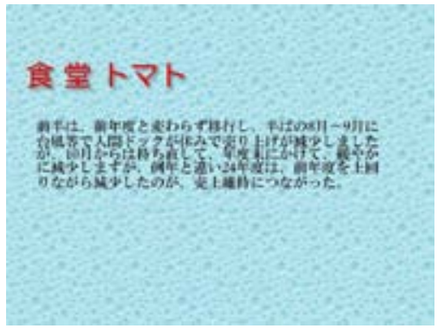


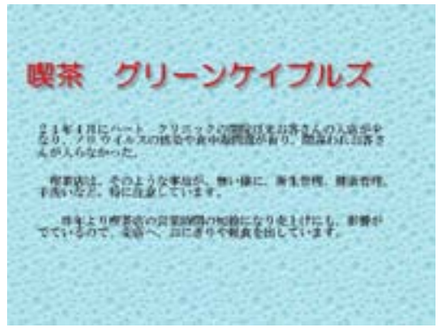
売店　ハートストア売上推移（単位：万）

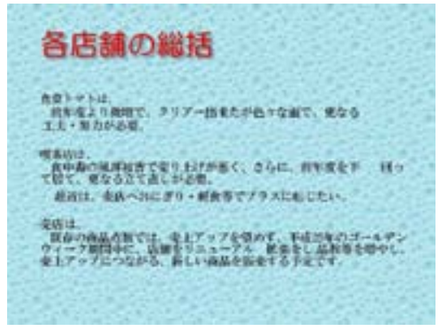


活動実績

実績報告資料等







事務部　年度総括

事務部長
當銘　秀之

事務部はここ数年、実働に合わせて様々な組織改革・変更を行ってきました。さらに平成 24 年 4 月にハートライフクリニックが開院いたしましたので、それに伴い当法人内に法人事務局が設置され、事務部職員の多くが本院と事務局の職務を兼任することになりました。組織体系や指揮命令系統が複雑化しましたが、職務範囲を明確化することで作業効率化を図り、また、それ以上に職員が意欲的に行動するようになったことで、事務部全体のレベルアップに繋がったと感じております。

また、本年度は、3 階新病棟の開設、ICU のリニューアル、再来受付機導入、自動精算機導入、POS レジ導入など、施設設備の強化に力を注ぎました。今後も幅広く意見を取り入れ協力しながら、職員満足度と患者満足度の向上に取り組みます。

平成 25 年度は組織のスリム化を図り、作業効率の更なる向上を目指し各部署への指揮命令系統の明確化と権限移譲を行い、より一層の組織改革と意識改革を推進します。今後もより一層､各部署との連携し協力を得ながら「笑顔で親切」のスローガンのもと、より良い病院作りに邁進します。

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	22 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	玉城秀美
委員名	【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【医　局】久場良也、末吉健次、上原盛幸（研） 【看護部】西銘宣子、外間真紀子、安村公均、林　広江、池村久美子、小橋川春子 【医療技術部】伊藤昌徳、西澤香織、大城　安、石原　悟、神谷乗敏、栄野比智也、古波倉美登利、高宮江利子、久場徳子 【事務部】比嘉靖、仲地智俊、當眞嗣美		
活動目的	1）医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上をはかる。 2）医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。		
活動内容	1）医療事故防止策の検討及び研究に関すること 2）医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3）医療事故防止のための職員に対する指示に関すること 4）医療事故防止のために行う提言に関すること 5）医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6）リスクマネージャーの養成に関すること 7）その他医療事故の防止に関すること ※委員会開催 : 毎月第 3 金曜日　17:00 ～		
備考			

実績報告資料等

自治医科大学　河野龍太郎教授による 根本分析セミナー H251 月 26 日・27 日

セミナーの様子

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	19 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城　安
委員名	【医　局】久場良也 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、屋良ちえみ、我那覇美帆、安村公均、中野久乃、外間真紀子、小橋川春子、米須智子、森　富江、宮平典子、城田怜子 【医療技術部】大城　安、伊藤昌徳、古波倉美登利 【事務部】具志堅徳明（実施責任者 / 施設管理課）、比嘉靖		
活動目的	医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
活動内容	1）医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2）帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3）医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4）医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5）その他医療ガスに関わる事項。		
備考			

実績報告資料等

委託業者による医療ガス設備保守点検

医療ガス講習会

医療ガス安全･管理委員会事業計画

平成25度

項　　目	概　　要
【人員計画】 計画を実行するための要員、体制、研修・セミナー・学会への参加等関連	・株式会社オカノ医療部による医療ガス講習会(未定) 関係職種を対象に医療ガスの知識、技術の向上に努める ・医療安全管理委員会主催の講習会にて医療ガス講習会(未定) ・医療ガス保守講習会の受講(未定)
【業務計画】 業務全般に対する取り組みの内容及び展望等	・排気アウトレット 6月　株式会社オカノによる医療ガス設備保守点検 年1回、専門業者へ委託。排気、全配管端末器具である排気設備の安全管理を図る。 ・マニホールド室 6月　株式会社オカノによる医療ガス設備保守点検 年1回、専門業者へ委託。供給設備点検、設備の安全管理を図る。 ・CO2設備点検 6月　株式会社オカノによるCO2保守点検(外部委託) 年1回の法定点検の実施。 ・医療ガス設備定期点検(自主点検) 6月・9月・12月・3月 毎3ヶ月ごとに年4回医療ガス供給設備の定期点検・整備の実施

医療ガス安全管理委員会25年度目標

医療ガス設備の安全管理を
図り患者の安全を確保する

1.医療ガス設備の保守点検の実施

2.医療ガス安全管理教育の実施

医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	10 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	玉城秀美
委員名	【医　局】久場良也、佐久川　廣、西原　実 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】西銘宣子、池村久美子（メディエーター） 【事務部】當銘秀之、比嘉　靖、仲地智俊、當眞嗣美		
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため		
活動内容	1）医療事故発生の事実及び経過の確認に関すること 2）医療事故の原因調査に関すること 3）医療事故発生に伴う対応策に関すること 4）訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	29 人
事務局・担当部署	医療技術部	担当者名	宮城竜也
委員名	【医　局】奥島憲彦、西原　実 【看護部】西銘宣子、屋良ちえみ、内間幸人、小橋川春子、中野久乃、安村公均、外間真紀子、宮平典子、米須智子、比嘉暢、宮城美那、竹本直美 【医療技術部】宮城竜也、伊藤昌徳、仲座義富、玉城義彦、斎藤辰好、神谷乗敏、川上国男、古波倉美登利、久場徳子 【事務部】我謝三男、新川　進、比嘉康文、宮里毅、大城利信（国際ビル） 《相談役》比嘉一廣		
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
活動内容	年 1 回以上、必要に応じて管理委員会を開催する。 1）年 1 回、4 月入職者へのオリエンテーション 2）国際ビル産業職員への処理及び取り扱い、感染対策等の説明指導 3）処理法変更時、各部署へ説明指導		
備考			

実績報告資料等

院内感染対策委員会

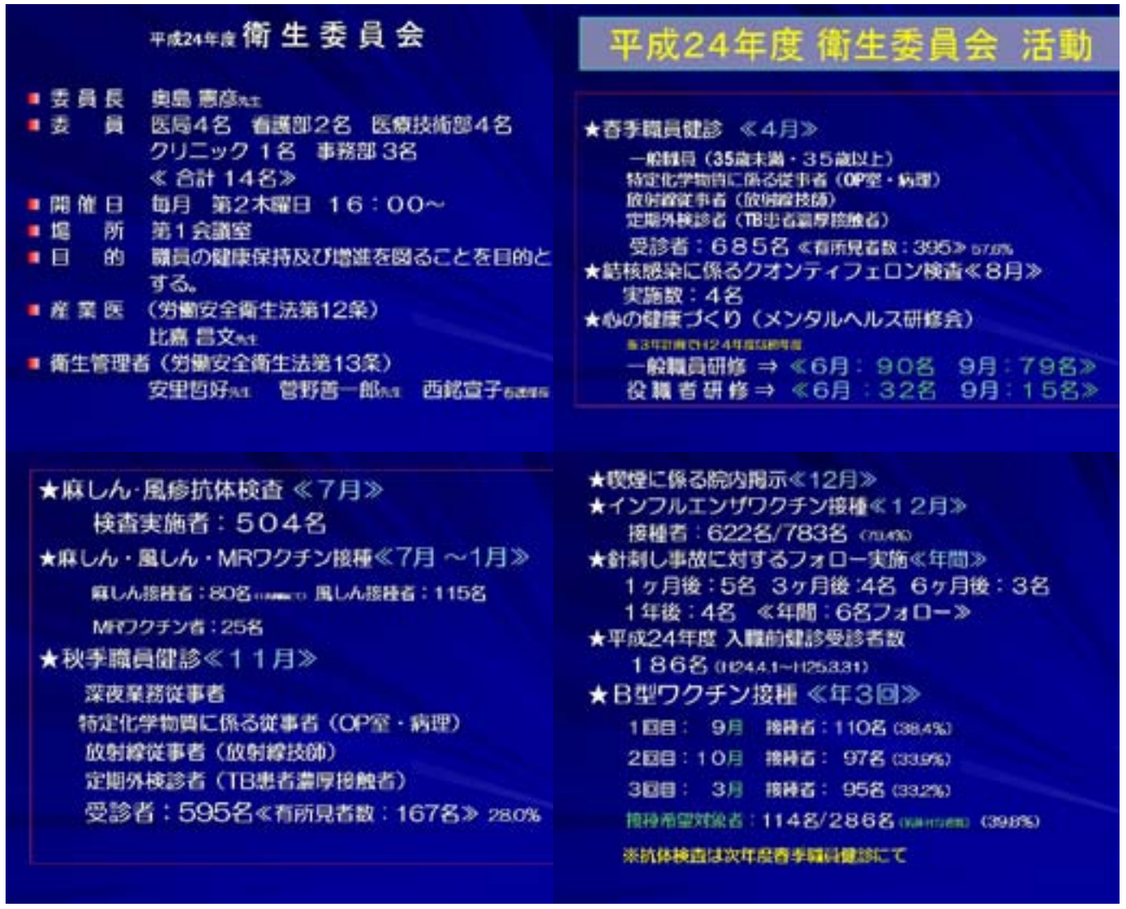
委員会名	院内感染対策委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	石川由希
委員名	【感染対策管理室】石川由希（専従看護師）、宮城美那（感染管理認定看護師）宮城好美（事務） 【医　局】普天間光彦、奥島憲彦、宮平　工、研修医（輪番） 【看護部】西銘宣子、中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、伊藤昌徳、古波倉美登利、宮里武行、森山武志 【事務部】當銘秀之、新垣淳		
活動目的	1）感染発生の予防と防止 2）感染発生時の発生源の調査、拡散防止、治療 3）再発防止 4）アウトブレイク時の早期対応 5）サーベイランスの実施		
活動内容	1）サーベイランスの計画、実施、評価 2）アウトブレイクの調査と対策への直接関与 3）医療従事者への教育 4）感染委員会のマネジメント 5）感染管理に関する相談 6）厚生労働省サーベイランス JANIS への参加 7）部署のラウンドとチェック、指導 * 耐性菌ラウンド : 毎週月曜日 14 時～ * 環境ラウンド : 毎月第 1 月曜日 14 時～ * 感染対策委員会 : 毎月第 3 月曜日 17 時～ * ICT 会議 : 毎週月曜日 14:30 ～		
備考			

実績報告資料等

衛生委員会

委員会名	衛生委員会		
委員長名	奥島　憲彦	構成人数	14 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	後原保光
委員名	【医　局】奥島憲彦、比嘉昌文、菅野善一郎、上原盛幸 【看護部】西銘宣子、池村久美子 【医療技術部】宮城竜也、玉城義彦、田中健嗣、具志堅善則、大家聡樹（ハートライフクリニック） 【事務部】後原保光、佐藤さとみ、桑江高		
活動目的	職員の健康保持及び増進を図ることを目的とする。		
活動内容	1）定期職員健診 2）入職前健診 3）健診後の有所見者のフォロー 4）各種ワクチン接種 / 感染症対策（インフルエンザ・肝炎・麻疹・風疹・ノロ等） 5）こころの健康づくり 6）禁煙対策 ※委員会開催 : 毎月第 2 木曜日　PM4:00		
備考			

実績報告資料等



NST・褥瘡対策委員会

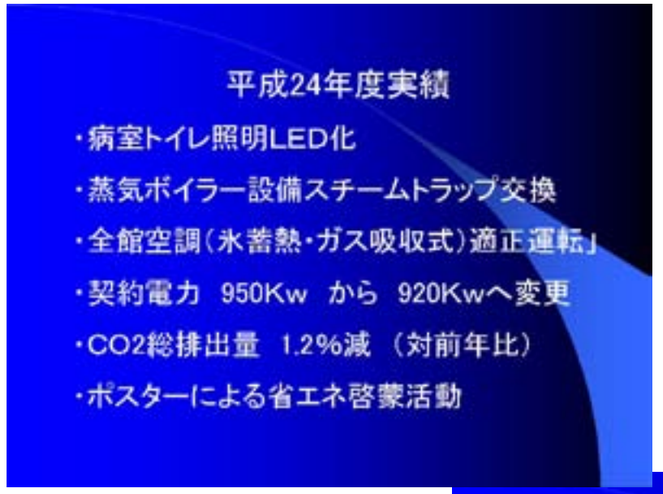
委員会名	NST・褥瘡対策委員会		
委員長名	宮平　工（NST）/ 渡慶次　学（褥瘡）	構成人数	32 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	嘉数智子
委員名	【栄養サポート室】嘉数智子（専従看護師） 【医　局】宮平　工、宮城　純、渡慶次　学、東盛貴光 【看護部】宮平典子、米須智子、當真さゆり、半嶺梢、玉那覇久美子、上原美代子、辺土名弘美、山城奈保子、宮本峰香、新崎聖子、桑本桂裕、益倉福子、森山由紀子、下地睦、岩佐みどり、宮平良太、名嘉悠、伊波佐智枝、我如古志乃、新垣涼香、比嘉常美、泉淑子、玉城裕美、砂川友美、宮城久美子、比嘉寛美、新垣士言 【医療技術部】久場徳子、山城佳世、高良美希、西盛麻子、翁長寛人、大城小百合、玉城盛彦、富田美智代、松川玲子、大見謝勝人、川本桂子		
活動目的	1）入院患者の褥瘡発生を予防する 2）褥瘡発生（または入院時より有する）患者に対して適切なケアを実施する 3）褥瘡ケアの質の向上 4）栄養不良の原因や栄養状態を把握し適切な栄養投与（経口栄養の支援・経腸栄養・静脈栄養）を実施する		
活動内容	1）褥瘡対策の体制を整備し、機能させる 2）褥瘡対策の実践を指導、監督する 3）褥瘡ケアの予防及び治療に対する正しい知識を広める 4）褥瘡対策の状況を定期的に病院へ報告する 5）病状にあった輸液や栄養剤の選択 ※ NST 回診・カンファレンス : 毎週月曜日 ※褥瘡回診 : 毎週月曜日（必要に応じていつでも回診）		
備考			

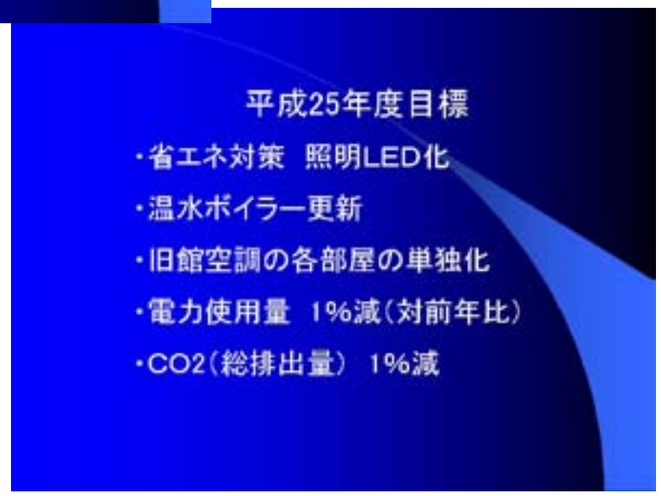
実績報告資料等

エネルギー委員会

委員会名	エネルギー委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	9 名
事務局・担当部署	施設管理課	担当者名	我謝三男
委員名	【医　局】松元　悟 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富 【事務部】當銘秀之、後原保光、比嘉靖、我謝三男、宮里毅		
活動目的	病院のエネルギー（電気・ガス・重油・水）を適正に使用することを目的とする。		
活動内容	1）病棟トイレ照明の LED 化 2）全館空調（氷蓄熱・ガス吸収式）適正運転 3）ポスターによる省エネ啓蒙活動		
備考			

実績報告資料等

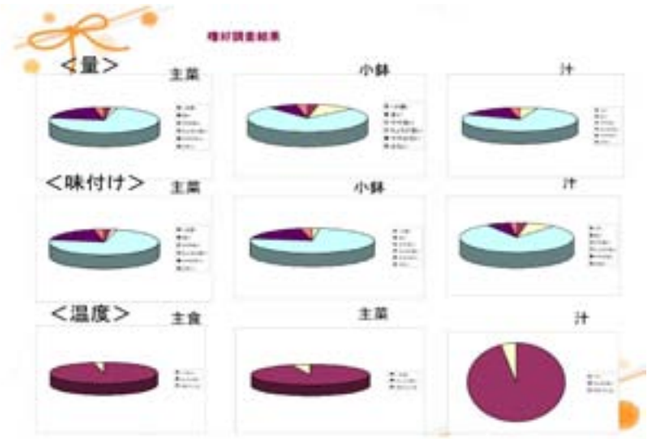




栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会		
委員長名	宮平　工	構成人数	8 人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	久場徳子
委員名	【医　局】宮平　工 【看護部】宮平典子、森　富江、米須智子、小橋川春子、外間真紀子、我那覇美帆 【医療技術部】久場徳子		
活動目的	栄養管理の充実・向上とその適正な運営を図る		
活動内容	1）入院患者の栄養管理、食事計画、調査、改善策等を検討する 2）給食業務に関する事項を検討		
備考			

実績報告資料等



○意見・要望等（希望メニュー）
・薄味ですが美味しいです（常食）
・味付けが薄いのは仕方ありません、病院食ですから、入院前の食事がどれだけ塩分を多く、食していたかと思うとこわい。（常食）
・毎食美味しく頂いています。食欲落ちている時の酢の物、お汁とてもありがたいです。（常食）
・もう少しやわらかい食事が良い。（軟菜食）
・昨日も今日も魚ばかり魚が多すぎる。（軟菜食）

化学療法委員会

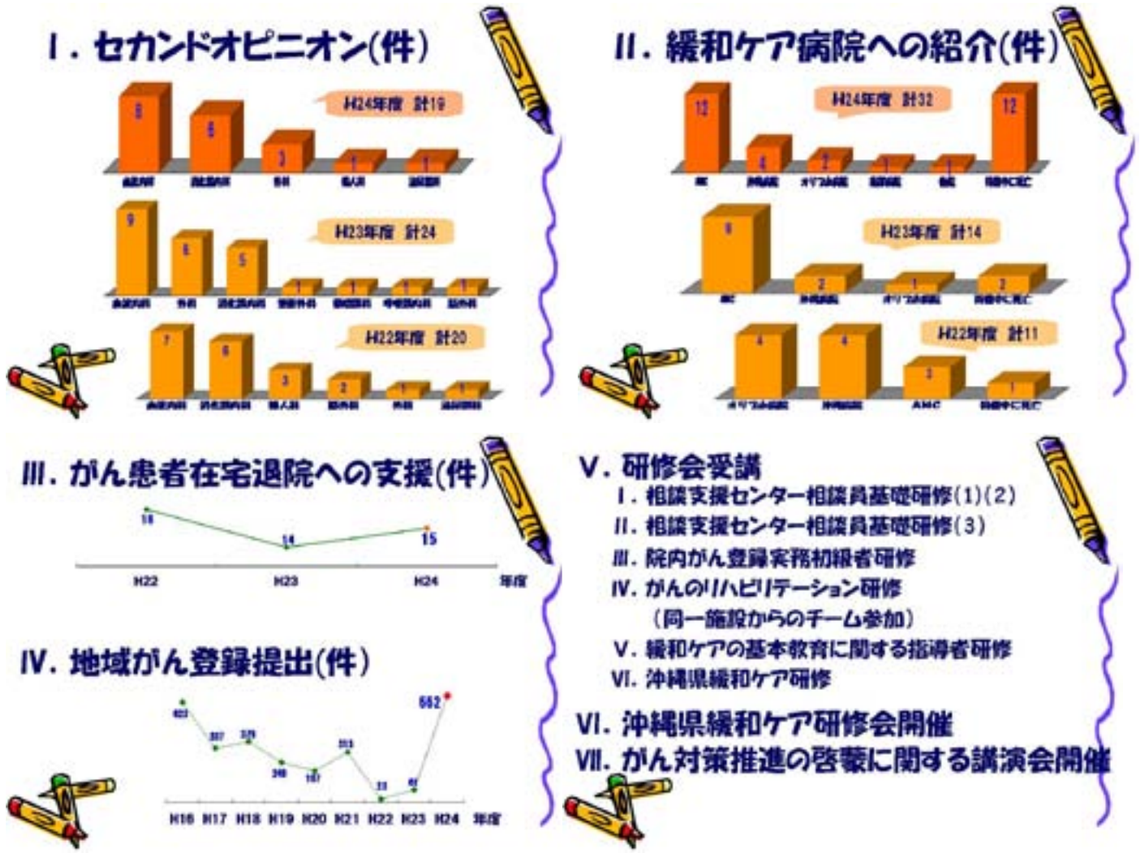
委員会名	化学療法委員会		
委員長名	西原　実	構成人数	14 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
委員名	【医　局】西原　実、平良直也 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】屋良ちえみ、小橋川春子、内間幸人、本田由佳理、仲田ひろ子、山内美咲 【医療技術部】伊藤昌徳、田中健嗣、谷山美紗子、大関秀和 【事務部】望月祥子		
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
活動内容	1）化学療法の運用上の改善を行う。 2）化学療法に係る環境の整備を行う。 3）院内で使用されるレジメンの検証を行う。 4）使用薬剤、器具の整備を行う。 5）勉強会、講演の企画を行う。 6）その他、化学療法に関わるすべての事項に関して検討・対応を行う。 ※委員会開催 : 毎月第一木曜日		
備考			

実績報告資料等

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会		
委員長名	西原　実	構成人数	10 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	粟盛信子
委員名	【医　局】西原　実、比嘉須奈子（メディカルクラーク） 【看護部】仲地ますみ、本田由香理 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】宮平奈美子、望月祥子、粟盛信子（看護師 / 地域医療連携室）、高良直光、新垣りか		
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実した、がん医療の提供の推進を図る。		
活動内容	1）セカンドオピニオン 2）緩和ケア病院への紹介 3）がん患者さんの在宅退院への支援 4）地域がん登録提出 以下の研修会受講の推進 ①相談支援センター相談員基礎研修 ②院内がん登録実務初級者研修 ③がんのリハビリテーション研修（同一施設からのチーム参加） ④緩和ケアの基本教育に関する指導者研修 ⑤沖縄県緩和ケア研修		
備考			

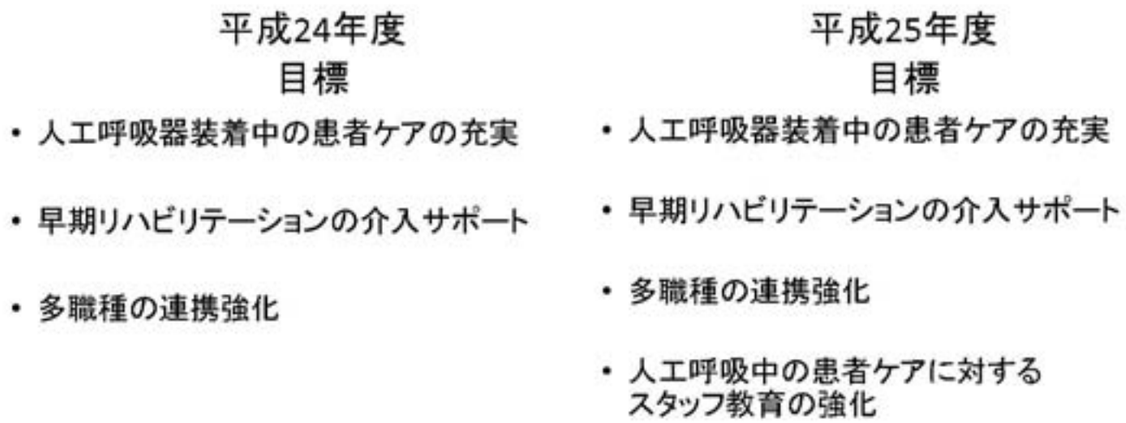
実績報告資料等



呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	9 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医　局】普天間光彦、 【看護部】内間幸人、岡田　仁、宮城美那 【医療技術部】豊川真里、仲松晋也、波平静香、狩俣貴康 【感染管理対策室】石川由希（専従看護師）		
活動目的	1）人工呼吸器からの離脱に向けての支援（ウィニング計画立案・実施・コンサルテーション） 2）人工呼吸器装着患者の合併症予防		
活動内容	1）1 回 / 週のラウンドの実施　対象患者は、人工呼吸器装着中（NPPV 含む）で、離脱を目指している患者 2）呼吸ケア関連の勉強会の開催		
備考			

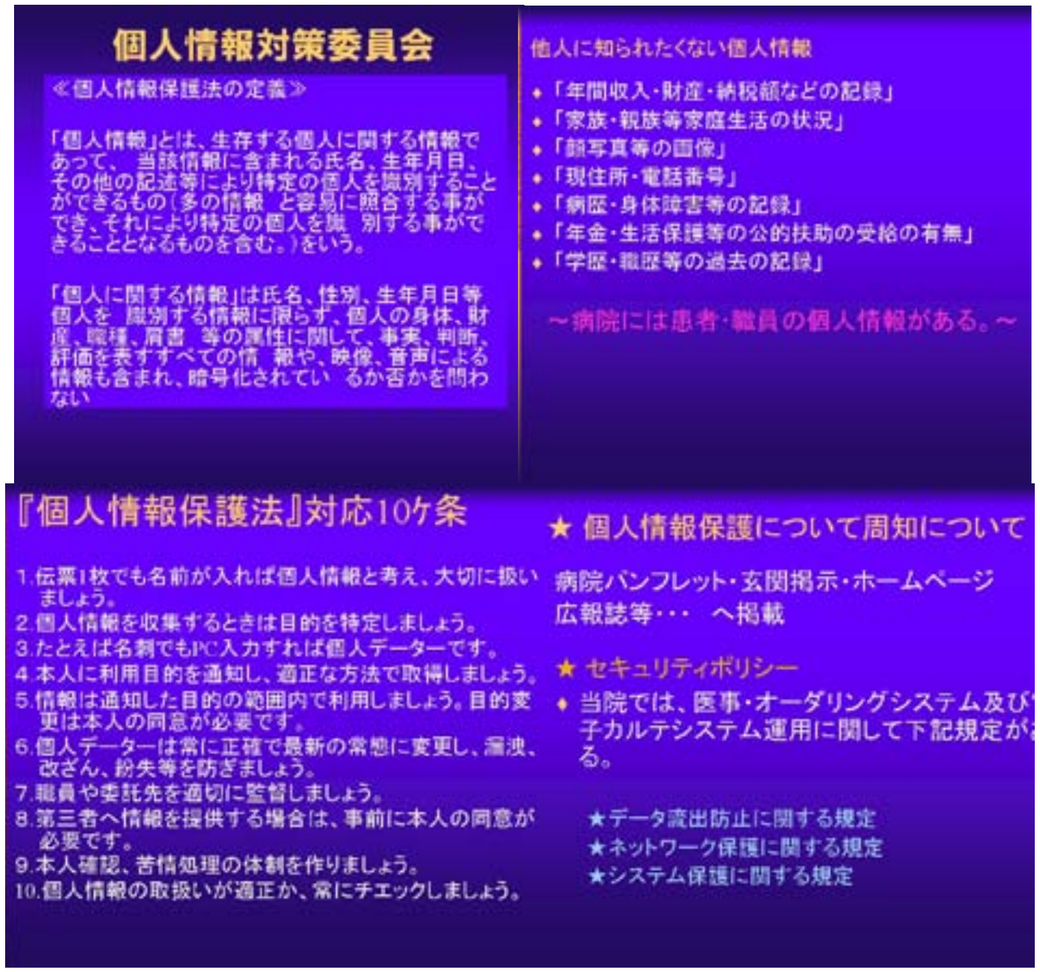
実績報告資料等



個人情報対策委員会

委員会名	個人情報対策委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	11 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	後原保光
委員名	【医　局】佐久川　廣、普天間光彦 【看護部】西銘宣子、仲地ますみ 【医療技術部】伊藤昌徳、神谷乗敏、川上国男 【事務部】後原保光、柳　学、當眞嗣美、宮城克己、		
活動目的	院内患者及び職員のプライバシー保護を目的に対策検討する。		
活動内容	1）個人情報保護指針（ガイドライン）の策定・公示 2）内部規定の策定 3）個人情報保護管理者の選定 4）個人情報が漏洩した場合の報告および連絡体制の功逐 5）相談窓口の開設 6）個人情報漏洩にかかる職員教育 7）個人情報の文書等の管理方法及び見直し 8）同意書等の整備 9）委託業者の監督		
備考			

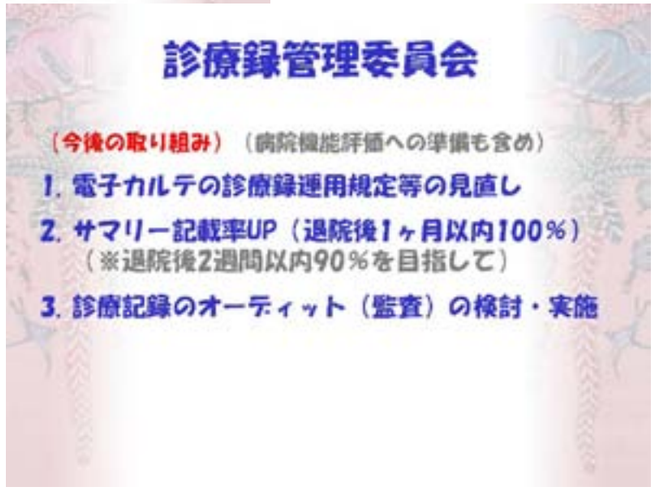
実績報告資料等



診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	14 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳　学
委員名	【医　局】佐久川　廣、西原　実 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】神谷乗敏、玉城義彦、久場徳子、田中健嗣、野原　剛、石原　悟 【事務部】柳　学、當眞嗣美、田河美智代、渡久地政重（ハートライフクリニック） 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師）		
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為の必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
活動内容	委員会は隔月（奇数月）1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1）検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2）入院、外来診療録の整備と質的向上の為の諸条件に関すること 3）診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4）診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5）診療録管理に関すること 6）診療情報の提供に関すること 7）その他		
備考			

実績報告資料等



卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	36 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	當銘麻子
委員名	【医　局】奥島憲彦、普天間光彦、久場良也、佐久川　廣、西原　実、山本壽一、平良直也、折田　均、與座　一、安里義秀、新垣　薫、大西　勉、武田　理、嘉川春生、末吉健次、前本　均（研修医 2 年目代表） 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、當銘麻子、安次富晶子 【外部委員】川平　稔、大屋祐輔、道下　聡、渡部　尚、涌波淳子、涌波　満、中田安彦、村田謙二、安部好弘、新里　脩、朝戸末男、安里尚彦、松本ノリス、今井千春、兼次順子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑の実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床修研修委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
活動内容	1）平成 23 年度研修医終了判定 2）平成 23 年度臨床研修費等補助金に係る配分額の承認 3）新規管理委員の承認 4）評価票の改訂 5）平成 24 年度採用者の修了予定の報告と判定		
備考			

実績報告資料等

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	仲地智俊
委員名	【医　局】奥島憲彦、松元　悟、久場良也、佐久川　廣 【看護部】西銘宣子 【事務部】仲地智俊 【外部委員】中城村長　浜田京介、西原町長　上間　明、宜野湾市長　佐喜眞　淳、 中城北中城消防組合　消防長　安里長栄、東部消防組合消防本部　消防長　當山　健、 宜野湾市消防本部　消防長　大嶺清光、中部地区医師会理事　今井千春、 （株）東和薬品沖縄販売　中部地区薬剤師会　会長　前原信照、 中部地区婦人連合会　会長　島袋邦子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
活動内容	1）共同利用の実施に関すること。 2）救急医療の提供に関すること。 3）地域の医療従事者に対する研修の実施に関すること。 4）諸記録の管理に関すること。 5）諸記録の閲覧に関すること。 6）紹介患者に対する医療提供に関すること。 7）その他地域医療支援に関すること。		
備考	年度に 1 回以上委員会を開催する。		

地域医療支援病院認定に係わる以下の情報

地域医療支援病院認定に係わる以下の情報は、「病院概要」および「患者統計・病歴統計」をご参照ください。

（1）開設者　（2）紹介率（紹介率・逆紹介率）　（3）共同利用　（4）救急医療
（5）研修　（6）病床数

（7）構造設備

「集中治療室、化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、救急用または患者輸送用自動車、医薬品情報管理室」の設置が承認用件で、当院は満たしております。

（8）諸記録

諸記録の①保存・管理や②閲覧など、日本医療機能評価機構の基準をクリアしており、認定時に比べて質の向上を果たしております。

（9）委員会

本委員会の設置にてクリアしております。

（10）患者相談

専用の面談室あり。医療ソーシャルワーカー 4 名および医療メディエーター 1 名、患者サービス担当 1 名を配置して対応。

（11）その他

患者相談業務および地域の診療所等と、円滑に連携が行われる体制がとられている。

（12）居宅等

主に在宅支援診療所や訪問看護ステーションなどの、在宅医療を担う医療機関との連携が承認条件です。

治験審査委員会

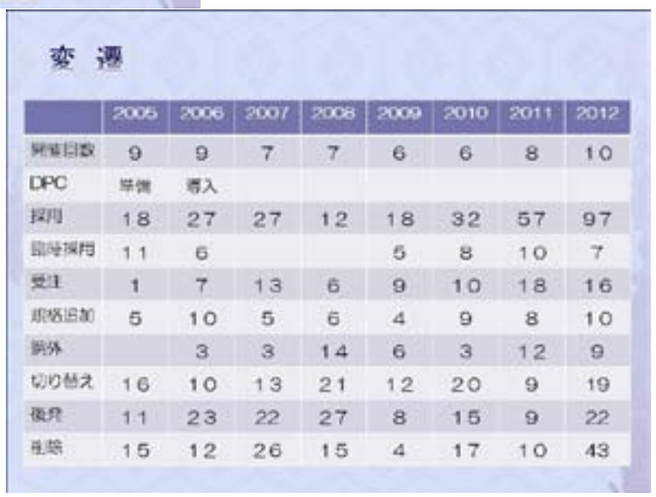
委員会名	治験審査委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	8 名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	伊藤昌徳
委員名	【医　局】松元　悟、佐久川　廣、嘉川春生 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】比嘉　靖、當間嗣美 【外部委員】2 名		
活動目的	治験を行う為に必要な第 3 者機関（院長の諮問機関）として、「治験の原則」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。 治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
活動内容	稼働治験数 :4 件（内、終了治験数 :1 件） 医師主導型臨床試験数 : 新規 1 件		
備考			

実績報告資料等

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	8 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医　局】松元　悟、久場良也、佐久川　廣、普天間光彦 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】當銘秀之、宮城淳		
活動目的	院長の諮問機関として、病院で使用する、すべての医薬品の医学的、薬学的及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
活動内容	医薬品にかかわるすべての事項 1）医薬品の採否決定に関すること 2）薬品予算の年間計画に関すること 3）未使用医薬品の残品防止に関すること 4）後発医薬品の採用推進すること 5）採用医薬品の種類を制限すること 6）その他医薬品の取り扱いに関すること		
備考			

実績報告資料等



変　遷

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
開催回数	9	9	7	7	6	6	8	10
DPC	準備	導入						
採用	18	27	27	12	18	32	57	97
臨時採用	11	6			5	8	10	7
受注	1	7	13	6	9	10	18	16
規格追加	5	10	5	6	4	9	8	10
除外		3	3	14	6	3	12	9
切り替え	16	10	13	21	12	20	9	19
後発	11	23	22	27	8	15	9	22
処方	15	12	26	15	4	17	10	43

輸血療法委員会

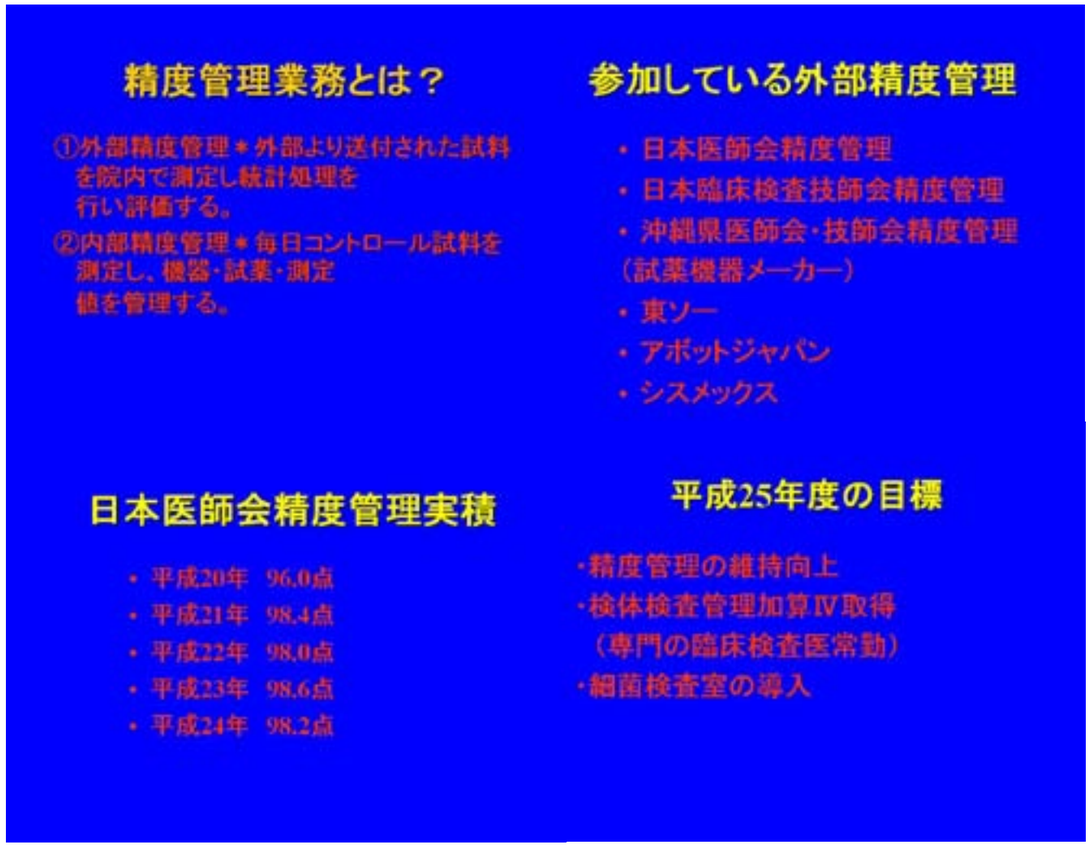
委員会名	輸血療法委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下　恒
委員名	【医　局】佐久川　廣、宮平　工 【看護部】安村公均、比嘉暢 【医療技術部】神谷乗敏、蔵下　恒、谷山美沙子 【事務部】高良直光		
活動目的	輸血療法の安全な実地及び輸血製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血医療に係る全般を議題、検討内容する。		
活動内容	1）手順書の作成 ①輸血業務に必要とされる手順書を随時作成、改定を行う ②手順書の内容を啓蒙する 2）輸血ミスの防止 ①インシデント発生時、原因を追究し、対処法を作成する。 ②対処法を実践させるよう啓蒙する。 3）適正使用の実施 ①”輸血療法の適正化に関する指針”に則した使用を目指す。 ②”輸血療法の適正化に関する指針”の啓蒙を行う ③適正使用に向け、血液製剤使用量の報告を行い、医局会議、運営会議等で報告を行う。 ④適正使用に則さない場合、指導、検討を行う 4）血液製剤の有効利用を促進する。 ①使用量、廃棄血量の報告を行う。 ②問題がある場合、個別に問題を検討し対処法を検討する。 5）副作用、感染症の報告を行う。 6）その他、血液療法に関する問題を議題内容とする。		
備考			

実績報告資料等

臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	7 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	神谷乗敏
委員名	【医　局】佐久川　廣 【看護部】中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、具志堅善則、斉藤　辰好 【事務部】當眞嗣美、渡久地政重（ハートライフクリニック）		
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので疾病の診断、治療、予後を判断するための重要な情報を提供するものである。質の高いデータを迅速に提供する事を目的とする。		
活動内容	1）臨床検査が関わる業務の範囲の検討 2）検査精度、機器選定ならびに導入計画 3）検査項目や、正常値の検討 4）その他検査に関わる必要事項の検討を行う		
備考			

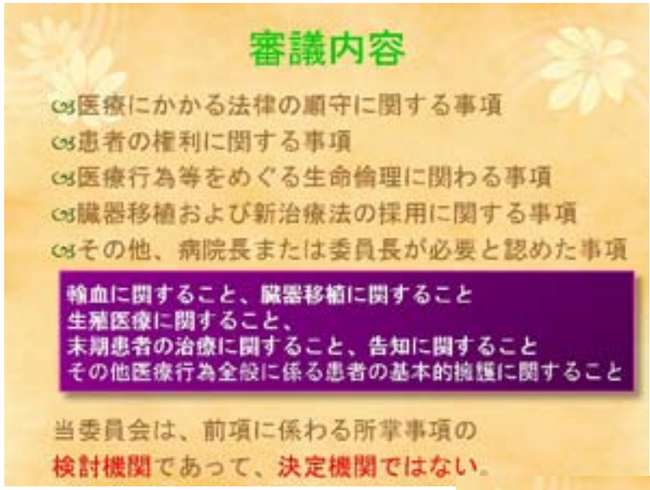
実績報告資料等



倫理委員会

委員会名	倫理委員会		
委員長名	與座　一	構成人数	9 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	伊藤昌徳
委員名	【医　局】與座　一、佐久川　廣、久場良也、宮城　敬 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】後原保光、新川　進、高良直光		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
活動内容	1）医療にかかる法律の順守に関する事項 2）患者の権利に関する事項 3）医療行為等をめぐる生命倫理に関わる事項 4）臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5）その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数 :12 件		
備考			

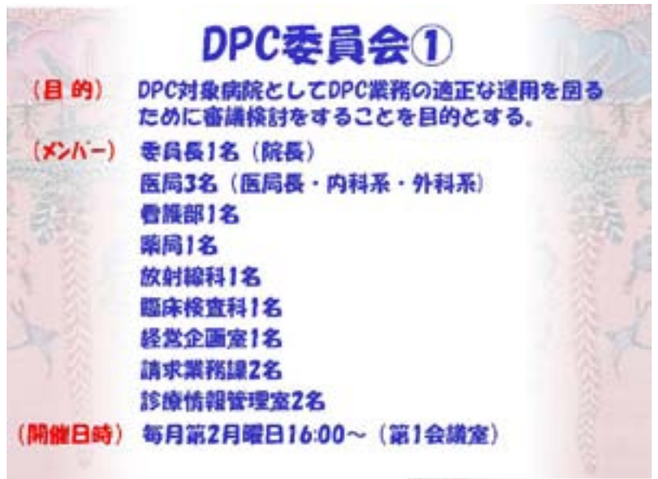
実績報告資料等

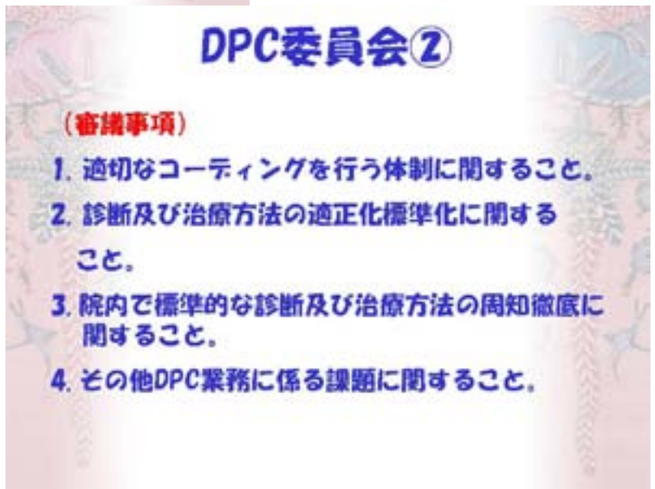


DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	14 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳　学
委員名	【医　局】奥島憲彦、西原　実、内科系医師、外科系医師 【看護部】西銘宣子、粟盛信子（地域医療連携室） 【医療技術部】宮城竜也（放射線科）、神谷乗敏（臨床検査科）、田中健嗣（薬局） 【事務部】柳　学（診療情報管理室）、當眞嗣美（請求業務課）、高良直光（請求業務課・入院）、金城昭一（請求業務課・入院）、田河美智代（診療情報管理室）		
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
活動内容	1）委員会は毎月 1 回定例とし、第 2 月曜日に開催することを原則とする。 2）適切なコーディングを行う体制に関すること。 3）診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 4）院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 5）その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

実績報告資料等

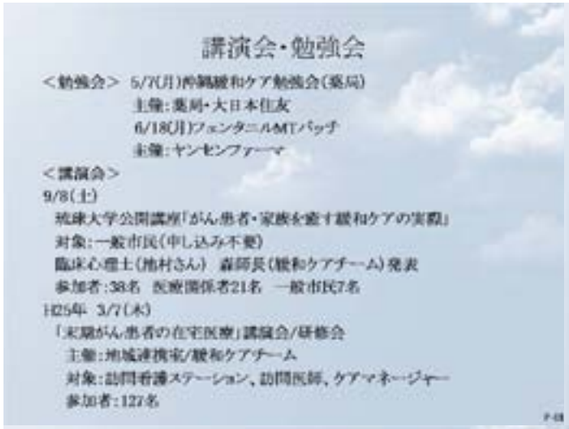


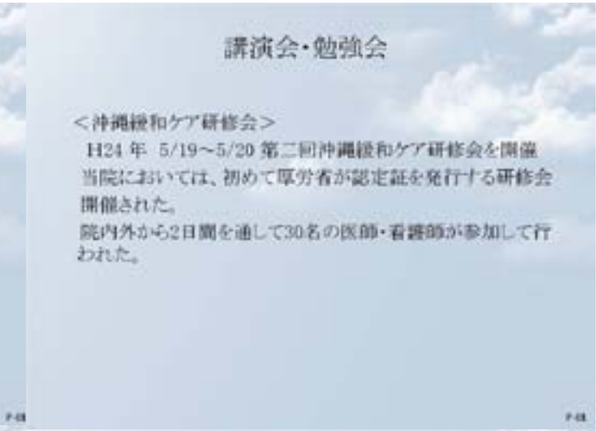


緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会		
委員長名	花城直次	構成人数	18 名
事務局・担当部署	看護部　外来	担当者名	森　富江
委員名	【医　局】花城直次、菅野善一郎 【看護部】池村久美子、本田由佳理、仲地春代、下地博一、高良那津子、藤堂早紀、大城千佳子、新地博美、水野美千子、森　春香 【医療技術部】伊藤昌徳、玉栄優子、栄野比智也、高屋美希、棚原佳世 【事務部】望月祥子		
活動目的	治療不可能な疾患の終末期にある患者及び家族の生活の質の向上のために、各部署の専門家が協力してチームを作り、以下の項目を要件とするケアを提供する。		
活動内容	1）患者の痛みや、その他の不快な身体症状を緩和する 2）患者に精神的・社会的・霊的な援助を行い、死が訪れるまで生きていることに意味を見いだせるようなケアを行う 3）患者の家族を患者の療養中から死別した後まで支える		
備考			

実績報告資料等





診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	7 名
事務局・担当部署	請求業務課	担当者名	金城昭一
委員名	【医　局】佐久川　廣、松元　悟、西原　実 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣 【事務部】金城昭一、金城　泰		
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
活動内容	1）保険診療に関すること 2）請求漏れ、査定減の対策に関すること 3）保険請求事務等の改善に関すること 4）レセプト作成、点検に関すること		
備考			

実績報告資料等

※当院過去の査定率

	支払基金	国保連合会	合計	査定点数	査定率
平成21年	188,385,677	417,155,965	603,541,642	848,543	0.14%
平成22年	233,887,772	474,377,103	708,064,875	1,196,472	0.17%
平成23年	239,330,051	489,267,516	728,597,567	3,566,123	0.49%
平成24年	238,192,024	492,838,525	729,030,549	3,227,694	0.44%
合計	895,595,524	1,873,639,109	2,769,234,633	8,838,832	0.32%

単位/点

※平成25年度目標

◆当院目標査定率0.14％の達成に努める

※救急医療管理加算査定状況

平成24年度

	査定件数	請求金額	査定金額
4月	1202	¥10,016,000	¥816,000
5月	1503	¥12,064,000	¥888,000
6月	1568	¥12,544,000	¥872,000
7月	1943	¥15,544,000	¥1,096,000
8月	2132	¥17,608,000	¥1,016,000
9月	1707	¥14,216,000	¥1,416,000
10月	1885	¥15,080,000	¥2,184,000
11月	1927	¥15,416,000	¥912,000
12月	1919	¥15,352,000	¥4,168,000
1月	2000	¥16,064,000	¥4,048,000
2月	1569	¥12,552,000	¥2,624,000
3月	1652	¥13,216,000	¥3,784,000

※目標0.14％以下への課題として

◆医師・看護師・コメディカル・請求業務課の連携の強化。

◆請求業務課の診療報酬点数解釈、点検業務の強化

◆査定された内容を再検証し次月請求への反映の取り組み。

投書対策委員会

委員会名	投書対策委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	6 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医　局】奥島憲彦 【看護部】西銘宣子、粟盛信子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、比嘉康文		
活動目的	患者さんからの苦情相談に対し、迅速に対応処理し病院に対する信頼を向上する。		
活動内容	外来患者または入院患者の要望または苦情に対し、関連部署へ通知し、改善を図る。		
備考			

実績報告資料等

IT 推進委員会

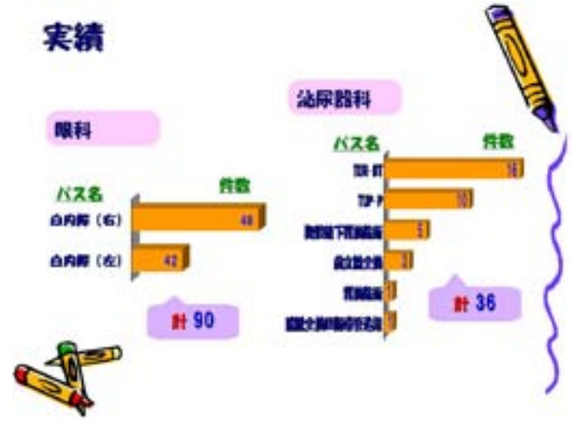
委員会名	IT 推進委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	18 名
事務局・担当部署	企画室電算係	担当者名	宮城克己
委員名	【医　局】佐久川　廣、普天間光彦 【医療技術部】伊藤昌徳、田中健嗣、大城盛寛、古波倉美登利、具志堅善則、仲松晋也 【事務部】當銘秀之、柳　学、新川　進、安里　竜、高良直光、宮城　淳、宮城克己 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） オブザーバ：竹本直美（透析室）、砂川直樹（地域医療連携室）		
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム（機器）の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
活動内容	1）医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの運用方法の検討 2）グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 3）上記①②に係るネットワークの検討 4）IT 導入に伴うセキュリティ管理 5）各部門システムの導入、運用検討 6）職員の IT 知識の向上		
備考			

実績報告資料等

クリティカルパス委員会

委員会名	クリティカルパス委員会		
委員長名	大西　勉	構成人数	16 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	粟盛信子
委員名	【医　局】普天間光彦、平良直也、宮城純、宮平工、新垣薫、大西勉、神里美佐子、徳比嘉央乃 【看護部】宮平典子、森富江、米須智子、小橋川春子、外間真紀子、諸喜田久美 【事務部】粟盛信子（看護師 / 地域医療連携室）、安里　竜		
活動目的	1）医療の質の向上 2）患者中心の医療を提供 3）業務の効率化 4）在院日数の短縮、コスト削減		
活動内容	H23 年 1 月より電子カルテ導入。電子カルテ対応パスソフトの周知を図り、ソフトを活用してパスを作成する。		
備考			

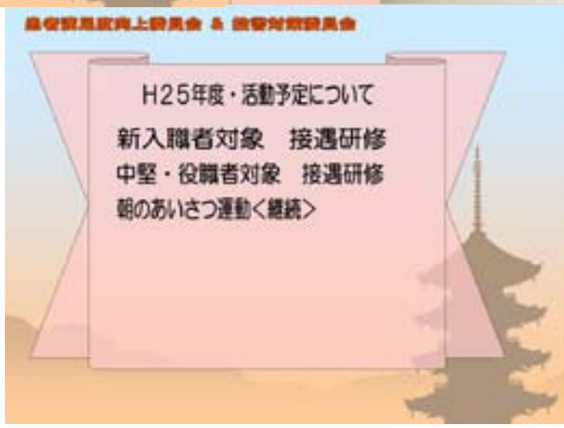
実績報告資料等



患者満足度向上委員会

委員会名	患者満足度向上委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	12 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医　局】奥島憲彦（院長）、松元　悟 【看護部】西銘宣子、林　広江 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富、古波倉美登利、狩俣貴康 【事務部】當銘秀之、比嘉　靖、比嘉康文、金城　泰		
活動目的	患者さんに対する接遇向上と待ち時間短縮の向上を図る。 職場環境療養改善を図る。 患者さんの苦情・要望に対応する。		
活動内容	1）年間を通じて接遇教育・研修計画をたてる 2）アンケート調査を実施する<平成 24 年度患者満足度調査　平成 24 年 12 月 3 日（月）～ 7 日（金）5 日間　外来・MSC・透析室・各病棟> 平成 24 年度新入職者研修　　平成 24 年 4 月 14 日（土）9：00 ～ 12：00 3）接遇の職場環境作り		
備考			

実績報告資料等



健康増進委員会

委員会名	健康増進委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	12 名
事務局・担当部署	事務部・医療技術部	担当者名	玉城義彦 冨里等
委員名	ハートライフ病院 【医　局】奥島憲彦、松元　悟、菅野善一郎 【看護部】仲地ますみ、屋我裕子、 【医療技術部】當眞結子、玉城義彦 【事務部】比嘉　靖、冨里　等、金城信矢 ハートライフクリニック 【医　局】山本壽一 【リューザ】長嶺敦司		
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
活動内容	1）健康増進に関する会議の開催 2）健康増進に関する相談・指導 3）健康増進のきっかけづくり 4）部署・サークルの健康増進活動への支援 5）健康増進に関する情報提供 6）健康増進に関するニーズの集約 7）健康増進に関する環境の整備 8）健診後の生活指導の支援		
備考			

実績報告資料等

医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	17 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城　安
委員名	【医　局】松元　悟、西原　実 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】西銘宣子、安村公均、中野久乃 【医療技術部】宮城竜也、大城　安、仲松晋也、神谷乗敏、石原　悟、栄野比智也、伊藤昌徳、吉田　裕、古波倉美登利 【事務部】新川　進、我謝三男		
活動目的	今日、わが国の高度先進医療を支えるものとして、驚異的な技術の進歩を遂げた医療機器があります。これらの高度化した多種多様の医療機器の持つ機能を、十分に発揮させると共に安全性を確保するには、計画的な保守と、適切な取り扱い技術の習得、効率の良い運用を専門的に行うことを目的とする。		
活動内容	1）高度医療機器の効率的運用と安全性の確保 ①機器故障、誤操作による事故発生の防止 ②院内修理、点検による修理点検コストの低減 ③医療機器の一括管理を推進し過剰設備を防止する （利用状況、適正保有台数の把握）		
備考			

実績報告資料等

広報委員会

委員会名	広報委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	10 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医　局】久場良也、嘉川春生 【看護部】中野久乃 【医療技術部】伊藤昌徳 【事務部】吉川　忍、比嘉康文、宮城克己、砂川直樹、知念政治、仲田尚正		
活動目的	1）院内の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する 2）院内の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3）広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4）院内における掲示物などに関して、規定を作成する。		
活動内容	法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供		
備考			

年報作成員会

委員会名	年報作成員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	11 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医　局】奥島憲彦、嘉川春生、菅野善一郎 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】仲座義富、玉城義彦 【事務部】當銘秀之、山本亜矢子、島袋　絢、知念政治、仲田尚正		
活動目的			
活動内容	病院年報の企画・データ収集・作成。 各科・各委員会・各部署それぞれの前年度実績報告会の企画・運営。		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	31 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	中野久乃
委員名	【医　局】奥島憲彦、堤　真吾、大西　勉、上笹　航、狩俣かおり、西原　実、村山茂美、喜久本藍、末吉健次、山入端敦、宮平　工、新垣　薫、武田　理、上原　健、宮城　敬、花城直次、親川　智、松元　悟、釜野武志、国吉史雄、新垣勝男、大城琢磨、佐久川陽子、澤岻安勝、渡慶次　学、嘉川春生、折田　均、波照間友基、井手上隆史、照屋明子、平良直也		
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。		
活動内容	月 1 回。 ここでは手術スケジュールの調整に関する事、手術室の安全管理･感染管理に関する事、設備に関する事、機器の保守点検・新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
備考			

救急・ICU 検討委員会

委員会名	救急・ICU 検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	17 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医　局】久場良也、佐久川　廣、與座　一、西原　実、新垣勝男、末吉健次、嘉川春生、城間丈二、普天間光彦、平良直也、安里義秀、大西　勉、武田　理、照屋明子 【看護部】内間幸人、安村公均、粟盛信子		
活動目的	救急外来、ICU の運営上の諸問題、搬送患者の取り扱い、感染問題、治療実績、地域消防との連携、勉強会の開催等		
活動内容	1）BLS コース企画、運営 2）ICLS コース企画、運営 3）救急、災害フェアへの参加（地域消防との連携により近隣のショッピングセンターにおいて BLS 講習会を実施）		
備考			

実績報告資料等

平成24年度
目標

- 院内BLS・ICLSの継続実施
- 院外での救急啓蒙活動の推進

平成25年度
目標

- 院内BLS・ICLSの継続実施
- 院外での救急活動推進
- 災害対策の推進

図書委員会

委員会名	図書委員会		
委員長名	宮平　工	構成人数	6 名
事務局・担当部署	診療情報管理室・図書係	担当者名	宮城映子
委員名	【医　局】宮平　工 【看護部】西銘　宣子 【医療技術部】石原　悟 【事務部】比嘉　靖、宮城映子、柳　学		
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営をはかるため必要な事項等を審議検討することを目的とす。		
活動内容	図書委員会活動：委員長が招集し年 2 回開催。（4 月・10 月） 広報活動：「図書だより」を毎月 1 回発行し、院内各部署および他病院図書室などに配布。年 1 回所蔵目録の作成。		
備考			

実績報告資料等

ハートライフ病院図書室 概要

- 開室時間　：月～金 8:30～21:00 土 8:30～18:00
  （※担当者在室　平日8:30～17:30）
  24時間利用可能（施設時は医局より鍵を借用）
- 蔵 書 数　：和書　2143冊、洋書　134冊
- 購読雑誌数：和雑誌　66誌
  洋雑誌　34誌
- データベース：医中誌Web、PubMed、UpToDate、メディカルオンライン
- 視聴覚資料：DVD57本、ビデオ 72本　CD-ROM 13本
- 機器の利用：パソコン3台、プリンター1台、視聴用DVD/ビデオ1台
- 図書室サービス：文献検索、文献複写依頼、図書購入手続

ハートライフ病院 図書委員会

図書室業務実績（平成24年度）

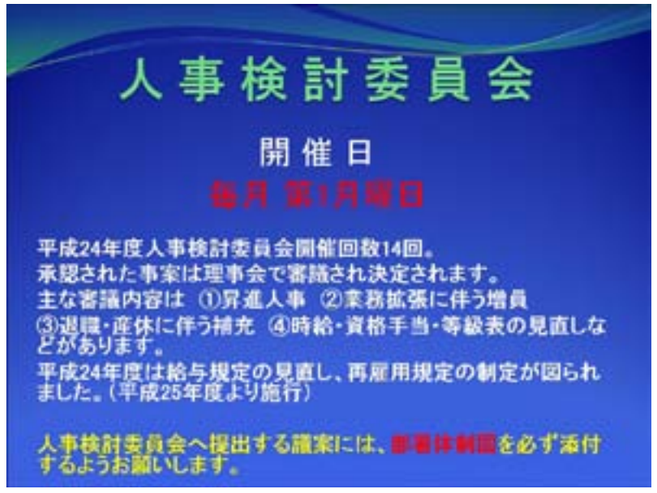
文献複写依頼	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
医 局	341	370	247	780	389
看護部	10	1	119	40	20
コ・メディカル	9	8	4	3	1
事務部	2	1	0	1	5
クリニック					75
その他(院外)	4	8	0	5	5
小 計	366	388	370	829	495
メディカルオンライン	2413	5366	4706	5174	7070
検索部からの依頼	189	178	187	259	289

受入資料	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
和雑誌(タイトル数)	80	79	72	75	66
洋雑誌(タイトル数)	42	42	32	33	34
図書(書籍)	109	102	169	179	240

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務部長	担当者名	宮良長男・當銘秀之
委員名	【医　局】奥島憲彦 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】宮良長男、當銘秀之		
活動目的	1）21 世紀における、医療の質の向上に寄与するための人材確保 2）各部門の現状把握と分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し経営に寄与する 3）職員の採用 (増員、補充、移動、その他）は人事検討委員会を通して検討する 増員・補充に関しては理事会の承認を得る 4）昇進人事を検討し理事会へ提案する 5）業務委託の検討		
活動内容	平成 24 年度人事委員会開催回数 14 回。承認された事案は理事会で審議され決定されます。 主な審議内容は①昇進人事②業務拡張等に伴う増員③退職・産休に伴う補充などがあります。 平成 24 年度は、医師を除く各職種の役職手当や給与等級表の大幅な見直しを行いました。人事検討委員会では、病院の経営的な面と職員の活性化とのバランス取りながら運営を行っております。		
備考			

実績報告資料等



教育研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	5 名
事務局・担当部署	看護部、副部長	担当者名	仲地ますみ
委員名	【医　局】久場良也、西原　実 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】宮良長男		
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT 等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化・向上に寄与する。		
活動内容	1）病院全体の教育・研修実施状況について以下を把握する。 ①年間計画と実績 ②各部門の教育・研修の現状 ③学会発表、参加状況 ④研修会（講習会）への参加状況 ⑤研修後の報告の有無 2）外部からの研修（実習）実績の集約 3）その他		
備考			

実績報告資料等

【院内講演会・研修実施状況】

内　容	実施件数	参加者(人)
医療安全	5	531
院内感染対策	3	225
教育	34	1106
発表・報告会	12	1106
教養・その他	11	620
計	65	3588

【実習・研修受け入れ状況】

医師卒後臨床研修	18	初期研修 後期研修	10 8
看護学生臨床実習	307	沖縄看護専門学校 ぐしかわ看護学校 北部看護学校 名桜大学看護学科 福岡看護専門学校	192 26 26 30 33
医療技術関連実習	221	医学生 リハビリ 臨床検査 事務系 薬学生	75 20 14 4 1
救急救命士臨床実習	65	中部地区MC 他消防	31 34

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	17 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	新川　進
委員名	【医　局】久場良也、松元　悟 【看護部】仲地ますみ、諸喜田久美、屋良ちえみ、竹本直美、米須智子、比嘉暢、宮平典子、内間幸人、中野久乃、安村公均、小橋川春子 【医療技術部】神谷乗敏、大城　安、宮城竜也 【事務部】新川　進		
活動目的	診療材料等に関する方針および懸案事項を審議、調整する。		
活動内容	1）診療材料・医療消耗品等に係る方針に関すること。 2）購買管理・在庫管理・使用管理に関すること。 3）発注事務等の改善に関すること。 4）職員教育及び啓蒙に関すること。 5）前各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項。		
備考			

実績報告資料等

診療材料検討委員会
（主な検討材料）
今年度は、手術室の材料のキット化の変更を実施

眼科ｷｯﾄ（角膜移植ｷｯﾄ）
滅菌ｶﾞｳﾝ　ｻｲｽﾞ LL
整形ﾊﾝﾄﾞｷｯﾄ　ﾊｰﾄ1
ﾒｯｷﾝｶﾞｳﾝ　ｻｲｽﾞL
外科ｷｯﾄ　ﾗﾊﾟﾛ
外科ｷｯﾄ　ﾗﾊﾟｺﾙ
滅菌ﾄﾞﾚｰﾌﾟ　1550x1800mm
ﾈｰﾌﾟｽｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ　JM-27
蘇生ﾊﾞｯｸ用酸素充填ﾊﾞｯｸ（ﾘｻﾞｰﾊﾞｰﾊﾞｯｸ）成人用 2500ml
乳児蘇生ﾊﾞｯｸ用酸素充填ﾊﾞｯｸ（ﾘｻﾞｰﾊﾞｰﾊﾞｯｸ）

診療材料検討委員会
（主な検討材料）

ﾈｰﾌﾟｽｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ　JM-27
蘇生ﾊﾞｯｸ用酸素充填ﾊﾞｯｸ（ﾘｻﾞｰﾊﾞｰﾊﾞｯｸ）成人用 2500ml
乳児蘇生ﾊﾞｯｸ用酸素充填ﾊﾞｯｸ（ﾘｻﾞｰﾊﾞｰﾊﾞｯｸ）
滅菌ﾌﾟﾚｯﾄG　No.20　1ﾊﾟｯｸ10球入
滅菌ﾌﾟﾚｯﾄG　No.14　1ﾊﾟｯｸ10球入
ﾎﾟｼｭﾛﾑﾒﾀﾞﾘｽﾄﾌﾚｯｼｭﾌｨｯﾄ
JMSﾌﾟﾗｸﾀｸ測注用輸液ｾｯﾄ　20滴
ｲﾘｹﾞｰｼｮﾝﾃｸｼｮﾝﾁｭｰﾋﾞﾝｸﾞｾｯﾄ
ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ生検鉗子　VPP
ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ生検鉗子　VPP
ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ生検鉗子　VPP
VisiGlideｶﾞｲﾄﾞﾜｲﾔｰ　VPP
VisiGlideｶﾞｲﾄﾞﾜｲﾔｰ　VPP
VisiGlideｶﾞｲﾄﾞﾜｲﾔｰ　VPP
VisiGlideｶﾞｲﾄﾞﾜｲﾔｰ　VPP

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	10 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	新川　進
委員名	【医　局】松元　悟、久場良也 【看護部】西銘宣子、中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、宮城竜也、大城　安 【事務部】當眞嗣美、當銘秀之、新川　進		
活動目的	診療・業務レベルの維持向上、療養及び就業環境の充実の為、経済効率も加味した適正な物品の購入を検討し、理事会に呈示する。		
活動内容	1）良質で安全・安価な物品購入がなされているか監督する。 2）効率的物品管理がなされているか監督する。 3）物品購入は、各年度の予算内とする。		
備考			

実績報告資料等

物品購入検討委員会
平成24年度審議物品

病棟特　室のソファーベッドの買い換え	看護部	概算額～3,500,000円
整形外科用ベッドの買い換え	3F	概算額～540,000円
ボイラー　設備更新	施設課	概算額～1,900,000円
講堂音響・映像機材更新	広報	概算額～1,380,000円
膀胱ビデオスコープ　一式	泌尿器科	概算額～509万円
手術室カメラヘッド	泌尿器科	概算額～99万円
腹腔鏡手術（外科・産婦人科）モニター	外科	概算額～1,700万円
クリニック看板設置	クリニック	概算額～945,000円
クリニック立体駐建物間の屋根設置	ハートライフクリニック	概算額～630,700円
血液生化学検査機器	救急総合診療部	概算額～3,600,000円
シラスHD-OCT(前眼部スキャン)	医局・眼科	概算額～12,450,000円
コンパクトERG	医局・眼科	概算額～1,275,000円
超音波画像診断装置（携帯型エコー機）	医局	概算額～6,200,000円
睡眠検査開設に伴う機器購入及び改装工事	臨床検査室	22,370,000円
食道内圧測定機器購入	外科・検査室	概算額～5,600,000円
マルチスライスCT	放射線科	概算額～2億円

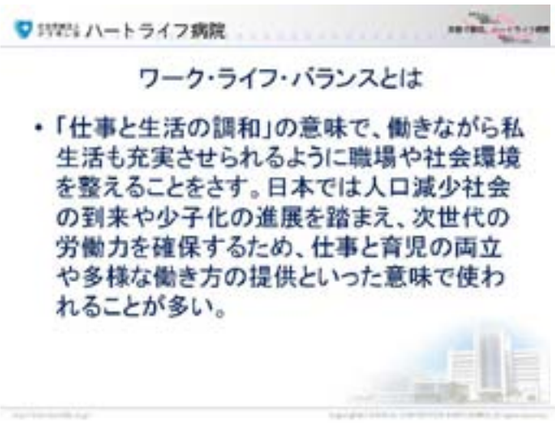
平成24年委員会審議物品―2

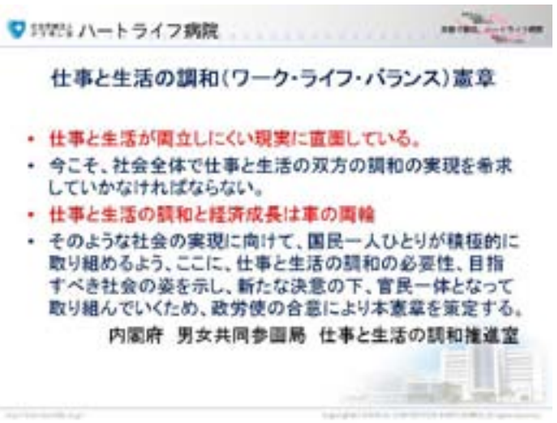
クーラー設置	請求業務課	概算額～245万円
X線ポータブル装置	放射線科	概算額～315万円
8F、1Fのマンモグラフィ整備	放射線科	概算額～5,000万円
AEDの買い替え	臨床工学科	概算額～754万円
ミクロトーム購入	臨床検査科	概算額～187万円
浄化設備整備	施設管理課	概算額～170～270万円
公用車（車椅子用）買い替え	総務課	概算額～200万円
手術室整備・無影灯、手術台の買い替え	手術室	概算額～1,500万円
医療用ベッド　2台	生理検査室	概算額～90万円
ヒュームフード購入	検査室	概算額～90万円
ホルムアルデヒド対策用整備	検査室	概算額～210万円
産婦人科用吸引器	医局	概算額～58万円
小児用体重計	5階病棟	概算額～100万円
非常食買い替え	栄養科	概算額～250万円
電解水生成装置	栄養科	概算額～139万円
ウォッシャーディスインフェクター買い替え	手術室	概算額～1,100万円
自動清算器・POS釣り銭機・	請求業務課	概算額～2,500万円

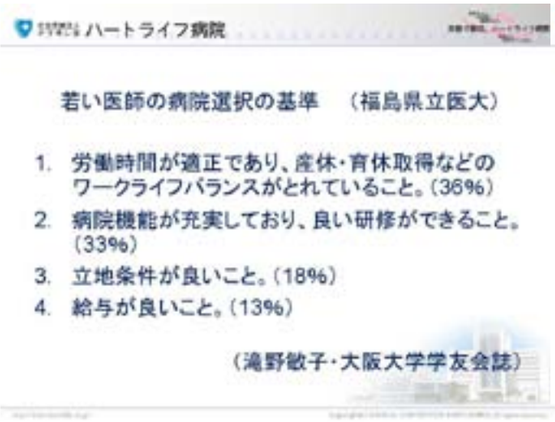
ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会		
委員長名	比嘉　靖	構成人数	7 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	比嘉　靖
委員名	【事務部】當銘秀之、後原保光、比嘉　靖、仲地智俊、安里　竜、比嘉康文、冨里　等		
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
活動内容	●医師の勤務負担軽減 (医師勤務実績表を作成し当直明け休日を推進) ●骨髄ドナー休暇、裁判員休暇など特別休暇の立案 (H24.11 月理事会承認) ●「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業」認証の申請 (H24.11 月) ●再雇用規定の立案 (H25.1 月理事会承認) ●事務部ノー残業デーの推進 (H25.1 ～ 3 月) ●事務部係長・主任・副主任による院内ラウンド実施 (H25.1 月～)		
備考			

実績報告資料等



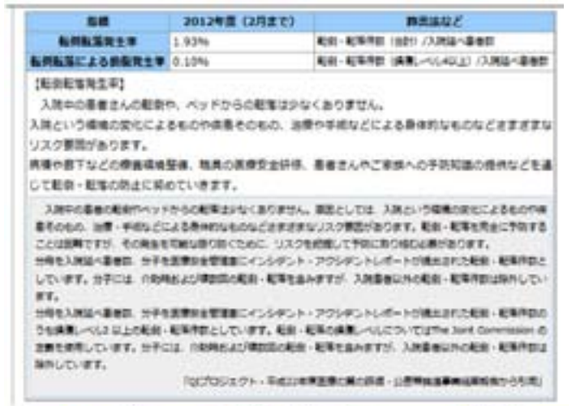




QI 委員会

委員会名	QI 委員会		
委員長名	奥島　憲彦	構成人数	11 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳　学
委員名	【医局】奥島憲彦、末吉健次、平良直也、高良　誠 【看護部】玉城秀美、嘉数智子 【事務部】柳　学、當眞嗣美、安里　竜、知念政治、島袋　絢		
活動目的	QI（Quality Indicator）とは「医療の質の指標」を意味しており、当院は今年度から日本病院会主催の「QI プロジェクト 2012」に参加しております。標準的な診療が行われているか、その実施率等を数値化し、客観的に評価して「医療の質改善」に繋げていくことを目的としております。		
活動内容	下記 11 項目の臨床指標データの収集。 1. 患者満足度（外来患者） 2. 患者満足度（入院患者） 3. 死亡退院患者率 4. ①入院患者の転倒・転落発生率②入院患者の転倒・転落による損傷発生率 5. 褥瘡発生率 6. 手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率 7. 糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c（NGSP）＜ 7.0% 8. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率（リスクレベルが中リスク以上） 9. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率（リスクレベルが中リスク以上） 10. 急性心筋梗塞患者に対する退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率 11. 退院後 6 週間以内の救急医療入院率。		
備考			

実績報告資料等



指標	2012年度（2月まで）	算出法など
転倒転落発生率	1.93%	転倒・転落件数（当日）/入院延べ患者数
転倒転落による損傷発生率	0.10%	転倒・転落件数（損傷レベル4以上）/入院延べ患者数

【転倒転落発生率】

入院中の患者さんの転倒や、ベッドからの転落は少なくありません。

入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療や手術などによる身体的なものなどさまざまなリスク要因があります。

病棟や部下などの療養環境整備、職員の医療安全研修、患者さんやご家族への予防知識の提供などを通して転倒・転落の防止に努めていきます。

入院中の患者の転倒やベッドからの転落は少なくありません。要因としては、入院という環境の変化によるものや疾患そのもの、治療・手術などによる身体的なものなどさまざまなリスク要因があります。転倒・転落を完全に予防することは困難ですが、その発生を可能な限り防ぐために、リスクを把握して予防に取り組む必要があります。

当院を入院延べ患者数、分子を医療安全管理室にインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数としています。分子には、外来時および病棟間の転倒・転落を含みますが、入院患者以外の転倒・転落件数は除外しています。

分母を入院延べ患者数、分子を医療安全管理室にインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数のうち損傷レベル2 以上の転倒・転落件数としています。転倒・転落の損傷レベルについてはThe Joint Commission の定義を使用しています。分子には、外来時および病棟間の転倒・転落を含みますが、入院患者以外の転倒・転落件数は除外しています。

「QIプロジェクト・平成23年度医療の質の評価・公表等推進事業結果報告から引用」

指標	2012年度（2月まで）	算出法など
褥瘡発生率	0.08%	40以上の褥瘡の新規院内発生率/入院延べ患者数

【褥瘡発生率】

『褥瘡とは、一般的に「床ずれ」と呼ばれるもので、長期間同じ姿勢や寝たきりなどの状態で圧迫された皮膚が血流障害をおこし傷となってしまったものです。褥瘡の発生は、患者さんのQOL（生活の質）の低下をきたし、結果的には在院日数の長期・いじょう以下や医療費の増大にもつながります。褥瘡は看護ケアの質評価や指標の一つとなっています。褥瘡対策を専門的に行う委員会の設置を行い褥瘡発生の低下に努めています』

褥瘡は、看護ケアの質評価の重要な指標の1つとなっています。褥瘡は、患者のQOLの低下をきたし、結果的には在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。褥瘡予防対策は、医療上、重要な課題の1つとして、1990年代からは診療報酬制度にも反映されています。わが国では、褥瘡発生率についてはー定の算出方法がないため、分母の入院延べ患者数から「入院時すでに褥瘡保有が記録（d1,d2,d3,d4,d5,DU）されていた患者の入院日数」と「調査期間より前に（例えば前月に）褥瘡の院内発生（d1,d2,d3,d4,d5,DU）が報告され、継続して入院している患者の入院日数」を除外することで、すでに褥瘡が発生している患者群を除き、調査期間内に院内新規発生の可能性がある患者に限定しました。入院時点から24時間以内に発生した褥瘡は院内発生とみなさず、日帰り入院患者、同日入退院患者も分母から除外しました。分子は、調査期間における分母対象患者群内で新規褥瘡が発生する可能性がある患者のうち、d2 以上の褥瘡の院内新規発生患者数とし、深さ判定不能な褥瘡（DU）・粘膜皮膚接続部も含めることとしました。褥瘡の深さについては、日本褥瘡学会DESIGN-R（2008 年改訂版褥瘡経過評価用）とInternational NPUAP-EPUAP Pressure Ulcer Guidelines を用いています。

「QIプロジェクト・平成23年度医療の質の評価・公表等推進事業結果報告から引用」

指標	2012年度（2月まで）	算出法など
手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	94.17%	予防的抗菌薬を投与した患者数/手術を受けた患者数

【手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率】

手術後に、手術部位感染（Surgical Site Infection：SSI）が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が有意に増大します。SSI を予防するポイントの一つとして、手術開始から終了後2～3 時間まで、血中および組織中の抗菌薬濃度を高めることで、SSI を予防できる可能性が高くなります。このため手術前1時間以内に、適切な抗菌薬を静注することで、SSI を予防し、入院期間の延長や医療費の増大を抑えることができると考えられています。

同一入院期間中に複数回の手術が行われている患者は高齢な病態や複雑な基礎疾患を有することが多く、分母から除外しています。外来手術患者も、術後異常がほとんど見られないことが多いため、分母より除外しています。また、術前に感染を起こしていることが明記されている場合や術前1日目までに抗菌薬が投与されている患者は既に感染が成立していると考え、治療のための抗菌薬投与が必要であるため、分母より除外しています。

「QIプロジェクト・平成23年度医療の質の評価・公表等推進事業結果報告から引用」

ハートライフ病院の１年

写真で振り返る ハートライフ病院の1年

平成24年4月1日～平成25年3月31日

講演会　いきいき講演会
「いい病院をつくりましょう」

新入職歓迎沖縄縦断駅伝

講演会　いきいき講演会
「やりがいのある職場作り」

お笑い寄席
「笑ってもらって元気になろう」

琉球大学公開講座
がん患者、家族を癒す緩和ケアの実際

ハートライフ病院大運動会

4月

- 入職式・オリエンテーション
- 東京女子医科大学病院 外来化学療法室見学報告会

5月

- 新入職歓迎沖縄縦断駅伝
- 沖縄県緩和ケア研修会2012　2日目

6月

- 講演会　いきいき講演会「いい病院をつくりましょう」
- 講演会「再生医療技術の開発と患者へ届ける仕組みづくり」
- 科別実績報告会1日目
- メンタルヘルス研修会

7月

- 沖縄県中部地区地域連携研究会
- 科別実績報告会2日目
- 各委員会実績報告会2日目

8月

- 講演会「知って得する！血液を介して起こるウィルス感染症」
- チーム対抗 消費エネルギーコンペ

9月

- 各部署報告会1日目
- 卓球大会
- 講演会「病院の増改築で大事なこと」
- メンタルヘルス研修会（役職者対象）
- 救急医療功労者厚生労働大臣表彰

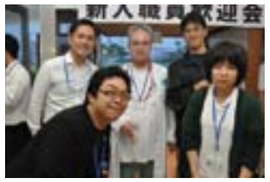
10月

- 講演会　いきいき講演会「人は輝くことができる」
- 院内総合防災訓練
- 講演会　ニコニコベースのジョギングとステップ運動
- ハートライフ病院大運動会
- 講演会「東日本大震災と救急医療」
- 講演会「リウマチの過去・現在・未来」
- お笑い寄席「笑ってもらって元気になろう」
- 琉球大学公開講座　がん患者、家族を癒す緩和ケアの実際
- 講演会　いきいき講演会「やりがいのある職場作り」
- 第2回 研修医同窓会
- 各部署報告会2日目
- 講演会　いきいき講演会「僕たちが大切にしていること　一体化した医院を目指して」

平成24年

入職式・オリエンテーション

新入職歓迎会



科別実績報告会

各委員会実績報告会

講演会　いきいき講演会
「僕たちが大切にしていること
一体化した医院を目指して」

講演会「病院の増改築で大事なこと」

救急医療功労者厚生労働大臣表彰

講演会　いきいき講演会
「人は輝くことができる」

ハートライフ新春寄席
北山亭メンソーレ

慰霊祭

講演会「大災害で実際に
困ったこと沖縄の備え」

研修医修了パーティー

2月

- 講演会「メディカルサポートコーチング基礎編」
- 講演会 「災害対策について」
- ハートライフ病院　地域医療連携懇談会
- ハートライフ新春寄席・北山亭メンソーレ
- 慰霊祭
- 講演会「末期がん患者の在宅医療 ～当院から退院した症例を通して～」
- 講演会「大災害で実際に困ったこと沖縄の備え」
- 研修医修了パーティー

3月

- 講演会「持続する病院経営とBSC」
- 講演会「ワークライフバランスの推進が病院活性化する」
- 講演会 いきいき講演会 「医療とユーモア」
- 講演会「再生医療について」
- 機能評価・新制度報告会
- 講演会「沖縄県の現状と今後」
- 第8期研修医　修了式
- 機能評価・新制度報告会（part2）

ABMi療法 第1症例実施

講演会「末期がん患者の在宅医療
～当院から退院した症例を通して～」

機能評価・新制度報告会

第8期研修医　修了式

消防訓練

財団法人骨髄移植推進財団　感謝状贈呈

社会医療法人かりゆし会　納会

もちつき大会

平成25年

- もちつき大会
- ABMi療法 第1症例実施

1月

- 社会医療法人かりゆし会　納会
- がん対策推進講演会 がん対策推進委員会
- 講演会「生命（いのち）は与えると強くなる」
- 財団法人骨髄移植推進財団　感謝状贈呈
- 平成24年度・患者満足度調査
- 消防訓練
- 大忘年会
- クリスマスショー
- ハートライフ病院連携学術講演会

12月

- がん化学療法講演会「がん化学療法と医療経済」
- 医療安全講演会「医学・医療の確実性と不確実性にどのように向合うか」
- 第19回院内研究発表会
- 講演会「コンディショニングで健康的に綺麗になろう」

11月

講演会「コンディショニングで
健康的に綺麗になろう」

第19回院内研究発表会

クリスマスショー

大忘年会

平成24年度 院内研究発表会

平成 24 年 11 月 8 日 (金) に「平成 24 年度　院内研究発表会」が行われました。4 部門で予選を行う選抜方式で開催され、各部門から予選を勝ち抜いた計 13 題で本選が行われました。今年の実行委員長は西銘看護部長。審査員として奥島院長、西原医局長、西銘看護部長、宮城医療技術部長、當銘事務部長代行にご参加頂きました。

3 時間弱の発表、質疑が行われ見事優勝を勝ち取ったのは栄養科 當眞 結子さんによる発表の「安心、安全な病院食提供をめざして」でした。2 位は用度課 新川進 課長による発表の「症例単価払い方式による機器導入の成果」、第 3 位が 3 階病棟 外間 真紀子 師長による発表の「Continence Care の見直し～持ち込みオムツから院内統一へ、導入後の変化～」でした。

1位

栄養科　當眞　結子

2位

用度課　新川　進　課長

3位

3 階病棟　外間　真紀子　師長

ハートライフクリニック
平成 24 年度　年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2012

理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援

2. 小児プライマリー（初期）医療

3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）

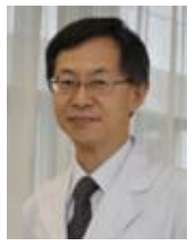
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す

5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）

6. 健全な医療経営

7. 笑顔で親切

年報発刊によせての挨拶



平成 24 年 4 月 2 日に社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニックが誕生しました。ハートライフクリニックは、急性期診療を主とするハートライフ病院とは異なった基本方針を掲げています。1．生活習慣病の自立支援、2. 小児プライマリー（初期）医療、3．地域循環型医療 (かかりつけ医との連携)、4．生活習慣改善の指導で健康長寿を目指す、5．研修教育クリニック (地域の医療関係者を含めて)、6．健全な医療経営、7. 笑顔で親切。つまり、生活習慣病などの慢性疾患の治療と療養指導、小児の急性期初期治療を対象として、スタッフ全員が専門性のある療養指導法を修得し患者さんに還元していくことを目指し、このような基本方針のもとでスタートしました。

平成24年度が終了し年報の発刊によせてハートライフクリニックを概括すると、マンパワーの問題や経営的な問題が多々ありクリニックだけで歩むのは困難極まりない状況でした。しかし、皆様からの多大なご支援や激励を頂き、なんとか 1 年を乗り切らせてもらいました。

初年度はクリニックの基本方針のもと、各スタッフの診療や療養、そして事務系の技術を研鑽する年でもありました。糖尿病診療ではスタッフが研修に参加することで平成 24 年度から設置された透析予防チーム医療の要件を満たす施設として認定され、またフットケアの研修に参加することで糖尿病合併症予防管理加算を取得できる施設としても認定されました。クリニックでの診療や療養活動は学会や研究会で発表を行っており、その成果について年報で読み取れるならば望外の喜びです。

次年度はさらにハートライフクリニックの特徴を活かした診療活動ができるように職員一同邁進する所存です。今後とも皆様のご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

社会医療法人　かりゆし会
ハートライフクリニック
院長　山本　壽一

病院概要

（平成 24 年 4 月 2 日現在 / データ作成　ハートライフクリニック　渡久地）

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会　ハートライフクリニック

所在地

〒 903-0101　沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話　（098）882-0810（代表）

FAX　（098）882-0820

ホームページ　http://www.heartlife.or.jp/clinic/

管理者一覧

理事長　　安　里　哲　好

院　長　　山　本　壽　一

事務局長　　宮　良　長　男

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積　5,866.90㎡　　建築面積　2,674.97㎡　　延べ床面積　5,959.94㎡

規模構造　鉄筋コンクリート造　地上 2 階建

職員数

総数　43 名

職種別

（平成 24 年 4 月現在 / データ作成　ハートライフ病院　総務課）

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	2	クラーク	5	臨床心理士	1	その他	5
非常勤医師	7	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	8	臨床検査技師	3	理学療法士	1		
准看護師	1	放射線技士	1	一般事務	6		

指導医・専門医・認定医

（平成 24 年 6 月現在 / データ作成　企画室広報　仲田）

名称	人数	名称	人数
日本内科学会総合内科専門医	2	日本糖尿病学会研修指導医	1
日本内分泌学会指導医	1	日本糖尿病学会専門医	3
日本内分泌学会専門医	1	日本内科学会認定医	3

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 特定疾患治療研究事業医療機関
5. 小児慢性特定疾患治療研究事業医療機関
6. 労災保険指定医療機関

診療体制

標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

その他、センター・専門外来など

● 禁煙外来

受付時間

月曜日～金曜日　午前　8：00 ～ 11：30

午後　13：00 ～ 16：30

診療時間

月曜日～金曜日　午前　9：00 ～ 12：00

午後　14：00 ～ 17：30

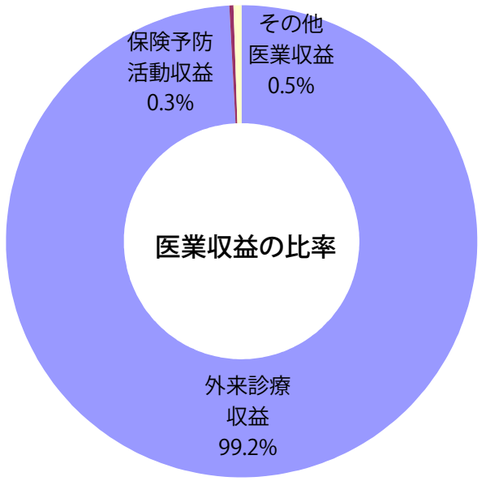
休診日

土曜日・日曜日・祝祭日

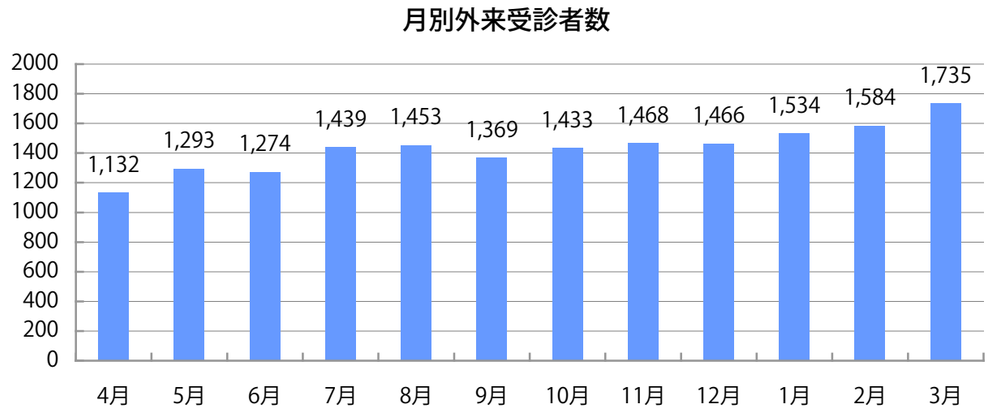
財務情報

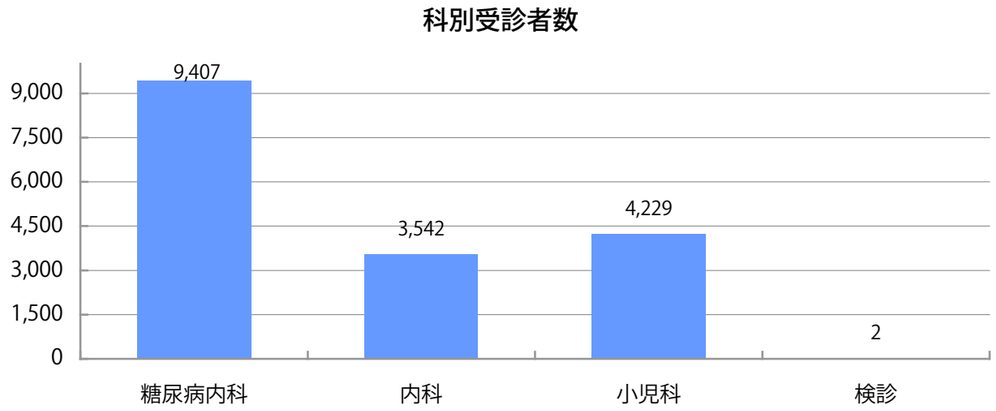
（単位：千円 / データ作成　経理課　大山）

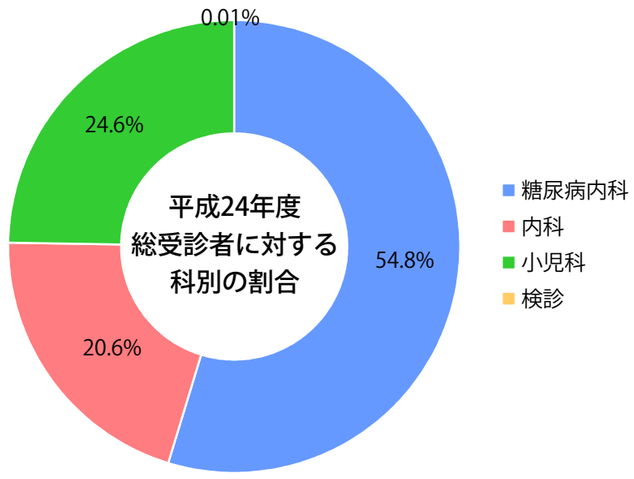
		H24 年度
医業収益	外来診療収益	196,370
	保険予防活動収益	600
	その他医業収益	944
	計	197,914
医業費用	一般管理費　計	360,664
	医業利益	▲ 162,750
	経常利益	▲ 163,958
	税引前当期利益	▲ 163,958
	法人税・住民税等	0
	当期純利益	▲ 163,958



患者統計







ハートライフクリニック
業務実績

糖尿病内科

院長　山本　壽一

部門紹介

中部地区の糖尿病医療連携体制における、糖尿病の状態が悪化した場合の専門治療を担当しています。状態の悪化とは、血糖値のコントロール不良状態（HbA1c が８％以上）が続く場合や繰り返す低血糖、急激な体重変動、合併症の進行悪化、予定手術やステロイド剤投与、妊娠出産希望、インスリン治療での不安定などです。このような状態の時には、「かかりつけ医」からの紹介で初診と入院加療はハートライフ病院が担当、改善すればハートライフクリニックの糖尿病内科で治療します。安定したら「かかりつけ医」に逆紹介し、継続して治療を受けていただきます。

職員数

総数　17 名

医師　６名（常勤１名　非常勤５名）

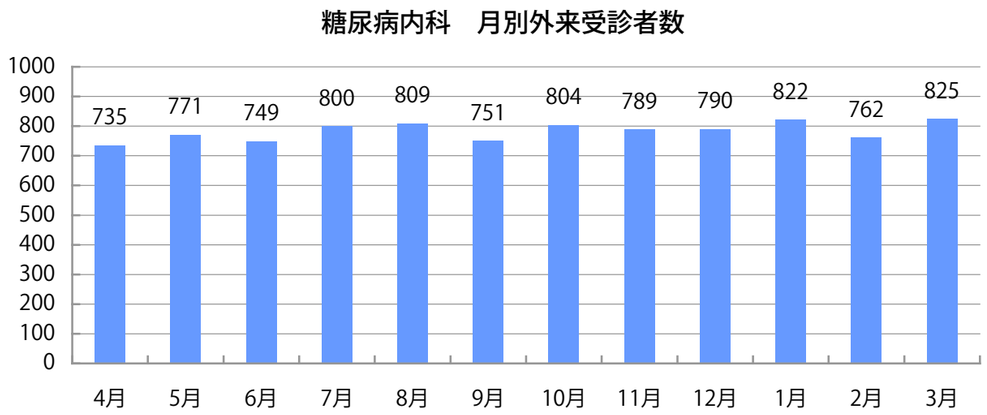
看護師　４名

管理栄養士　２名

臨床心理士　１名

クラーク　４名

業務実績



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病医療における心理臨床－臨床心理士の視座から－	第一回沖縄県糖尿病療養指導士研修会	浦添市	20012 年6月2日	大家聡樹
臨床検査技師の職業について	職業人講話会　知念高等学校	与那原町	2012 年７月６日	仲里幸康
役割:心理リハビリテイション　スーパーヴァイザー	第 20 回臨床動作法による心理療育京都キャンプ	京都府	2012 年7月 31 日～８月6日	大家聡樹
症例から学ぶ糖尿病エンパワーメント	浦添医師会勉強会	浦添市	2012 年７月 22 日	山本壽一
ハートライフクリニック糖尿病内科における臨床心理士の役割	第 31 回日本心理臨床学会学術大会	愛知県	2012 年7月 22 日	大家聡樹
糖尿病教室への取組について～臨床検査技師の関わり～	T-Friends セミナー	福岡県	2012 年８月 26 日	仲里幸康
チーム医療における理想的なカンファレンスとは　－バリント・グループ方式のカンファレンスの実践より－	第三回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	福岡県	2012 年９月１日	毛利貴子
事例検討会『HbA1c と SMBG の値との乖離から何が考えられるか』	第 29 回沖縄県検査糖尿病研究会	那覇市	平成 25 年９月５日	仲里幸康
症例から学ぶ糖尿病エンパワーメント	中部医師会糖尿病標準治療推進委員会講演	北谷町	2012 年９月 19 日	山本壽一
臨床検査技師の立場から　糖尿病について	拠点内講演会　テルモ株式会社社内研修会	那覇市	2012 年９月 28 日	仲里幸康
こころに関わるチームアプローチ「ゆんたく外来」の紹介－臨床心理士の役割の模索	第 50 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2012 年 10 月 19 日～ 20 日	大家聡樹
テキストマイニング法を用いた CDE への糖尿病エンパワーメント講義の理解度評価	第 50 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2012 年 10 月 20 日	山本壽一、毛利貴子、渡辺蔵人、安谷屋徳章、山城小百合、崎原みち代、朝比奈崇介、森田　巧
逆紹介の糖尿病患者の支援に必要なのは－不安の強い人ほど血糖コントロールの自信がない－	第 50 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2012 年 10 月 20 日	毛利貴子
座長	第４２回日本腎臓学会西部学術大会ランチョンセミナー１４	沖縄	２０１２年１０月２７日	山本壽一
座長	平成 24 年度第２回中部地区糖尿病学術講演会	南風原町	2012 年 11 月 15 日	山本壽一
外来糖尿病教室への取り組み（現状とこれから）	平成 24 年度第２回中部地区糖尿病学術講演会	南風原町	2012 年 11 月 15 日	久高恵
症例から学ぶ糖尿病エンパワーメント	第４回北部地域医療糖尿病連携パス研修会	名護市	2012 年 11 月 22 日	山本壽一
症例から学ぶ糖尿病エンパワーメント	宮古地区医師会学術講演会	宮古島市	2012 年 12 月７日	山本壽一
簡易血糖自己測定器の画面表示の理解度調査について	沖縄県コメディカルのための糖尿病プログラム 2013	宜野湾市	2012 年 12 月 14 日	仲里幸康
CSII 導入を経験して看護師の立場から考える	平成 24 年度第３回糖尿病の治療・看護・指導のための講習会	那覇市	2012 年 12 月 22 日	玉那覇美幸
糖尿病チーム医療『糖尿病療養指導士の役割について』	糖尿病チーム医療ワークショップ　ｉｎ　沖縄	宜野湾市	平成 25 年２月３日	仲里幸康
チーム医療を支える人材－臨床心理士の役割－	はじめよう！つなげよう！糖尿病チーム医療	宜野湾市	2013 年２月３日	大家聡樹
難しい事例から学ぶ糖尿病臨床のあり方	Okinawa Health Promotion Academic Meeting	南風原町	2013 年２月７日	山本壽一
座長	中部地区糖尿病標準治療推進委員会　推奨講演会	北谷町	2013 年　２月 21 日	大城郁子
こころをつなぐ糖尿病チーム医療	糖尿病チーム医療ワークショップ in 沖縄	宜野湾市	2013 年３月９日	山本壽一
カンファレンスの基本姿勢	糖尿病チーム医療ワークショップ in 沖縄	宜野湾市	2013 年３月９日	毛利貴子
カンファレンスを体験してチーム医療を体験しよう！	糖尿病チーム医療ワークショップ in 沖縄	宜野湾市	2013 年３月９日	大家聡樹

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病日常診療における困難と臨床心理学的支援の必要性	医療と臨床心理　糖尿病医療学における臨牀心理学の支援	京都府	2013 年 3 月 20 日	山本壽一

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
簡易血糖自己測定器の画面表示の理解度調査　～日本語およびカラー表示機能を有する新しい測定器の評価～	医療と検査機器・試薬	第 35 巻　第 4 号 (2012 年 8 月)　35(4)：611 ～ 616、2012	仲里幸康
運動療法－中断する 3 つの理由－	琉球新報	健康エッセー　ドクターのゆんたくひんたく　p16　2012 年 9 月 11 日	山本壽一
食事療法できていますか	沖縄タイムス	命ぐすい耳ぐすい	山本壽一
自覚症状ない糖尿病－想像力使い合併症予防－	琉球新報　健康エッセー　ドクターのゆんたくひんたく	2012 年 11 月 27 日 p20	山本壽一
平成 24 年度第 3 回 CDE 講習会	沖縄 CDEJ　News	第 8 号 2012 年 12 月	真栄城ゆかり
食事運動をバランスよく / インタビュー	琉球新報　健康特集医療編	2012 年 12 月 17 日　p17	山本壽一
糖尿病ケアスキルアップドリルに挑戦―患者心理―	糖尿病ケア	p.194, Vol.10(2),2013	山本壽一
心に残った症例　中断を繰り返す理由	糖尿病診療マスター	p436-438．Vol.11(4)，2013 年	山本壽一
（6）糖尿病警察	糖尿病ケア	9巻7号　頁数　658 － 661	山城小百合、大家聡樹

活動実績

名称	年月日	主催
第 1 回糖尿病セルフケア研究会	2012 年 10 月 5 日	ハートライフクリニック

内科

内科医長　荒川　幸弘

部門紹介

内科では高血圧や脂質異常症などの生活習慣病のみならず、風邪・胃腸炎・喘息や甲状腺疾患など内科全般に渡って診療を行っています。また、金曜日の腎臓内科では、専門医による診療を行っており、腎疾患への早期介入を行うことで、透析導入を遅らせることが期待できます。

禁煙外来ではニコチン依存症に対して、禁煙補助薬・指導などのサポートを行うことで、禁煙を成功へ導く手助けとなっています。患者さんの希望があれば、西洋医学に加え漢方を用いることで、ひとりひとりの体質にあったオーダーメイドな医療も行っています。予防接種や特定健診で受診される方も増加傾向にあります。

職員数

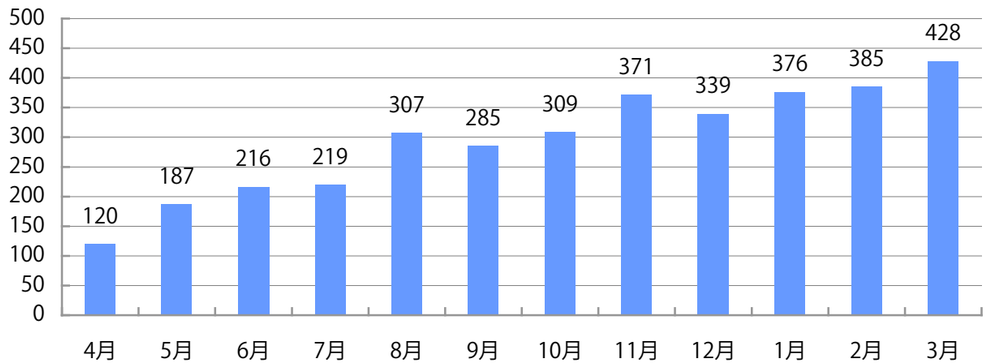
総数　6 名

医師 2 名（常勤 1 名　非常勤 1 名）　　クラーク　1 名

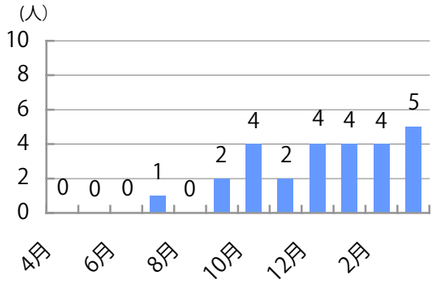
看護師　3 名

業務実績

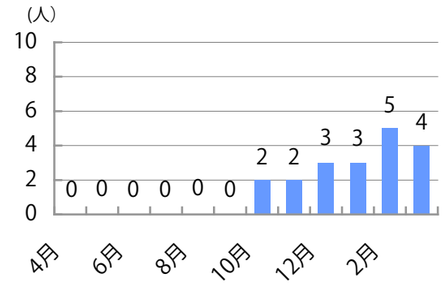
内科　月別外来受診者数



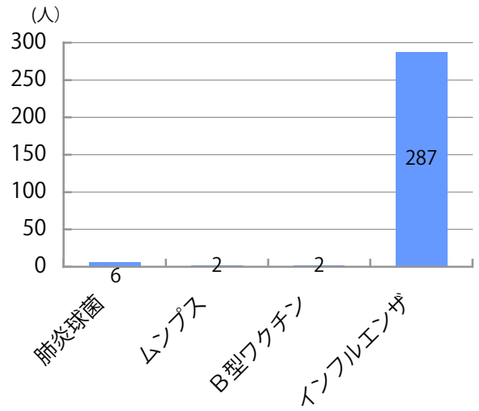
禁煙外来受診者数



特定健診受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



小児科

ハートライフ病院小児科部長　安里　義秀

部門紹介

小児科では一般外来のほかにも、気管支喘息などの慢性疾患の診療も行っております。小児科内の壁面には、可愛らしいおさかなの壁紙を採用し、あがペェ子供造型教室のお子さんたちの絵画やオブジェの写真を掲示しています。お子さんが安心して怖がらずに来院できるような内装に配慮しました。

また、クリニック内では対応が困難な検査や、入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

職員数

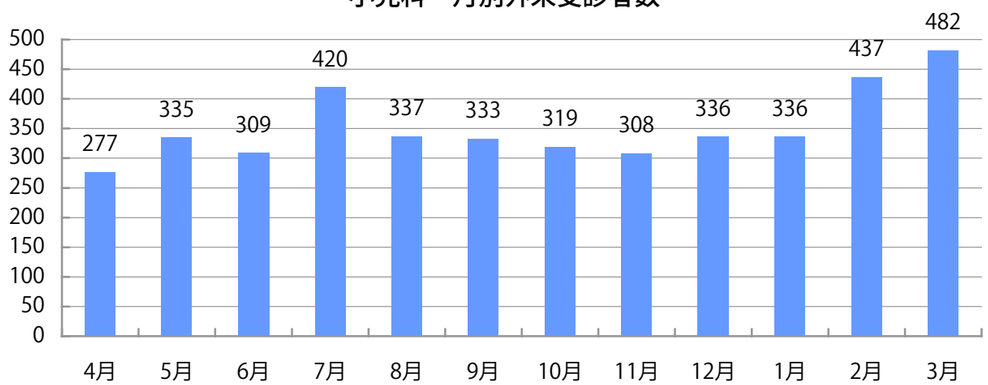
総　数　９名

医　師　６名（非常勤）　　保育士　１名

看護師　２名

業務実績

小児科　月別外来受診者数



附属施設

疾病予防運動施設リューザ

疾病予防運動施設　リューザ　長嶺　敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心で効果的な運動による疾病予防が可能です。

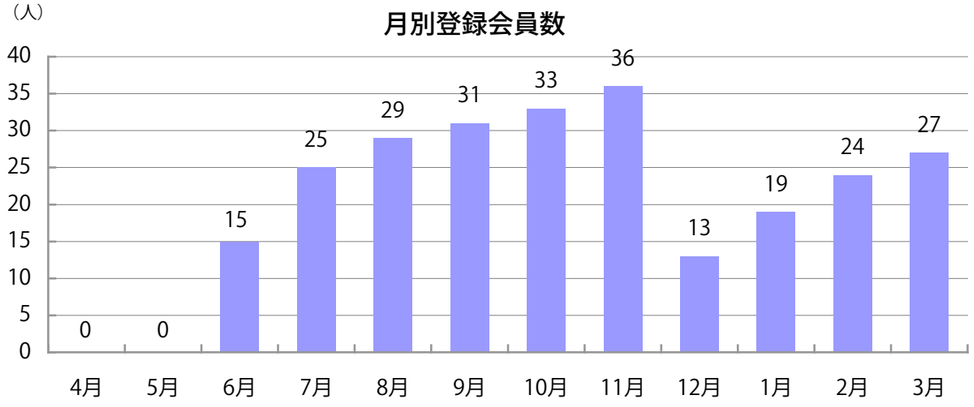
リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体・心の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

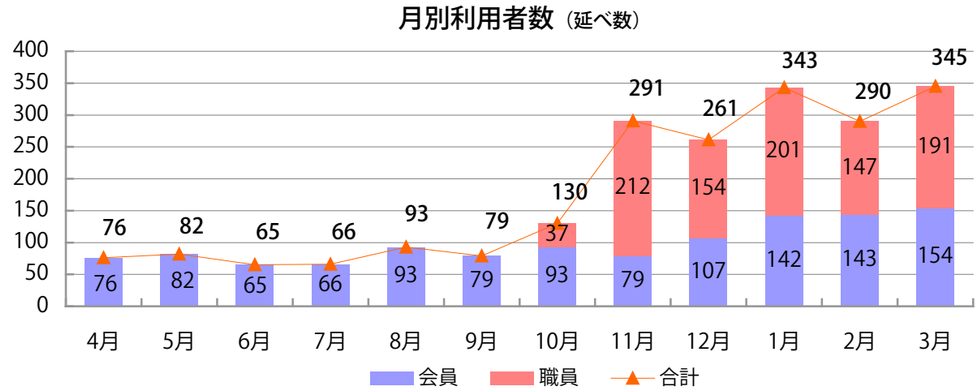
職員数

総数　1 名

理学療法士　1 名

業務実績





研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
効果的な集団運動指導を探る - 集団運動指導における質問紙の活用 -	第 50 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	2012 年 10 月 20 日	長嶺敦司

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
日本糖尿病療養指導士パンフレット	CDEJ News Letter	2013 年 1 月発行　11 p	長嶺敦司

活動実績

出前健康講話実施状況

講座名	開催地	日付	演者
寝たきりにならないための運動	いいあんべー家（西原町）翁長公民館	2012 年 5 月 14 日	長嶺敦司
脳卒中を予防しよう！	いいあんべー家（西原町）小那覇公民館	2012 年 6 月 8 日	長嶺敦司
寝たきりにならないための運動	中城村　登又公民館	2012 年 7 月 18 日	長嶺敦司
職場で出来るストレッチ	中城村　吉の浦会館	2012 年 7 月 31 日	長嶺敦司
転倒予防について	いいあんべー家（西原町）美咲民館	2012 年 10 月 1 日	長嶺敦司
転倒予防について	いいあんべー家（西原町）我謝公民館	2012 年 11 月 2 日	長嶺敦司
転倒予防について	中城村　北上原公民館	2012 年 11 月 28 日	長嶺敦司
生活習慣病予防について	吉の浦会館　別棟会議室	2013 年 3 月 1 日	長嶺敦司

講義実施状況

講座名	開催地	日付	演者
日本理学療法士協会主催内部疾病	沖縄リハビリテーション福祉学院	2013 年 3 月 10 日	長嶺敦司

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana　新垣　優子

部門紹介

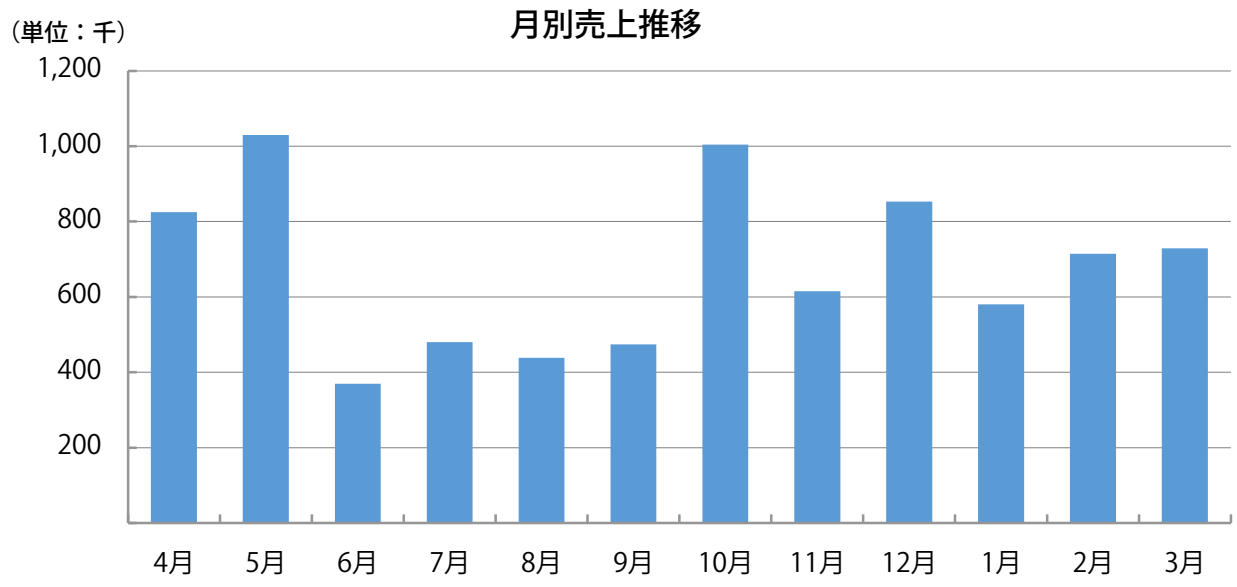
ヘルシーカフェ ohana（オハナ）は、ハートライフクリニックに来院される方や生活習慣病が気になる方に低カロリーな料理を提供しています。カロリー計算されたモーニングセットやランチ、日替わり弁当、ご来店されたお客様の要望に合わせたオードブルやスイーツの提供を行っております。今年度からはハートライフ病院で出産された方へ特別コース料理の祝い膳も始めました。また、医局の当直弁当や、院内講演会の弁当、お誕生日ケーキなど職員の方々にも利用して頂いています。

職員数

総数　5 名

調理師・配膳　5 名

業務実績



編集後記

職員一人一人の平成 24 年度の頑張りがつまった年報が完成しました。今年、特筆すべきは年度終了後６か月以内に年報が完成したという事です。発刊が遅れていた過去の状況と比べると雲泥の差があります。これも偏に年報委員会の各委員の努力の賜と感謝申し上げます。今後も「各科診療実績報告会」を早めに行い年報作成につなげる努力を続けていきたいと思います。

今回、Q.I.（医療の質）のページを新設しました。これから毎年の数値を比較し、より安全な医療、より質の高い医療の実践につなげたいと思います。事務部長を中心とした事務部の改編も大きな改革でした。今後の事務部の活躍に期待します。また、集中治療、感染、慢性心不全の分野で認定看護師も増えています。日々の臨床で手一杯とは思いますが、今後も病院は全力でサポートしていきますので、ぜひ認定看護師を目指して勉強していただきたいと思います。今年度は全ての部署、全ての職種が頑張った平成 24 年度だったと思います。

最後に、編集の実務をこなしてくれた広報の知念さんと仲田さんに心よりお礼申し上げます。

年報作成委員長　　奥島　憲彦

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長　奥島　憲彦（ハートライフ病院院長）
副委員長　嘉川　春生（泌尿器科部長）
委　　員　菅野　善一郎（心療内科医長）
仲地　ますみ（看護副部長）
仲座　義富（放射線科技師長）
屋宜　伸春（リハビリテーション科主任）
當銘　秀之（事務部長）
比嘉　須奈子（メディカルクラーク主任）
神里　美佐子（メディカルクラーク副主任）
島袋　絢（診療情報管理室）
宮城　映子（総務課図書係）
知念　政治（広報担当副主任）
仲田　尚正（広報担当）

社会医療法人かりゆし会　平成 24 年度年報
第 19 巻　平成 25 年 11 月

編集発行人　社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院
年報作成委員会
〒 901-2492　沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 .（098）895-3255 ㈹　FAX.（098）895-2534
URL.　http://www.heartlife.or.jp/